

JFA news

特集

JFAこころのプロジェクトがつなぐ 夢のバトン

20年の歩みと新たな挑戦

夢先生インタビュー

筏井りささん(フットサル)

坂井寛子さん(ソフトボール)

酒向杏奈さん(ミュージカル)

日本プロ野球選手会に聞く~肘井竜蔵さん

学校の声~市川市立大柏小学校・村上勝正校長

「夢シート」のメッセージ交換

2 NO.502
2026.
2月 情報号

制圧か、爆走か。



PREDATOR OR *F50*

JFA No.502 news

2026 2月情報号

特集

JFAこころのプロジェクトがつなぐ 夢のバトン

CONTENTS

- 004 **20年の歩みと新たな挑戦**
プロジェクト創始者、川淵三郎キャプテンに聞く
- 007 **夢先生インタビュー**
筏井りささん(フットサル)
坂井寛子さん(ソフトボール)
酒向杏奈さん(ミュージカル)
- 013 **日本プロ野球選手会に聞く～肘井竜蔵さん**
- 015 **学校の声～市川市立大柏小学校・村上勝正校長**
- 017 **「夢シート」のメッセージ交換**

大会・試合

- 066 皇后杯 JFA 第47回全日本女子サッカー選手権大会
- 069 第34回全日本大学女子サッカー選手権大会
- 070 令和7年度第104回全国高校サッカー選手権大会
- 071 第34回全日本高等学校女子サッカー選手権大会
- 073 JFA 第29回全日本U-18女子サッカー選手権大会
- 074 JFA 第31回全日本U-15フットサル選手権大会
- 075 JFA 第16回全日本U-15女子フットサル選手権大会
- 056 【記録集】皇后杯 JFA 第47回全日本女子サッカー選手権大会

REPORT

- 076 日本フットボール学会23rd Congress

連載

- 020 No Football, No Life「式田高義」
- 022 サッカー心育論／中山雅雄
- 023 いつも心にリスペクト／大住良之
- 078 メディカルROOM「脳振盪の対応とその影響」

- 024 JFA情報発信局
- 025 月刊レポート
- 031 蹴球通信
- 035 会議レポート
- 042 データボックス
- 065 サッカーファミリー広場
- 080 次号予告

JFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、
人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

JFAのビジョン

サッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、
人々が幸せになれる環境を作り上げる。

サッカーの強化に努め、日本代表が世界で活躍することで、
人々に勇気と希望と感動を与える。

常にフェアプレーの精神を持ち、国内の、さらには
世界の人々と友好を深め、国際社会に貢献する。

JFAのバリュー

エンジョイ◎スポーツの楽しさと喜びを原点とすること
プレーヤーズファースト◎選手にとっての最善を考えること
フェア◎オープンかつ誠実な姿勢で公正を貫くこと
チャレンジ◎成長への高い志と情熱で挑戦を続けること
リスペクト◎関わりのあるすべてを大切に思うこと



※本誌の記事・写真・図表などの無断転用を禁じます。
表紙・目次および本誌内のクレジットの記載のない写真：
©JFA、©JFA/PR、©J.LEAGUE、©WE LEAGUE、
©F.LEAGUE、©Wainix



JFAは社会課題解決に向けた活動「アスパス!」に取り組んでいます。これは「地球(earth)の未来(明日)のために私たち(us)がつなぐパス」の意を込めた造語でサッカーファミリーが世代や時代を超えて「パスを繋いでいく」という強い決意を表現しています。





©2026 adidas Japan K.K. adidas, the 3-Bar logo, the 3-Stripes mark are trademarks of adidas, used with permission.

CONEXT 26

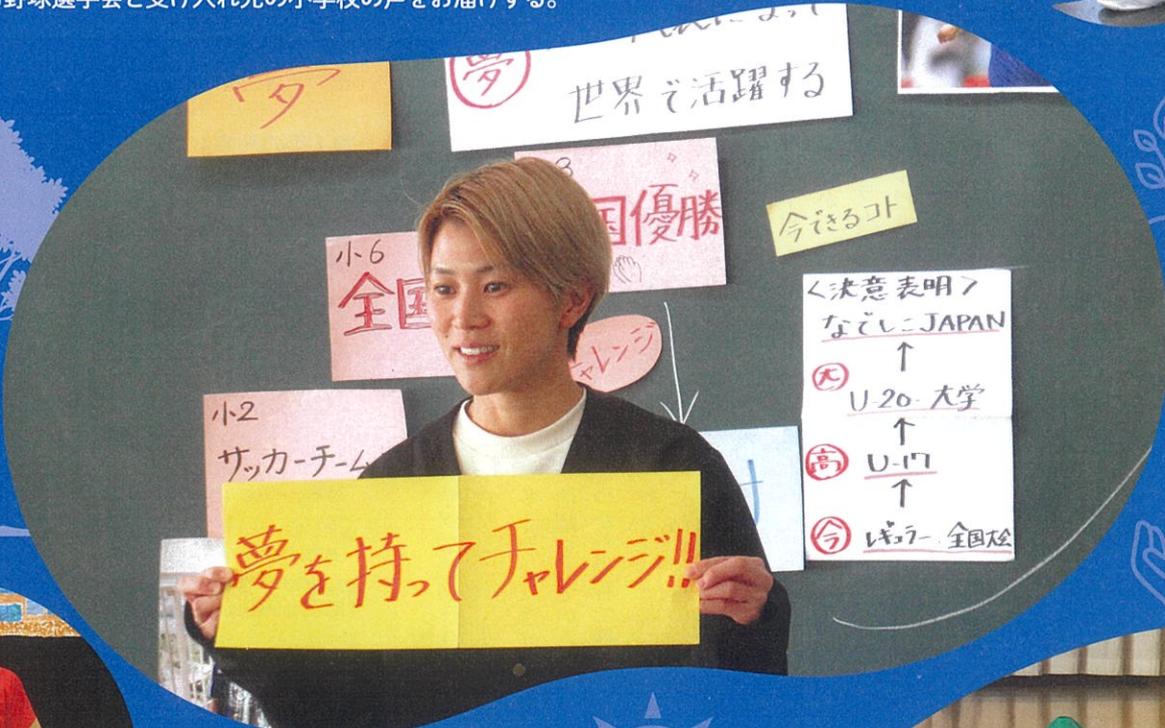
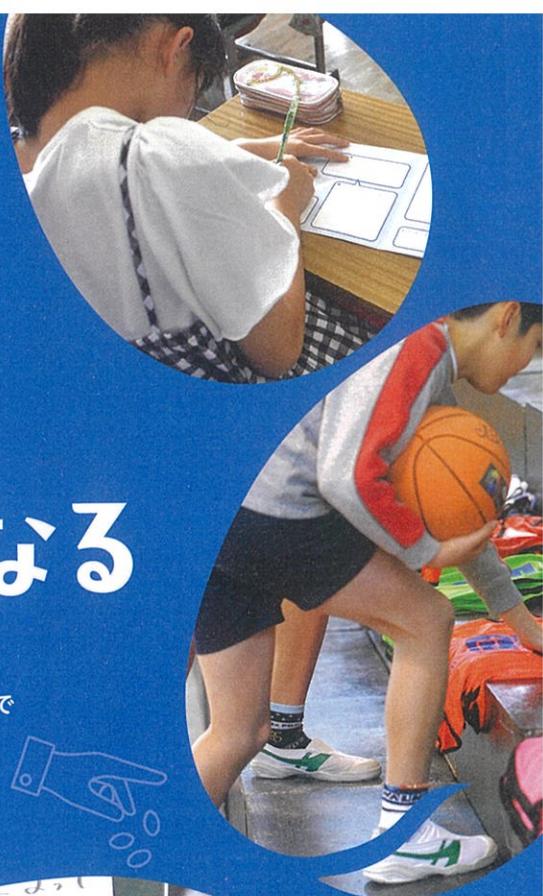
コネクト 26

特集 JFAこころのプロジェクトがつなぐ夢のバトン

子どもにとっても、 大人にとっても、 『夢』は生きる力になる

日本サッカー協会（JFA）は2006年、「JFAこころのプロジェクト」を立ち上げた。
翌年から始まった「夢の教室」は全国へと拡大し、多くの子どもたちに「夢」が生きる上で
揺るぎない力になることを伝え続けている。

20年目を迎え、新たな展開を見せているプロジェクトの今を特集。
JFAの取り組みを紹介するほか、3人の夢先生へのインタビュー、
そして日本プロ野球選手会と受け入れ先の小学校の声をお届けする。



20年の歩みと新たな挑戦

一生に一度の出会いが 子どもの未来を動かす

「サッカー界として子どもの心の成長に貢献したい」。川淵三郎キャプテン(現、日本サッカー協会〔JFA〕相談役)の強い思いから2006年、JFAこころのプロジェクトは立ち上がった。翌2007年4月に本格的にスタートした「夢の教室」は自治体や支援企業、そして夢先生の協力を得ながらその輪を拡大。全国での実施回数は約25,000回を数える。20年目を迎え、プロジェクトは新たなステージに進もうとしている。JFAの挑戦とそこにある思いとは――。

広がる夢先生の輪と熱い心 夢シートがつかなく絆

2000年代初頭、子どものいじめや自殺、その連鎖が社会問題となっていた。子どもたちのためにサッカー界ができることを模索し始めたとき、立ち返ったのは「夢があるから強くなる」という日本サッカー協会(JFA)のスローガンだった。そこから「夢」をテーマにしたカリキュラムの検討をスタート。トリアル授業を行って課題やアイデアを出し合い、「JFAメソッド(現、ユメセンメソッド)」を完成させた(右表)。

「夢の教室」では、小学校や中学校に派遣されたアスリート選手やそのOB・OGらが「夢先生(ユメセン)」となって、子どもたちに「仲間と協力することの大切さ」や「夢を

持つことやその夢に向かって努力することの大切さを伝える。その多くが一度きりの授業。輝かしい活躍をしているアスリートも夢をつかむ過程で挫折や失敗を経験している。そのつらい体験を赤裸々に話す彼らの言葉は子どもたちにとって新鮮であり、衝撃的と言えるだろう。

授業の終わりには、子どもたちが自身の夢や夢先生へのメッセージを「夢シート」に記入する。それが後日、夢先生の手元に届き、彼らはその1枚1枚に心のこもったエールをしたため、再び子どもたちに届けられる。

夢シートを通じたメッセージ交換が「子どもたちにとって大切な場所」になっていると話するのは、JFA経営企画部こころのプロジェク

ト推進グループの山下恵太。夢先生の輪は、サッカーやスポーツの枠を超え、芸能や文化人など多方面に広がっている。15年には日本プロ野球選手会と「夢の教室」共同実施に関わる協定を締結し、オフシーズンに現役のプロ野球選手が夢先生として教壇に立つ。ま

グループ長だ。夢シートでは、授業では見えなかった子どもたちの秘めた思いや本音が吐露されることもある。それは夢先生の話に共感したことによる信頼と期待があるから。だからこそ、推進グループは、夢シートの返事までを含めて熱い気持ちでプロジェクトに取り組みことを夢先生に求める。一期一会を大切にし、子ども一人一人と真剣に向き合って教壇に立つ。それはJFAがプロジェクト発足当初からずっと大切にしてきたことだ。

■「夢の教室」カリキュラムの紹介

対象：小学5年生と中学2年生／原則、クラス単位で実施
※()内の時間配分は目安

ゲームの時間 [35分] 体育館

子どもたちと一緒に体を動かし、互いの緊張をほぐしながら、仲間と協力することの大切さ、相手を思いやる心を伝えていく。

①自己紹介(5分)

夢先生が自己紹介とこの時間の趣旨を説明(夢先生がデモンストレーションを行う場合も)。

②ゲーム(25分)

仲間と一緒に心と体を温めるゲームや目的を達成するために仲間と協力するゲームを実施。

③まとめ(5分)

最後に夢先生から子どもたちにメッセージ。

トークの時間 [55分] 教室

夢先生の体験談をもとに、夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さを伝える。

①夢先生の夢トーク&みんなの夢(50分)

夢先生が自身の「夢曲線」を黒板に描きながら、夢を持ったきっかけやその過程での困難、どう乗り越えたかなどを伝える。夢先生の話聞いた後は子どもたちも自身の夢を考えて夢シートに記入。可能であればみんなに夢を発表してもらう。

②エンディング&まとめ(5分)

夢先生がこの時間のまとめとして、子どもたちにメッセージを伝える。

夢シート[後日]

子どもたちが記入した夢シートは、後日、夢先生に送付。夢シートには子どもたち一人一人に向けた夢先生の返事とサインが書かれ、授業当日に撮影した記念写真と共に子どもたちの元に届けられる。

- 夢シートでのメッセージ交換は17~18ページに掲載
- JFAこころのプロジェクトの詳細は下記URL参照
https://www.jfa.jp/social_action_programme/yumesen/



た、トヨタ自動車と中京大学との産学官連携によって実施している愛知県豊田市では、元アスリートの大学教員や愛知県立芸術大学で音楽を専門とする大学教員、技能五輪大会に出場したトヨタ職員ら地元で働く人たちも夢先生を務める。山下は「夢先生には上手な話をするより、熱い話をしてもらいたい。回数を重ねても決して慣れることなく、どれだけ情熱を持って話すことができるか。それが大事」と思いを語る。

ユメセンメソッドの提供 NPO法人と提携して展開

2023年からは神奈川県相模原市を拠点とするNPO法人ユメイクと提携し、相模原市をホームタウンとする三菱重工相模原ダイナポアース(ラグビー)、ノジマステラ相模原(女子サッカー)、ノジマ相模原ライズ(アメリカンフットボール)、SC相模原(男子サッカー)の選手らを夢先生に迎え、市内小学校で「夢の教室」を開催している。

きっかけは、スポーツこころのプロジェクト(※)でディレクターをしていた飯島沙織が、相模原市の子どもたちに「夢の教室」を届けたいと思ったこと。相模原市でも子どもたちの教育格差が課題となっており、課題解決のためにNPO法人を立ち上げ、JFAとの契約締結に至った。現在はユメイクが中心となって相模原市の全小学校での実

施を目指して活動している。こうした業務提携はJFAが目指していた一つの形でもある。重視するのはJFAと同じ信念と使命感を持って「夢の教室」を実施できること。JFAは、それによって授業の質が担保されると考えており、今後とも良きパートナーが現れることを期待している。

25年7月8日には、日本財団と共同で立ち上げた「子ども未来プロジェクト」の一環として「ゆめのたねの教室」をスタートさせた。夢の教室は主に小学5年生と中学2年生が対象だが、これは小学3年生を対象にしている。こども家庭庁が13~29歳までの男女を対象に行っている「我が国と諸外国のこどもと若者の意識に関する調査(令和5年度)」では、日本の子どもたちの自己肯定感他国の子どもたちに比べて低いという結果が出ている。また9~10歳(小3~4)は脳の発達によって自分と他人を比較したり、将来を想像したりする力が育ち始める時期で、同時に劣等感を持ちやすくなる時期でもあるとされている。

自己肯定感を高めるため、「ゆめのたねの教室」開始

推進グループの石村文佳は「子どもたちの自己肯定感を高めるために

にアプローチしたいという日本財団の考えを受け、われわれもプロジェクトが20年目を迎えるにあたって新たなチャレンジをしよう」と決めた」と経緯を説明する。これまで培ったノウハウを最大限に生かし、小学3年生向けに45分のプログラムを作成。ゲームの時間を30分と多めにとり、そこで子どもたちの意欲を引き出して挑戦する雰囲気をつくる。その後の「ゆめのたね探し」の時間は、夢先生の経験談を聞いて自分の好きなことや楽しいことをシートに書き出す。実施校からは好評を博しており、子どもたちが自分の足で未来を切り開いていけるよう、日本財団と共に「ゆめのたね」を全国にまいていく。

大人の「夢の教室」を開催 未来を見据えて成長へ

■JFAこころのプロジェクト実績と足跡 2007~2024年度

- 「夢の教室」対面実施回数
- 「夢の教室」オンライン実施回数
- 「スポーツ笑顔の教室」実施回数
- 「夢の教室」参加児童・生徒数

■実施回数

23,420回

(47都道府県+海外20地域)

■参加児童・生徒数

697,885人

■夢先生

1,659人



■JFAこころのプロジェクト

2025年度実績

(2025年4月～12月まで)

実施回数 1,123回 (38都道府県で実施)

夢の教室:1,102回

ゆめのたねの教室:9回

大人の夢の教室:12回

参加児童・生徒数 31,469人

夢の教室:31,309人

ゆめのたねの教室:160人

夢先生 279人

る機会になる。それぞれが自身の夢やキャリアアップを考え、共有することで仕事のモチベーションにもつながる」と石村は話す。また、「大人が夢を語れなかったら、子どもたちは夢を持ってない。夢を持つ大人が増えることで社会が変わり、子どもたちにも良い影響をもたらすのではないかと石村は続ける。今後、希望する企業や自治体を広く募っていく考えだ。

伝播していく熱意

JFAも挑戦し続ける姿勢を

昨年8月にはトライアルとしてフリースクールで初の「夢の教室」を開催し、その後も継続している。冒頭に記した通り、プロジェクトははじめによる自殺の連鎖が社会問題になっているとき、「いじめや自殺をしない心を育みたい」という思いから始まった。「だからこそ、フリースクールでの開催もとても重要」と山下。このプロジェクトを立ち上げた川淵もその挑戦を評価する。

また、フィギュアスケートの樋口新葉選手(北京冬季オリンピック銀メダリスト)、北海道日本ハムファイターズの野村佑希選手といった過去に「夢の教室」を受けた児童・生徒が夢先生として教壇に立つ事例も出てきた。それだけでなく、自治体や支援企業にも過去に授業を受けた職員や社員は増えており、そうした人々が「夢の教室」の運営にも携わっている。

20年目を迎えたJFAこころのプロジェクトは新たな挑戦しながら、その可能性を広げている。挑戦する思いについて石村は「夢は大切だよ、挑戦しよう」と子どもたちに伝えていくわけだが、その姿勢を見せられているかどうか。私自身、プロジェクトに携わる身として、挑戦することや夢を持つことを大切にしなければいけないと思っている」と明かす。子どもたちの可能性は無限大、だからこそ大人の関わり方は重要だ。「子どもたちは環境で変わっていく。学校の先生にも小学校時代に『夢の教室』に参加したという人が増えてきた。そうした好循環が生まれているのは20年やり続けてきた成果。次世代にもつながるような良い循環をつくっていききたい」と山下。プロジェクトの熱意はいろいろな人に伝播し、対象者も子どもから大人まで広がっている。その熱意がさらに広がるよう、これからも夢の力を伝え続けていく。

(文中、敬称略)

プロジェクト創始者、川淵三郎キャプテンに聞く

立ち上げの背景は、2006年当時、子どものいじめや自殺が社会問題になっていて、JFAとして何かできないかと思ったことが一つ。一方で、JFAとして心身の「身」への働きかけはやってきたけど、「心」の領域に踏み込めていなかったことについて、僕として忸怩たる思いがあったから。

メソッドは、専門家や電通のスタッフにも入ってもらい、みんなで知恵を絞って出来たもの。その後も模擬授業を重ね、試行錯誤して現在の形になった。

ここにきて「大人の夢の教室」や「ゆめのたねの教室」、フリースクールでの実施など対象の範囲を広げている。前任者の手嶋(秀人)、その跡を継いだ山下(恵太)、この2人のリーダーがプロジェクトの根幹を見失うことなく、信念を持ってやってきたから今がある。僕としては本望だ。

今、不登校の児童生徒数が過去最多の35万人を超えるなど子どもたちを取り巻く環境は悪化の一途をたどっている。また、AI(人工知能)の発達によって人間の価値が見

失われるようなことがないとも限らない。

夢の教室を受けたことで学校に行けるようになった、教室に入れるようになったといった事例や、大人からは「人生を見直す機会になった」「漠然と抱いていた夢に向き合おうと思った」といった感想が出ていることを考えると、20年の蓄積を次にどう生かしていくかが次の課題。不登校の場合は理由もさまざま、画一的な方法は通用しないのかもしれないが、ベーシックなメソッドを開発していく余地はあると思う。それが、こころのプロジェクトの新たな挑戦になるかもしれない。

何のためにスポーツに携わっている

のか、なぜ「人々の心身の健全な発達」を理念に掲げているのか。スポーツに携わる者としてその原点を忘れてはならない。生き方や人間の存在意義を問うプロジェクト——大きな可能性を秘めているものなのだから、使命感を持って続けていってほしい。それが僕の願いだ。

(JFA相談役)



学びや勇気をもらっているのは自分自身、だから私も挑戦する選択を



夢先生インタビュー

萩井りささん (フットサル選手)

夢先生として、アシスタントとして「夢の教室」に携わっている萩井りささん。サッカー選手、フットサル選手として夢を追い続けてきた。自身の経験を通じて子どもたちに伝えたいこと、夢先生として大切にしていること、「夢の教室」への思いを聞いた。

○取材日・2026年1月5日

萩井りさ (いかにい・りさ)

小学生でサッカーを始め、鳳凰高校 2・3年生で全日本高校女子サッカー選手権大会3位入賞。在学中はU-17日本女子代表に選出。進学した筑波大学でユニバーシアード日本女子代表に選出され、キャプテンとしてユニバーシアード競技大会で準優勝の成績を取った。大学卒業後はジェフユナイテッド市原・千葉レディース、浦和レッズレディースでプレーし、2017年に引退。しかし2018年にフットサル競技大会で準優勝の成績を取った。2021年からバルドラール浦安ラス・ボニータスに所属。2022年フットサル日本女子代表に初選出され、2025年には初開催された FIFA フットサル女子ワールドカップに出場した。

関わる人々の熱量に
応えられる人になりたい

— JFAこころのプロジェクト
を知ったのはいつですか。

萩井 2017年にサッカー選手を引退したのですが、その直前に大学の同期から話を聞きました。彼は日本サッカー協会(JFA)で「夢の教室」のディレクターをしていて「アシスタントをしてみないか」と。アスリートが自身のキャリアを子どもたちに話し、その価値を伝えられる授業はとても良い取り組みだと思いましたし、引退後は学校の先生やサッカー指導者などの道に進もうかと考えていて、自分がやってきたことを生かせるかもしれないと関心を持ちました。アシスタントをやるならまず、夢先生をやってみようというところで、最初に夢先生を務めたのは2018年だったと思います。ただ、自分にできるのかなという不安はありました。

— 迷われたんですね。

萩井 そうなんです。挫折はたくさんしてきましたし、やってきたことにも自信がありました。が、サッカー選手としての夢をかなえられなかったわけがありません。最後に夢

がなくなったと言い切れない自分がいることに迷いというか、後ろめたさのようなものがあって、そんな自分が夢を語っていいんだろうかと。

— 実際に教壇に立たれて心境の変化はありましたか。

萩井 最初に訪問したのは福島県南相馬市の小学校での「スポーツ笑顔の教室(4〜6ページ参照)」でした。子どもたちは私が行くとすごく喜んでくれて、最初の「ゲームの時間」から笑顔で接してくれ、そこで安心感を覚えました。トータルの時間も、真剣に目をキラキラさせながら話を聞いてくれて、うれしかったですね。

— その後、アシスタントもされるようになったんです。

萩井 研修を受けてアシスタントも担当ようになりました。アシスタントとしていろいろな夢先生の話を聞くことは勉強になりましたし、「ゲームの時間」の重要性にも気づくことができました。何より、夢先生、ディレクターやアシスタント、JFAの職員、学校の先生、自治体や支援企業など、子どもたちのためにこんなにも熱量を持つ大人たちがいることを知ることができたこと

が、私の人生にとっても大きかったです。

— 「夢の教室」は事前に学校や先生方との打ち合わせもあり、万全を期して行われていますね。

萩井 ディレクターの皆さんは事前打ち合わせをとっても大切にされています。「そんなところまで」というくらい細部まで詰め、子どもたちのため、最良の授業をするために尽くされている。現場の仕事だけでなく、事務局ではシートの確認や人数などのチェックもしっかり行ってくださっています。関わっている皆さんの姿を見ると感動しますし、私もその熱量に心えたい、しっかりとやらなければといつも感じさせられます。

発する一言一言に責任 成長させてもらう日々

— アシスタントとして大切にされていることは？

萩井 アシスタントは全体を見なければいけない立場です。夢先生が授業に集中できるように、子どもたちと楽しめるようにサポートすること。特にゲームの時間は、夢先生と子どもたちの関係を築く時間でもあるので、夢先生との相性を考えてゲーム内容を決め、子どもたちの



役員さんは高校生のとき、U-17日本女子代表に選ばれながらも試合に出場することはできなかった。そのときの悔しさと経験が原動力になったと話す

「夢の教室」がご自身の成長にもつながっている印象です。

役員 本当に。人としてすごく学びがあります。私が子どもたちに夢や勇気を与えるというより、夢を生や子どもたちから元氣や勇氣学びを誰よりももらっているんです。

——25年のFIFAフットサル女子ワールドカップ開催が決まったときにフットサル選手として新たな夢ができ、役員さんはその夢をかなえられました。

役員 私はサッカー選手を一度引退してフットサルに転向しましたが、生活面も含めてフットサルに100%努力して取り組めていないことに葛藤していたんです。それでも、そのときの自分にできる努力をしようと思いつき、フットサル日本女子代表になれるかも、ということに前十字靭帯断裂という大けがを負いました。けがを克服した先に自分は何を目指すのか、あらためて考えたとき、「やるならばトップレベルでやりたい」と決断し、「代表に入って中心選手としてプレーできるような」と目標を定めたんです。復帰後も納得できるプレーができたかと言えばそうではなく、悔しいこともたくさんありましたし、この夢がかなわなかったらカッコ悪いなと思ってもいました。でも、「夢の教室」で子どもたちに夢

は大事だよと伝えていた側なのに、ここで諦めたら本当にカッコ悪くなってしまうと思って、夢を持ち続けられたんです。いろいろな夢先生のメッセージは私にとっても、前に進む勇氣になりました。JFAここらのプロジェクトの皆さんも私の夢を応援してくれ、自信を持って取り組んでこられました。

——役員さんの日常にこの活動が溶け込んでいるんですね。

役員 言い訳できないですからね。子どもたちにはチャレンジしよう、と言っているのに自分がやらないのはやっぱり違う。時にネガティブになってしまいうこともありますが、いま自分にできることは何かを考えて頑張ろう、といった毎日です。

いつか一歩踏み出すためのきっかけになれば

——そのほかに印象的な出来事がありますか。

役員 事前に学校の先生から「普段なかなか発表をしない」「自分から手を挙げるのがない」と聞いていた子が自分から発表してくれたときは、一歩踏み出してくれたんだ、チャレンジしてくれたんだと思っただけで感動しました。

コロナ禍でオンライン授業をしていたときは、不登校の子も別の場所から参加してくれたことがありま

ます。

——「夢の教室」への思いをお聞かせください。

役員 私は「夢の教室」のおかげでいろいろな夢先生や子どもたちに出会い、子どもたちを取り囲む社会問題にも向き合う機会を得られました。サッカー選手を引退した後にはフットサル選手として新たなステージにチャレンジすることができたのも、子どもたちや社会に自分の経験を還元できる人間になりたいという思いがあったからです。私を成長させてくれた「夢の教室」に恩返しができるよう、これからも夢先生、アシスタントとして、子どもたち一人一人に全力で向き合っていきたいと思っています。

「私はサッカーの夢はかなわなかったのですが、子どもたちの夢を聞くと『いろいろな壁にぶつかることもあるだろうけど頑張れ』って思うんです。みんなの夢を応援している役員さん。子どもたちが笑顔で終われるような授業を心掛けています」



2年間

もう一度挑戦



自分に 負けたくない になる



「自分に負けたくない自分になること」をキーワードに

夢先生インタビュー

坂井寛子 さん (元ソフトボール選手)

2004年のアテネオリンピックで銅メダル、2008年の北京オリンピックで金メダル獲得に貢献した元ソフトボール選手の坂井寛子さん。夢先生を務める中で大事にしていること、子どもたちの変化などについて聞いた。

○オンライン取材日・2026年1月9日

坂井寛子(さかい・ひろこ)
 中学時代にソフトボールに出会い、金沢高校卒業後に戸田中央総合病院女子ソフトボール部(現、戸田中央メディックス埼玉)に入部。2004年のアテネオリンピックに日本代表として出場し、銅メダルを獲得。一時は現役を引退したが、2006年に太陽誘電女子ソフトボール部(現、太陽誘電ソルフィーユ)に入部して現役復帰。2008年の北京オリンピックではアテネ大会に続いて全登板無敗を記録し、チームの金メダル獲得に貢献。2009年に現役引退後は後進の育成にも取り組んでいる。

チームワークの大切さを伝えていく

夢先生をするようになったきっかけを教えてください。

坂井 能登半島地震の後、日本サッカー協会(JFA)の復興支援活動の一環として、被災地の学校や幼稚園・保育園をアスリートが訪問する機会がありました。私は日本トップリーグ連携機構からの派遣で参加していて、その際、JFAの方に「夢の教室」の話を聞いたことが始まりです。その年の7月に初めて夢先生を務め、現在は月に1回程度担当しています。

夢先生を提案された際の心境は？

坂井 最初は「私で大丈夫ですか?」(笑)。以前からSNSなどを通じて活動は知っていましたが、自分が子どもだったら絶対に受けたいと思っていました。普段生活する中で出会えない人の話を聞けるのはすごく良い時間です。で、「ぜひお願いします」とお答えしました。

「夢の教室」はゲームの時間、トークの時間で構成されています

ゲームの時間で大事にされていることは？

坂井 基本的にはアシスタントが主導してくださっていますので、私は子どもたちに交じって楽しむことが多いのですが、「二人ではできないことでも、みんなで力を合わせたらできる」ということを伝えていきます。というのも、チームワークが重要になるゲームでも、勝ちたい気持ちがある前面上で、みんなで協力することがおそろかになつてしまふ子が出てきます。でも、目標を達成するためにみんなの心をつなぐ必要がある。そこで、作戦会議では、自分だけでは気づけなかったことを共有し、みんなで成功させようという雰囲気につなげています。

「スタートラインは一緒」いろいろなことに挑戦しよう

トークの時間で特に意識されていること、子どもたちに必ず伝えていけることは何でしょうか。

坂井 私は最初に「自分の夢はかなうと思いますか?」という質問から始まります。すると、夢はあるけどかなうと思っていない子どもは少なく、なかなか手が挙がりません。私自身、小学生のときは



運動が苦手で、逆上がりもできなかったら、リレーの選手になったこともないような子どもでした。ソフボールは中学生で始めたのですが、中学校も高校も弱いチームでした。ただ、そんな私でも競技を続け、努力し続けたことでオリンピックに出場し、金メダルを取ることができた。そういった話をしながら、子どもたちには「みんなスタートラインは一緒。やるか、やらないかを決める選択肢はみんなにあるよ」と伝えています。

——運動が苦手だったのは意外ですね。

坂井 子どもの頃は運動能力も

低かったですし、ずっと他人と比べていて、劣等感しかありませんでした。失敗するの怖くてなかなか挑戦できずにいました。でも、それではダメだということに気づき、他者に向けていた矢印を自分に向け、自分自身と向き合うようになりました。オリンピックの代表選考でも2度落選し、7年がかりでやっと日本代表になるなど、諦めそうになったり、逃げたいと思ったりすることもたくさんありました。それでも続けるという選択をしたのは自分です。自分が一番のライバルで、「自分に負けない自分になること」をキーワードにしていたので、それを子どもたちにも話しています。

——子どもたちの心境の変化は感じられますか。

坂井 そうですね。最後にもう一度、「夢はかなうと思いますか？」と同じ質問をすると、だいたい7

〜8割の子が手を挙げます。特に小学生は、夢をかなえるためには周りよりも秀でた何かを持つていなければいけないと思っている子どもが多いのか、「スタートラインは同じ」と言うともみんな驚きます。そこから「まずはいろいろなことに挑戦しよう」と。「やらない」という選択肢をなくし、いろいろなことに挑戦して、たくさん失敗してほしい」と伝えています。

——ご自身は小学5年生や中学2年生のとき、どういう夢を持たれていたのですか。

坂井 小学生の頃は「夢はない」と答えていたと思います。中学生になってからソフボールを始めましたけど、実績を残せるとは思っていませんでしたし、高校3年生のときは「キーキ屋さんになりたい」という夢があったんです（笑）。

特別な時間、幸せな時間を いただいている

——「夢の教室」が終わった後も「夢シート」を通じてのやり取りが続きます。印象に残っていることはありますか。

坂井 夢シートでのやり取りはすごく楽しいです。「自分に負けない自分になります」いろいろなことに挑戦します「諦めないでやり続けます」など、私が伝えたワードを書いてくれることが多くて、「ちゃんと聞いてくれてるんだな」とうれしい気持ちになりますね。「日本代表のユニフォームを着た〇〇くんを楽しみにしているよ」など、相手のメッセージに合う言葉で返すようにしています。毎回、特別な時間、幸せな時間をいただいていると思っています。

——「夢の教室」で、特にやりがいを感じる瞬間はどういうとき

でしょうか。

坂井 私が「挑戦」というキーワードを掲げて話していると、子どもたちの目がどんどんキラキラしてくる。そんな瞬間ですね。「みんなの挑戦を教えてください」と夢を発表してくれる子を募ると、多くの手が挙がり、中には恥ずかしい気持ちを抑えて一生懸命発表してくれる子どももいるんです。頑張って一歩を踏み出してくれる姿を見るのも、すごく幸せな時間です。

——アスリートの仲間もたくさんいらつしやると思いますが、アスリートが夢先生として教壇に立つ意義をどう思われますか。

坂井 目標に向かって努力してきた経験は尊いものですし、そういった経験を子どもたちに伝えるのは非常に意味のあることだと思うので、ぜひ多くのアスリートに夢先生を務めてほしいですね。絶対によった方がいいと思います。

——あらためて夢を持つことの大切さとは？

坂井 私自身がそうだったように、夢に本気で向き合っていると、生活もそうだし、全てが変わっていく

感じがします。実際に「僕は夢を絶対になんかええす」という男の子がいて、その後から発言が変わったり、行動が変化したりすることがあったと学校の先生からも聞いています。

——最後に、夢先生としての展望をお聞かせください。

坂井 子どもたちの記憶に残るような授業をして、いろいろなきっかけを与えられたらと思います。「あの時に出会って、あの話を聞いたおかげで、つらいこともあったけど頑張れている」と言ってもらえる存在になりたいですし、そう感じてくれる子を一人でも増やしたいにこれからも活動していきたいです。



トークの時間の内容をブラッシュアップしながら進めている。「私も夢や目標を実現できたから、みんなにはチャンスしかない」と坂井さんは話す



スタートはみんな同じ、自分の人生を思いっきり生きてほしい

夢先生インタビュー

酒向杏奈さん (ミュージカル)

酒向杏奈 (さこう・あんな)

1997年に85期生として宝塚音楽学校に入学。1999年に宝塚歌劇団に入団し、2012年末に退団するまで花帆杏奈の芸名で雪組の娘役として活躍。退団後はヘアアクセサリブランドを扱う企業に入社。店長やスーパーバイザーとして活動する傍ら、IBF認定国際メイクアップアーティストやカラーアナリストの資格を取得し、舞台ヘアメイクアドバイザーなどを務めた。その後、メンタルトレーナーに転身。講習、講座のほか企業研修なども行っている。

タカラジェンヌを夢見て宝塚歌劇団に入団し、娘役として14年間舞台上に立った酒向杏奈さん。退団後はさまざまなことに挑戦し、現在はメンタルトレーナーとして活動している。自ら夢先生を志願した理由や子どもたちに伝えたい思いを聞いた。

○オンライン取材日・2026年1月9日

自己肯定感は夢への鍵
転機は宝塚歌劇との出会い

— 夢先生を始められるようになったきっかけを教えてください。

酒向 メンタルトレーナーとして務めていた会社の先輩にサッカー選手だった後藤史さんがいらして、夢先生をされると聞いて「夢の教室」を見学しました。そのときに涙するほど感動したんです。子どもたちの真剣な眼差しも印象的で、「こんな素晴らしいプロジェクトがあるのなら、自分もやりたい」と。そこからJFAの方に相談したことが始まりです。

— ご自分でもやりたい、と思われた理由はなんでしょう。

酒向 私がメンタルトレーナーの資格を取ったのは、宝塚時代にメンタルが不安定だったとき、緊張でパフォーマンスが下がったり、自信を持てなかったりしたことがあって、同じ悩みを持つ人の力になれたらと思ったからなんです。そして勉強する中で、幼少期のメンタルは大人になってからも大きく影響すると思いました。小さいときに自己肯定感を育むことはとても大切で、夢先生はそれが伝えられると思いました。

— 子どもたちの自己肯定感を高めたいと思われているんですね。

酒向 私は母子家庭で育ち、幼い頃から無意識に母の期待に応えよう、迷惑をかけないようにしよう、と振る舞う、自信が持てない子どもだったんです。でも、14歳で初めて宝塚歌劇を見たとき、「ここだったら喜怒哀楽を出せるんだ」と衝撃を受けました。母は心配もあって反対しましたが、宝塚への情熱は抑えられず、1年で準備して宝塚音楽学校を受験し、合格することができました。

宝塚に出会って初めて私の心が動いたように、情熱を燃やせる夢を持てたら、人は変われる、限界を超えて成長していくことができ。みんなにも自分自身の人生を、自信を持って精いっぱい生きてほしいと思っています。

— 教壇に立つには、覚悟も必要だったと思います。

酒向 何度経験しても毎回緊張します。私はあまり感情を出せない子どもでしたから、子どもたちにはそのままの感情を私にぶつけてほしいと思っています。そのためには、まず私がさらけ出すこと。かっつけて話していても伝わらないので、心で向き合うようにしています。



「夢先生はすごい人と思われがち」と酒向さん。たからこそゲームの時間は「手をつないだり、話しかけたりして私を知ってもらおう、距離を縮めるための大切な時間」と話す

— 伝え方も工夫されているのですか。

酒向 「みんなを評価するための授業ではないから、感じたことをありのまま伝えてね」と最初に伝えます。授業に集中して

期に「何を泣いているの！ あなたの後ろにどれだけ受からなかった子がいると思っているの」って怒られたんです。その子は3歳からバレエ、小学生から歌を学んできてやっと合格できた。私を見て思うところがあつたんですよね。そして「あなたはあなたで頑張るしかないんだよ。まだ1年半あるんだから一緒に初舞台(※)に立とうよ」と言ってくれたんです。

みんなにも「自分の伸びしろしか測れない」自分専用の定規”を持つてね。そして、小さな伸びしろにも気づけるのは自分だけだから、自分の一番の味方になってちゃんと褒めてあげてね」と話しています。

と。「ずっと応援しているよ」というエネルギーを込めて書いています。

一生続けていきたい 夢先生は大切な活動

— 夢シートもプロジェクトが大切にしている一つです。どのよう

に向き合われていますか。

酒向 子どもたちのメッセージを読んで、一人一人を思い浮かべながら、一枚一枚全身全霊で書いています。その子が何を求めているのか、何を知らないので、時間ばかりですが楽しんで書いています。例えば、緊張しない方法を知りたい子には、メンタルの講義で話しているようなメッセージを書くこともありますよ。

— それは書くスペースが足りないですね(笑)。

酒向 本場にそんなんです(笑)。夢先生の言葉にはとても重みがあり、大きな力があると思っ

ています。メンタルトレーニングの一つに「コーチング」という手法があつて、

「コーチング」という手法があつて、問いかけることで本人の中にしかない

答えを引き出そうというものなのですが、夢シートでもその子が本来持っている自分の魅力に気づく

こともあります。授業中に気付いたこと、書いてくれた内容を褒めることも大切にしている、私の一言が勇気になればいいな

と。JFAは自殺やいじめ、不登校などさまざまな問題を抱える子どもたちに夢の大切さを伝えようと「夢の教室」をスタートさせました。この事業についてはどう感じ

られていますか。

酒向 私はJFAさんの思いに共感し、夢先生をしたいと思

いました。先日、川淵(三郎)キャプテンとお話しする機会もあり、宝塚歌劇出身の私が夢先生をしている

ことを涙ながらに喜んでくださつて、もらい泣きしてしまいました。JFAの皆さんは子どもたちのため、日本の未来のため、サッカーという枠を超えて純粋な気持ちで取り組まれていて、本当に素晴らしいと思います。



自身が夢を見つけたのは14歳のとき。「私もゼロからのスタートでした。みんなだって、いつでも何にでもなれるんだって伝えたいんです」と酒向さん

やってもらいたいですし、友人に話すともんな来てほしいって言うんです。全国の全ての学校でやってもらいたいですね。

— 子どもたちにとっては1回限りの授業です。思いをお聞かせください。

酒向 宝塚時代、私たちは毎日舞台に立っていても、お客さんにとっては一生に一度の観劇かもしれないと思

い、一回一回を大切にしてきました。「夢の教室」も同じ。その一回に思いを込めて子どもたちと心から

触れ合いたいと思っ

ています。夢先生は「一生続けたい」と思うほど、私のライフワークになつてい

ます。何かを成し遂げた人は、すごい人、自分とは違う人と思いがち

ですが、決してそうではないんです。みんなスタートは同じ、スタートが遅くても夢はかなう、ということ

を伝えていきたいですね。子どもたちのため、私もできる限りのことをしていき

子どもたちに伝えたい 「自分専用の定規」を心に

— 酒向さんの夢曲線には「自分専用の定規」のお話が出てきます。伝えたいメッセージをお聞かせください。

酒向 私の夢曲線が下降線をたどるのは、いつだつて自分を人と比べていたときでした。私は準備期間も1年と短かつたので、音楽学校に入学後は全く周りについてい

けない、半年くらいして「私はもう無理だ」って泣いてしまったんです。そのとき、寮で同室だった同

期に「何を泣いているの！ あなたの後ろにどれだけ受からなかった子がいると思っ

ているの」って怒られたんです。その子は3歳からバレエ、小学生から歌を学んで

きてやっと合格できた。私を見て思うところがあつたんですよね。そして「あなたはあなたで頑張るしかないんだよ。まだ1年半あるんだから一緒に初舞台(※)に立とうよ」と言

ってくれたんです。最初はみんなよりできないこと

もありましたが、入学してから目

いっぱい努力してできることも増えてい

きました。でも、私は人と比べてばかりでそれに気づけてい

なかつた。自分で自分にバツ印をつけてばかりいたんです。そこで「自分専用の定規」で自分の伸びし

ろを見ることで「半年前より、ここはできるようになつてい

る！ 自分もちゃんと成長しているぞ」と再びエネルギーが湧いてき

ました。そこから自己肯定感も少しづつ上

がり、無事に初舞台に立ち、それ以降、14年間にわたり、舞

台に立つことができたんです。

— 人と比べないことは意識しな

いと難しいかもしれません。

酒向 たとえ他人に褒められても、自分が自分を認められない限

り自信はついてい

ないんです。小さな自己肯定感を積み上げていくことで自信に変化しますから、

— 夢シートもプロジェクトが大切にしている一つです。どのよう

に向き合われていますか。

酒向 子どもたちのメッセージを読んで、一人一人を思い浮かべながら、一枚一枚全身全霊で書いています。その子が何を求めているのか、何を知らないので、時間ばかりですが楽しんで書いています。例えば、緊張しない方法を知りたい子には、メンタルの講義で話しているようなメッセージを書くこともありますよ。

— それは書くスペースが足りないですね(笑)。

酒向 本場にそんなんです(笑)。夢先生の言葉にはとても重みがあり、大きな力があると思っ

ています。メンタルトレーニングの一つに「コーチング」という手法があつて、

「コーチング」という手法があつて、問いかけることで本人の中にしかない

答えを引き出そうというもの

なのですが、夢シートでもその子が本来持っている自分の魅力に気づく

こともあります。授業中に気付いたこと、書いてくれた内容を褒めることも

大切にしている、私の一言が勇気になればいいな

日本プロ野球選手会に聞く

これからも、いろいろな思いを
伝えていきたい

日本プロ野球選手会はJFAこころのプロジェクトと連携し、2015年以降、夢の教室にプロ野球選手を派遣している。現役時代に夢先生を務め、現在は日本プロ野球選手会の職員として夢の教室に携わっている肘井竜蔵さんに話を聞いた。

○取材日・2026年1月21日



肘井竜蔵さん

小学生相手には
バイキングを例に

「夢の教室」に携わるようになったきっかけを教えてください。

肘井 日本プロ野球選手会は2015年にJFAと「夢の教室」に関する協定を締結し、シーズンオフに各球団から1、2名ずつ参加するようにになりました。私は千葉ロッテマリーンズでの現役3年目を終えた16年のオフに、チームの選手会長から「こういう活動があるから出てもらいたい」と依頼されたのがきっかけです。今は選手会事務局のスタッフとして、夢先生を務める選手の調整役をしており、私自身も年に数回、夢先生をやらせてもらっています。

——最初に夢先生を務められたときに子どもたちに伝えた内容はご自身で考えられたのでしょうか。

肘井 夢の教室のディレクターの方から、「こういう内容で、自分の経験をもとに授業を進めていきます」とレクチャーしていただき、自分の中で「じゃあこういう話をしよう」と考え、ディレクターと一緒にくり上げていった感じです。私は人前で話をするのが好きで、現役時代から講演などをしたいと思っていたので、夢

の教室はそういう機会としてはとても良かったですし、授業をしながら自分の人生を振り返ることもできたので、その意味でも良い機会を与えていただいたと思っています。

——初めて臨んだ夢の教室で印象に残っていることはありますか。

肘井 実は当日に大遅刻したんです。授業の1時間くらい前に現地入りする予定で、余裕を持って出発したんですけど渋滞にはまってしまい、到着したのは「ゲームの時間」が始まって15分ほど過ぎてからでした。ほかのクラスの授業を担当されていた元アスリートの方が代わりに務めてくれていて、私は「すみません!」と言いながら慌てて入っていったのを覚えています。「ゲームの時間」には15分くらいしか参加できなかったのですが、児童と一緒にキャッチボールをするなど最低限できることをして、スタッフの皆さんにお世話になりっぱなしで終えた感じでした。

——「トークの時間」はいかがでしたか。

肘井 とにかく喋り過ぎたことを覚えています(笑)。「初めて話す人は短くなりがち」と言われており、準備段階では40分から45分

ぐらいを想定していましたが、いざ子どもたちと対面したら楽しくなっちゃって、質問を受けながら進めて1時間ほど話していたと思います。

——子どもたちからの反応が特に良かったエピソードはありますか。

肘井 人生の選択肢を増やすために勉強しましょう、努力しましょうという話を今もするのですが、授業では「高校は行かなくてもいい」という話をするんですよ。そう言うと、小学生も中学生もみんな「え？」という反応になります。そこから「中には高校に行かずに就職して仕事をしている人もいるからね。でも、せっかく高校に行くのであれば自由に学校を選びたいよね。そのためには勉強が必要で、いろいろな選択肢があったほうが人生は楽しくなる」と伝えます。小学生であれば、できるだけ分かりやすいように「バイキングに行く」とラーメンもカレーもお寿司もあって、いろいろなものを選べるから楽しい。みんなの人生も選択肢が増えたほうが楽しいし豊かになるよ」と話すと、みんな納得してくれま

——日本プロ野球選手会とJFAが夢の教室に関する協定を結んだから10年あまりが経過しました。続いている理由はどこにあると思われませんか。

肘井 歴代の選手会長が「プロ野球選手として子どもたちに何かを伝えたい」という思いを持っていることが一番だと思います。プロ野球界にも子どもの頃、憧れていた野球選手やプロアスリートと交流し、強い影響を受けたという選手がいます。彼らがプロになり、今度は自分が子どもたちに何かを伝えたいという思いを持っているからこそ、続いているのではないのでしょうか。

あとはJFAさんの懐の深さですね。野球界でこういうプロジェクトが発足したとしても、野球関係者だけを（夢先生に）抜てきするという思考になるはずですよ。サッカー選手や元サッカー選手だけではなく、いろいろな競技のアスリートや多方面で活躍されている人たちが夢先生を務めるというのは、サッカーならではの文化だと思えます。最初はど

うやって授業を進めればいいのか分からず、戸惑う選手もいますが、そういう選手をサポートしていただける体制があることも心強いですね。

夢先生を務めた選手は全員「やってよかった」と言う

——今のお仕事に就かれて8年

目になります。その中で夢の教室への関わり方が変わってきた部分はありますか。

肘井 最初は夢先生だけでしたが、今は選手を仲介する立場です。各球団の選手会長が選手をセレクトして、最初にプロジェクトの説明をする際、以前はJFAの担当者が各球団に向向していたのですが、今は私がやらせてもらっています。私自身、ころころプロジェクトに対する思いが年々強くなっていますし、「熱い思いを伝えてほしい」というプロジェクトの熱量を選手たちに伝えるように心掛けています。プロ野球選手会の事務局のスタッフとしてというよりは、夢先生をさせてもらっている一人の人間として伝えていけるので、私が伝える熱量も大きくなっています。

——現役選手に説明する際に強調されていることはありますか。

肘井 熱い思いを持ってやってほしい、ということに尽きますね。JFAの担当の方も常々おっしゃっているのですが、うまく話すことを期待しているのではなく、一つの道を究めた者として、どういう思いでやってきたのか、どういうことを子どもたちに伝えたいのかがそれぞれにあるはずなので、それを熱い思いに乗せて伝えてほしい、と説明しています。

——選手たちからの反響はいかがでしょうか。

肘井 最初に説明をしたタイミングでは「意外と責任重大ですが、少し身構える感じもありましたが、いざ授業をやった後は「やってよかったです」という反応が100%ですね。「緊張した」とか「夢シート」が大変だった」という感想もありますが、みんなが「やってよかった」と言います。

——引き続き夢の教室に関わっていかれると思いますが、今後の展望を教えてください。

肘井 長く続けさせていただきたいという思いは当然、持っていますし、そのために選手たちに夢の教室の価値を伝え続けていきたいと思っています。また、自分が夢先生をさせてもらう際には、夢を追いかけて、夢に挑戦して、それをかなえた人間として、その思いや大切に思っていることを一人でも多くの子どもたちに伝えていきたいと思っています。

「夢シート」を書いてもらうと、最近では夢を持つていない児童や生徒が多いことに気づきます。目標でもいいからなるべく書いてもらうようにしているのですが、そこに夢を書き込んでくれる小学生を増やさないと日本の未来は明るくならないと思います。私が関わった子どもたちの中か

ら「夢ができました」とか「夢がかなえられました」という子が出てくるように、さまざまな思いを伝えていきたいと考えています。



肘井さん(写真右)は現在、夢の教室に派遣される選手の調整役も行う。山崎康晃選手(横浜DeNAベイスターズ/写真中央)や木澤尚文選手(東京ヤクルトスワローズ/写真左)など多くのプロ野球選手が夢先生として子どもたちと触れ合っている

学校の声

夢の教室を ずっと続けてもらいたい

村上勝正さんは、2009年に浦安市の小学校の教員として、昨年は市川市立大柏小学校の校長として「夢の教室」に立ち会った。夢の教室で感じたことや教員という立場での思いなどを聞いた。

○取材日・2026年1月26日

シャイな児童も積極的になる
本当に良い機会だった

——まず、「JFAこころのプロジェクト」や「夢の教室」をどのように知ったのか教えていただけますか。

村上 千葉県で小学校の教員として務めてきました。浦安市にある小学校に赴任していた頃のことです。当時5年生の担任を務めていた2008年度、夢の教室が2クラスで開催されました。当時バルドラル浦安でプレーされていた小宮山友祐さんと中島孝さんが夢先生としていらつしやうて、私のクラスは小宮山さんが担当してくださいました。

——担任としてはどのような思いで受け入れたのでしょうか。

村上 アスリートの方がいらつしやうということ、ほかの授業と関連づけるというよりは、スポット的にキャリア教育(※)の機会を受けたという感じです。夢の教室でアスリートの話を聞くことで、5年生の児童にとっては「自分の夢は何だろうか?」と考えらるきっかけになったと思います。その後も、児童は6年生になってキャリア教育の一環として、将来の職業や夢について考える授業を行いました。

——当日はどのような雰囲気だったか覚えていらつしやいますか。

村上 当時、お二人ともバルドラル浦安の現役選手でしたし、小宮山さんはフットサル日本代表のキャプテンでもあったので、「すごい人が来るぞ」と子どもたち

に伝えていました。地元チームなので、子どもたちにとつて非常に受け入れやすかったと思います。最初の「ゲームの時間」はアイスブレイクとして行われ、小宮山さんはすぐに子どもたちと打ち解け、明るく温かい雰囲気をつくってくださいました。「すごく良い方が授業に来てくださったな」と思いました。仲間意識や連帯感を持たせるようなメニューが行われ、子どもたちは楽しそうに取り組んでいました。小宮山さんとの良い関係が築けたことで、後半の「トークの時間」も子どもたちの積極的な面が見られ、真剣な眼差しで小宮山さんの話を聞いていて、すごく響いているなという印象を持ちました。

——プログラムが進む中で子どもたちの変化を感じられましたか。

村上 小宮山さんの話を聞くときの目がどんどん真剣になっていきましたし、授業の後、給食を一緒に食べましたので、そこでさらに小宮山さんとの距離が近くなりました。授業の最後に子どもたちが自分の夢を書いて発表する場面があったのですが、普段はシャ

市川市立大柏小学校の村上勝正校長

村上勝正

市川市立大柏小学校
校長



夢先生として浦安市の小学校の教壇に立った小宮山友祐さん。当時はフットサル日本代表のキャプテンを務めていた

イで発言する機会が少なかった児童もみんなの前で自分の夢を語っていたので、本当に良い機会だったと思います。

—その後6年生になって、総合的な学習の時間(キャリア教育)の授業につなげていかれたのですね。

村上 当時はキャリア教育の環境として、小学生に職業インタビュー、中学生に職業体験が導入された時期でした。地元の事業所などに依頼して子どもたちが訪問し、どのような仕事があるのか、お勤めされているかなどの情報をお級で共有しながら学びました。

そういった中で授業では「自分の夢は何だろう」と考え、就きたい仕事だけでなく、将来やりたいこと、行ってみたい場所、将来の自分はどうありたいかなどを考える学習を行いました。

—08年度に夢先生の授業を受けた子どもたちは、もう成人しています。彼らが大人になって、子どもの頃の夢をかなえたという話など入ってきますか。

村上 卒業後、何人かは結婚のタイミングなどで近況報告をしてくれました。その中に子ども頃の夢をかなえて教員になった教員の子がいます。今は海外の学校で頑張っていると聞いています。

自分がどうありたいかが夢を持つことにつながる

—昨年12月には、大柏小学校で夢の教室が開催されました。その経緯について教えてください。

村上 市川市では2年に1回、5年生を対象に夢の教室が開催されています。市川市の担当課と調整して日程が決定します(※市川市スポーツ部が予算を組み、市内小学校に告知)。今回は、12月11日、12日の2日間にわたって行われ、11日は北海道日本ハムファイターズの細川凌平選手と東京ヤクルトスワローズの松本健吾選手、12日は元バレーボール日本女子代表の落合真理さんが夢先生としていらっしゃいました。驚いたのは、浦安市の小学校のときに夢先生を務められた小宮山さんがアシスタントとして来られたことです。17年ぶりに再会しました。

—それは奇遇ですね。偶然的再

会だったのでしょうか。

村上 全くの偶然でしたね。ごあいさつの際に「あれ?」と思って、伺ってみるとご本人だと分かってびっくりしました。浦安市の小学校で夢先生としてクラスに来ていただいたことをお伝えしたら、小宮山さんも覚えていらっしゃり、とてもうれしく思いました。

—今回、夢先生の授業をご覧になつていかがでしたか。

村上 以前と変わらず、子どもたちを魅了する素晴らしいプログラムでした。小宮山さんもアシスタントという立場で現在も携わっておられ、子どもたちのために、ずっとこの活動を続けられていることに熱意を感じました。授業の最後に、子どもたちがそれぞれの夢を発表する場では、一人ひとりが生き生きと発表していたので、あらためて良いプログラムだな、と実感しました。

—今回いらつしゃつた夢先生の話の中で、印象に残っていることはありますか。

村上 授業の全てのプログラムを見たわけではないのですが、話の流れとしては、夢に向かって進む中で、挫折やうまくいかないことに直面したとき、その壁をどう乗り越えたのかというお話をされていました。将来起こることは、子ども

もたちにとつては未知の世界かもしれませんが、「そういう壁に当たったとき、簡単に諦めてはいけない」とか「それを乗り越えることもできるんだ」と知ることができ、とても勉強になったと思います。

—今の社会において、子どもたちが夢を持つことの重要性についてどのようにお考えですか。

村上 自分が就きたい仕事がいコール「夢」とは限りませんし、近い将来のことでもいいので、自分がどうありたいのかを考えれば、それが夢を持つことなのではないかと思えます。「こんなことをしたい」とか「こんな人でありたい」など、目指すものを見つけてくれればうれいすね。

—夢先生を受け入れるお立場からですと、夢の教室はどのように映っているのでしょうか。

村上 非常に魅力のある授業だと思えます。このプログラムを通して、子どもたちはさまざまな競技のアスリートの方々と出会い、学習の中で、変容を見せてくれます。とても素晴らしいプログラムだと思います。今後も募集があればぜひ応募していきたいと考えています。本当に子どもたちのためになるプログラムですので、ぜひこの先も30年、40年、50年とずっと続けていただきたいです。

「夢シート」の メッセージ交換

JFAこころのプロジェクト「夢の教室」は、「ゲームの時間」と「トークの時間」、子どもたちと夢先生がメッセージを交わす「夢シート」で構成されている。ここでは今回の特集でインタビューを実施した4人の夢先生と子どもたちの夢シートを紹介する。

※児童・生徒の直筆部分は活字にして記載。直筆部分が夢先生のメッセージ

小学校

小学校 年 組 名前

① 将来の夢
ディズニーキャスト になって
みんなを笑顔に したい

② そのためにできること、
やってみようと思うこと
そのために学校でもみんな
を笑わせたり、泣いてい
たり、こまっている人がいた
ら、なぐさめたり、声をかけ
てあげたりしたいです。

③ いま好きなことや得意なこと
体育がとくいで、みんなと
あそぶことが好きです。

今日の日
年 月 日

④ キミから夢先生へのメッセージ
夢の教室で書いたこと、心に残ったことなどを夢先生への
手紙として書いてください。

夢先生がオリンピックに出ることまでがとても大変だったけど、それをがんばってのりこえてきたということが分かりました。夢先生が話してくれたことをこれから大切にしていきたいと思いました。本当に楽しかったです。ありがとうございました。

⑤ 夢先生の語で、印象に残った言葉など
「自分に負けない
自分になる」

夢先生からキミへのメッセージ
スアサの夢を教えてください。ありがとう。帰っている人に手を差し伸べる事が出来ることみんな笑顔でいられる。感情は原動力。私の笑顔がみんなのV.E. 知れしみんなが自然と笑顔に出来るね。夢への努力は必ず実るよ!! 元日、ディズニーでニコニコの笑顔がみんなの笑顔を笑顔にしています。

夢先生：坂井寛子さん
(ソフトボール)



小学校 年 組 名前

① 将来の夢
建築家 になって
家をたてて人助けをしたい したい

② そのためにできること、
やってみようと思うこと
設計図をかいいたり、今から人
を助けたりして夢にむかっ
てどりよくする。

③ いま好きなことや得意なこと
得意なことは水泳、走
ること、好きなことはマ
インクラフトやカレー、
ヨーグルトがすきです。

今日の日
年 月 日

④ キミから夢先生へのメッセージ
夢の教室で書いたこと、心に残ったことなどを夢先生への
手紙として書いてください。

心にのこったことは、「支え」です。人は夢をかなえるには人の支えがひつようと知りました。夢先生(りゅうちゃん)のおかげでこういうことを知りました。ありがとうございました!!

⑤ 夢先生の語で、印象に残った言葉など
「支え」「夢」「ケガ」

夢先生からキミへのメッセージ
みんなの夢を教えてください。ありがとう。僕のおいしな人も建築家を目指して建築家になりたい。夢を持っていてみんなも応援しています。みんなの夢が、目標にその夢までにはきいてほしいことかなとみんなも夢を乗っけてあげたいです。みんなの夢には支えてくれる人の存在がとても大切で夢に向かいながら頑張ってください!!

夢先生：肘井竜蔵さん
(野球)





JAPAN NATIONAL TEAM

Japan National Team would like to thank its partners for their support.

SAMURAI BLUE



©JFA/キリンチャレンジカップ2025 対ポリビア代表戦 先発メンバー (2025.11.18)

JFA OFFICIAL TOP PARTNER



JFA OFFICIAL SUPPLIER



JFA MAJOR PARTNER



JFA NATIONAL TEAM PARTNER



No Football, No Life

「この先の20年をより良くするために
継続していくことが重要」

フットボールに関わる人々やフットボールを支える人々にインタビューを実施し、フットボールの可能性や魅力に迫る本連載。第14回は、自身が代表を務めるクラブチームや母校の市立船橋高校で後進の指導にあたるほか、JFAこころのプロジェクトで夢先生やゼネラルマネージャーとして活動している式田高義さんに話を聞いた。

○取材日・2026年1月22日



式田 高義

ジョーカーレフットボールクラブ代表

人としてどう成長するか
考えながら楽しんでほしい

——2000年に23歳の若さで
口選手を引退されました。

式田 アルビレックス新潟との契約が切れ、なかなか次のチームが見つけられずにいた中、元Jリーグ選手が群馬県でサッカースクールを立ち上げるとい話を聞きました。同じタイミングで僕が育った少年団がなくなってしまうという話を当時のコーチから聞いて、これはもう選手をやめ、群馬で勉強して、いずれは地元の千葉に戻って自分のクラブチームをつくらうと考えました。

——ご自身のクラブを立ち上げた
のは2003年ですね。

式田 2年間、群馬でスクールの立ち上げと運営に携わらせてもらい、25歳で千葉に戻って、今も副代表を務めている若松耕太と共に03年9月にジョーカーレフットボールクラブを立ち上げました。

——クラブの設立には困難も伴う
のではないですか。

式田 群馬時代、スクール生の保護者からクラブをつくって試合に出場できるようにしてほしいという要望があり、それに応えるべく動いていたのですが、やはり難しい部分が多々あり、結局、チームをつくることはできませんでした。その経験を教訓にして、千葉ではクラブとして

スタートする予定だったのですが、関係各所との連携などもある中、新参加者がいきなりクラブを設立するには厳しい現実がありました。そのため、悔しさはありましたが、まずはスクールから始めることにしました。

——その後、どのようにクラブへと
発展させたのでしょうか。

式田 チラシを配っているときに友人のお姉さんが声を掛けてくれて、「息子が通っている幼稚園で配ってあげる」と。そのおかげで一気に18人の子どもたちがスクールに入ってくれました。この子たちが小学3年生になったときに絶対に県大会に出場しよう、そのためにクラブ化しようという目標を立て、地道に取り組みました。その結果、口コミも相まって、翌年にはスクール生が倍に、3年たつと70人弱にまで増え、念願だったクラブ化もできました。今は幼稚園児から中学3年生まで200人弱の子どもたちが所属しています。

——クラブのコンセプトは？

式田 楽しむこと。それで、イタリア語で楽し

む、遊ぶという意味の「ジョーカー」と名付けました。子どもたちにサッカーを通して人としてどう成長するかを考えながら楽しんでほしい、もちろんサッカーを続けていれば苦しい、つらい経験もします。でも、それを乗り越える力を養いながら成長していくことの楽しさを感じてほしいんです。

——ご自身のお子さん3人もジョ
ーカー出身ですね。

式田 長男が幼稚園児だったときにやりたいと言い出して、長女もそれに続いた形です。次男は小3までバスケットボールをやっていますが、その後、加入しました。



地元の千葉県で子どもたちの指導に携わって今年で24年目を迎える

——長女の和選手は昨年、U-17日本女子代表の一員としてFIFA U-17女子ワールドカップに出場し、WEリーグデビューも果たしました。

式田 小6のときに本人が日テレ・東京ヴェルディメニーナのセレクションを受けると決め、合格してからはあつという間に代表のユニフォームを着るまでになりました。千葉の自宅から練習場のよみうりランドまでは遠いのですが、一度も休まずに自分の決めた道を突き進んでいる。わが子ながら尊敬します。また、彼女が中学生のときには妻が毎日、車で練習場まで送り迎えをしていましたから、妻にも頭が下がる思いです。

——後進の指導ではジョカールのほかに2005年から母校の市立船橋高校でもコーチをされています。

式田 当初は曜日限定で指導していたのですが、08年から本格的にコーチとして活動するようになりました。母校愛が一番の理由ですが、ジョカールにコーチが増えて時間に少し余裕ができたこと、自分のクラブでは中学生以下の子どもたちに指導しているの、高校生年代ではまた違った指導が必要になって勉強にもなるな、と。まずは戦術うんぬんよりも個人のアイデアや選択

肢の部分で個別的な指導から始めました。そしてここでもまた、楽しむことの重要性を伝えていきます。

一人でも多くの子どもたちに夢を持つ素晴らしさを伝える

——「夢の教室」がスタートした2007年からは、JFAこころのプロジェクトに参加されています。

式田 やっさん(安永聡太郎)の紹介で夢先生から始めさせてもらいました。初回はサッカースクールでの指導をイメージして臨みましたが、ゲームの説明一つとってもこちらの話がうまく伝わらない。サッカーがうまくなりたくて自発的にスクールに通っている子と、学校の授業の一環として「夢の教室」に参加している子では、こちらの話を聞く姿勢が違いますよね。当時はその違いに戸惑いました。その後、アシスタント(「夢の教室」での夢先生のサポート役)もやらせてもらうようになりましたが、先駆者だったやっさんのまねをしながらやつてもなかなかうまくいかず、めっちゃくちゃ悩みました。1年くらいいたったときに、サッカーの指導と同じように自分のスタイルを確立することが大事だと思

い、そこからやり方をガラッと変えて、子どもたちをじっくり観察しながら自分に合ったスタイルを模索していきました。その結果、少しずつですがこちらの思いを伝えられるようになっていきました。

——これまで2972回(※)の授業に携わられています。

式田 実際に教育現場に入らせていただき、多くの子どもたちと接することで、一人一人異なる個性があることにあらためて気づかされました。その中でどうこちらのメッセージを伝えていくか。毎回、異なる対応が求められます。一回一回の授業が真剣勝負です。自分の視野も広がり、ジョカールでの指導で

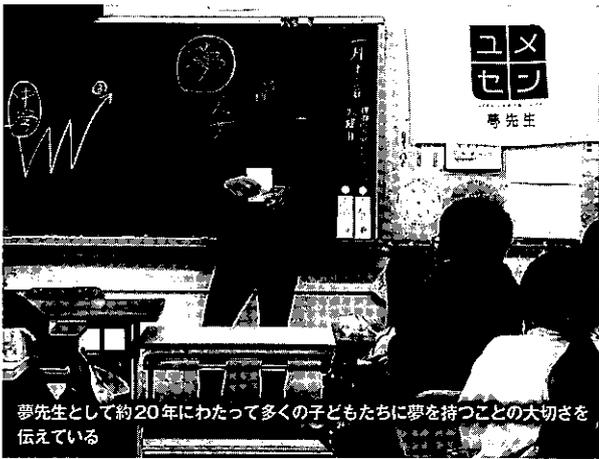
も子どもたち一人一人の個性をもっと引き出してあげたいと思うようになりました。

——印象的だった出来事を教えてください。

式田 たくさんありますが、一つ挙げるるとすると富山県滑川市の小学校での授業です。授業前に校長先生から「一人、クラスに入れない女の子がいるけれど、今日は頑張つて参加すると言っている」という話を聞かされました。そして、その子が授業中に笑ってくれたんです。授業後、校長先生から「5年間であの子の笑顔を初めて見た。素晴らしい授業だった」と言ってもらえて。このプロジェクトは、「一人でも多くの子どもたちに、夢を持つことの大切さを伝えたい」という思いの下で活動していますが、逆に言えば、どんなに素晴らしい話をしても子どもたち全員が理解してくれるわけではないということ。でも、たとえ一人でも滑川の女の子のような子どもに出会えたなら、このプロジェクトの意味があると思っています。

——現在どのような役割を担っていますか。

式田 夢先生は継続してやっていますが、今はアシスタントとディレクター(「夢の教室」の現場担当者)を統括するゼネラルマネージャーと



夢先生として約20年にわたって多くの子どもたちに夢を持つことの大切さを伝えている

いう役割に就いています。授業を視察したり、アシスタントの面接や研修をしたりして、直接的にも間接的にもより良い「夢の教室」ができるように努めています。

——活動は多岐にわたりますが、それぞれにどのような目標をお持ちですか。

式田 市立船橋高については、絶対にもう一度日本一にさせたいと思っています。ジョカールは今年で24年目、「夢の教室」は20年目を迎えます。いずれの組織でも重要な役割を任されていますから、それぞれこの先の20年をいかに素晴らしきものにできるか考えてやっていたいかなければなりません。まずは継続すること、そして走りながらどうしたらもっと良くなるかを考えていきたいと思っています。

※2025年12月31日時点。オンライン授業、東日本大震災復興支援「スポーツこころのプロジェクト」含む。

Profile

式田 高義(しきた たかよし)

1977年11月25日生まれ、千葉県出身。市立船橋高校時代に同校の全国高等学校サッカー選手権大会初優勝に貢献し、卒業後の1996年にジェフユナイテッド市原(現、ジェフユナイテッド千葉)に加入。アルビレックス新潟でもプレーした後、2000年に引退。2003年にジョカールフットボールクラブを立ち上げ、代表に就任。2005年から市立船橋高サッカー部でコーチ、2007年からJFAこころのプロジェクトで夢先生などを務めている。

指導のアップデート

技術はあるのに試合で判断に迷ってしまう選手が少なくありません。その原因は、個人の能力やセンス不足によるものでしょうか。

国際サッカー連盟(FIFA)が公式に運営する「FIFA Training Centre」というオンライン教育プラットフォームがあります。これはサッカーの指導者や選手向けに作られた無料の学習コンテンツで、トレーニング情報分析、ビデオ教材などが網羅されています。私自身、スポーツ科学や学習心理学といった最先端の知見をサッカー指導に応用する際、多くの示唆をここから得てきました。その中で最近紹介されていたのが「ゲームを基盤にしたアプローチ(GBA / Game Based Approach)」で、従来の技術先行型指導を比較したManninenらの研究です。GBAの代表的な教授モデルとして知られるTGFU(Teaching Games for Understanding)を含むこれらの研究では、試合中の意思決定能力においてGBAがより高い効果を示すことが報告されています。

TGFUは1982年にBunker & Thorpeによって提唱され、従来の「技術を教えるからゲームを行う」という順番では試合に必要な判断力が十分に育たないのではないか、という問題意識から生まれました。このモデルでは、戦術理解を先に促し、必要に応じて技術を学ぶ流れが重視されます。日本でも中学校体育を中心に実践や研究が積み重ねられてきました。

TGFUの特徴は、工夫されたゲームそのものを学習の出発点とする点です。人数やピッチサイズ、ルールを調整したスモールサイドゲームの中で、選手は常に状況判断を迫られます。そこでうまくいかなかった原因を自ら考え、次の選択を試すことが求められます。指導者の役割も「正解を教える存在」から「問いかけを通して学びを支える存在」に変化します。

このようなアプローチは、現場では比較的好意的に受け止められてきました。一方で「基礎的な技術の獲得や精度を高めるためには、やはり技術先行型の指導も重要ではないか」という意見が根強く存在することも事実です。

しかし、Manninenらの研究によれば、試合中の意思決定能力に対してはGBAが高い効果を示した一方で、技術や知識の習得に関してはどちらの指導法でも一定の向上が見られ、両者に優劣があるわけではありません。さらに運動技能に注目すると、GBAは技術先行型指導と同等、あるいは条件によってはそれ以上の効果を示すケースもありました。

「GBAでは技術が身につかない」という批判は、現時点の科学的エビデンスからは必ずしも支持されているとはいえません。ただし、GBAの効果は一概ではなく、指導者の経験や指導設計の質、比較対象となる指導モデル、さらには研究の質によって左右されることも明らかになっています。GBAは、実施すれば自動的に成果が得られる「魔法」ではなく、実践の質



隔月連載

サッカー心育論 Vol.96

～指導者は何を考えるべきか～

中山 雅雄 (JFA技術委員会普及部会部会長 / JFA普及ダイレクター / JFAキッズプロジェクトメンバー / 筑波大学体育系教授)

が結果に左右します。つまり、私たちが指導者に求められているのは、選手の思考が活性化する「質の高いゲーム環境」をいかに設計できるか、という点にあると考えられます。

私は、これまでサッカー指導でGBAの活用を推奨しつつも、個人の技術精度を高めるための反復練習は不可欠だと考えてきました。しかし、今回の研究を通して、GBAの設計を適切に行えば、懸念していた技術向上も十分に期待できます。私自身も自分の指導観をアップデートしていく必要があると感じています。

サッカーにおける判断力は、技術やフィジカルに比べて成熟度(年齢や身体的成長)の影響を受けにくい側面があります。相手や味方の動き、スペースや時間の変化をどのように捉え、何を選択するかを判断する力は、単純な技術練習の反復だけでは育ちにくく、実際の状況下で試行錯誤を重ねることによって養われていくものです。

日本の指導現場では、選手が考える前に「答え」が示される場面もまだ少なくありません。その結果、技術は身につけているものの、状況が変化した途端に判断に迷ってしまう選手が生まれてしまいます。これは「判断する経験」を得られる設計が十分になされていないからであり、指導者の関わり方で改善できる余地があります。技術は選択を実行するための手段であり、判断は技術を生かすための土台です。育成年代で重要なのは「選手が迷い、考え、選び続ける経

験」を積み重ねることではないでしょうか。

育成とは、「今でできることを増やす」ことだけを目的とするのではなく、「これから学び続けられる力を育てる」営みであると考えています。TGFUやGBAを検証した科学的研究は、こうした考え方が一定の合理的根拠を持つものであることを示しています。指導者が問いかけ、選手が考え続けられる環境を整えることが、変化に対応できる選手の育成につながっていく。そうした指導が今後はますます重要になるでしょう。

昨年末のJFA全日本U-12サッカー選手権大会を視察しながら、こうしたことをあらためて考えていました。必死にボールを追う選手たちの無限の可能性を引き出せるかどうかは、私たち大人が「教える」という立場に固執せず、互いに問いかけ、共に悩む姿勢を持てるかどうかにかかっているように思います。選手たちの未来のためにも、指導の在り方をアップデートしていく必要があります。

■参考資料

Mika Manninen. Skills v. games: Two approaches to training, FIFA Training Centre, 15 Jan 2026, <https://www.fifatrainingcentre.com/en/environment/research-brief/high-performance/train/manninen-skills-v-games.php>

Manninen et al. (2024) "The effect of game-based approaches on decision-making, knowledge, and motor skill" European Physical Education Review 31(1):18-32

Bunker, D. & Thorpe, R. (1982) A model for the teaching of games in secondary schools. Bulletin of Physical Education, 18(1), 5-8.

「2005年問ほどで私が最も感銘を受けたサッカー書籍は、『しくじり審判 失敗から学ぶ サッカー審判の教科書』（小幡真一郎編著、2021年カンゼン刊）です。

サッカーの書籍は、スター選手の手記を中心に、戦術解説のようなものがよく売れているようですが、意外に多いのが「審判もの」です。海外でも、有名審判員が書いた回想録のようなものが古くから数多く発行されています。審判員たちがどんなことを考えて笛を吹いたのか、話題になった判定の背後にどんな判断があったのかなどにも、サッカーファンは興味を持っているというのでしよう。

そうした「審判もの」は、ハイライトになる経歴（大きな大会など）での経験や、そうした場での選手や役員などとの交流などが中心になっています。高名な審判員が引退してから書くのですから、なかば「自慢話」になってしまうのは仕方ないことかもしれません。

しかし『しくじり審判』は正反対です。元国際審判員で2001年末に引退後は後進の指導に当たってきた小幡さんが「編著」となっていますが、小幡さんをはじめとした12人の元1級審判員（日本の審判トップカテ

いつも心に

連載 Vol.154

大住良之
(サッカージャーナリスト)

リスペクト

RESPECT
大切に思うこと

後輩たちのために自分の失敗を語る

ゴリーが、具体的な試合名や選手名を挙げて飾ることなく45話もの「失敗談」を語っているのは圧巻です。

「誤審や「勘違い」は、審判員にとって痛恨の出来事のはずです。しかしこの本では、コミカルなイラストをふんだんに使い、しかも各「失敗談」の最後に五七五調で「教訓」まで入れてあり、深刻な話であるはずなのに思わずほおが緩んでしまいます。

たとえば、小幡さんは、2001年の「清水エスパルス×コンサドーレ札幌」で、清水のアレックス選手（後に日本国籍を取得して「三都主アレサンドロ」となります）が蹴った「間接フリーキック」が、誰にも触れずにゴールに入ったのを「得点」と判定してしまった話を紹介しています。

5月3日の祝日、日本平スタジアム（現在の呼称は「AIAスタジアム日本平」。ちなみに、当時はまだ「清水市」でした）は、家族連れで満員でした。札幌が先制し、清水が4連続得点で逆転し、札幌がまた1点を返して追いつくという白熱した試合。「事件」は後半27分に起こりました。ゴール正面で間接フリーキックを得た清水は、アレックス選手が得意の左足でゴールに送り込みます。

「ゴールー」。その瞬間、スタジアムDJの絶叫がスタジアムに響き渡り、スタンドからは大歓声が上がります。小幡さんはキック直前まで「間接フリーキック」を示すため右手を高く上げていたのですが、その瞬間、頭が真っ白になり、センターサークルを指し、得点を認めてしまったといいます。

アレックス選手を中心に歓喜の輪ができます。札幌の選手たちはうなだれるだけで、ベンチからも何の抗議もありません。清水の4点目も「直接フリーキック」で、2本連続で決められたことにショックを受けていたのかもしれない。

試合は5-2のまま清水の勝利で終わりますが、控え室に戻り、記録担当者から「誰かさわっていましたか」と聞かれ、ようやく小幡さんは大きな間違いを認めたことに気づいたそうです。

「教訓」は、「難いて、心を乱す『ゴールー』の声」。さらに「覚え書き」として、「スタジアムDJの歓喜のアナウンスはサポーターはもちろん、時にレフェリーまで飲み込むので要注意。」と白抜き文字で書かれています。

審判員として「失敗談」を書くには大きな勇気が必要です。し

かしいくら「やるべきこと」を教えても限界があることに、小幡さんは気づいたのでしよう。そしてこんな本を企画し、仲間と呼び掛けてつくったのではないかと思います。軽いタッチでつくられていますが、まさに後進の育成のために「体を張った」一冊だったので。

ちなみに、清水の「5点目」は、



18
1993年5月15日のJリーグ開幕戦から2001年までJリーグで主審を務めた小幡真一郎さん。審判員たちの苦闘やその背景にある思いなどが書籍に記されている



当初「中央間接FK 8（アレックス）」左足S（シュート）」と発表されていますが、後に訂正されて最後に「相手DF」が付け加えられました。



JFAセーフゲーディングポリシーの推進 ～サッカー、スポーツを安心・安全に楽しむ権利と その環境を守るために

セーフゲーディングとは、子どもや弱い立場にある人が安心して活動できる環境をつくり、暴力や差別、搾取などから守る仕組みや考え方のこと。「JFAセーフゲーディングポリシー」では、あらゆる暴力や暴言、差別、ハラスメント、誹謗中傷を排除し、子どもたちが安心してスポーツを楽しめる環境を広げ、子どもたちをエンパワーする具体的な指針を記しています。

JFAとしては、子どもたちに多様な選択肢を与え、彼らの安全と健康を守りながら健やかな成長を後押しすることが、われわれ大人たちの役割であり、責務だと考えます。JFAは、このセーフゲーディングポリシーを全てのサッカーファミリー / ステークホルダーと共有し、子どもたちを含め、誰もが目的やレベルに合わせ、楽しく、伸び伸びとサッカーをプレーできる、健全なスポーツ環境を広げていきます。



●JFAセーフゲーディングポリシー

https://www.jfa.jp/respect/safe_guarding.html



アクセス・フォー・オール ～誰もがサッカーにアクセスできる社会へ

JFAは2024年、あらゆる人々がサッカーに親しむ多様な「機会」と「選択肢」を得られるよう、「アクセス・フォー・オール宣言 (AfA)」を発表しました。これは、人権に特化したJFAの姿勢を示すもので、「あらゆる人々」とは、障がい者やLGBTQ+, 在留外国人、貧困など、異なる背景や特性を持つ人々や活動に参加する権利や恩恵を十分に受けていない人々を含む全ての人々を指します。グラスルーツからエリートまで、誰もがサッカーの「する」「見る」「関わる」にアクセスできる機会と選択肢を、確実に、持続的に届けるための行動指針となるものです。

AfAを実現するための第一歩は、サッカーにアクセスすることを阻害する障壁に気づくこと、そして、サッカーファミリーや自治体、パートナー企業、あるいは他のスポーツ団体など多くの人々とAfAの考えを共有し、課題克服に向けて行動を起こすことです。

このアクセス・フォー・オールの考えを広く社会に伝えるために制作したハンドブックが『誰もがサッカーにアクセスできる社会へ Access for All』です。JFAはあらゆる人々をつなげる中核となってその輪を広げ、インクルーシブなサッカー界を築いていきます。

●アクセス・フォー・オールハンドブック

https://www.jfa.jp/about_jfa/accessforall/



スモールサイドゲームガイドライン ～子どもたちの成長に即したゲーム環境を

JFA技術委員会は、小学4年生以下の年代に応じたゲーム形式を明確に示すため、「JFAスモールサイドゲームガイドライン」を作成。「小学校1～4年生のゲーム環境整備」の一環としてガイドラインの普及に取り組んでいます。

●内容

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| 1. はじめに | 5. 8人制との比較 |
| 2. ガイドラインの基本的な考え方 | 6. スモールサイドゲームガイドラインに基づいた事業開催 |
| 3. 各年代での心身の特性とゲーム | 7. 指導者の関わり的重要性 |
| 4. ピッチマネージャーの配置・役割 | |

https://www.jfa.jp/coach/guidelines_smallsidegame.html



JFA育成年代でのヘディング習得のための ガイドライン (幼児期～U-15)

JFAは、ヘディングを「禁止」するのではなく、正しく恐れることによって適切な方法によるヘディングの習得を目指しています。そこで、幼児期から段階的にヘディングを習得するためのガイドラインを作成。子どもの安全を守るために、全ての指導者にこのガイドラインを理解していただきたいと考えています。なお、ヘディングに関わるリスクについては医・科学研究の報告をフォローし、本ガイドラインも逐時アップデートしていきます。

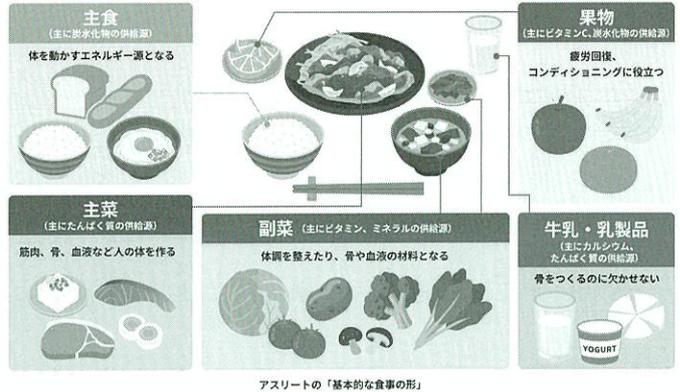
https://www.jfa.jp/coach/pdf/heading_guidelines.pdf



JFA栄養ガイドラインを改訂

JFA医学委員会の栄養サポート部会が2018年8月に策定した『JFA栄養ガイドライン』が、8年ぶりに改訂されました。

サッカー選手にとって、栄養は練習と同じくらい重要なもの。元気にプレーするためのエネルギー摂取、筋肉や骨を丈夫にする体づくり、そしてコンディションを整える源は、普段の食事にあります。栄養ガイドラインをぜひチェックしてみてください。



【主な内容】

- ・戦うためのからだづくり
- ・食事の重要性と水分補給
- ・成長期のからだ
- ・成長期の食事
- ・SAMURAI BLUE (日本代表) の補食
- ・JFA栄養ガイドラインQ&A

<https://www.jfa.jp/medical/nutrition.html>



サッカー活動中の落雷に注意しましょう! 地域によっては冬季も注意を

温暖化や環境変化の影響に伴い、全国での落雷件数が増加しています。屋外でサッカー活動をする際は、落雷による事故防止対策に努めましょう。冬季も大気の状態が不安定になった場合には落雷に注意が必要です。

原則①：危険・兆候が確認されたら公式戦・練習にかかわらず躊躇なく中止すること。

原則②：周辺で雷注意報・兆候がある場合、専門的なウェブサイトで常時天候情報を確認すること。

●サッカー活動中における落雷事故防止対策について

https://www.jfa.jp/about_jfa/report/PDF/h20240523_02.pdf



●冬季の雷 (北陸地方の天候) [気象庁]

https://www.data.jma.go.jp/cpd/j_climate/hokuriku/column03.html



日本サッカー協会

<https://www.jfa.jp/>育成年代応援プロジェクト JFA アディダス DREAM ROAD
アヤックス (オランダ) に4選手が短期留学

JFAとJFAオフィシャルサプライヤーのアディダス、ジャパン株式会社が行う「育成年代応援プロジェクト JFA アディダス DREAM ROAD (ドリームロード)」の2025年度第3弾の短期留学の留学先がオランダの名門クラブ、アヤックスに決まり、4人の選手が1月23日から2月8日 (1月14日発表) までの17日間、アヤックスで研さんを積む。

2023年度に立ち上げたDREAM ROADは、その年、スペインのレアル・ソシエダド、ドイツのバイエルン・ミュンヘン、イングランドのフラムFCに総勢15選手 (延べ19選手) に世界トップレベルでのプレー経験を創出した。2024年度は総勢21選手がアルゼンチンのリバープレート、アメリカのロサンゼルス・ギャラクシー、ドイツのバイエルン・ミュンヘン、メキシコのUANLティグレス、そしてイタリアのコモ1907で貴重な経験を積み、2025年度はアルゼンチンのリバープレート、ドイツのバイエルン・ミュンヘンでそれぞれ4名の選手が世界トップレベルのプレーを学んだ。今回は、初となるオランダでの挑戦をサポートする。

【2025年度第3弾：アヤックスへの留学予定選手】

竹野 楓太 (タケノ フウタ)

所属 : 神村学園高等学校

ポジション : DF

学年 : 高校2年生

コメント : 契約を勝ち取りたいです。

松浦 大翔 (マツウラ ヒロト)

所属 : アルビレックス新潟U-18

ポジション : GK

学年 : 高校2年生

コメント : 自分の得意なプレーをたくさん発揮して頑張ります。

加茂 結斗 (カモ ユイト)

所属 : 柏レイソルU-18

ポジション : MF

学年 : 高校2年生

コメント : 一生懸命頑張ります。

マギー ジェラニー蓮 (マギー ジェラニー レン)

所属 : RB大宮アルディージャ

ポジション : FW

学年 : 高校2年生

コメント : 世界トップレベルの選手から学んだことを、自分の成長に生かしたいです。

●城和憲JFAユース育成ダイレクター コメント

「DREAM ROAD」プロジェクトを実施するにあたり、パートナーであるアディダス ジャパンさま、ならびに本取り組みにご理解とご協力を賜りましたアヤックスの皆さまに、心より感謝申し上げます。

アヤックスは世界屈指の名門クラブとして知られ、特に選手育成に定評があり、数多くの名選手を輩出してきました。その根幹にあるのが、「トータルフットボール」を軸とした哲学です。アカデミーからトップチームまで共通のプレーモデルを採用し、技術力・判断力・ポジショニングを重視した指導によって高い戦術理解を持つ選手を育ててきました。

また、主体性や創造性を尊重し、ミスを恐れず挑戦する姿勢を評価する点も大きな特徴です。同クラブが長年にわたって世界のトップレベルで戦い続けてきた背景には、こういった環境があるからにほかならないのです。今回の取り組みを通じて、選手のみならず私たち自身も多くを学べるものと期待しています。

近年では、板倉滉選手や富安健洋選手が同クラブに加入したことも、日本サッカーとアヤックスのつながりを強めた理由だと言えます。くしくもFIFAワールドカップ2026では、SAMURAI BLUE (日本代表) がグループステージでオランダと対戦することが決定しています。6月14日、アメリカ・ダラスで予定されるこの一戦を機に、アヤックスとのリレーションがより一層深まることを大いに期待しています。

JFAとコールマンがJFAソーシャルバリューパートナー契約を締結～
サッカー×アウトドア コールマンと共により安全で快適なサッカーの
環境づくりを推進

JFAは、ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社コールマン事業部 (以下コールマン) とJFAソーシャルバリューパートナー契約を締結した (1月28日発表)。

本契約により、コールマンのアウトドア用品を活用して、主にJFAキッズフェスティバルやJFAグリーンプロジェクト芝生化モデル事業の現場で暑熱対策に取り組み、選手、指導者、審判員、観客などサッカーファミリーが、安全に、快適にサッカーを楽しめる環境を広げていく。なお、コールマンの用品を使用したキックオフイベントを3月28日に高円宮記念JFA夢フィールドで開催する。

【JFAソーシャルバリューパートナー契約 概要】

契約社名：ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

対象：JFAキッズフェスティバル、JFAグリーンプロジェクト

目的：「見る」「する」「関わる」といったさまざまなサッカーシーンにおいてコールマンのアウトドア商品を活用し、サッカーファミリーが安全に、快適にサッカーを楽しむ環境を広げていく。

締結日：2026年1月1日

●宮本恒靖JFA会長 コメント

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社コールマン事業部を新たな

JFAソーシャルバリューパートナーとしてお迎えし、力強いサポートをいただけることになりました。あらためて御礼申し上げます。

サッカーの試合会場に行くと、コールマンのシェードやチェア、クーラーなどいろいろなギア(アウトドア用品の総称)を使っているチームや保護者を見かけることがあり、アウトドアとサッカーの親和性に注目していました。また、「アウトドアで『家族』『仲間』『自然』が触れ合うことで生まれる心のつながりを大切に」しているというコールマンのビジョンもわれわれの理念と相通じます。

JFAとして多角的な視点で暑熱対策を推進している中、今回の契約を通して、サッカーの現場でもコールマンのギアを活用させていただき、安心してサッカーを楽しめる環境を広げていきたいと考えています。

●中里豊ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社コールマン事業部
社長 コメント

このたび、JFAとJFAソーシャルバリューパートナー契約を締結できることを、大変うれしく思います。コールマンは、アウトドアを通じて家族や仲間、自然とのつながりを育み、人々が快適で豊かな時間を過ごせるよう支えることを使命としています。JFAが掲げる、サッカーを通じた健全な心身の発達と社会への貢献という理念とは、多くの共通点があります。サッカーは屋外で楽しむスポーツであり、暑さ対策や快適性は欠かせません。コールマンの製品は、こうした環境づくりにも役立ち、JFAとお互いの強みを生かして価値を共創できることを光栄に感じています。本パートナーシップを通じて、子どもたちへの体験機会の創出や、サッカーを楽しむ環境づくりを進め、サッカーに携わる皆さまに健やかで心豊かな時間を届けてまいります。

SAMURAI BLUE(日本代表)

<https://www.jfa.jp/samuraiblu/>



3月28日の国際親善試合でスコットランド代表と対戦

SAMURAI BLUE(日本代表)は3月28日、スコットランドのハムデン・パークでスコットランド代表と国際親善試合を行う(1月19日発表)。大会概要は下記の通り。

【開催概要】

試合日 : 2026年3月28日(土)
キックオフ : 17:00(日本時間3月29日2:00)
会場 : ハムデン・パーク(スコットランド/グラスゴー)
対戦 : スコットランド代表 対 SAMURAI BLUE(日本代表)
テレビ放送 : 調整中

●森保一SAMURAI BLUE監督 コメント

現在、日本人選手が多くプレーするスコットランドで、同国代表と対戦できることをとてもうれしく思います。FIFAワールドカップ2026本大会まで3カ月を切った時期に、フィジカル的にも恵まれた強いチームと対戦することは、われわれのチーム力の底上げを図る上でベストなことだと思います。スコットランドの人々が非常に情熱的なことは世界的にも知られています。その熱狂的なサポーターがつくるスタジアムの雰囲気は飲み込まれないよう、われわれも強い気持ちを持ち、一丸となって勝利をつかみ取りたいと思います。

※参考：スコットランド代表関連データ

- ・FIFAランキング(2025年12月22日更新)：36位
- ・過去の対戦成績：1勝2分け(2得点0失点)

なでしこジャパン(日本女子代表)

<https://www.jfa.jp/nadeshikojapan/>



4月の国際親善試合、アメリカ女子代表と3連戦

なでしこジャパンは4月11日・14日・17日、アメリカで開催される国際親善試合でアメリカ女子代表と対戦する(1月25日発表)。

【国際親善試合 開催概要】テレビ放送は3試合とも調整中

第1戦

日時：2026年4月11日(土)14:30キックオフ予定
※日本時間12日(日)6:30
対戦：なでしこジャパン(日本女子代表) 対 アメリカ女子代表
会場：PayPal Park(カリフォルニア州サンノゼ)

第2戦

日時：2026年4月14日(火)19:00キックオフ予定
※日本時間15日(水)11:00
対戦：なでしこジャパン(日本女子代表) 対 アメリカ女子代表
会場：Lumen Field(ワシントン州シアトル)

第3戦

日時：2026年4月17日(金)19:00キックオフ予定
※日本時間18日(土)10:00
対戦：なでしこジャパン(日本女子代表) 対 アメリカ女子代表
会場：DICK'S Sporting Goods Park(コロラド州コマーシティ)

※アメリカ女子代表関連データ

- ・FIFAランキング(2025年12月11日更新)：2位(日本：8位)
- ・過去の対戦成績：日本の2勝8分け31敗(33得点107失点)※PK戦での勝敗は引き分け扱い

●ニルス・ニールセン監督 コメント

3月にオーストラリアで開催されるAFC女子アジアカップで、私たちはできる限り多くの試合に勝利することと、最後に優勝トロフィーを掲げることを目指しています。この女子アジアカップ後の4月の代表活動は、

2027年ブラジルでのFIFA女子ワールドカップに向けた歩みを継続し、中間地点でのチェックという位置づけとを考えています。

アメリカ女子代表との対戦は、自分たちの現在地を知る上で常に素晴らしい機会になりますし、今後どこに重点を置くべきかを見極める機会になります。アメリカはこれまででも、そして今でも世界で最も優れたチームの一つです。アメリカのエマ・ヘイズ監督は世代交代という困難な仕事

をやり遂げている優秀な監督です。彼女は新しいスター選手を見事に代表チームに融合しています。アメリカの強さはこれまでと変わりません。多くの才能ある選手たちはいずれも優れたアスリートであり、ほとんどのポジションに世界的なスター選手がそろっています。スピード、フィジカル、そして技術を兼ね備えたアメリカとの試合はタフな戦いになるでしょう。

審判員

<https://www.jfa.jp/referee/>



2026/27シーズン新規契約プロフェッショナルレフェリー

JFAは2月1日付で須谷雄三、先立圭吾、椎野大地、坂本晋悟、長谷川雅の5人の審判員とプロフェッショナルレフェリー（PR）契約を締結した。また2026/27シーズンのPRとして下記27名と契約した（1月16日発表）。

【2026/27シーズン新規契約プロフェッショナルレフェリー】

<主審3名>

●須谷 雄三（すたに ゆうぞう）

所属：京都府

コメント：サッカーの発展のため、皆さまの期待に応えられるよう、誠心誠意取り組んでまいります。

●先立 圭吾（せんだち けいご）

所属：千葉県

コメント：大好きなサッカー、その審判活動に全力で取り組める環境を与えていただき感謝しています。プロフェッショナルレフェリーとしての契約を審判人生の新たなスタートとし、今までの自分を壊してゼロからつくり直す気持ちで日々精進してまいります。

●椎野 大地（しいの だいち）

所属：神奈川県

コメント：このたび、プロフェッショナルレフェリーとして契約をしていただきました。これまで私を支えてくださった全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、これからも謙虚に向上心を持ち、目標に向かってまい進していきます。

<副審2名>

●坂本 晋悟（さかもと しんご）

所属：富山県

コメント：新たにプロフェッショナルレフェリーとして契約を締結できたことに、心より感謝申し上げます。これまで支えてくださった方々への感謝を胸に、これまで以上に真摯にサッカーと向き合い、日本サッカー界のさらなる発展に貢献できるよう精進してまいります。

●長谷川 雅（はせがわ まさる）

所属：東京都

コメント：このたび、プロフェッショナルレフェリーとして活動する大変貴重な機会をいただきました。私を支えてくださった家族、元職場の皆さま、審判仲間、指導者の皆さまに心より感謝申し上げます。スタジアムに試合を見に来られた方、画面を通じて試合を見てる人たちがサッカーというスポーツが持つ素晴らしさに触れられるよう、副審という限られ

た役割の中ではありますが、何が出来るかをプロフェッショナルとして追求していきたいと思えます。私自身の取り組みの一つ一つが日本サッカー界の発展の小さな一歩につながると信じて活動にまい進してまいります。

【2026/27シーズン プロフェッショナルレフェリー】

2026/27シーズンは下記27名と契約を締結（契約期間：2026年2月～2027年6月）

●主審（19名）

名前	ふりがな	PR就任年
飯田 淳平	いいだ じゅんぺい	2011年
木村 博之	きむら ひろゆき	2012年
荒木 友輔	あらかぎ ゆうすけ	2018年
福島 孝一郎	ふくしま こういちろう	2020年
池内 明彦	いけうち あきひこ	2021年
笠原 寛貴	かさはら ひろき	2021年
中村 太	なかむら ふとし	2022年
清水 勇人	しみず はやと	2022年
山下 良美	やました よしみ	2022年
谷本 涼	たにもと りょう	2023年
御厨 貴文	みくりや たかふみ	2024年
小屋 幸栄	こや こうえい	2025年
上田 益也	うえだ ますや	2025年
長峯 滉希	ながみね こうき	2025年
高崎 航地	たかさき こうじ	2025年
大橋 侑祐	おおはし ゆうすけ	2025年
須谷 雄三	すたに ゆうぞう	2026年※
先立 圭吾	せんだち けいご	2026年※
椎野 大地	しいの だいち	2026年※

●副審（8名）

名前	ふりがな	PR就任年
鎌城 巧	たかぎ たくみ	2018年
西橋 勲	にしはら いさお	2020年
渡辺 康太	わたなべ こうた	2023年
武部 陽介	たけべ ようすけ	2024年
浅田 武士	あさだ たけし	2024年
道山 悟至	みちやま さとし	2025年
坂本 晋悟	さかもと しんご	2026年※
長谷川 雅	はせがわ まさる	2026年※

※PRとして新規に契約

●扇谷健司JFA審判委員長 コメント

このたび、新たに主審3名、副審2名の審判員と契約を締結しました。

2002年に2名でスタートしたプロフェッショナルレフェリー制度は、現在では主審19名、副審8名となり、責任や役割もより大きくなっています。日本サッカーがさらに素晴らしいものになるためには、審判員の成長も欠かせません。彼らが日々成長していく姿をぜひ見守ってください。

※プロフェッショナルレフェリー（PR）：JFAはトップレベルの審判員が国内および国際大会において、安定して高いレベルのパフォーマンスを発揮するため、「プロフェッショナルレフェリー制度」を導入している。PRは自身のレベルアップに励みながら全国で講義を行うなど、日本の審判界全体のレベル向上にも貢献している。

JFAアカデミー

https://www.jfa.jp/youth_development/jfa_academy/JFAアカデミー福島女子15期生の林椿選手が
C.F.F. Caceres (スペイン)に加入

JFAアカデミー福島女子15期生(U-18)の林椿選手が、2026年よりC.F.F. Caceres (スペイン)に加入することが決定した(1月10日発表)。

【プロフィール】

林椿 (はやし つばき / HAYASHI Tsubaki)

ポジション: MF

所属歴: If Levante Futbol Clube→JFAアカデミー福島

※参考: JFAアカデミー福島出身でWEリーグクラブ、海外プロクラブに加入した選手/2020年度以降、()内のクラブ名は加入当時

2020年度卒校: 城和怜奈(ジェフユナイテッド市原・千葉レディース)、伊藤めぐみ(AC長野パルセイロ・レディース)、沼尾圭都(アルビレックス新潟レディース)

2021年度卒校: 石川璃音(三菱重工浦和レッズレディース)、太田萌咲(AC長野パルセイロ・レディース)

2022年度卒校: 佐々木里緒(マイナビ仙台レディース)、松窪真心(マイナビ仙台レディース)

2023年度卒校: 谷川萌々子(バイエルン・ミュンヘン/ドイツ)、古賀塔子(フェイエノールト/オランダ)、吉岡心(マイナビ仙台レディース)、鹿島彩莉(ちふれASエルフェン埼玉)

2024年度卒校: 樋口梨花(ちふれASエルフェン埼玉)、木村未来(ちふれASエルフェン埼玉)、板村真央(フェイエノールト/オランダ)

2025年度卒校予定: 原ひばり(ちふれASエルフェン埼玉)、榊愛花(INAC神戸レオネッサ)

日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)

<https://www.jleague.jp/>「サントリー生ビール」ブランド(サントリー株式会社)と
明治安田Jリーグ百年構想リーグにおけるトップパートナー契約を締結

Jリーグは、サントリー株式会社(以下、サントリー)が発売する商品『サントリー生ビール』ブランドと、2026年2月から6月まで開催する特別大会「明治安田Jリーグ百年構想リーグ」におけるトップパートナー契約を締結した(1月13日発表)。契約開始日は1月13日。

■契約締結の背景

1993年に10クラブで始まったJリーグは、サントリーとのパートナーシップを通じて、「Jリーグサントリーチャンピオンシップ」の開催をはじめ、サントリー「モルツ」Jリーグ缶の発売などの取り組みを行い、2004年までの12年間、Jリーグの黎明期を共に歩み、地域密着を掲げるJリーグが全国に裾野を広げるための土台を築いてきた。そして2026年、

Jリーグが未来に向けて大きな一歩を踏み出すのにあたり、地域に根差した特別な大会「明治安田Jリーグ百年構想リーグ」を開催する。その中で「みんなをもっと笑顔にするために」、Jリーグは「サントリー生ビール」ブランド(サントリー株式会社)と本大会のトップパートナー契約を締結した。

■契約締結に伴う今後の取り組み予定

今後、共同でのキャンペーン展開などを通じて大会の盛り上げを創出する。

キャンペーンサイト:

<https://www.suntory.co.jp/beer/suntorynama/jleague>



ユーザーベースとJリーグサポーターングカンパニー契約を締結

Jリーグは、株式会社ユーザーベース(以下、ユーザーベース)と、サポーターングカンパニー契約を締結した(1月15日発表)。契約開始は2026年1月。

■契約締結の背景

Jリーグは、プロサッカーリーグとしての競技価値向上にとどまらず、各クラブを中心とした地域活性化や、スポーツを通じた社会課題解決に取り組み、国内のみならずアジア、さらには世界を見据えた挑戦をしている。ユーザーベースは「経済情報の力で、誰もがビジネスを楽しめる世界をつくる」というミッションの下、SpeedaやNewsPicksをはじめとしたプロダクトを通じて、個人・企業の意思決定を支援しており、ユーザーベースが目指す「経済・ビジネスをより身近で開かれたものにする」という考えが、Jリーグが持つ価値観と高い親和性があることから、本契約の

締結に至った。

■主な取り組み内容

本契約に基づき、Jリーグの持つ地域ネットワークとユーザーベースの経済情報を掛け合わせることで、スポーツを起点に誰もが学び、挑戦できる地域社会の実現に貢献することを目指す。

ユーザーベースが持つ各種プロダクトを通じて、スポーツを起点としたビジネスの学びや対話の機会の創出、全国のクラブホームタウン等におけるスポーツと経済の新たな接点の創出などにより、地域経済を担う人材の育成や交流を支援し、経済・ビジネスとスポーツを横断する新たな価値創出に取り組んでいく。

■ 明治安田Jリーグ百年構想リーグにおける公式記録の取り扱いなど

Jリーグは、明治安田Jリーグ百年構想リーグ(特別大会)に関する公式記録の取り扱いについて、下記の通り決定した(1月18日発表)。

■公式記録の取り扱い

明治安田Jリーグ百年構想リーグ(特別大会)は各記録とも独立した別大会の公式試合として扱う

※リーグ戦、リーグカップ戦、特別大会の記録はそれぞれ独立した記録として扱う

※2026年6月30日までのシーズン表記は「2026特別シーズン」となる

・例1(選手記録): J1リーグ通算出場99試合の選手が、明治安田J1百年

構想リーグに1試合出場した場合、J1通算100試合出場とは扱わない。
J1リーグ通算出場99試合、明治安田J1百年構想リーグ1試合と記録される

・例2(選手記録): J1リーグ出場試合数0の選手が明治安田J1百年構想リーグの1試合に出場した場合、J1リーグ初出場とは扱わない

・例3(チーム記録): J1リーグ初昇格のチームが、明治安田J1百年構想リーグで初勝利した場合、J1リーグ初勝利とは扱わない

・例4(チーム記録): 2025明治安田J1リーグ優勝チームが明治安田J1百年構想リーグで優勝した場合、J1リーグ連覇とは扱わない

■ 新たなファン・サポーター拡大に向けて「明治安田のJ活」がスタート

Jリーグは、2月から開催される「明治安田Jリーグ百年構想リーグ」において、Jリーグの魅力をより多くの人に知ってもらうための取り組みとして、Jリーグタイトルパートナーである明治安田生命保険相互会社(以下、明治安田)との共同取り組み「明治安田のJ活」を全60クラブで実施する(1月19日発表)。

「明治安田のJ活」は、新しいファン・サポーターを増やし、応援の輪を広げていくことを目的にスタートし、スタジアムに来場するきっかけづくりとして、全60クラブの試合日に「明治安田のJ活デー」を開催するもの(各ク

ラブ、シーズン中に1回)。当日は、明治安田の出展ブースにて抽選で「オリジナルベースボールシャツ」の配布や、「レディース向けイベント」「スイーツ提供エリアの設置」「親子招待イベント」など、これまでサッカーやJリーグに触れる機会の少なかった人々も楽しむことのできるイベントなどを開催予定。

●明治安田のJ活 特設ページ

<https://www.jleague.jp/special/meijiyasudanoJkatsu/>



■ 2026特別シーズン、2026/27シーズンにおける審判領域の質向上に向けた取り組み

JリーグはJFAと共同で、審判領域の質向上のための環境改革を2024シーズンから開始し、これらの取り組みは審判員のレフェリングのスキルの向上に寄与してきた。2026特別シーズン、2026/27シーズンの主な取り組みは下記の通り(1月27日発表)。

■2026特別シーズン、2026/27シーズンに予定している主な取り組み

①プロフェッショナルレフェリー(PR)に関する施策

専門の審判員であるPRの拡大により、審判業に専念できる環境を整備し、十分なトレーニング時間の確保や審判員の待遇向上を目指す。また、トレーニングや研修の機会となるPRキャンプを多く実施することで、シーズン中の振り返りや質向上のための取り組みを迅速に行う。

・PRを27名に増員 ※2023シーズン:18名、2024シーズン:19名、2025シーズン:24名

・PRキャンプを27回に増加 ※2023シーズン:4回、2024シーズン9回、2025シーズン:16回

②支援体制の拡充

審判員が試合に向けて適切な準備・コンディション管理ができるよう、さまざまなスタッフによる支援体制を構築する。

・フィジカル専門スタッフを常勤化 ※2024シーズン:専属トレーナーを採用、2025シーズン:フィジカル専門スタッフ(非常勤)、メンタル専門スタッフ(非常勤)を採用

③早期育成制度の導入

まずはJ1担当ができる水準に早期で育成し、将来的に世界トップで活

躍できる審判の育成を目的に、若い年代から審判活動に専念できる環境を整え、集中的に育成する早期育成制度を新たに導入する。

・対象:年齢が22歳から30歳程度の1級審判員もしくは2級審判員

・割当試合:J2、J3、U-21 Jリーグ、JFLへの割当を基本とする

・活動内容:国内の割当に加え、海外派遣、審判トレーニングキャンプの実施

④マッチクオリティアセッサー(MQA)制度のトライアル

2025シーズンより「世界トップ水準のフットボール」「お客様にとって魅力的なエンターテインメント」の実現を目指し、「判定の標準を上げる」「適切なアドバンテージ」「素早いリスタートを促す/試合を過剰に止めない」といった観点での取り組みも開始した。

こうした取り組みを進める中で、クリーンで強度の高い攻防や、効果的なアドバンテージによるチャンスシーンを増やしていくためには、審判員がより選手に近い視線でプレーの意図や試合展開を予測できる環境づくりが必要であるとの認識に至った。そこで、2026特別シーズンより選手OBが審判員とファウルやアドバンテージ等に関する見解共有や研修プログラムを実施する制度のトライアルを開始する。

・MQAの概要:選手OBが務め、世界トップ水準を目指すJリーグの試合の内容を評価する

・MQAの主な役割:試合後に審判員とプレー強度や試合展開をふまえたファウルの判定、アドバンテージに関する意見交換などを行う

・対象試合:明治安田J1百年構想リーグ 50試合程度を予定

※2026特別シーズン後にMQA制度の検証を行い、役割や対象試合の拡大を検討する

⑤海外審判員^{しょうへい}招聘

アジアでの戦いも見据えた多様な経験を目的に、国際大会で活躍するトップ審判員を中心とする海外審判員の短期招聘を拡大。
・7カ国15名(イングランド、ドイツ、メキシコ、カタール、ポーランド、サウ

ジアラビア、ベルギー)

※2023シーズン：2カ国4名、2024シーズン：6カ国12名、2025シーズン：7カ国15名
※各項目の回数等は2026特別シーズンと2026/27シーズンの合計回数。施策内容や人数・回数は現段階の予定であり、変更となる可能性あり

日本女子プロサッカーリーグ(WEリーグ)

<https://weleague.jp/>



2025/26 WEリーグ クラシエカップ決勝の開催スタジアムがUvanceとどろきスタジアム by Fujitsuに決定

2025/26 WEリーグ クラシエカップ決勝の開催スタジアムが、Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu(神奈川県川崎市)に決定した(1月29日発表)。

キックオフ・対戦カード：未定
スタジアム：U等々力
放送・配信：未定

【2025/26 WEリーグ クラシエカップ 決勝】

開催日：2026年4月29日(水・祝)

●大会特設ページ：

<https://weleague.jp/kraciecup/2025-26/>



2025/26 SOMPO WEリーグ座談会を配信

2025/26 SOMPO WEリーグが2月14日に再開を迎えることに合わせ、WEリーグは公式YouTubeサイトで「2025/26 SOMPO WEリーグ座談会」を前編・後編に分けて、それぞれ1月30と2月6日に配信。前編は「解説陣が選ぶ推しプレイヤー」、後編は「WEリーグ後半戦の見どころ」をテーマに解説を担当する6人が注目選手や期待などを語っている。

●後編「WEリーグ後半戦の見どころ」

<https://youtu.be/Hx2g5ex9J1c?si=sHUZDch2PP9kcpTZ>



■2025/26 SOMPO WEリーグ座談会

出演者：甲斐潤子さん、佐々木 萌さん、永里亜紗乃さん、佐藤寿人さん、渡邊大剛さん、田中隼磨さん

MC：安田美香さん

●前編「解説陣が選ぶ推しプレイヤー」

https://youtu.be/lb3VWp41584?si=FBZj_rCCCAZo7Jz



日本フットサルトップリーグ

株式会社KOTONA とオフィシャルパートナー契約を締結

一般社団法人日本フットサルトップリーグが主催する「メットライフ生命Fリーグ」および「メットライフ生命女子Fリーグ」(以下、Fリーグ)は、WEBサイトやCM制作、ECサイトのコンサル・運営など、幅広いプロモーションを手がける総合広告代理店、株式会社KOTONAと、1月13日付でオフィシャルパートナー契約を締結した。契約期間は2026-27シーズン終了まで(1月27日発表)。

的として看板掲出などを実施予定。

今後、Fリーグは、大人でありながら子どももみたいな無邪気さと自由な発想、メディア・手法の枠にとらわれないさまざまなソリューションを提供するKOTONAと、主にSNS プロモーションの分野において、ユーザーフレンドリーなコミュニケーションの構築を目指し、連携を深めていく。

●山崎晶久 株式会社KOTONA代表取締役 コメント

このたび、Fリーグさまのスポンサーとしてご一緒できることを大変うれしく思っております。KOTONAは総合広告代理店として「楽しむ心から生まれるアイデアとクリエイティブで、社会にハッピーとイノベーションをもたらす」ことを理念に掲げています。また、グループ会社アツツが展開するスキンケアブランド「CANNA」では、「歳をとるって進化だ」という価値観の下、心と身体を前向きに整えるブランドとして続けてきました。常に挑戦し、進化し続けるFリーグさまの姿勢は、私たちの考え方と深く重なります。このパートナーシップを通じて、スポーツとクリエイティブ、そして美容の力で、社会にポジティブな変化を届けていきたいと考えています

また、グループ会社である株式会社アツツでは、CBD 配合スキンケアブランド「CANNA(カンナ)」を展開。「歳をとるって進化だ」をコンセプトに、年齢を重ねることを前向きに捉え、肌と心のコンディションに寄り添うスキンケアブランドを目指しており、今後、CANNAのブランド認知向上を目



日本フットボールリーグ (JFL) 便り



第27回JFL表彰

日本フットボールリーグ 事務局長 上保毅彦

<http://www.jfl.or.jp/>

昨年のシーズンを締めくくる表彰式が12月4日に東京都内のホテルで開催されました。優勝したHonda FCの選手とスタッフの皆さん、受賞選手、チーム関係者、ご支援・ご尽力いただいた皆さま、報道関係者など、多くの方々にご来場いただきました。表彰式ではまず、主催者としてJFLの加藤桂三理事長があいさつし、来賓代表として宮本恒靖JFA会長にビデオメッセージをいただきました。その後、団体賞、個人賞を表彰。表彰終了後の懇親会では日頃の感謝を伝え、お集まりいただいた皆さまの歓談の場として大変盛り上がりしました。

表彰につきましては、Honda FCが2年ぶり11回目となる優勝を決めました。2位は今年からJ3に参戦するレイラック滋賀、3位には終盤に勝ち点を積み重ねたプリオベッカ浦安・市川が入賞。個人賞は、優勝したHonda FCから6人が選ばれ、最優秀選手 (MVP) にはHonda FCの鈴木雄也選手が選出されました。鈴木選手は、選手生活最後の年となるシーズンで、昨年に続いてJFL最多の11回のベストイレブンと4度のMVPを受賞。さらに、JFLでの長年の功績がたたえられ、特別賞が送られました。

シーズン終了後には二つの入れ替え戦が行われました。地域リーグとの入れ替え戦では、入会7年目のアトレチコ鈴鹿が、全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2025で2位のVONDS市原FCに延長戦の末0-1で敗れ、今季は地域リーグでの活動となります。J3との入れ替え戦ではレイラック滋賀がJ3のアスルクラロ沼津と対戦。初戦は滋賀のホームで9,006

人の入場者を迎えた中で沼津に2度追いつかれながらも、3-2で初戦を制しました。2戦目の沼津のホームには8,255人が来場。第1戦同様、先制した滋賀が前半に追いつかれましたが、後半はしっかり守り切り1-1の引き分けに。滋賀が通算1勝1分けで勝者となり、J3へ、に昇格。敗れた沼津はJFLでの活動となります。鈴鹿はJFLでの7年間で三浦知良選手の加入など多くの話題で盛り上げてくれ、滋賀には、18年のJFLの活動でリーグの軸となって支えていただきました。この2チームの長年の活動に感謝するとともに、次のステージでの活躍を期待しています。

この表彰式、二つの入れ替え戦で2025シーズンの行事は全て無事に終了し、シーズン移行となる2026年は3月20日に特別大会が開幕します。



第27回JFLベストイレブン

日本フットボールリーグ (JFL) 便り



JFL参戦に懸ける思い

ジェイリースフットボールクラブ株式会社 代表取締役社長 榎 徹

<https://j-lease-fc.com/>

今年からJFLに参入するジェイリースフットボールクラブです。

ジェイリースフットボールクラブは、2018年にジェイリース株式会社のCSR (企業の社会的責任) 活動の一環として出発しました。大分県の3部リーグからスタートし、2021年には九州リーグに昇格、そこで沖縄SV (現在、JFL) をはじめ、ヴェロスクロノス都農の強さに圧倒されました。

2024年には全国地域サッカーチャンピオンズリーグへの出場を果たし、あと一步というところで涙のみました。2025年に昇格を果たせたのは、この経験が大きかったからだと思います。

われわれは試合で勝利を目指しますが、勝利は目標であって目的ではありません。私たちの目的は、試合や地域活動を通じて、諦めない姿勢や真剣に取り組むことの感動、そして喜びを届けること。私はそれを「笑顔で届ける」と表現しています。その上でより多くの人に笑顔で届けるためにJFLで活躍したい、勝ちたいと願っています。

クラブは昨年4月に親会社から独立しました。これまでは「ジェイリースのサッカー部」的な位置付けでしたが、法人化することで経営の責任を明確にし、同時に、スタッフも含めて「ひとつの会社」にふさわしい組織をつくる狙いもありました。

1月16日現在、所属選手は32人で、そのうち13人が社員選手、19人が契約選手です。大分市と隣接する由布市に人工芝の練習場と

管理棟を整備し、環境面においても全国リーグを戦うだけのスタートラインに立てたと感じています。

サッカーチームは、多くの人々、企業、地域の支援があって初めて成立します。われわれを支援、応援して下さる方々の思いに感謝しながら、JFLというステージに挑戦し、成長していきたいと考えています。



JFL昇格時にチーム選手、スタッフ、関係者、サポーターと共に



なでしこリーグ便り

すべての子どもたちの夢のために

VONDS市原FCレディース コーチ 一之瀬 緒



https://vonds.net/

2017年に発足したVONDS市原FCレディースは、2026シーズンからなでしこリーグ1部に挑戦します。クラブ名は「絆」を意味する「BOND」の頭文字を「VICTORY」のVに変えて複数形とした造語です。VONDSを通じて人々がつながり、地域と共に歩み、関わる全てのひとと「豊かな未来・幸せな街」を創造します。

私たちは、創立から8年間で千葉県女子サッカーリーグ2部からなでしこリーグ2部優勝までを経験しました。2024年には関東女子サッカーリーグ1部連覇、皇后杯JFA全日本女子サッカー選手権大会ベスト16、悲願のなでしこリーグ参入を決め、なでしこリーグ2部昇格初年度の2025年は優勝を果たし、1部昇格を成し遂げることができました。

順風満帆だったかのように見えますが、2022年と2023年は2年連続でなでしこリーグ加盟書類審査落ちを告げられ、入替戦のピッチに立てませんでした。なでしこリーグの舞台に立つことは、私たちにとって悲願で、参入が見送られた2年間で味わった悔しさとそれまでに紡がれてきた思いがあったからこそ、つかむことができたなでしこリーグ2部優勝だったと思います。

全選手は、平日は朝早くから病院や介護施設で事務や栄養課、約8割が介護士として働き、退勤後、グラウンドに移動してトレーニングに励み、週末は試合に臨むという生活を送っています。施設では利

用者の皆さんのために、ピッチではVONDSファミリーで勝利を分かち合うために日々努力しています。

また、地域とのつながりも大切にしており、子ども食堂や地域のお祭りなど、市原市のイベントにも積極的に参加しています。「この前の試合良かったよ」「次の試合応援行くね」など声をかけていただけることが、選手の活力になっています。ホームゲームでは、選手が会場準備や受け付け、グッズ販売などの運営を担って会場をつくっています。2026シーズンは、ゼットエーオリブリススタジアムでの開催になりますので、ぜひ会場に足を運んでください。選手の半数が入れ替わり、新監督を迎えた新生VONDS市原FCレディース。「すべての子どもたちの夢のために」戦い続けていきますので、熱いご声援のほどよろしくお願いいたします。



2026シーズンからなでしこリーグ1部に挑戦する新生VONDS市原FCレディース

なでしこリーグ便り

1部昇格へ。ピッチ内外から挑むFCふじざくら山梨の2026シーズン

FCふじざくら山梨 広報担当 高橋玲花



https://www.fujizakura-sc.jp/

FCふじざくら山梨は、2023シーズンからなでしこリーグに参入し、同2部の舞台で戦ってきました。この舞台で迎える4年目の2026シーズン、クラブは「1部昇格」を明確な目標に掲げ、強化部と事業部が一体となって実現に向けた取り組みを進めています。

強化部は、地域に愛され、必要とされるチームであるために、「感動が駆け抜けるフットボール」を体現するチームづくりに取り組んでいます。全員攻撃・全員守備を貫き、サポーターと一体となって戦う「All Football」、球際や切り替え、運動量で相手を上回る「Fighting Football」、状況を判断し、勝利と感動への最適解を創造し続ける「Creative Football」。この三つをフットボールフィロソフィーとして掲げ、2026シーズンも地域の皆さまと共に戦います。

また、サッカーの技術や結果だけでなく、人としての在り方も重視しています。主体性を持って自ら行動すること、自分自身や関わる全ての人々の幸せを考えること、あいさつや感謝、リスペクトを当たり前にできること。こうしたプレーヤーフィロソフィーを土台に、自立と信頼に基づく本物のチームワークを築いています。

事業部は、観客動員の増加を通じてスタジアムの熱量を高め、昇格を目指す選手とチームを後押しする役割を担っています。地域の大学や専門学校の学生に向けてGM(ゼネラルマネジャー)が講演したり、定期的なサッカー教室や18歳以上を対象とした大人の軽運動

レッスンを開催したりと、地域の人々と交流し、地域に根差した存在となることを目指しています。ホームゲームでは、「休日はふじざくらの試合に行こう」としてもらえるよう、キッチンカーの出店や体験型ブース、親子で楽しめるイベントなどを充実させ、来場者それぞれが価値ある時間を過ごせる空間づくりに努めています。

FCふじざくら山梨は、これからも地域の皆さまを大切に、サッカーを通して感動を届ける存在でありたいと考えています。ピッチ内外の全ての力を結集し、地域と共に歩みながら、その先にある「1部昇格」を目指して2026シーズンも挑み続けます。



富士山の麓に広がるブルーの景色、FCふじざくら山梨のホームゲーム風景



笑顔でグータッチを交わす、選手とふじざくらファミリー



U-18フットサル香川県選抜の活動意義

香川県フットサル連盟 高松北高等学校サッカー部 監督 眞鍋佳幹

<https://www.jff-futsal.or.jp/>

香川県では育成年代を中心に徐々にフットサルに触れる機会が増えてはきていますが、まだまだ少ないのが現状です。FIFAランキング上位のスペインとブラジルは、サッカー大国でありながらフットサル大国でもあります。ジュニア年代にフットサルから始める子どもたちがほとんどで、個人技術だけでなく、2人組の関係などのグループ戦術を幼少期から身に付けます。海外選手の駆け引きのうまさは、フットサルを通して身に付けたものであるといっても過言ではありません。

私は高校サッカー部の監督をしています。サッカーをメインに活動している選手たちにフットサルの指導を行っています。サッカーのプレー中にフットサルの要素を取り入れることができるようになってほしいと考えているからです。私は香川県で生まれ、小学生の頃から地元のクラブチームでサッカーをしており、指導者になるまでフットサルとは無縁でした。現在、監督を務める高松北高校サッカー部では、前監督がサッカーとフットサルの両方を指導していたことから、私もコーチとしてフットサルの指導を始めました。フットサルは学ぶほど奥が深く、新たな切り口でサッカーについて考えるきっかけになりました。

U-18フットサル香川県選抜は「フットサルのプレーを通して、サッカーにフットサルの戦術や技術を取り入れることができるようになる」ことを目的とし、2023年2月に開催された「第1回四国U18選抜フットサル大会」に参加するために発足しました。香川県選抜は四国U18選抜フットサ

ル大会を3連覇しており、第2回大会で優勝後、「FUTSAL KOBE FESTA 2024 ユースフットサル選抜トーナメント」に出場し、ベスト4の結果を収めました。U-18フットサル香川県選抜は高校サッカーをしている選手で構成され、フットサルの戦術を知らない選手もいます。選抜チームとしての活動時間をあまり取れないため、クリアランスやセットプレーなどは十分に指導ができません。普段、チームのサッカーでやっていることを大切に、その上でフットサルの戦術や技術を指導しています。U-18フットサル香川県選抜の経験を通して、フットサルの奥深さを知り、将来サッカーだけでなくフットサルをプレーし続ける選手を多く輩出できるように活動を続けていきます。



FUTSAL KOBE FESTA 2024ユースフットサル選抜トーナメント ベスト4メンバー



楽しみなビーチサッカー

一般社団法人長野県サッカー協会 フットサル委員長・FC青木SPIRITS代表 小林祐毅

<http://jbsf.or.jp/>

長野県サッカー協会は2025年、日本サッカー協会のファミリーフットサル事業を活用して「ファミリービーチサッカーフェスティバル」と銘打ったイベントを駒ヶ根高原で2回開催しました。南信州の駒ヶ根高原には、ビーチバレーボールコート4面分のサンドグラウンドを持つ「森と水のアウトドア体験広場」があります。海のない長野県ですが、2011年から関係者の努力により、この公園でビーチサッカーが行われています。

2回のフェスティバルでは、静岡県から来てくれたビーチサッカー選手たちに特有のルールや技術を教えてもらいながら、多くのファミリーが初のビーチサッカーに挑戦しました。高原の澄んだ空気の中を裸足で駆け回る解放感は格別で、転んでも空振りしても笑顔。参加者の皆さんは砂まみれになりながら、伸び伸びとビーチサッカーを楽しんでいました。

私が代表を務めるジュニアチーム「FC青木SPIRITS」も以前からこの公園で開催されるビーチサッカー体験会に参加しています。体験会が終わると、選手たちは「次はいつ?」と必ず聞いてきます。選手たちの中にはサッカーやフットサルよりもビーチサッカーが一番好きと言う選手も出てきました。半数の選手たちは、公園のそばを流れる川での水遊びが目的のかなと思ったりもしますが、選手たちにとってビーチサッカーは一つの冒険なのでしょう。このような冒険を保護者

や私自身も一緒になって楽しんでいます。

FC青木SPIRITSは、昨年度は新潟県柏崎で開催された北信越U-12ビーチサッカーフェスティバルに、そして兵庫県明石市で開催されたビーチサッカーU-12フェスティバル（JBSF主催）に参加しました。見知らぬ土地まで遠征して、そこで初めて会う友だちと一つのボールを裸足で追いかける選手たちの姿を、いつもまぶしく見えています。

長野県でビーチサッカーをプレーすることができるのは、今は駒ヶ根高原の公園だけです。長野県は雪国でもあります。限られた環境、少ない機会ではありますが、だからこそ大切に、そして多くのファミリーと一緒にビーチサッカーを楽しんでいきたいと考えています。



ビーチサッカーで冒険を続けるFC青木SPIRITS



森の中のファミリービーチサッカーフェスティバルの参加者



日本障がい者サッカー連盟便り



国内初!アンプティサッカーの国際大会、東京で開催

日本アンプティサッカー協会 事務局広報部 鈴木 要

<https://www.jiff.football/>

2026年1月16日から18日の3日間、駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場で、日本国内では初となるアンプティサッカーの国際大会「アンプティサッカー インターナショナルチャレンジカップー東京2026ー」が開催されました。本大会には日本、インドネシア、スペイン、ポーランドの4チームが参加し、総当たり戦で熱戦が繰り広げられました。

大会期間中は天候にも恵まれ、3日間を通して2,693人にご来場いただきました。国内で初めての国際大会ということもあり、会場には初めてアンプティサッカーを観戦する人も多く見受けられました。選手たちがクラッチを巧みに操りながらスピード感あふれるプレーを展開する姿に、大きな歓声や拍手が送られました。ピッチ上で見せる迫力ある攻防、最後まで諦めずに戦い抜く姿勢、そしてチームとしての連係は、観客の皆さまに強い印象を残したと感じています。

結果は、ポーランド代表が3戦全勝で優勝、スペイン代表が2勝1敗で2位、日本代表は1勝2敗で3位、インドネシア代表が3敗で4位でした。日本代表は、初戦でインドネシアに3-0で勝利し、好スタートを切りましたが、続くスペイン戦は1-3、最終日のポーランド戦は0-3で敗れ、世界の強豪国との対戦を通して課題と大きな学びを得る大会となりました。国際舞台で得た経験は、選手・スタッフにとって今後の競技力向上につながる貴重な財産になると確信しています。

また、本大会のMVPにはポーランド代表のKrystian Kaplon選手が選出され、各国の優秀選手7人が「オールスター7」として表彰されました。日本代表からは、後藤大輝選手(ガネーシャ静岡AFC所属)がオールスター7に選出。後藤選手のダイナミックなプレーやゴールは、会場を大いに沸かせてくれました。

本大会で、特に大きな成果だと捉えているのは、多くの人にアンプティサッカーを「知ってもらう」だけでなく、「実際に見てもらえた」ことです。観客と選手が同じ空間で感動を共有し、競技の魅力を直接伝えられたことは、今後のアンプティサッカーの発展につながる確かな手応えとなりました。

日本アンプティサッカー協会は、今後も継続的な強化と普及活動を進め、誰もがスポーツを楽しめる社会の実現を目指してまいります。引き続き、応援をよろしくお願いたします。



オールスター7を受賞した後藤大輝選手(大会1日目 インドネシア戦)

全日本大学サッカー連盟便り



歴史的な1年から激動の1年に

一般財団法人全日本大学サッカー連盟 専務理事 櫻井 友

<https://www.jufa.jp/>

2025年は、競技面においては全日本大学選抜がヨーロッパ遠征を行い、セリアAのフィオレンティーナに2-1で勝利し、日本のみならず世界を驚かせました。競技面以外では、日本のスポーツ団体としてはおそらく初めてとなるリスク資産への投資運用をスタートさせました(本誌2025年9月号参照)。そんな歴史的なシーズンになった2025年ですが、12月27日に全日本大学サッカー選手権大会決勝が栃木県グリーンスタジアムで行われ、筑波大学の10度目の優勝で無事終了しました。

そして迎える2026年は、デンソーカップチャレンジサッカーが40回目、日韓定期戦が25回目、総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントが50回目、全日本大学サッカー選手権大会は75回目、さらに本連盟が設立されて50年目となるメモリアルなシーズンとなります。

また、Jリーグは秋春制に移行されます。大学サッカーにとってJリーグが誕生した年以上にインパクトのある年になるのではないかと考えています。それは本連盟としてJリーグがシーズン移行しても、教育制度は4月に始まり3月に終わることから、スケジュールをJリーグに合わせることは現実的ではなく、日程にズレが生じるからです。それに伴い、大学のシーズン途中で退部してJリーグに移籍するという選手が増えることが想定されます。毎年180人程度が大学を卒業してプロに転向していますが、これが一気にJリーグに行くとなると、引き抜かれたサッカー部の戦力低下はもちろんのこと、それに伴ってリーグ戦や大会の競技力の

低下につながり、中長期的に見たときに大学サッカー全体の質の低下に波及する恐れがあります。そして、大学サッカー全体の質の低下は、大卒選手が多いJリーグとも無関係ではなく、最終的には日本サッカー全体の質の低下となる可能性が高くなります。もちろんシーズン途中でJクラブに行くことが悪いと言っているわけではありません、人それぞれ成長は異なるわけで、シーズン途中で活躍の場を変えることで急成長する学生もいれば、そうではない学生もいると思います。本連盟はプロの養成機関ではなく、社会をけん引する人材育成を目的としているため、学生の人としての成長を考えると4年生の1年間は大事だと考えています。

Jリーグの考え、学生の考え、大学側の考え、そして本連盟の考えと、置かれている立場で見えてくるものは異なり、そこに正解はないと思います。ただ何もルールがない現状は好ましくないと考えています。学生の成長、それが日本サッカー、日本社会の発展につなげられるように、現在対応を考えています。いつか2026年を振り返ったときに、間違いなくターニングポイントになったと言われるはずですが、そのときに良い選択をしたと言ってもらえるような対応策を講じていきたいと考えています。

最後になりましたが、サッカーを支えてくださっている全ての皆さまに感謝申し上げますとともに、引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げます。

会議レポート



公益財団法人日本サッカー協会 2026年度第1回理事会

公式URL https://www.jfa.jp/about_jfa/report/executive_committee.html



日本サッカー協会（JFA）は2026年1月15日、2026年度第1回理事会をJFAハウスで開催した。決議、報告された事項は、下記の通り。

決議事項

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1 指導者に関する規則改正…………… P35 | 3 U-16、U-15日本代表監督の選任…………… P35 |
| 2 役員等推薦委員会委員の決定…………… P35 | |

指導者に関する規則改正

「指導者に関する規則」を下記の通り改正する。なお、本件は技術委員会指導者養成部会（2025年12月1日開催）にて審議され、技術委員会（2025年12月8日開催）での決議を経た。

●改正内容

障がい者サッカー連盟管轄チーム指導者へのチーム指導ポイント付与について

「指導者に関する規則」における「第6節 リフレッシュポイント」「第19条（1）付与対象の指導者」に、以下の指導者を追加するものとする。

追加する指導者：障がい者サッカー連盟が承認した監督およびコーチ

※障がい者サッカー連盟または障がい者サッカー各団体が承認した障がい者サッカーチーム指導者および障がい者サッカー日本代表スタッフを含む
※付与内容・規定については現在の規則に準じる

●改正の背景

JFAに加盟していない海外チームを指導しているJFA登録指導者に対しては、証明書の提出をもってチーム指導ポイント相当分のポイントを付与している。障がい者サッカー連盟が管轄するチームを指導するJFA登録指導者についても同様に、証明書の提出をもって指導ポイント付与の対象とするよう規則を改正するもの。

役員等推薦委員会委員の決定

役員等推薦委員会の委員選出について、理事のうち3名および補欠1名を下記の通りとする。

なお、評議員の3名および補欠1名、ならびに本協会から完全に独立した立場の有識者2名は、2025年度臨時評議員会（12月20日開催）において委員候補者として承認された。

●役員等推薦委員会委員（案）（敬称略）

- 会長予定者 宮本恒靖（2025年度臨時評議員会[10月26日開催]にて承認）
- 理事のうち3名（2025年度第15回理事会[12月11日開催]において議論された委員候補者）
 - 須藤実和 理事（公認会計士／報酬委員会 委員）
 - 田中琢二 理事（報酬委員会 委員長）
 - 西本強 理事（弁護士／コンプライアンス委員会 委員長）
（補欠）西原一将 副会長（報酬委員会 委員）※
- 評議員のうち3名
 - マキナリー浩子 評議員（一般社団法人長野県サッカー協会 会長）
 - 山崎和伸 評議員（株式会社日立柏レイソル 代表取締役社長）

- 山本康太 評議員（一般社団法人日本障がい者サッカー連盟 事務総長）
（補欠）森進一 評議員（一般財団法人岐阜県サッカー協会 副会長）※

（4）本協会から完全に独立した立場の有識者2名

- 佃秀昭 氏（株式会社ボードアドバイザーズ 代表取締役社長）
- 藤沢久美 氏（株式会社国際社会経済研究所 理事長）

※「役員の選任及び会長等の選定に関する規程」第22条第5項に基づき、補欠の委員として選任する。

【参考】

役員の選任及び会長等の選定に関する規程
第22条【役員等推薦委員】

1. 役員等推薦委員会は、次の役員等推薦委員をもって構成する。

- 会長予定者
- 理事のうち3名
- 評議員のうち3名
- 本協会から完全に独立した立場の有識者2名

U-16、U-15日本代表監督の選任

下記の男子ナショナルコーチングスタッフを選任する。

●U-16日本代表監督（FIFA U-17ワールドカップ2027出場を目指す）

廣山望（ひろやまのぞみ）

<プロフィール>

名前：廣山望（ひろやまのぞみ）

生年月日：1977年5月6日

出身地：千葉県

選手歴（サッカー）：

- | | |
|------------|------------------|
| 1993～1996年 | 習志野市立習志野高校サッカー部 |
| 1996～2000年 | ジェフユナイテッド市原 |
| 2001年 | ゼロ・ボルテアニョ（パラグアイ） |
| 2002年 | スポルチ・レシフェ（ブラジル） |

次ページ左上へ続く



2002～2003年 スポルティング・ブラガ(ポルトガル)

2003～2004年 モンペリエHSC(フランス)

2004年 東京ヴェルディ1969

2005年 セレッソ大阪

2006～2008年 東京ヴェルディ

2009～2010年 ザスパ草津

2011～2012年 リッチモンド・キッカーズ(アメリカ)

指導歴 : 2013～2014年 JOCスポーツ指導者海外研修(スペイン・バルセロナ)

2014年 JFAアカデミー福島U-15B 監督

2015年 JFAアカデミー福島U-15 監督

2016年 JFAアカデミー福島U-18 チャレンジ 監督

2017年 U-15日本代表 コーチ / JFAアカデミー福島U-14 監督

2018年 JFAアカデミー福島U-15 監督

2019～2020年 U-15 / U-16 / U-17日本代表 コーチ

2021年 U-15日本代表 監督 / JFAアカデミー福島U-15 監督

2022年 U-15日本代表 監督 / U-16日本代表 コーチ

2023年 U-16日本代表 監督 / U-17日本代表 コーチ

2024年 U-16日本代表 監督

2025年 U-17日本代表 監督

指導者ライセンス : 2016年 JFA Proライセンス 取得

※所属は加入当時の名称

●U-15日本代表監督(FIFA U-17ワールドカップ2028出場を目指す)
城和憲(じょう かずのり)

<プロフィール>

名前 : 城和憲(じょう かずのり)

生年月日 : 1983年6月1日

出身地 : 北海道

選手歴(サッカー):

1999～2002年 鹿児島実業高校

2004～2006年 ヴォルカ鹿児島

2007～2010年 ホンダロック SC

指導歴 : 2009～2010年 宮崎県立佐土原高校

2010～2012年 ホンダロック SC

2016～2018年 47FAインストラクター(宮崎県)

2018年 47FAユースダイレクター(宮崎県)

2019年 JFAナショナルトレセンコーチ/地域チーフコーチ(九州)

2020～2021年 JFAコーチ/地域統括ユースダイレクター(九州)

2021年 U-17日本代表 コーチ

2022～2023年 JFAコーチ/地域担当チーフ(九州)

2022年 U-17日本代表 監督

2023～2024年 JFAユース育成サブダイレクター

2023年 U-19日本代表 監督

2024年 U-17日本代表 監督

2025年 JFAユース育成ダイレクター

2025年 U-18日本代表 監督

指導者ライセンス : 2023年 JFA Proライセンス 取得

※所属は加入当時の名称

報告事項

- 1 各カテゴリー日本代表コーチングスタッフの選任 P36
- 2 「倫理・コンプライアンスタスクフォース」の答申 P37
- 3 第34回FIFAカウンシル会議(12月17日開催) P38
- 4 指導者ライセンス認定の件 : Proライセンス P38
- 5 2026年度Proライセンスコーチ養成講習会受講者 P38
- 6 1級審判員および1級審判インストラクター 勇退者表彰 P39
- 7 日本サッカー後援会 継続会員表彰 P39
- 8 審判員海外派遣 P40
- 9 JFAロングバイル人工芝ピッチ公認(新規) P40
- 10 裁定委員会に関する懲罰 P40
- 11 不服申立委員会の決定 P40

各カテゴリー日本代表コーチングスタッフの選任

各カテゴリーの日本代表のコーチングスタッフを、技術委員会(1月14日開催)にて下記の通り選任する。

●U-19日本代表コーチングスタッフ
(FIFA U-20ワールドカップ2027出場を目指す)
コーチ : 白石通史(しらいし みちふみ)

●U-16日本代表コーチングスタッフ
(FIFA U-17ワールドカップ2027出場を目指す)

コーチ : 白石通史(しらいし みちふみ)
コーチ : 小野木玲(おのぎ れい)
GKコーチ : 山岸範宏(やまぎし のりひろ)
フィジカルコーチ : 佐藤哲哉(さとう てつや)

●U-15日本代表コーチングスタッフ
(FIFA U-17ワールドカップ2028出場を目指す)
コーチ : 大畑開(おおはた かい)
GKコーチ : 山岸範宏(やまぎし のりひろ)

<2026年ナショナルコーチングスタッフ体制(1月15日現在)>

二重下線= 理事会決議、下線=理事会報告(技術委員会決議)、太字=新規

代表強化					
各代表チームスタッフ					
チーム	監督	コーチ	GKコーチ	フィジカルコーチ	テクニカル
SAMURAI BLUE FIFAワールドカップ2026	森保一	名波浩 齊藤俊秀 前田遼一 長谷部誠	下田崇	松本良一	寺門大輔 若林太智 中下征樹 渡邊秀朗
U-21日本代表 AFC U23アジアカップ/ロス五輪	大岩剛	羽田憲司 越智滋之	佐藤洋平	矢野由治	和氣昌平
U-19日本代表 AFC U20アジアカップ2027 FIFA U-20ワールドカップ2027	山口智	菅原大介 白石通史	高原寿康	大塚慶輔	竹内智基
U-18日本代表	*	*	*	*	*
U-17日本代表 AFC U17アジアカップ2026 FIFA U-17ワールドカップ2026	小野信義	山橋貴史	井出大志	小嶺肇之	引田真尋

左ページ左上へ続く

U-16日本代表 AFC U-17アジアカップ2027 FIFA U-17ワールドカップ2027	廣山望	白石通史 小野木玲	山岸範宏	佐藤哲哉	羽山温音
U-15日本代表 AFC U-17アジアカップ2028 FIFA U-17ワールドカップ2028	城和憲	大畑開	山岸範宏	.	.

*ナショナルコーチングスタッフ、JFAコーチ、ロールモデルコーチ、各種プロジェクトメンバーより技術委員会にて適宜選任予定。

「倫理・コンプライアンスタスクフォース」の答申

倫理・コンプライアンスタスクフォースの検討結果を踏まえた答申書について報告する。

【JFA倫理・コンプライアンスタスクフォース答申書について】

1. 名称 : JFA倫理・コンプライアンスタスクフォース
2. 設置日 : 2025年10月28日
3. 位置づけ : 理事会の諮問機関
4. 目的 : 昨今発生した一連のコンプライアンス事案を踏まえ、サッカー界の倫理・コンプライアンスの実践・順守を推進するために、第一段階として、当協会の組織風土の醸成や組織体制の構築に向けた実効性のある改善策・再発防止策を理事会に提言する。

5. 体制:

	名前	当協会での役職
メンバー	1 宮本恒靖 (座長)	会長
	2 湯川和之	専務理事
	3 山口香	常務理事
	4 西本強 (副座長)	理事、コンプライアンス委員長
	5 三好豊	法務委員長
	6 今井純子	リスベクト委員長
監事	福田雅	監事
	生田圭	監事

6. 会議 : 2025年11月13日、12月12日、12月22日

7. 理事会に提言した改善策／再発防止策

(1) JFA役職員らのコンプライアンス意識の向上策

① トップの意識と組織風土の改革

● サッカー界によるメッセージ発信

コンプライアンスを組織の最優先事項とする旨の会長らによるメッセージをJFA内外に対して繰り返し発信する。

● 集中的な議論の場

JFAの事業特性や組織構造を踏まえた上で効果的な改革を実行していく必要がある。どのような改革が必要なのかを集中的に議論する会議体を設け(あるいは既存の会議体を利用して)施策を講ずることも考えられる。その際にはJFAだけの閉塞的な議論にならないように留意すべきである。

● 風通しの良い組織作り

コンプライアンスに関する幹部と職員との間のコミュニケーションを図る機会を設ける等の方策を取ることで、双方向の自由闊達な議論が生まれる組織風土を醸成することが重要といえる。

② 研修・教育改革

一連のコンプライアンス事案は正確な法規範やルールの知識を欠いていたことが大きな原因の一つとなっており、研修・教育プログラムの改革が必要である。

● 研修・教育プログラムの策定

JFAの状況を踏まえ、研修・教育の方針、対象者、テーマ設定、頻度・回数、

教育ツールなどを体系的に考えた研修・教育プログラムを策定するべきである。緊急性、優先順位の高いものから順次開始するべきであるが、場当たり的にならないように注意する必要がある。

● 対象者とテーマの拡大

研修・教育プログラムは、JFA事務局職員に加え、日本代表選手、JFA役員、委員会委員なども対象に含めるべきである。倫理・コンプライアンス方針の内容といった基本からの学び直しが必要である。また、グローバルに活動をしているJFAの性質上、海外の文化・習慣やルールなどの基本的なことについても取り上げるべきである。

● チーム学習

受講者にとって受け身の学習だけでなく、チーム学習なども交え、役職員らがコンプライアンスを実践・順守する上での課題を主体的に話し合う時間を定期的につくる方策などもある。

③ 人権ポリシーの策定・公表

JFAは倫理規範やコンプライアンス・ハンドブックなどで「人権尊重と差別の禁止」については規定しているものの、JFAとしての人権ポリシーを新たに策定・公表することも考えられる。

④ エンフォースメント：処分と周知

コンプライアンスの実効性を高めるためには、研修・教育だけでは不十分であり、コンプライアンスに違反した者に対しては、罰則を科すなど適切な処分を行うことが必要となる。また、コンプライアンス違反を未然に防ぐという観点からは、コンプライアンス事案と処分の内容を(プライバシーに配慮しつつ匿名化するなどして)JFA内に周知することも考えられる。

(2) コンプライアンス実践、順守を推進するための組織体制・仕組みの見直し

① 内部統制システムの再構築(規程類の見直し含む)

JFAにおいても明確なコンプライアンス体制を構築することが必要である。また、JFAにおいては、倫理・コンプライアンス関連だけでも、「倫理・コンプライアンス方針」「倫理規範」「JFAコンプライアンス・ハンドブック」「役員行動規範」といったように、倫理や服務に関するものが複数あるが、一部方針や規則類が重複しており、形骸化しているものもある。そのため、こうした規程類の見直し・整理も必要である。

② リスク管理体制の改善

リスク管理体制が脆弱であるのは明らかであり、改善が望まれる。

③ 通報制度の現在の運用体制の改善・周知

JFAには、現在、主に「JFAホイッスルブローイング」、「加盟団体ホイッスルブローイング」、「暴力等根絶相談窓口」等の通報制度が整備されている。報復の恐れなどなく安心して通報してもらえるような体制とするために、必要な運用の改善と徹底した周知も必要である。

④ 定期的なアンケートの実施

コンプライアンスに関するアンケートの実施は、コンプライアンス状況をモニタリングする上でも定期的に行うことが望まれる。

8. 今後の予定

(1) 2026年2月に開催されるJFA理事会において具体的な施策を決定する。

(2) 理事会による改善策・再発防止策の実行状況を含め、コンプライアンスの推進に対するモニタリングをより一層強化する。

第34回FIFAカウンシル会議(12月17日開催)

第34回FIFAカウンシル会議が2025年12月17日にカタール・ドーハで開催された。
主な決定・報告事項は下記の通り。

(1) FIFAワールドカップ2026の賞金・準備金は以下の通り。

総額：7.27億USD
出場準備金(各チーム)：150万USD
賞金：優勝 5,000万USD
準優勝 3,300万USD
3位 2,900万USD
4位 2,700万USD
5～8位 1,900万USD
9～16位 1,500万USD
17～32位 1,100万USD
33～48位 900万USD

(2) 211加盟協会を招聘するフェスティバル形式のFIFA男子U-15大会を2026年に開催する。

また、2027年は同女子U-15、2028年以降は男女別の大会を開催する。

(3) 紛争地域向け復興支援ファンドを設立する。

(4) 第34回オリンピック競技大会(2028/ロサンゼルス)における大陸連盟別の出場枠数は以下の通り。

<女子>

アジアサッカー連盟(AFC)：2.5枠
アフリカサッカー連盟(CAF)：2枠
北中米カリブ海サッカー連盟(Concacaf)：3枠
南米サッカー連盟(CONMEBOL)：2.5枠
オセアニアサッカー連盟(OFC)：1枠
ヨーロッパサッカー連盟(UEFA)：4枠
ホスト国(アメリカ合衆国)：1枠

<男子>

AFC：2枠
CAF：2枠
Concacaf：1枠
CONMEBOL：2枠
OFC：1枠
UEFA：3枠
ホスト協会(アメリカ合衆国)：1枠

(5) FIFA女子クラブワールドカップを2028年1月5日～31日に開催する。

指導者ライセンス認定の件：Proライセンス

Proライセンスコーチ養成講習会において、国内外インターンシップを含む全てのカリキュラムを修了し、全ての評価項目において合格した下記5名について、指導者に関する規則第4条「ライセンスの認定」に基づき、Proライセンスを認定した。

【2025年度】

(1) 名前：市川大祐(いちかわ だいすけ)

指導チーム：清水エスパルスユース
生年月日：1980年5月14日
資格：2020年 Aジェネラルライセンス 取得
指導歴：2017～2018年 清水エスパルスサッカースクール コーチ
2019年 清水エスパルスU-13 監督
2020年 清水エスパルスU-14 監督
2021年 清水エスパルスU-15 監督
2022年 清水エスパルスジュニアユース三島U-13 監督
2023～2024年 清水エスパルス トップチームコーチ
2025年 清水エスパルス トランジションコーチ

(2) 名前：大谷秀和(おおたに ひでかず)

指導チーム：柏レイソル トップチーム
生年月日：1984年11月6日
資格：2023年 Aジェネラルライセンス 取得
指導歴：2023年～ 柏レイソル トップチームコーチ

(3) 名前：田中達也(たなか たつや)

指導チーム：浦和レッズ トップチーム

生年月日：1982年11月27日

資格：2024年 Aジェネラルライセンス 取得

指導歴：2022～2024年 アルビレックス新潟 アシスタントコーチ
2025年 アルビレックス新潟U-18 監督

(4) 名前：前田高孝(まえだ たかのり)

指導チーム：近江高校サッカー部
生年月日：1985年6月30日
資格：2018年 Aジェネラルライセンス 取得
指導歴：2009～2011年 西宮少年サッカースクール Jr Yコーチ
2012～2014年 関西学院大学体育会サッカー部 ヘッドコーチ
2015年～ 近江高校サッカー部 監督

(5) 名前：宮澤浩(みやざわ ひろし)

指導チーム：AI KHLOOD F.C.(SPLサウジブリーグ)ヘッドコーチ
生年月日：1970年11月22日
資格：2018年 オセアニアAライセンス取得
指導歴：2013～2018年 Auckland United F.C 監督(ニュージーランド)
2018～2021年 New Zealand U-20/U-23 ヘッドコーチ
2021～2023年 Mumbai City F.C.(ISL インドスーパーリーグ)ヘッドコーチ
2024～2025年 神奈川大学サッカー部 コーチ

※2025年度 Proライセンスコーチ認定者数：12名/20名中(上記5名含む)

2026年度Proライセンスコーチ養成講習会受講者

2026年度Proライセンスコーチ養成講習会の受講希望者を対象に、2025年12月にトライアルを実施し、選考した結果、下記の通り決定した。

【トライアル概要】

一次(指導実践)：12月14日(日)、15日(月)、16日(火)

二次(指導実践/個人面談)：12月20日(土)、21日(日)、22日(月)、23日(火)
選考方法：書類選考を通過した58名に対し、指導実践を実施。さらに一次選考の通過者に対して、指導実践、映像分析、面談を実施。
上記にて実施したトライアルの成績順により、上位24名を選考

【2026年度Proライセンスコーチ養成講習会 参加者 (24名)】

No.	コース	名前	ふりがな	性別	指導チーム	所属	役職
1	第1コース	有町紗央里	ありまち さおり	女性	マイナビ仙台レディース		コーチ
2	第1コース	遠藤保仁	えんどう やすひと	男性	ガンバ大阪		コーチ
3	第1コース	角田誠	かくだ まこと	男性	レイラック滋賀		強化部長
4	第1コース	近賀ゆかり	きんが ゆかり	女性	サンフレッチェ広島レジーナ	アンバサダー	ロールモデル
5	第1コース	興沼慎三	こおろき しんぞう	男性	浦和レッズアカデミー		コーチ
6	第1コース	小林亮	こばやし りょう	男性	鹿児島ユナイテッドFC		ヘッドコーチ
7	第1コース	竹原靖和	たけはら やすかず	男性	石川県サッカー協会		FAコーチ
8	第1コース	玉田圭司	たまだ けいじ	男性	名古屋グランパス		コーチ
9	第1コース	奈良安剛	なら やすよし	男性	関東学院大学サッカー部		監督
10	第1コース	水本裕貴	みずもと ひろき	男性	AC長野パルセイロU-18		監督
11	第1コース	山口貴弘	やまぐち たかひろ	男性	湘南ベルマーレU-18		コーチ
12	第1コース	渡邊匠	わたなべ たくみ	男性	いわきFC		コーチ

No.	コース	名前	ふりがな	性別	指導チーム	所属	役職
13	第2コース	太田圭輔	おおた けいすけ	男性	University of Central Florida		コーチ
14	第2コース	佐藤実	さとう まこと	男性	堀越高校サッカー部		監督
15	第2コース	高橋大輔	たかはし だいすけ	男性	サガン鳥栖		コーチ
16	第2コース	高橋秀人	たかはし ひでと	男性	Auckland United FC U17/23		監督
17	第2コース	高橋泰	たかはし ゆたか	男性	ロアッソ熊本		コーチ
18	第2コース	中島俊一	なかじま しゅんいち	男性	いわきFCアカデミー		ディレクター
19	第2コース	野田明弘	のだ あきひろ	男性	十文字学園女子大学サッカー部		監督
20	第2コース	長谷部誠	はせべ まこと	男性	Eintracht Frankfurt U21 日本代表		コーチ
21	第2コース	久永辰徳	ひさなが たつり	男性	アビスパ福岡U-18		監督
22	第2コース	兵藤慎剛	ひょうどう しんごう	男性	早稲田大学ア式蹴球部		監督
23	第2コース	前迫雅人	まえさき まさと	男性	浦和レッズ		コーチ
24	第2コース	前田遼一	まえだ りょういち	男性	日本代表		コーチ

※50音順 (コース毎)
※指導チーム・所属、役職は1月時点

1級審判員および1級審判インストラクター 勇退者表彰

2025年をもって勇退した下記の審判員および審判インストラクターについて、長年にわたりトップカテゴリーにおいて審判または審判指導者活動をするなど審判技術の向上等に著しく貢献したことに対して感謝の意を表するため、「審判員及び審判指導者等に関する規則」第14節第43条〔表彰〕および「表彰規則」に基づく審判委員会からの推薦により表彰することを、殿堂・表彰委員会が決定した。

(以下、敬称略、五十音順)

(1) 2025年をもって引退した審判員

① サッカー1級審判員

- 五十嵐泰之 (いがらし ひろゆき)
- 今村義朗 (いまむら よしろう)
- 大塚晴弘 (おおつか はるひろ)
- 大村美詞 (おおむら みこと)
- 緒方実央 (おがた みお)
- 岡部拓人 (おかべ たくと)
- 金崎藍子 (かなさき あいこ)
- 木川田博信 (きかわだ ひろのぶ)
- 田尻智計 (たじり ともかず)
- 千葉恵美 (ちば えみ)
- 塚原健 (つかはら たけし)
- 中野卓 (なかの たく)
- 長谷拓 (ながや たく)
- 野村修 (のむら おさむ)
- 馬場規 (ばば ただし)
- 濱崎寛美 (はまさき さとみ)
- 原尾実祐 (はらお えいすけ)
- 日比野真 (ひびの まこと)
- 松尾久美子 (まつお くみこ)
- 三上正一郎 (みかみ しょういちろう)
- 吉田瑞希 (よしだ みずき)

② フットサル1級審判員

- 板橋海 (いたばし かい)
- 柿本大吾 (かきもと だいご)
- 原田弘之 (はらだ ひろゆき)
- 向山悟 (むこうやま さとる)

(2) 2025年をもって引退した審判インストラクター

① サッカー1級審判インストラクター

- 長田和久 (おさだ かずひさ)
- 柿花和夫 (かきはな かずお)
- 遠山昭仁 (とよやま あきひと)
- 平野伸一 (ひらの しんいち)
- 山城大 (やましろ とおる)

② フットサル1級審判インストラクター

- 阿部岩雄 (あべ いわお)
- 伊崎公男 (いざき きみお)
- 伊藤隆俊 (いとう たかとし)
- 大野浩二 (おおの こうじ)
- 山中正男 (やまなか まさお)

<参考>

【審判員及び審判指導者等に関する規則】

第14節 審判員及び審判指導者の表彰並びに懲罰
第43条〔表彰〕

本協会は、審判技術の向上等に著しく貢献のあった審判員及び審判指導者を表彰する。

【表彰規則】

(対象者)

第3条 本協会が行う表彰の対象者は、次のとおりとする。

(7) 審判員及び審判指導者 (以下「審判員等」という。)

(表彰事由)

第4条 本協会は、前条の対象者が次の各号のいずれかに該当する場合に表彰を行う。

(3) 審判員として永年にわたり、競技運営に貢献したとき

(表彰者の決定)

第6条 表彰者の決定は、理事会において行う。

ただし、別表に定める者については、表彰委員会がその内容を確認した上で決定し、理事会に報告するものとする。

別表

① サッカー1級・サッカー女子1級・フットサル1級審判員勇退者で審判委員会から推薦があった者

② サッカー・フットサル1級審判インストラクター勇退者で審判委員会から推薦があった者

日本サッカー後援会 継続会員表彰

1977年の日本サッカー後援会の発足以来、同団体から日本代表強化等のために毎年交付金を受けており、その累計は約20億円に上る。については、日本サッカー後援会会員の長年の援助に対する感謝として以下の通り表彰する。なお、本件につ

いては、表彰規則第6条ののっとり、2025年度第5回殿堂・表彰委員会 (10月23日開催) で承認された。



(1) 日本サッカー後援会会員在籍30年表彰

- ①対象 : 日本サッカー後援会会員として30年在籍した会員
 - ②贈呈品 : 2026年中に日本代表戦1試合への招待および記念盾の贈呈
 - ③被表彰者: 62名
 - ④備考 : 2008年度より表彰実施
- ※過去実績(直近10年): 2025年41名、2024年8名、2023年32名、2022年40名、2021年21名

(2) 日本サッカー後援会会員在籍40年表彰

- ①対象 : 日本サッカー後援会会員として40年在籍した会員
 - ②贈呈品 : 2026年中に日本代表戦1試合への招待および記念盾の贈呈
 - ③被表彰者: 9名
 - ④備考 : 2016年度より表彰実施
- ※過去実績: 2025年10名、2024年11名、2023年8名、2022年8名、2021年13名

【参考】日本サッカー後援会からの交付金収入(直近5年)

- 2021年度 50,000千円 (JFA 30,000千円、なでしこリーグ5,000千円、JFL 5,000千円、フットサル連盟5,000千円、障がい者サッカー連盟5,000千円)
- 2022年度 50,000千円 (JFA 30,000千円、なでしこリーグ5,000千円、JFL 5,000千円、フットサルトップリーグ5,000千円、障がい者サッカー連盟5,000千円)
- 2023年度 50,000千円 (JFA 30,000千円、なでしこリーグ5,000千円、JFL 5,000千円、フットサルトップリーグ5,000千円、障がい者サッカー連盟5,000千円)
- 2024年度 50,000千円 (JFA 30,000千円、なでしこリーグ5,000千円、JFL 5,000千円、フットサルトップリーグ5,000千円、障がい者サッカー連盟5,000千円)
- 2025年度 55,000千円 (JFA 30,000千円、なでしこリーグ5,000千円、JFL 5,000千円、フットサルトップリーグ5,000千円、障がい者サッカー連盟5,000千円、デフサッカー日本代表チーム5,000千円)

審判員海外派遣

委員会、大会、試合など	役職	名前	試合日または派遣(受け入れ)期間	場所
AFCチャンピオンズリーグエリート 2025/2026 リーグステージ ウェスト AL WAHDA FC (アラブ首長国連邦 [UAE]) vs AL SADD SC (カタール)	審判員	谷本涼、西橋勲、武部陽介、長峯滉希、荒木友輔、三原純	2025年11月25日	アブダビ/UAE
FC女子アジアカップフェレリーセミナー2025	審判員	山下良美、小泉朝香、坊園真琴、一木千広	2025年12月1日~5日	バンコク/タイ
FIFAアラブカップ2025	審判員	飯田淳平	2025年12月1日~18日	ドーハ/カタール
AFCチャンピオンズリーグ TWO 2025/26 グループステージ グループG SELANGOR FC (マレーシア) vs LION CITY SAILORS FC (シンガポール)	審判員	笠原寛貴、浅田武士、長峯滉希	2025年12月10日	セラランゴール/マレーシア
AFCチャンピオンズリーグ エリート2025/26 リーグステージ ウェスト	審判員	谷本涼、浅田武士、武部陽介、長峯滉希、飯田淳平、笠原寛貴	2025年12月22日	タブリーズ/イラン
AFCチャンピオンズリーグ TWO 2025/26 グループステージ グループE	審判指導者(アセッサー)	山岸佐知子	2025年11月27日	シドニー/オーストラリア
AFCチャンピオンズリーグ TWO 2025/26 グループステージ グループH	審判指導者(アセッサー)	上川徹	2025年11月27日	浦項/韓国
AFC女子アジアカップフェレリーセミナー2025	審判指導者(インストラクター)	山岸佐知子	2025年12月1日~5日	バンコク/タイ
AFCチャンピオンズリーグエリート 2025/2026 リーグステージ イースト	審判指導者(アセッサー)	上川徹	2025年12月10日	ソウル/韓国
AFCチャンピオンズリーグ TWO 2025/26 グループステージ グループA	審判指導者(アセッサー)	上川徹	2025年12月24日	アラド/バーレーン

JFAロングパイル人工芝ピッチ公認(新規)

申請者(施設所有者): みやき町
 施設名 : みやき町中央公園球技場
 (佐賀県三養基町みやき町大字東尾5338、5339、5340、5341)

使用製品: 積水樹脂株式会社 ドリームターフ PT2065RS+U-28-CR (Be)
 公認期間: 2026年1月15日~ 2029年1月14日
 公認番号: 第284号

裁定委員会に関する懲罰

裁定委員会より報告された懲罰案件について報告する。
 公表内容は以下の通り。なお、公表期間は原則通り3年とする。

【事案1】

- 1. 当事者
専任契約者
- 2. 懲罰の種類
未成年者に対するサッカー関連活動の永久的禁止、その他のサッカー関連活

- 動の無期限の禁止の懲罰
- 3. 懲罰の決定日
2025年11月13日
- 4. 懲罰の理由
懲罰規程第34条第1項(1)、(3)、(4)、(5)
指導者に関する規則第20条(1)
- 5. 事案の概要
刑罰法規に抵触し、サッカー界の社会的信頼を損なう行為

不服申立委員会の決定

不服申立委員会(委員長: 中島肇)より報告された決定について報告する。
 公表内容は以下の通り。なお、公表期間は原則通り3年とする。

【事案1】

- 1. 不服申立人
専任契約者
- 2. 不服申立人に原懲罰を科した主体(第一審機関)
JFA裁定委員会

- 3. 事案の概要
刑罰法規に抵触し、サッカー界の社会的信頼を損なう行為
- 4. 原懲罰の内容
未成年者に対するサッカー関連活動の永久的禁止、その他のサッカー関連活動の無期限の禁止の懲罰
- 5. 不服申立委員会の決定
本件不服申立を棄却する
- 6. 決定の理由等
不服申立理由の不存在

サッカーなら、どんな障害も超えられる。

日本の人口の7%は障がい者です。その障がいは多様で、ひとつとして同じ在り方はありません。障がいがあっても、いつでも、どこでも、サッカーを心から楽しめる環境を。彼ら彼女らが社会にある"障害"を超えていきつかけづくりやサポートも、サッカーならできる。私たちはそう信じて、日本障がい者サッカー連盟を推進していきます。

障がい者サッカー7団体は、日本サッカー協会と連携し、サッカー界の発展のために取り組んでいます。



切断障がい



脳性麻痺



精神障がい



知的障がい



電動車椅子



視覚障がい



聴覚障がい

⊕ 日本アンプティサッカー協会

アンプティサッカーとは、足や腕に切断障がいのある人が行う7人制サッカーです。日常生活で使用する義足・義手を外してロフトランドクラッチで体を支えながらプレーします。

⊕ 日本CPサッカー協会

CPサッカーとは、脳の損傷によって運動障害がある人が行うサッカーです。Cerebral(脳からの)Palsy(麻痺)の頭文字をとり、そう呼ばれています。

⊕ 日本ソーシャルフットボール協会

ソーシャルフットボールとは、精神障がいのある人が行うフットサルやサッカーです。基本ルールは健常者と同じで、フットサルでは女子選手を含む場合に最大6人がコートでプレーするなど、一部特別ルールを採用しています。

⊕ 日本ブラインドサッカー協会

ブラインドサッカーとは、視覚障がいのある人が行う5人制サッカーです。転がると音が出るボールを使用し、まわりの声を頼りにプレーします。2004年からパラリンピックの正式種目です。弱視者がプレーするロービジョンフットサルもあります。

⊕ 日本知的障がい者サッカー連盟

知的障がい者サッカーとは、知的障がいのある人が行う11人制サッカーです。フットサルも行っています。ルールは健常者のサッカー・フットサルと同じで、プレーヤーの障がいの度合いにより試合時間が異なります。

⊕ 日本ろう者サッカー協会

デフサッカーと呼ばれる、聴覚障がいのある人が行うサッカーです。サッカーとフットサルがあり、審判は笛だけではなくフラッグも使用するなど、視覚情報を頼りにプレーします。

⊕ 日本電動車椅子サッカー協会

国際的にはパワーチェアフットボールと呼ばれ、自立歩行が困難な重度の障がいのある人が多く行う4人制サッカーです。手やアゴでジョイスティック型のコントローラーを操り、電動車椅子でプレーします。



一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟

支援団体

JIFFパートナー



日本サッカー後援会



Johnson & Johnson

住友ベークライト



東京海上日動

Nabtesco

Bewith

三菱商事



- ① U-18日本代表 2025 SBSカップ国際ユースサッカー
- ② ビーチサッカー日本代表候補 国内トレーニングキャンプ
- ③ 日本高校サッカー選抜候補/選考合宿
- ④ U-17日本高校サッカー選抜候補/選考合宿
- ⑤ 2025ナショナルトレセン女子U-14 後期
- ⑥ 令和7年度第104回全国高校サッカー選手権大会

- ⑦ 第34回全日本大学女子サッカー選手権大会
- ⑧ 第34回全日本高等学校女子サッカー選手権大会
- ⑨ JFA 第29回全日本U-18女子サッカー選手権大会
- ⑩ JFA 第31回全日本U-15フットサル選手権大会
- ⑪ JFA 第16回全日本U-15女子フットサル選手権大会

※NCS: ナショナルコーチングスタッフ、JC: JFAコーチ/ VAR: ビデオアシスタントレフェリー、AVAR: アシスタントビデオアシスタントレフェリー

U-18日本代表 2025 SBSカップ国際ユースサッカー

【スタッフ】

○監督: 山口智(NCS) ○コーチ: 菅原大介(NCS) ○GKコーチ: 高原寿康(NCS) ○フィジカルコーチ: 大塚慶輔(NCS) ○テクニカルスタッフ: 白石通史(JFAテクニカルハウス)

<選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	萩裕陽※2	名古屋グランパスU-18	MF	仲山獅恩※2	東京ヴェルディユース
	小川煌	サンフレッチェ広島F.Cユース		中積為	ガンバ大阪ユース
	ステイマン ジョシュア草太郎※3	法政大学		山口豪太※3※4	昌平高校
DF	松本果成	湘南ベルマーレ	FW	今井健人※3	東京ヴェルディユース
	佐藤海宏	鹿島アントラーズ		篠崎健人※3	市立船橋高校
	秦樹※1	横浜FCユース		徳田誉	鹿島アントラーズ
	中野陽斗	神村学園高等部		大西利都	名古屋グランパスU-18
	酒井舜哉	RB大宮アルディージャ U18		新川志音	サガン鳥栖U-18
	鈴木楓	FC東京U-18		大石脩斗※1	鹿児島城西高校
MF	久保遥夢	前橋育英高校	尾谷ディヴァイン チネドゥ※3	FC東京U-18	
	木實快斗	キラヴァンツ北九州			
	福島和毅	神村学園高等部			
	和田直哉	浦和レッズユース			

※1: ケガのため不参加
 ※2: ケガのため途中離脱
 ※3: 追加招集
 ※4: コンディション不良のため途中離脱

<スケジュール>

12月15日 トレーニング(草薙総合運動場球技場)
 16日 トレーニング(草薙総合運動場球技場)
 トレーニング(草薙総合運動場陸上競技場)
 17日 トレーニング(草薙総合運動場球技場)
 18日 2025 SBSカップ国際ユースサッカー
 第1戦 vs 静岡ユース(藤枝総合運動公園サッカー場)
 トレーニング(草薙総合運動場球技場)
 19日 第2戦 vs U-18スペイン代表(藤枝総合運動公園サッカー場)
 20日 第3戦 vs U-18オーストラリア代表(草薙総合運動場陸上競技場)
 21日

<トレーニングパートナー>

Pos.	名前	所属
	原漢士	サンフレッチェ広島F.Cユース
	篠崎健人	市立船橋高校
	松野泰知	FC東京U-18
	小川尋斗	川崎フロンターレU-18

順位	U-18スペイン	U-18日本	静岡ユース	U-18オーストラリア	勝	PK勝	PK負	負	得点	失点	差	
1	U-18スペイン代表	4○2	0△0 4PK2	3○0	8	2	1	0	0	7	2	5
2	U-18日本代表	2●4	3○0	2○0	6	2	0	0	1	7	4	3
3	静岡ユース	0▲0 2PK4	0●3		2○1	4	1	0	1	2	4	-2
4	U-18オーストラリア代表	0●3	0●2	1●2		0	0	0	3	1	7	-6

○:勝ち(勝ち点3)、△:PK勝ち(勝ち点2)、▲:PK負け(勝ち点1)、●:負け(勝ち点0)

第1戦

U-18日本代表 3(前半0-0 後半3-0)0 静岡ユース

●2025年12月18日 18:30 ●藤枝総合運動公園サッカー場 ●試合時間:80分 ●審判員:[主審]野末悠豪 [副審]村上大樹/池田七瀬 [第4の審判員]松本翔太 ●観衆:1,318人

日本(監督:山口智):[GK](1)萩裕陽 [DF](2)佐藤海宏(4)久保遥夢(5)中野陽斗(18)酒井舜哉<→HT(7)木實快斗> [MF](3)山口豪太<→61'(16)松本果成>(6)和田直哉<→72'(15)鈴木楓>(14)福島和毅(17)中積為<→61'(10)今井健人> [FW](9)尾谷ディヴァイン チネドゥ<→53'(13)徳田誉>(11)大西利都<→53'(8)新川志音>

控え:(12)小川煌

得点 49'木實快斗(1-0)、66'、75'新川志音(2-0)(3-0)

第2戦

U-18日本代表 2(前半2-2 後半0-2)4 U-18スペイン代表

●2025年12月20日 13:30 ●藤枝総合運動公園サッカー場 ●試合時間:80分 ●審判員:[主審]川田昇太 [副審]渡邊彪斗/高橋奈央人 [第4の審判員]高島昌康 ●観衆:1,568人

日本(監督:山口智):[GK](1)萩裕陽<→70'(12)小川煌> [DF](2)佐藤海宏(4)久保遥夢(5)中野陽斗(15)鈴木楓(16)松本果成 [MF](7)木實快斗(10)今井健人<→51'(11)大西利都>(17)中積為<→57'(14)福島和毅> [FW](8)新川志音<→57'(6)和田直哉>(13)徳田誉<→70'(9)尾谷ディヴァイン チネドゥ>

控え:(3)山口豪太(18)酒井舜哉

得点 9'、31'、80'、80+4'失点(0-1)(2-2)(2-3)(2-4)、12'新川志音(1-1)、15'松本果成(2-1)

警告 43'、53'鈴木楓

退場 53'鈴木楓

第3戦

U-18日本代表 2(前半1-0 後半1-0)0 U-18オーストラリア代表

●2025年12月21日 11:00 ●藤枝総合運動公園サッカー場 ●試合時間:80分 ●審判員:[主審]高島昌康 [副審]松永祐貴/坂本優 [第4の審判員]野末悠豪 ●観衆:1,261人

日本(監督:山口智):[GK](12)小川煌 [DF](2)佐藤海宏(4)久保遥夢<→HT(7)木實快斗>(16)松本果成(18)酒井舜哉<→61'(5)中野陽斗> [MF](6)和田直哉(10)今井健人(14)福島和毅<→76'(20)篠崎健人>(17)中積為 [FW](9)尾谷ディヴァイン チネドゥ<→HT(13)徳田誉>(11)大西利都<→HT(8)新川志音>

控え:(21)ステイマン ジョシュア草太郎

得点 29'福島和毅(1-0)、49'新川志音(2-0)

警告 20'酒井舜哉

ビーチサッカー日本代表候補 国内トレーニングキャンプ

【スタッフ】

○監督: 田畑輝樹(NCS) ○コーチ: 奥山正憲(NCS/レーヴェ横浜) ○GKコーチ: 宜野座寛也(ヴィアティンBS) ○フィジカルコーチ: 山口将史(株式会社Reborn)

<選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	柴本慎也	東京ヴェルディ BS	FP	江黒力	ソーマブライア沖縄
	宮田政宗	アヴェルダージ熊本BS		伊藤龍之介	アヴェルダージ熊本BS
	古里健	レーヴェ横浜		永井純大	ドルソーレ福岡
FP	松田康佑	レーヴェ横浜		田中颯	東京ヴェルディ BS
	赤熊卓弥	レーヴェ横浜		大槻陽平	東京ヴェルディ BS
	森岡亮太	ドーサルMFC/アシヤ		大谷健斗	レーヴェ横浜
	坪谷亮太	ソーマブライア沖縄		安永海童	ラソアペーゴ北九州
	山田貴仁	東京ヴェルディ BS			

<スケジュール>

12月17日 トレーニング(宜野湾トロピカルビーチ)
※冒頭でクリーン活動
18日~20日 トレーニング(宜野湾トロピカルビーチ)

日本高校サッカー選抜候補 選考合宿(時之栖)

【スタッフ】

○団長: 高松慎(駒場東邦高校) ○総務: 高橋佳照(大曲工業高校) ○監督: 蒲原晶昭(佐賀東高校) ○コーチ: 山城朋大(大津高校) ○GKコーチ: 大久保隆一郎(名古屋高校/靉ヶ浦高校)
○トレーナー: 東輝明(トータルコンディショニングHIGASHI) ○主務: 高尾友樹(袖ヶ浦高校)、長嶺圭介(逗子葉山高校)

<選手>

Pos.	名前	所属	学年	Pos.	名前	所属	学年	Pos.	名前	所属	学年
GK	金沢楓	矢板中央高校	3	MF	小杉唯斗	聖和学園高校	3	FW	根木翔大	尚志高校	3
	岩瀬颯	興國高校	3		小曾納奏	尚志高校	3		齊藤琉稀空	東福岡高校	3
	村上突	大津高校	3		木下永愛	鹿島学園高校	3		山下虎太郎	大津高校	3
	寺田健太郎	神村学園高等部	3		三浦春人	鹿島学園高校	3		倉中悠翼	神村学園高等部	3
DF	月館汰志アブーバクル	青森山田高校	3		乙川宙	流通経済大学付属柏高校	3		宮本周征	帝京高校	3
	松澤琉真	尚志高校	3		古川蒼真	流通経済大学付属柏高校	2		大石脩斗	鹿児島城西高校	3
	中川光星	鹿島学園高校	3		水澤那月	帝京長岡高校	3				
	齊藤空人	鹿島学園高校	3		樋口汐音	帝京長岡高校	3				
	濱水朔玖	鹿島学園高校	3		菅井琉白	興國高校	3				
	牧野奨	前橋育英高校	3		福島悠士	大津高校	3				
	瀧口真大	前橋育英高校	3		岩崎天利	大津高校	3				
	廣瀬煌	流通経済大学付属柏高校	3		福島京次	大津高校	3				
	メンディーサイモン友	流通経済大学付属柏高校	2		堀ノ口瑛太	神村学園高等部	3				
	榎本来輝	日大藤沢高校	3	FW	深瀬幹太	青森山田高校	3				
	今村太樹	神村学園高等部	3		白井蒼悟	尚志高校	3				

<スケジュール>

1月24日 集合(御殿場市時之栖スポーツセンター)
トレーニング(裾野E1)
25日 練習試合 vs 東海大学(時之栖A)
トレーニング(裾野E1)
26日 練習試合 vs 日本体育大学(時之栖A)
トレーニング(裾野E2)
27日 練習試合 vs U-17日本高校選抜候補(時之栖A)
昼食後 解散(現地)

U-17日本高校サッカー選抜候補 選考合宿(時之栖)

【スタッフ】

○団長: 粉川典史(横浜サイエンスフロンティア高校) ○監督: 鈴木勝大(米子北高校) ○コーチ: 萬場努(明秀学園日立高校) ○GKコーチ: 南雄太(流通経済大学付属柏高校) ○トレーナー: 市河杏菜(桐光学園高校) ○アシスタントコーチ/主務: 平塚智(土気高校) ○主務: 鈴木晋也(幸高校)

<選手>

Pos.	名前	所属	学年	Pos.	名前	所属	学年	Pos.	名前	所属	学年
GK	ブムラビー・スリブヤコ	鹿島学園高校	2	DF	大空星那	神村学園高等部	2	FW	内海心太郎	鹿島学園高校	2
	大泉未来	流通経済大学付属柏高校	1	MF	小澤丈	青森山田高校	2		渡辺謙也	流通経済大学付属柏高校	2
	高橋恒輝	大成高校	2		斉藤雅人	青森山田高校	2		児山雅稀	帝京長岡高校	1
	仲七瑠	帝京長岡高校	2		星宗介	尚志高校	2		山下紫凰	大分鶴崎高校	2
	土淵瑠久※1	昌平高校	2		大熊瑠空	尚志高校	2		花城瑛汰	神村学園高等部	2
DF	中村直人	明秀学園日立高校	2		六嶋蓮太	明秀学園日立高校	2				
	ゼイダム小田孟武	桐生第一高校	2		瀧間飛結	前橋育英高校	2				
	大徳剛矢	流通経済大学付属柏高校	2		飯島碧大	昌平高校	2				
	篠崎健人	市立船橋高校	2		小山一絆	武南高校	2				
	エヒゲ拓音オサギオウワ	桐光学園高校	2		平野万緑	流通経済大学付属柏高校	2				
	萩原慶	桐光学園高校	2		和食陽向	帝京長岡高校	2				
	吉田龍悟	帝京長岡高校	2		相澤伶実	履正社高校	2				
	熊野俊典	米子北高校	2		松浦旺生	神戸弘陵学園高校	2				
	小原亮輔	東福岡高校	2		吉岡大和	岡山学芸館高校	2				
	渡部友翔	大津高校	2		山本翼	大津高校	2				

※1: 追加招集

<スケジュール>

1月24日 集合(時之栖スポーツセンター)
トレーニング(裾野E2)
25日 トレーニング(裾野E1)
練習試合 vs 東海大学(時之栖A)
26日 トレーニング(裾野E2)
練習試合 vs 日本体育大学(時之栖A)
27日 練習試合 vs 日本高校選抜候補(時之栖A)
昼食後 解散(現地)

2025ナショナルトレセン女子U-14 後期

目的 日本女子サッカーの強化・発展のため、
①優秀な選手の発掘・育成
②選手・指導者のレベルアップ
③トレセン(トレーニングセンター)制度の充実・発展
主催 公益財団法人日本サッカー協会

協賛 JFAオフィシャルトップパートナー：キリンホールディングス株式会社
 JFAオフィシャルサプライヤー：アディダス ジャパン株式会社
 JFAメジャーパートナー：全日本空輸株式会社、株式会社クレディセゾン、KDDI株式会社、三井不動産株式会社、株式会社みずほフィナンシャルグループ、MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社、TOYO TIRE 株式会社
 JFAコンペティションパートナー：株式会社モルテン

指導 公益財団法人日本サッカー協会 女子委員会 女子委員/ナショナルコーチングスタッフ・JFAコーチ

期間 2026年1月22日(木)~1月25日(日) 3泊4日

開催場所 Jヴィレッジ

選手参加資格 ①本協会に加盟登録している女子(所属するチームの種別は問わない)
 ②年齢 原則として2011(平成23)年1月1日~2013(平成25)年4月1日出生
 ③日常的にトレセンで活動していること

※その他、スケジュール等の詳細についてはJFA公式ウェブサイト参照

【選手】

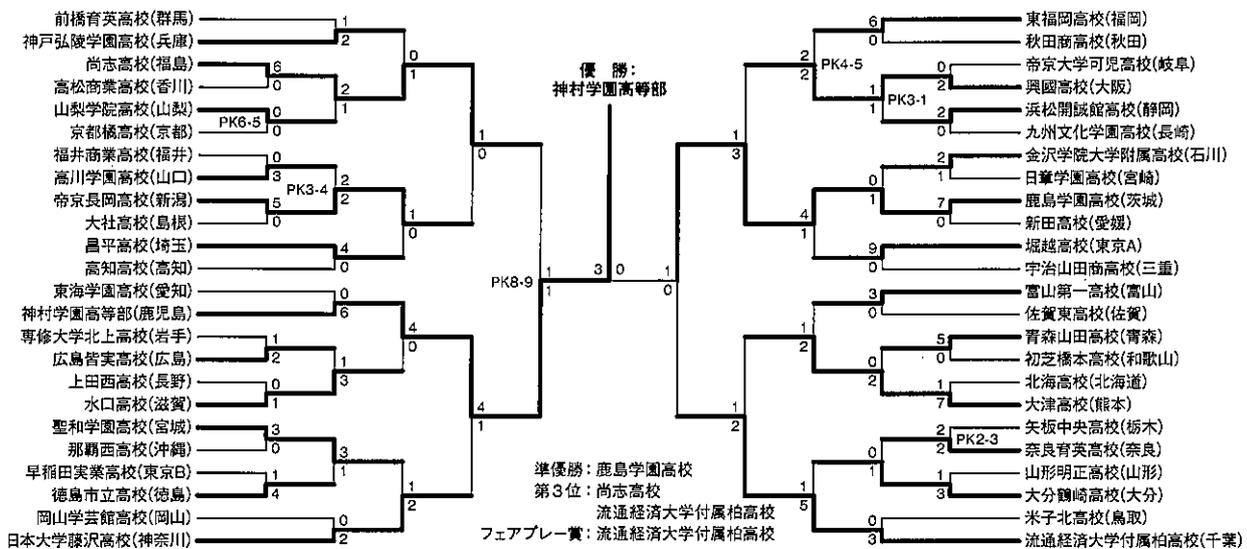
地域	Pos.	名前	所属
関東	GK	谷口湖葉	ノジマステラ神奈川相模原アヴェニール
関西	GK	井本歩	CF. HANW@ PRINCESA U15
関西	GK	喜田壽佳	INAC神戸テゾーロ
関西	GK	坂田衣知花	セレッソ大阪ヤンマーガールズU-15
アカデミー	GK	植木愛琉	JFAアカデミー福島
北海道	FP	柴田叶実	ASC北海道レディース
北海道	FP	丹野莉々彩	北海道コンサドーレ旭川U-15
東北	FP	籙林杏菜	リベロ弘前SCフィオーレ
関東	FP	中田優沙	ノジマステラ神奈川相模原アヴェニール
関東	FP	小田葵音	ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-15
関東	FP	村上奏羽	ノジマステラ神奈川相模原アヴェニール
関東	FP	平野笑帆	ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-15
北信越	FP	辰尾瑛那	富山新庄クラブU-15
東海	FP	林蘭花	朝日インテック・ラブリッジ名古屋スターチス/JFAアカデミー堺
東海	FP	加藤咲緑	藤枝順心サッカークラブジュニアユース
東海	FP	三浦璃音	FC. フェルボール.MIMOSA
関西	FP	瀬戸美里	セレッソ大阪ヤンマーガールズU-15
関西	FP	中原颯光	INAC神戸テゾーロ
関西	FP	西田莉華	RESC GIRLS U-15/JFAアカデミー堺
関西	FP	橋本海風	セレッソ大阪ヤンマーガールズU-15

地域	Pos.	名前	所属
関西	FP	瀧本菜乃花	セレッソ大阪ヤンマーガールズU-15
関西	FP	岡田真帆	セレッソ大阪ヤンマーガールズU-15
関西	FP	廣瀬翠羽	RESC GIRLS U-15/JFAアカデミー堺
中国	FP	魚本穂乃花	レノファ山口FC U15
四国	FP	高木心菜	BESFORTジュニアユース
九州	FP	有村咲耶	マリーゴールド天草
九州	FP	新宅胡春	神村学園中等部女子サッカー部
アカデミー	FP	高畑希々花	JFAアカデミー福島
アカデミー	FP	緑川真生	JFAアカデミー福島
アカデミー	FP	宇佐美凛々堂	JFAアカデミー福島
アカデミー	FP	河野薫子	JFAアカデミー福島
アカデミー	FP	村上輝星	JFAアカデミー福島
アカデミー	FP	上田彩葉	JFAアカデミー福島
アカデミー	FP	鈴木朱莉	JFAアカデミー福島
アカデミー	FP	三上さくら	JFAアカデミー福島
アカデミー	FP	小瀬彩心	JFAアカデミー福島
アカデミー	FP	加納瑠奈	JFAアカデミー福島
アカデミー	FP	高澤恵夏	JFAアカデミー福島
アカデミー	FP	大淵芽依	JFAアカデミー福島

令和7年度第104回全国高校サッカー選手権大会

本大会は、民間放送43社およびJFAの主催、(公財)全国高等学校体育連盟の共催で、2025年12月28日~2026年1月12日に首都圏の会場を中心に開催された。令和7年度にJFAに加盟登録された高校チームで、当該団体に登録された生徒であり、平成18年4月2日以降に生まれた者に出場資格が与えられた。

※大会レポートは70ページに掲載



準決勝	
尚志高校	1 (前半1-0 後半0-1) 1 PK8-9
●2026年1月10日 12:05 ●MUFGスタジアム(国立競技場) ●試合時間:90分、PK ●審判員:[主審]小林拓矢 [副審]鈴木深/長田望 [第4の審判員]中山友希 ●マッパ コミッショナー:松本匡夫 ●観衆:34,834人	
尚志(監督:仲村浩二):[GK](16)門井宏樹 [DF](2)木村心貴(3)西村圭人(4)松澤琉真(5) 榎本司(17)星宗介 [MF](6)小曾納奏(8)阿部大翔<-78'(14)若林友武希> [FW](7) 臼井蒼悟<-78'(18)村田柁真>(9)根木翔太(11)岡大輝<-68'(10)田上真大>	
控え:(1)赤根啓太(12)日比野修吾(15)角虎一(20)迫田悠聖(21)寺田悠真(23)中村快生	
神村学園(監督:有村圭一郎):[GK](17)寺田健太郎 [DF](3)今村太樹(5)中野陽斗(7)細 山田怜真(8)荒木仁翔 [MF](6)堀ノ口瑛太(14)福島和毅(15)岡本桂乙<-HT(10)佐々 木悠太> [FW](9)倉中悠篤<-58'(16)花城瑛汰>(11)徳村楓大(13)日高元	
控え:(1)江田優大(12)永松将吾(18)新名優樹弘(19)東若泰雅(20)竹野楓太(21)大空星 那(22)米村颯真	
得点 [尚志]5'岡大輝(1-0) [神村学園]73'日高元(1-1)	
警告 [尚志]77'阿部大翔、83'田上真大 [神村学園]64'堀ノ口瑛太、81'福島和毅	
PK [尚志](6)×(9)○(10)○(2)○(18)○(5)○(4)○(14)○(17)○(3)× [神村学園]先(13)○(10)×(7)○(11)○(8)○(16)○(3)○(6)○(14)○(5)○	

【参加選手】

<北海道高校> 監督:島谷制勝
本田悠晴、遠入玄都、高橋賢右、青木琥太郎、西垣凌羽、谷口健太、齋藤龍志、曳地優斗、
山崎公慈、葛西遼真、木南晴、木村優雅、廣瀬爽良、濱本柚葉、藤原志宇、萩野煌也、国分
遥斗、遠田大我、千葉来輝、新岡醒茄、井上興太郎、角谷心優、竹内太吾、菅野松士郎、野
澤深人、増谷拓海、石黒煌、原田悠冬、西田歩夢、杉澤風河

<青森山田高校> 監督:正木昌宣
松田駿、佐竹輝輝、トニオル・ジョアオ、菱田一清、福井史弥、月館汰巻アブーバクル、大場光翔、
島津亮太、林斗愛、斎藤大翔、山田悠一郎、津嶋太陽、夏井琉汰、小澤文、籠原凜、小山田
蓮、今田匠、藤原栄之助、杉山大起、斎藤雅人、齋藤凌、田中颯太、水谷鉄生、櫻庭一斗、
深瀬幹太、桑原唯斗、井上慎太、對馬旺雅、日高翔太、氏家大哉

<専修大学北上高校> 監督:小原昭弘
千葉悠雅、鎌田暹陽、工藤清志、桑田柁、飯塚風菜、小野寺聖月、中村瑠希、松本陽雄、岩
淵波輝、古館諒成、岩淵剛仁、小笠原優人、安井佑樹、東城巧磨、吉池晃大、平山太陽、小
原佑太、菅原大翔、為我井寿希也、稲葉蓮、藤原春弥、坂井空、菅谷豪太、菅野陽斗、山崎
諒太、高谷晃稀、峰崎隼、五十嵐義斗、金沢系介、吉村建珉

<秋田商業高校> 監督:小林克
石川創万、館谷快斗、鎌田航希、村田珀、村田睦斗、高橋玄太、加藤翔、瀬川哲平、山岡樹
弥、渡邊幸大、前田健太、平野純士、太田瑞聖、金明日翔、高橋剛貴、加藤空、松橋陽太、斎
藤優斗、榎本輝希、渡部結斗、吉田蔵人、原田惇平、大高生也、東海林祐希、三浦勢兵、舟
木經、竹谷柁真、佐々木隼翔、中泉悠、鈴木悠太

<山形明正高校> 監督:鈴木淳
及川泰我、笹淵暖流、平山和宏、深田音旺、菊地祥、寺村健太郎、山田瑠月、今嶺哉汰、冨
田航希、羽澤雲雲、川島空斗、鈴木琉生、岩田英士、阿保参太、田中涼羽、ナトハヴィス・ウ
ラクットハムロンチャイ、山本将吾、佐々木貴彬、高尾直希、横井柁輝、重松和心、香川士
黄濠軒、新井大翔、石川航太、小山振一郎、中嶋陽向、平田大貴、増田琉輝、渡邊蒼士

<聖和学園高校> 監督:加見成司
木崎潤真、高橋翔輝、高橋響、遠藤壮琉、猪股蓮太郎、川上巻也、藤川航輔、高瀬優風、松
並木梁仁、竹内成一郎、深澤友希、平井唯心、野々宮蒼、後藤怜皇、塩田凌夫、菊地堂二、
小杉唯斗、立澤優斗、寺川空希、鈴木光琉、山本空虎、浅倉大雅、菊地琉生、古堅諒真、奥
村玲央斗、梶浦輝翔、四釜澄音、布施唯斗、鈴木宗、村上英舜

<尚志高校> 監督:仲村浩二
赤根啓太、門井宏樹、加藤峻平、青山昂生、木村心貴、西村圭人、松澤琉真、榎本司、古堤
幹大、星宗介、寺田悠真、中村快生、児玉葵詩、伊藤海通、小曾納奏、阿部大翔、田上真大、
日比野修吾、若林友武希、角虎一、村田柁真、大熊瑠空、迫田悠聖、廣橋玖音、佐野哲太、
奥村玲央、臼井蒼悟、根木翔太、岡大輝、永岡透弥

<鹿島学園高校> 監督:鈴木雅人
ブムラビー・スリプンヤコ、岩間歩夢、丁俊晴、小松崎悠仁、秋山龍詠、中川光星、齊藤空人、
清水朔玖、内野竜太郎、山田空羽斗、中原潮那、山入端大空、池田賢生、木下永愛、伊藤蒼
空、西川大翔、松本金太郎、菊池元希、森下凜太郎、酒井東颯、三浦春人、金子修樹、力石
隼之介、渡辺尚介、松田大志郎、内海心太郎、渡部隼翔、ワズイー・ジェイヴェン勝、堀樹矢、
栗原哉太

<前橋育英高校> 監督:山田耕介
蝦名理音、大垣隼士郎、南京佑、牧野奨、瀧口真大、市川劉星、久保遥夢、山本翼、森山瑠
音、坪井蒼季、佐々木遥斗、平良辰也、白井誠也、中川希沙、平林真珠、柴野快仁、竹ノ谷優
篤、松下歩夢、嵯峨日向、中村孝成、佐々木悠太、瀬間飛結、鈴木貴博、高林馳矢、四方田
泰我、大岡航未、山西智也、関斎蒼、立石陽向、田野央理波

準決勝	
鹿島学園高校	1 (前半0-0 後半1-0) 0
●2026年1月10日 14:30 ●MUFGスタジアム(国立競技場) ●試合時間:90分 ●審 判員:[主審]田邊裕樹 [副審]辛島宗烈/山口大輔 [第4の審判員]北沢倫章 ●マッパ コミッショナー:横田智雄 ●観衆:42,626人	
鹿島学園(監督:鈴木雅人):[GK](1)ブムラビー・スリプンヤコ [DF](2)秋山龍詠(3)中川 光星(4)齊藤空人(5)清水朔玖(13)内野竜太郎<-63'(8)西川大翔> [MF](6)木下永愛 (20)三浦春人 [FW](7)伊藤蒼空<-63'(18)酒井東颯>(9)内海心太郎<-87'(15)堀 樹矢>(11)渡部隼翔<-69'(14)ワズイー・ジェイヴェン勝>	
控え:(21)丁俊晴(10)松本金太郎(19)山田空羽斗(23)山入端大空(27)栗原哉太	
流通経済大学付属柏高校(監督:榎本雅大):[GK](1)藤田泰士 [DF](3)廣瀬煌(5)メンディー・サイ モン友(6)増田大空(16)大徳剛矢 [MF](4)島谷義進(7)上田哲郎<-58'(9)山元琉士> (10)安藤晃希<-58'(2)乙川宙>(14)古川蒼真 [FW](18)金子琉久<-86'(19)オゲ デベ有規>(20)大藤颯太<-58'(13)渡辺隼也>	
控え:(17)大泉未来(15)内田煌生(23)平野万緑(26)福田明史(28)可見良英	
得点 [鹿島学園]90'ワズイー・ジェイヴェン勝(1-0)	
警告 [鹿島学園]49'内海心太郎	

決勝	
神村学園高等部	3 (前半2-0 後半1-0) 0
●2026年1月12日 14:05 ●MUFGスタジアム(国立競技場) ●試合時間:90分 ●審 判員:[主審]長峯湧希 [副審]安藤康平/田代雄大 [第4の審判員]中川愛斗 ●マッパ コミッショナー:大倉健史 ●観衆:60,142人	
神村学園(監督:有村圭一郎):[GK](17)寺田健太郎 [DF](3)今村太樹(5)中野陽斗(7)細 山田怜真(8)荒木仁翔 [MF](6)堀ノ口瑛太(14)福島和毅(15)岡本桂乙<-86'(16)花城 瑛汰> [FW](9)倉中悠篤<-80'(10)佐々木悠太>(11)徳村楓大(13)日高元	
控え:(1)江田優大(12)永松将吾(18)新名優樹弘(19)東若泰雅(20)竹野楓太(21)大空星 那(22)米村颯真	
鹿島学園(監督:鈴木雅人):[GK](1)ブムラビー・スリプンヤコ [DF](2)秋山龍詠(3)中川 光星(4)齊藤空人(5)清水朔玖(13)内野竜太郎<-HT(8)西川大翔> [MF](6)木下永愛 (7)伊藤蒼空<-HT(18)酒井東颯>(20)三浦春人<-83'(19)山田空羽斗> [FW](9) 内海心太郎<-67'(14)ワズイー・ジェイヴェン勝>(11)渡部隼翔<-74'(10)松本金太 朗>	
控え:(21)丁俊晴(15)堀樹矢(23)山入端大空(27)栗原哉太	
得点 [神村学園]19'日高元(1-0)、39'堀ノ口瑛太(2-0)、90+2'佐々木悠太(3-0)	
警告 [鹿島学園]70'西川大翔	

<矢板中央高校> 監督:高橋健二
金沢楓、黒澤慈永、木村嘉伸、毛塚颯人、石井琉偉、永井健慎、アクバル・エレン、皆川北斗、
半沢岬、近藤輝優、田中蒼羽、福田玲大、金子海聖、平野巧、浜谷玲玖、山本翔聖、岡琉生、
生井海斗、金井大翔、佐藤杏希、梅原駿輝、松山心音、工藤琥瑠、鈴木大翔、朴智永、高橋
玲、古田弥祿、為我井遼太郎、竹内麻廷有主、石澤佑真

<昌平高校> 監督:芦田徹
土淵瑞久、小野寺太郎、入江希星、服部瑞希、森井智也、伊藤隆寛、高橋心晴、笠原慶多、
古川雄規、中島夢隼、大野隆斗、徳山遼、遠藤佑太、長瀨寛、人見大地、山口豪太、工藤敦
士、飯島碧大、高見澤光、高江洲春虎、佐伯優斗、屋宜葵、松本太佑、押江颯人、川田理月、
立野京弥、島田大雅、齋藤結斗、白須裕基、山本翔大

<流通経済大学付属柏高校> 監督:榎本雅大
藤田泰士、大泉未来、丸山ジェフリー、橋爪フレックス一清、廣瀬煌、メンディー・サイモン友、
増田大空、嘉味田颯太、大徳剛矢、真壁英人、野田虎太郎、可見良英、荒井勝真、乙川宙、
島谷義進、上田哲郎、昇純希、山元琉士、安藤晃希、石井友啓、古川蒼真、内田煌生、小関
煌真、平野万緑、加島宏樹、渡辺隼也、金子琉久、オゲデベ有規、大藤颯太、福田明史

<堀越高校> 監督:佐藤実
高足凜、篠沢拓斗、小島耀、三田広陽、横尾瑛人、山下駿太、佐藤源、田淵森、笠原遼世、
石山修也、山下遼太、杉村充樹、高橋琉、谷口悠成、谷口昊成、小川稜太、田中豪、鈴木悠
莉、吉田大海、小森冨樹、濱岡大世、中野昂、平湯連太郎、西島健佑、中村大芽、佐々木大智、
高橋李来、佐藤蒼太、岩田伶音、盛岡寿壽

<早稲田実業高校> 監督:森泉武信
山本士文、中村紘大、宮崎葵、佐伯有真、小野寺栄斗、堀蒼、小島凜久、前田竣汰、大庭翼、
野呂才蔵、大友太智、川地暹大、戸谷行雲、平湯連太郎、西島健佑、中村大芽、佐々木大智、
中澤駿斗、野川一聡、竹内太志、千本木亮磨、高橋圭太、木内海成、井手悠輝、稲田優真、
居相虎之介、山田航平、篠田一、在木結都、西山拓翔

データボックス

<日本大学藤沢高校> 監督:佐藤輝勝

橋本友翔、近藤慧一、岸本聖南、内田尚寿、入谷友陽、榎本来輝、小林昂輝、橋本ジュア、赤瀬海、大森拓翔、千葉海斗、綾部和真、北村樹太、杉崎万泰、野口慶人、山岡稜、平島翔海、北野太聖、中村龍剛、富田周平、岩藤利龍、藤本歩優、小林晃太郎、村上滉、村瀬陸斗、宇津見柔太、有川啓介、渡邊雄飛、徳能大智、久世ペリマ

<山梨学院高校> 監督:大場健史

石井那樹、渡邊修斗、中村星七、藤井サリュー、明石琉聖、影山登哉、冨井悠真、岩崎詢平、中村嘉希、市川玲風、阿部皇成、望月琉希、山田琉翔、高見啓太、細田康貴、市川大登、比嘉純太郎、潘宣宇、藪野壮二朗、武田大志、富山亜斗夢、田中雄大、オノボ フランシス日華、横田棕、小沼琉之介、手塚蒼一郎、中澤優翔、山田蓮司、杉山琉碧、疋田将

<帝京長岡高校> 監督:古沢徹

仲七瑛、中口悠生、氣田寛大、ウヅキミアン、吉田龍悟、桑原脩斗、西馬礼、堀田宙吾、栗田遼真、橋本乃翔、サム悠篤、稲垣純、水澤那月、中澤晃介、井上虎太郎、植村央甫、和食陽向、二見颯、樋口汐音、伊藤隼、秋山陽登、茂木勇樹、内田昊、霧生海伊、児山雅稀、春日龍二、杉本鎌矢、岡中舜、加藤大輝、上田十輝

<富山第一高校> 監督:加納靖典

魚住陸斗、十二隆太郎、堀川昇栄、廣瀬一誠、木下空、大川未来望、鈴木来夢、田中陽路、坂井瑞基、横田舜大、福嶋頼人、上梨斗輝、砂田海斗、中井智明、富川貴翔、堀田晃矢、丸山哲平、辰巳遼太、釜親暹斗、岩田将英、石黒颯汰、高田詢、藤田玲那、山田聖心、高瀬新大、吉川優雅、米本琉人、餘久保昊喜、池森結仁、千田唯人

<上田西高校> 監督:白尾秀人

山崎大輝、湯田拓海、石澤和樹、石川柊冴、野澤波、小林稔、児島遙希、渡邊公輝、石川楚也、安齋瑠久、小宮山煌太、塚田琥南、佐々木優空、内川翔太、佐藤大悟、眞下凍、深井晴雅、宮川航汰、門田侑都、田村透陽、塩入暖也、柳原兼哉、小林笙珠、平松優樹、末武優陽、村山大翔、宮下琉之、山崎瑠唯、細井凜太郎、石亀悠斗

<金沢学院大学附属高校> 監督:北一真

石山アレックス、新山創太、沼田倫太郎、黒沢耀、阿部翔夏、小野瀬川朗、水見悠翔、目黒旺樹、餅田大夢、近藤湊、山口健太郎、大町大和、平本侑士、北村雷芽、山田結互、武井波琉、古田匡範、大熊健太、木村太一、大橋遼士、篠崎寛太、金子空翔、高橋心真、竹林大輝、佐久間幹太、青谷龍哉、玉野圭祐、安原俊之介、中村旬、家邊凜太郎

<福井商業高校> 監督:高木謙治

谷口空翔、吉田悠人、北出敬謙、福田樹生、石橋翔、水上来巳、山田裕仁、森川太陽、水谷飛翔、木戸口将大、仲谷太我、山口慶周、小松修大、松田琉音、高木那由多、佐藤駿史、野尻善心、牧野偉大、吉田陽向、中山大樹、土田来夢、田村捷、市村晴、財部大地、安井爽悟、近村和薫、柴田琢磨、近藤雅雅、前田優音、坂口彪悟

<浜松開誠館高校> 監督:青嶋文明

吉田壮馬、宮井駿、松浦迅ビエラ、清水彩生、水野斗葵、岩瀬琢朗、濱中伊吹、磯部舜也、水谷健斗、友田龍成、鈴木翔湧、太田翔克、大柴温大、岡田瑛太、加藤涼、川合垂門、間濑志咲、服部洸太郎、石川塔梧、古橋藍生、志賀朋希、宗像玲瑠、高橋成、藤原舜、小關陽生、福原蒼司、田窪悠己、松下蓮、日下航斗、外山裕大

<東海学園高校> 監督:鶴田道弘

山田仁、福田祥、江崎星哉、榎本海翔、笹木碧斗、長澤良哉、浅野颯太、原田興汰、穂積春之祐、喜村陽斗、野山諒大、吉田悠人、浅井勇士郎、大野燈吾、尾崎壮、瀬古隼大、鈴木悠生、新井哲平、渡邊龍牙、長谷川悠、松本心大、大槻将己、鈴木天満、葉袋理央、川合吾郎、廣川拓海、杉浦我成、水野煌太、加納温人、小田島俊介

<帝京大学可児高校> 監督:仲井正剛

水野稜、原田修汰、井藤大善、村瀬健祐、杉田結飛、浅野旺介、大村琉晏、佐藤弘弘、石川颯人、平岩走琉、加藤充士郎、田中真澄、金武寛泰、加藤稜大、中根真心、角岡篤季、伊藤彰一、後藤眞生、青木嘉宏、加藤千洋、今鷹叶、坂口聖七、齊藤銀二、黒沢一斗、若杉風太、宮崎渉、塩見咲哉、大川原颯良、井上蓮斗、小林龍一

<宇治山田高校> 監督:古西祥

宇田陸士、柴田大斗、森田耀、竹内唯、野口七音、一ノ谷晃輔、宮本冬唯、南平空架、小堀凱斗、奥野颯、小林大翔、濱口雄史、辻孝臣、中平新、龍田哲志、小川倅大、北川希心、大西汰希、向井陽人、山中友貴、辻結翔、伊藤大智、櫻井統護、西野仁基、眞榮田琉雅、村上大和、西川陽葵、河原悠人、前田昊来、迫間士樹

<水口高校> 監督:卯田雄基

小琉希、松岡航生、木田滉紘、岡田煌志、平田真大、山本蓮、林玲久蒼、矢野翔流、清水亮、丸野蓮磨、福田善生、中島遼、黒内純也、鈴木宏弥、梅田旬、岡浩平、堤陸人、要石光琉、酒井翔生、北村耀、田代武雄、野邑陽斗、谷口幸太郎、奥野陸斗、池口遼、重田遥輝、中井涼太、水谷蓮村、神山紘国、河野歩太

<京都橋高校> 監督:米澤一成

平誠都、大庭弘登、塚崎雄斗、太田宗佑、青木俊介、村井駿斗、田中晃輔、西山朝陽、早苗優介、上田逸生、森脩人、李亨柱、井上大輝、高谷由翔、岸村晃成、河村頼輝、中野斗馬、升田颯真、村岡啓登、桐生琉歌、佐々木唯虎、泉劉心、宮田奏、森大嘉、奥山芯、前山成、伊藤湊太、秋保宏樹、永井暉太郎、大志万蓮

<奈良育英高校> 監督:梶村卓

内村篤紀、後藤壮真、眞田海舟、吉川魁、仲谷陽馬、内藤奏、田村颯良、石井統也、梶井大毅、矢野光将、宮本菖矢、中山瑛太、藤岡天晴、西澤雅楽、西村優士、片岡大護、根本凜伍、森嶋大琉、横田陽人、建野遼太郎、坂本琳大樹、樹谷朋矢、掃部央玖里、辻佑真、福西恭英、岡本航結、堀大輔、建部皓介、布村大地、吉村瑠晃

<初芝橋本高校> 監督:阪中義博

岸和田谷柊太、宮崎皓大、川原ダニエル、河野陽夏、足立優太、西真那人、田村海斗、万代暁士、前田章斗、林玲翔、下名迫良輝、鎮守航太郎、藤岡航大、西川陽人、佐藤颯俤、児島由汰、山本悠汰、中野壮次郎、芳田龍進、陽田宗万、松田柊斗、小野寺大樹、金森日向大、鈴木和優希、山田頼慈、西條太智、伊田星豪、岩橋勇心、西岡虎太郎、新川凜空

<興國高校> 監督:六車拓也

岩瀬颯、中野晴翔、千田蒼真、松岡敏也、吉田然、重村心惺、竹村咲登、川合翔歩、村田瑛児、上村海琉、長吉珀虎、瑞慶覧佑也、中村支玖、菅井琥白、水沼蓮紫、工藤渚斗、乾悠人、仲谷空、藤田啓輔、中村次臣、水野風斗、佐藤瞭太、安田光翔、安仁屋鳳毅、大賀康生、田中風我、谷口滯巳、田上陸斗、徳原天仁、笹銀志

<神戸弘陵学園高校> 監督:谷純一

鹿屋紘、宮森司、山岡恭大、川崎倫梧、今井凜太郎、西田啓人、横山陽斗、中井煌士、玉田葉琉、信宮一稀、今村優、白石唯人、梅原良弥、松浦旺生、野元幹太、上田涼太、藤村彩人、高田茶太郎、田畑大翔、矢野秀汰、北山大成、池杏樹、丸山瑛太郎、外嶋亮太、白石蒼悟、猪坂連、高嶋胡汰郎、鈴木竣也、野田昂佑、栗田昌和

<米子北高校> 監督:城市徳之

酒井律輝、松崎莉空、高瀬壮太、藤原大空、熊野俊典、浜梶優大、竹内晴太、生駒奏輝、植田蒼馬、水上拓海、森元聖、岸本実、野尻佳佑、湯月哲夫、熊谷弾、宮崎亮翔、奥村悠生、山下一圭、石飛五光、細川斗輝、貝原実、妹川将基、金定秀芽、山本輝、横山通生、徳山歩真、田中太賢、畑中大河、猪股久修、塚田愛心

<大社高校> 監督:中村展久

梅木琢磨、三宅周、長岡晃輝、石川虎之介、栗原貫志、武信瑛大、松本理玖、城山大直、川上大翔、酒田真助、持田壘、藤原伊吹、中林雄英、坂田幸大、野津理生、木村一貴、鎌田隼也、児玉蓮次、細田心陽、野島奏、益田庚弥、立石遥斗、領家洗、松崎悠生、石川咲、星野千風、原知輝、遠藤玲央、遠藤蒼太、植木天真

<広島皆実高校> 監督:上田貴典

井本悠聖、澤田利琉、鎧奏太郎、平木光士、折出勘太、表恵佑、杉山遼、柚木健治、大原千尋、道林爽太、小西周輔、平池圭太、藤原臣、名越貴陽、船津寛太、大瀨翔、宇野陽向、近藤景太、熊澤輝心、奥遼歩、弘光稔、西岡健太郎、藤井隼、小野晃聖、久保田聖浩、野村陸路、尺野響太郎、高山剛輝、山崎瑛太、齊藤連翔

<高川学園高校> 監督:江本孝

龍田恋、木村應介、高城柊哉、香川総一郎、山本大馳、三嶋泰司、永光良臣、沖藤亜月、北川孟樹、中部真輝、西尾慎、勝連遼、庄司志絆、濱本夏輝、遠野真介、宮城太郎、矢野太陽、前永悠太、大東寅之亮、森本耀太、瀬畑瑞紀、伊藤悠翔、大野撞成、藤井啓太、原田翔光、大森風牙、倉光章介、横田奏牙、岸田優心、大谷龍斗

<岡山学芸館高校> 監督:高原良明

岡田建斗、山田聡平、坂口蒼佑、田中大翔、平尾駿成、徳村保成、江口陽向、高橋陽斗、濱田斗真、吉岡大和、青川凌大、堀口友聖、万代大和、酒井万璃、栢森太希、近藤綾真、脇拓実、田和昂、後藤慶、辻廉二郎、辻琥白、山田悠斗、岸昂希、山田琉斗、日野伊織、太田玲央、沖然太、濱口颯羽、本村悠斗、越水蒼真

<高松商業高校> 監督:川原寅之亮

川西涼太、武田桃典、岡英汰、迎健成、黒川翔吾、柴村庵利、金光大帆、尾藤陽仁、蓮井樹、大久保成海、高尾直希、浜浦一平、中野陽介、植林天志郎、伊瀬海翔、飯間一景、田中孝河、門大和、吉田健敏、中島大晴、松浦空斗、本井蒼馬、中西巧、木村理人、瀬尾敬士、泉一颯、小川隆希、森本健輝、正木晴、小谷歩汰

<新田高校> 監督:清水祐貴

奥村樹仁、栗田蒼大、一木輝大、清水惠多、日野暁斗、福井遼也、吉田慶志、石橋凜、白井京典、石澤大悟、近藤研太、矢野雄空、大八木龍之介、内田颯大、山内愛翔、山村脩介、東悠真、尾高一駿、平尾圭太、山崎陽太、岡本紘音、野中陽允、川上翔大、梶岡侑真、木原大耀、三原永遠、佐倉有飛、福吉来輝、金本惠翔、藤岡琉樹

<徳島市立高校> 監督:河野博幸

李ハソン、増谷羽竜、前原琢人、伏田珂偉、川村康生、柏木優一郎、松山哲也、湯浅大輝、細見悠剛、加藤遼馬、水内心博、高岸空叶、山田想真、室田朔弥、津村良介、東海林蓮、児島至咲、牛尾律貴、芳田翠、逢坂翔雅、山本崇斗、平川泰成、李結斗、山田悠真、山口真由、平尾海斗、藤村優太、山下蒼士、高尾瑞希、藤岡亮哉

<高知高校> 監督:大坪裕典

高田飛空、森心、西村圭太、片岡蒼空、山本煌樹、横田陽向、前田悠輝、森逞、安岡佑真、松本蓮斗、横田滉、栗本愛司、伊藤駿、上村大智、村田桜聖、大長優希、富田加賀、山崎智太、大久保颯真、小黒悠斗、田村悠人、森本篤祐、小田凜乃介、田中恵太、河野温人、松田翔空、安岡翼、大西貴太、佐野颯心、森本大夢

<東福岡高校> 監督:平岡道浩

青木流汰郎、中野柊、村上瑛汰、奥野真羽音、福谷理登、岡本有人、瀬戸山遼成、細野野輝、小熊亮輔、佐野遥斗、中村祐翔、菅谷颯太、大嶋央貴、宇都宮夢人、吉川豹生、西田煌、北橋佑理、剛崎碧碧、中本律、生水智也、司城大輝、田邊雄大、堀田太陽、三吉祐也、新原遥翔、長岡颯太、杉谷俊哉、山口倫生、齊藤琉稀空、児玉敦志

<佐賀東高校> 監督:浦原晶昭

下川運羽、渡邊敬互、鶴丸蓮、諸石優、假屋朋希、丸尾太一、田中颯大、井手晴也、才木隆功、永野凜大、菅壮吾、柴田陽太郎、持永陽輝、中村友、裨田幹太、垣田裕輝、雨水蓮翔、中山遥翔、平山舜、岩下蒼甫、原田龍真、浜田泰成、進藤晃太、藤戸翔汰、石川僚祐、三原拓実、尾崎健成、高倉龍展、岡崎瑛大、土井瑛太

<大分鶴崎高校> 監督:首藤謙二

桑原颯太、大倉公亮、三浦春汰、片島啓太、吉元俊輔、山本一慶、高野将大、諸永侑斗、廣川敬太、川野公聖、藤戸瑛太、横田啓、尾本泰雅、首藤惺南、染矢宏輝、奈良三志朗、河野歩夢、河野真剣、軸丸生己、帆足海、尾崎琉太、矢野圭悟、中西俊喜、木許央雅、山下紫風、森哉世、川崎大洋、加藤煌明、高松我空、安部銀之助

<日章学園高校> 監督:原啓太

西森和浩、高岸縁、今門唯斗、柴尾大夢、藤山真、久田朝日、小林佑輔、谷山遼、福田瑛大、真崎煌波、松田恭成、山下結叶、渡会楓馬、臨元亮汰、野口奥平、吉崎太珠、谷泰輔、武藤蒼大、内藤瑛太、重松虎之介、吉田青空、秋鷹青杜、黒木宏大、松田帆空、矢野瑛大、島村陽斗、大平陽稀、田上伊織、村井力磨、岩元航希

<大津高校> 監督:山城朋大

村上葵、野沢遼太、篠原伊吹、西村天祐、開地心之介、今井獅温、松野秀亮、村上慶、緒方涼央、渡部友翔、山本一貴、梅原翼大、木下斗稀、米田潤、福島悠士、若崎天利、吉田陸人、福島京次、有村颯太、辛生隆、山本翼、田中咲翔、松場次元、内村涼夏、古後海慧、西川和樹、山下虎太郎、松岡凜、和泉陽光、村中稜楚

<九州文化学園高校> 監督:有光亮太

山本大誠、坂口魁崇、山田優斗、谷川龍馬、楠翔貴、松本士苑、河端久太、山本孝己、川平遥也、立石大兜、古瀬哉汰、水田凜太郎、與那嶺倫亜留、谷村哲平、原田咲瑠、宮脇天雅、本多流唯、辻昂志郎、前田大和、金子恋次、窪田虎希、菊地煌、福蓋翔大、秋吉将太、樹本晟名、小田琥太郎、田栗眺夢、小島祐杜、片岡瑞貴、森新之介

<神村学園高校> 監督:有村圭一郎

江田優大、寺田健太郎、久保侑工、常岡賢太郎、中村大志、今村太樹、鎌田心、中野陽斗、荒木仁翔、永松将吾、竹野楓太、大空星那、米村颯真、尾関晴、真弓陽夢、堀ノ口瑛太、細山田怜真、佐々木悠太、福島和毅、岡本桂乙、新名優樹弘、奥田敦斗、増田宗一郎、倉中悠駕、徳村楓大、日高元、花城瑛汰、東若泰雅、小園農之朗、趙俊紀

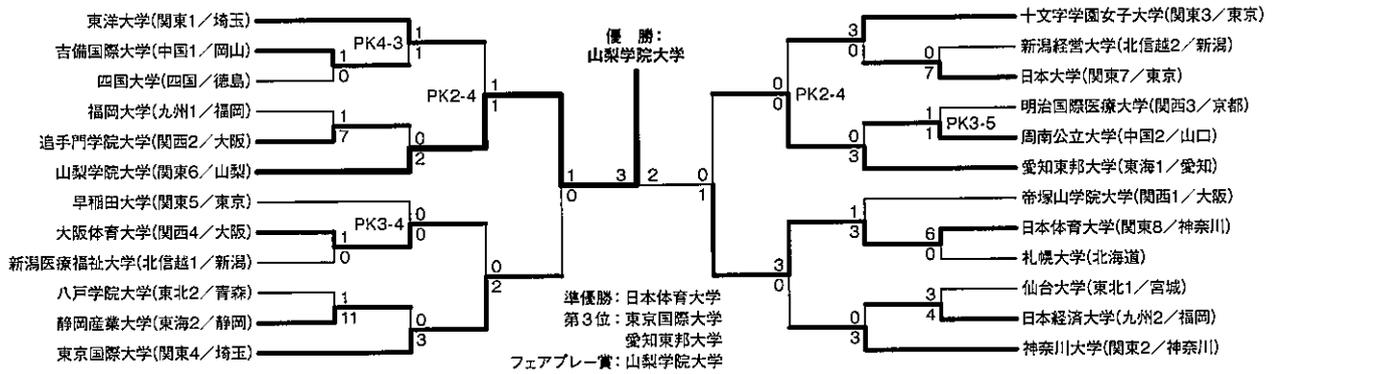
<那覇西高校> 監督:運天直樹

金城青空、與那覇虎太郎、東恩納寛大、喜名颯太郎、平良祐翔、上原叶翔、宮里豪、宮里純一、真境名駿平、中村瑠唯、渡邊瑛斗、美里陽季、備瀬光絆、比嘉光太郎、上地玲央、具志堅洸、比嘉祐太、當間蓮、金城瑠旺、玉城悠希、國吉權士、松田朱生、赤嶺友介、池根翔太、田仲翔、平安優介、上原文太郎、与那嶺正虎、知花康生、石川元淳

第34回全日本大学女子サッカー選手権大会

一般財団法人全日本大学女子サッカー連盟およびJFAが主催する本大会は、JFAに女子登録した加盟チームかつ大学のチームで、大会参加申込締め切り日(今年度は2025年11月20日)までに登録された単一の大学の学生の選手に出場資格が与えられた。今大会は、2025年12月23日~2026年1月6日に大阪府、茨城県、東京都で開催され、24チームが出場した。

※大会レポートは69ページに掲載



準決勝

山梨学院大学 1 (前半0-0 後半1-0) 0 東京国際大学

●2026年1月4日 11:00 ●味の素フィールド西が丘 ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]佐々木陽美 [副審]大堂清香/佐藤謙音 [第4の審判員]若佐莉奈 ●観衆:867人

山梨学院(監督:村上裕子):[GK](33)本多陽菜 [DF](2)小堀菜緒(3)一瀬葵夢(5)大高心(64)寺村穂香 [MF](9)山田歩美<-54'(32)山名映理>(10)堤なつほ<-74'(61)中込悠>(14)加島希夏<-74'(34)小原美月>(15)城山にこ(65)香椎彩香 [FW](20)伊藤琴音

控え:(60)高橋千空(23)佐々木はるか(25)正木美里(28)高木琳(36)砂川莉里佳(51)小林結依

東京国際(監督:藤井奈々):[GK](1)酒井優羽 [DF](3)内田衣泉(4)吉田美優(5)古川晴海(47)清川海七 [MF](8)佐藤菜々花(11)山田実菜(18)坂ふみか(26)塚原花(30)坂本聖奈 [FW](2)岩下心々愛

控え:(41)伊藤瑞紗(12)岡崎芽叶(16)石井音羽(19)神津萌(25)日野菜月美(32)笠井琴葉(33)川嶋琴葉(36)渡井心彩(45)倉品清南

得点 [山梨学院]90+1' 一瀬葵夢(1-0)

準決勝

愛知東邦大学 0 (前半0-0 後半0-1) 1 日本体育大学

●2026年1月4日 14:00 ●味の素フィールド西が丘 ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]横田碧 [副審]山本真理/大谷美瑛 [第4の審判員]猪口遥南 ●観衆:1,258人

愛知東邦(監督:米澤好騎):[GK](21)花田実悠 [DF](8)浦前遥楓(16)青木愛莉(23)横田晴(28)幸福征良 [MF](4)藤本日菜(10)米澤心花(14)伊藤凛莉(15)日比野夢乃<-35'(11)都筑かんな<-83'(37)望月敦那> [FW](6)浦前彩楓<-83'(22)宮原梨沙>(27)倉橋陽菜<-83'(9)田代つばめ>

控え:(31)山本みづき(19)山田奈由(24)鈴木伽乃音(26)浅井唯(36)入江涼

日本体育(監督:嶋田千秋):[GK](1)服部茜沙香 [DF](2)藤澤和心(3)俣野佑果<-HT(15)内村心優>(4)朝倉加奈子(5)菅原真名 [MF](7)篠田帆花(9)本田悠良(18)柴原希保<-HT(8)藤谷千里>(24)松崎こころ [FW](10)北沢明未<-90+3'(29)中村円香>(11)高橋光莉<-90'(13)浅香美結>

控え:(12)福田はな(14)錦織美紀(25)寺田梨乃(27)大矢さくら(32)今野真帆

得点 [日本体育]52' 本田悠良(0-1)

決勝

山梨学院大学 3 (前半2-1 後半1-1) 2 日本体育大学

●2026年1月6日 13:00 ●味の素フィールド西が丘 ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]大村琴美 [副審]國師えりな/谷本菜々子 [第4の審判員]友宗菜月 ●観衆:1,003人

山梨学院(監督:村上裕子):[GK](33)本多陽菜 [DF](3)一瀬葵夢(5)大高心(23)佐々木はるか<-62'(2)小堀菜緒>(64)寺村穂香 [MF](4)外林花音<-62'(9)山田歩美>(14)加島希夏<-87'(32)山名映理>(15)城山にこ(20)伊藤琴音(65)香椎彩香 [FW](10)堤なつほ<-87'(61)中込悠>

控え:(60)高橋千空(25)正木美里(34)小原美月(50)大野妃菜(51)小林結依

日本体育(監督:嶋田千秋):[GK](1)服部茜沙香 [DF](2)藤澤和心(4)朝倉加奈子(5)菅原真名(15)内村心優 [MF](7)篠田帆花(8)藤谷千里(11)高橋光莉(24)松崎こころ<-70'(14)錦織美紀> [FW](9)本田悠良<-59'(13)浅香美結>(10)北沢明未<-84'(18)柴原希保>

控え:(12)福田はな(3)俣野佑果(17)鈴木温子(21)吉川はなの(25)寺田梨乃(29)中村円香

得点 [山梨学院]27' 加島希夏(1-0), 33' 寺村穂香(2-1), 70' 伊藤琴音(3-1) [日本体育]31' オウンゴール(1-1), 78' 錦織美紀(3-2)

【参加選手】

<札幌大学> 監督:氏家新司

土井川颯希、松谷咲良、森上茉那、東雲叶夢、前崎結良、大木満央、山本さくら、尾崎寧彩、丸山雪月、山口ヒカル、菅原夏希、関口紗生、本間夢来、猪又月菜、山道未彩、中村吉夏、西潟胡花、山本静果、三澤ゆず菜、中川心、横浜露恋

<仙台大学> 監督:黒澤尚

榊原碧彩、河瀬望乃加、岩田珠李、小川佳奈、菊池柚葉、中島智香、宮下侑奈、平賀茉梨、大瀧愛来、高橋亜以乃、太田璃花、藤田陽向、鈴木心緒、旭実月、渡邊さくら、岡本ひな、馬場彩海、佐藤愛音、大須賀花和、箕川そら、武田夏凜、河野辺楓果、小泉梨緒、松立胡春、堀川真凜、長岡みなみ、五十嵐和郁、横山真鈴、吉田有沙、原田華花

<八戸学院大学> 監督:高見啓太

古川怜奈、中村月、千葉玲奈、松ヶ崎水晶、佐武ほのか、檜山伶、榎本聖妃、島下七海、榎本美月、安藤優花、中山真彩、花部京香、細川暖彩、伊藤朱音、伊藤真緒、野村実紀、楠美来憂、関川伽音、千葉湖羽、沼尾美空、晴山璃里花、竹花来夢、若林亜胡、石川凜華

<東洋大学> 監督:石津遼太郎

久保花穂、遠藤有紗、大山姫星、澁谷菜奈、長尾ののか、経徳遥香、大箸桜子、田畑風佑、三尾心々美、鈴木京響、白木珠奈、松浦加奈、五十嵐花怜、楠さやみ、並木優佳、宮下紗和、清水優風、稲山美優、田中結衣、加藤満久花、中島沙彩、高津陽里、平原花珠、松尾佑芽実、森のの子、柳原さくら、山崎綾乃、高岡澤、伊藤愛唯、中村優月

<神奈川大学> 監督:齊木翔太

高橋愛利花、田島伊織、久田優里愛、沼中彩里、青木奏恵、宮内愛美、秋山実莉、武内愛乃、安藤麻那、樋口三夏、安東優那、浅田幸子、高木沙都、小倉琉海、伊井つばさ、藤原良、奈良萌希、伊藤璃胡、オーライリー詩奈、後藤真生、鶴岡優月、佐藤まどか、江藤里桜奈、岩下楓、木下陽菜、鷗川千優、野中麻衣

<十文字学園女子大学> 監督:野田明弘

高橋侑沙、佐怒賀理子、遠藤花恋、福田ひな、竹野那奈、利光由衣、中野絢、小畑蘭、赤間柊玲、前多祐里奈、黒川愛奈、山田乃愛、高梨智穂、高橋姫花、大槻美生、増茂菜波、細矢貴鼓、本多瑠己、夏目真凜、川田瑠依、風間星、三谷碧葉、白城璃々花、伊藤乃桜、吉田美のり、片岡花海、柳橋理奈、井上らら、村田叶海、金本愛実瑠

<東京国際大学> 監督:藤井奈々

酒井優羽、坂本葵、伊藤瑞紗、内田衣泉、吉田美優、古川晴海、赤羽陽菜、村上水彩、石井音羽、濱岸可那子、神津萌、笠井琴葉、渡井心彩、倉品渚南、清川海七、佐藤菜々花、山田実来、岡崎叶芽、中出夕翔、安掛真優、塚原花、坂本聖奈、岩下心々愛、梅澤彩弥、坂ふみか、日野菜月美、吉岡花菜、川嶋琴葉、杉山咲和、成田咲蘭

<早稲田大学> 監督:後藤史

田村亜沙美、勝間田葵、新井みゆき、杉山遥菜、小林舞美、佐満愛唯、ワース恵、小林睦、今野杏風、吉田玲音、淀川知華、千葉梨々花、崎岡由真、佐藤美海、宗形みなみ、三宅万尋、阪本環、望月美希、川本美羽、米村歩夏、河合結月、福岡結、今井双葉、小島世里、福島茉莉花、芳村実咲、生田七彩

<山梨学院大学> 監督:村上裕子

本多陽菜、大石菜々美、高橋千空、小堀菜緒、一瀬葵夢、外林花音、大高心、中井佑姫奈、佐々木はるか、正木美里、吉岡百亜、寺村穂香、関根実咲、鳴海真緒、山田歩美、堤なつほ、熊谷南摘、加島希夏、城山にこ、高城青空、山名映理、小原美月、砂川莉里佳、大野妃菜、小林結依、香椎彩香、香山京子、伊藤琴音、高木琳、中込悠

<日本大学> 監督:川津博一

山田桜音、藤田萌歌、大塚陽和、中嶋琉七、菅野向日葵、木村菜々夏、大光望結、滝沢美結、清水萌衣、田口瑚香菜、山村美和子、川原梨寧、伊藤そら、難波響、久保華恵、難波奏、木村藍、太田千満、堀花成、玄蕃理恵、笠村凜、濱田若那、佐藤マリー奈々美、片山詠乃、柴田瞳、遠山瑠菜、岩淵柚月、西野早紀、朝比奈優、増原遥花

<日本体育大学> 監督:嶋田千秋

服部茜沙香、福田はな、長谷川想、藤澤和心、俣野佑果、朝倉加奈子、菅原真名、内村心優、鈴木温子、寺田梨乃、笠井寧々、大矢さくら、西村萌、篠田帆花、藤谷千里、高橋光莉、浅香美結、錦織美紀、本城菜弥佳、柴原希保、留木未々、松崎こころ、鬼頭こはな、今野真帆、本田悠良、北沢明未、吉川はなの、山本菜穂、中村円香、高橋亜優

<新潟医療福祉大学> 監督:大友麻衣子

澤田瑞希、中野茉奈、今村ゆい、品川華菜、山崎璃音、大湯可琳、桑原理子、石川くらら、樋山和香、鶴巻美優、田家海風、石野柚良、大澤未由琳、鍛冶侘芽、中村美琴、山下朝子、森三結、大山海波、佐々木穂乃花、中島和香、岡部莉子、森下心温、足立陽菜、木全楓来、昆野杏梨、小池樹里、堀内香歩、米田百佳、清水菜々羽

<新潟経営大学> 監督:鈴木政紀

東原紗和、小柳涼華、芦澤彩、植松結菜、矢古宇紗空、倉持咲希、今井乃愛、林里莉、穂山夏渚、明石桃花、佐藤優良々、佐藤夢来、海老名白、地島愛彩、山口萌花、井上美菜、宮坂空夢、下坂未咲、松崎瑞穂、吉原かな、宮下世那、長谷川瑠莉、九鬼ゆら、須賀美由希、川上暖乃、中館志織、石川実優

<愛知東邦大学> 監督:米澤好騎

伊藤愛那、花田実悠、山本みつき、山岸優空、葛本彩友栄、浦前遥楓、青木愛莉、横田晴、幸福征良、山田夏輝、太田陽菜、藤本日菜、田代つばめ、米澤心花、伊藤凜莉、日比野夢乃、下田和、伊禮門琉海、山田奈由、後藤心優、鈴木伽乃音、茂庭朋幹、倉橋陽菜、入江涼、望月歎那、浦前彩楓、都筑かな、宮原梨沙、浅井唯、新立ひなた

<静岡産業大学> 監督:安浪貴之

前橋莉野、安間帆乃香、和田彩愛、石田小椋、北菜々子、岩崎心、梅津真央、山下杏梨、疋田祝華、市川ひまり、當房皆都、上柳歩美、山田怜愛、曾部妃加里、駒水那名、山本心、大西夏奈、林知奈、槻木澤真彩、小林ちさ、山田桔梗

<帝塚山学院大学> 監督:三輪由衣

丈達瑞月、大野姫咲、流川桐佳、沖山乃彩、木下日花里、田中美空、谷野嘉音、古川陽菜、加藤月唯、美輪佳音、小緑瑠夏、上村綾菜、伊藤有那、江口碧華、西岡楓音、藤本来桃、藤本希梨、松尾由帆、福田美祐、林咲良、大倉弓佳、田中歩乃羽、山田愛実、ムカダンゲイ恵玲奈、山口咲、水谷いちご、丸山日和、鈴木雛子、土井里緒、中琴美

<追手門学院大学> 監督:酒井望

佐木双葉、岡村陽生、井手口怜央、東優希、佐治椋花、長野心菜、森崎歩莉、市川幸来、奈須遥、秋山来実、井原凜、彦阪由依、菊山裕衣、松原愛佳、大場柚季、稲田梨音、木下日菜子、上野のどか、市平梓貴、山下妃華、中田歩果、甲木湖冬羽、橋本みずき、菅森杏、三島ゆな、境優莉花、京田七海、大場舞咲、三浦彩夢、矢野智代寧

<明治国際医療大学> 監督:中村貴史

草刈希羽、藤井百花、北野未優、秋山美月、藤原ひなた、橋根悠花、峯掛桃奈、榎本いつき、宮下祐奈、久保琴海、立野ひなの、神野真凜、古田彩瑛、櫻井月乃、森田こころ、木虎小葉美、梶山朋恵、石田愛、大脇聖葉、大西乙羽、齋藤梨華、岩崎なつみ、金瑠央、行部心彩、遠藤真緒、穴見華衣、滑川藍、今村菜愛、新原由菜、池上羽雪

<大阪体育大学> 監督:石居宜子

相谷亜由花、清悠香、東瑞里、東方琉莉、新城琴美、中村愛理、植田絢羽、渡邊絢音、小林葵、渡部愛梨、野村夏鈴、中垣和佳奈、草場千寛、北原歩奈、川浪実歩、三代淑世、浅田侑来、山内桜子、土田実愛、青木遥香、矢野紗也佳、橋本結菜、西杏琳、川南葉夏、松本柚葉、沖百萌花、岡本伊予、青木杏珠、庄司美優、林寿珠里

<吉備国際大学> 監督:太田真司

西原紗夕、尾崎みのり、河村南、徳本華暖、大久保楓、去来川琳加、工藤風紗、田野愛華、田川葵、黒田珠輝、内田真波、松井琳子、岡田遥佳、釣本小夏、川久保花夏、林心音、孝橋日瑠里、境菜々美、横山奈柚子、岡田梓、糟野達生、村田梨帆、西森海琴、三浦春菜、西山菜々、比嘉柚月、赤木絵美香、塚本聖菜、永山純香、岡田この美

<周南公立大学> 監督:田中龍哉

宮本向日葵、松枝莉央、松永菜緒、越智美弥、渡邊凜、兼崎友希、高垣心、吉岡麗美、西田紗理菜、菅南月、坂田恵実、中野愛菜、河上雛葵、時高由菜、吉田愛琉、佐藤美優、石井日菜、井上恵里加

<四国大学> 監督:平田英治

衛藤七海、田崎ひより、新居ひかり、秋月来望、安岡若葉、酒井心優、福中陽央里、堤琉藍、松村実春、岩原心杏、吉田笑、山下ちろる、池添依吹、岩谷湊塔、川野花歩、依岡怜、望月心咲、佐々木星、金城奏琉、友田愛梨、新居瑞穂、井上麗叶、村上叶恋、永江凜々花

<福岡大学> 監督:門司康成

三宅未紗、久本千紗、西村久瑠実、平望優、井手花香、波多野蘭、関智美、島田梨々佳、茅野愛恵、宮崎ひなた、志和知歩実、橋本歩愛、吉武春歌、古賀萌々華、津田奏音、池田ここ、橋百華、古村誉

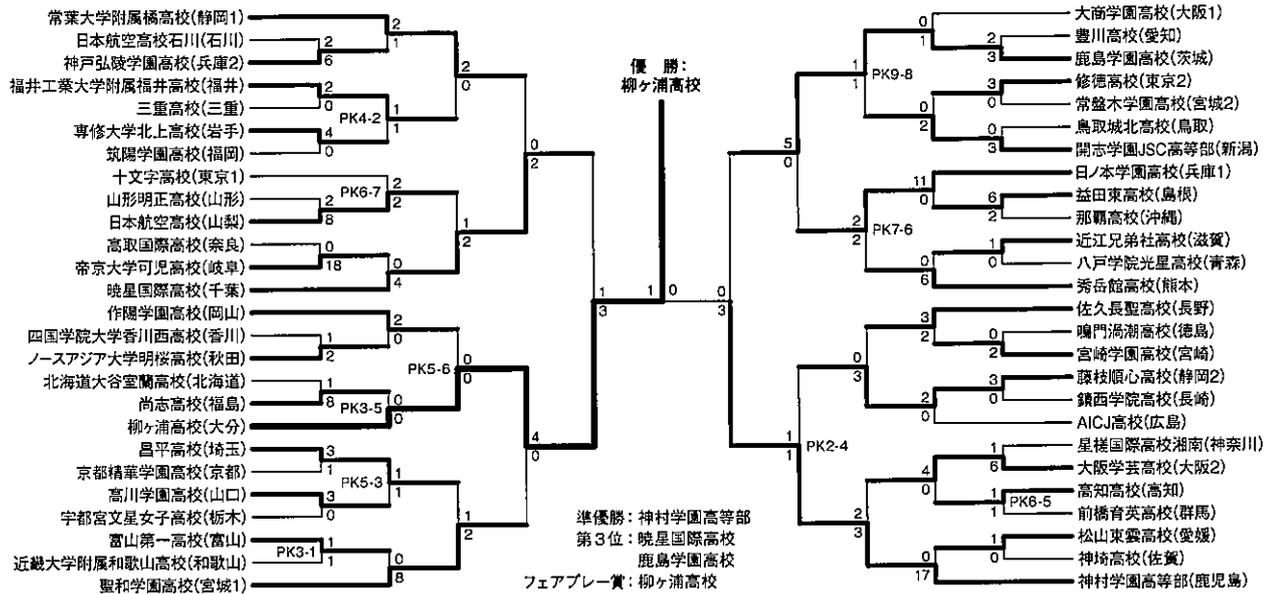
<日本経済大学> 監督:松山友則

平石千里、福田奈々子、鹿毛千聖、稲田早恵、小田部珠涼、大城春歌、江上紗弥、児島花音、森下悠衣、久住呂文華、大久保茜里、蓮池音羽、三好華乃、中村亜海、堀ノ内結愛、高木天菜、山田心優、村田怜桜、西田雅菜、矢野苺衣華、岡林瑚子、畠中愛未、若林楓果、鎌田くるみ、興梠そら、吉留心菜、油谷優梓

第34回全日本高等学校女子サッカー選手権大会

神戸市およびJFAが主催する本大会は、JFAに女子登録した加盟チーム、かつ都道府県高等学校体育連盟に加盟した高校の単独チームで（全日制課程・通信制課程・定時制課程の生徒による混合は認めない）、大会参加申込締め切り日までに登録された高校生の選手に参加資格が与えられた。今大会は、2025年12月29日～2026年1月11日に兵庫県で開催され、52チームが出場した。

※大会レポートは71ページに掲載



準決勝

暁星国際高校 1 (前半0-2 後半1-1) **3** **柳ヶ浦高校**

●2026年1月7日 11:00 ●兵庫県立三木総合防災公園 陸上競技場 ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]丸本明奈 [副審]稲葉里美/吉永真紀 [第4の審判員]的崎陸子 ●観衆:398人

暁星国際(監督:荒井穂高):[GK](1)高品璃世 [DF](2)押井美羽(3)宮崎妃奈(4)根山凛<-82'(24)塩畑凛>(5)川西伶奈 [MF](6)大森心結(8)浅口妃香(9)松谷星来(10)鳴海舞桜<-31'(16)一條亜利沙> [FW](11)伊達香花<-69'(21)重城麻智>(13)小野響叶<->HT(14)芳垣優奈>

控え:(12)宮部海璃(15)増原凜(18)土肥陽依(19)足立かな(27)栗林じゅえる

柳ヶ浦(監督:林和志):[GK](12)中川響 [DF](2)山崎風輝<-80'(18)宝珠咲羽>(4)伊藤白羽(5)大下紗也奈(6)横山愛葵 [MF](8)田淵聖那(9)中溝桃(17)門馬有琉<-76'(20)高田未来>(25)榮森結菜<-90+1'(3)平尾心瑚> [FW](11)松田史真(14)村上凜果

控え:(1)大野菜緒(10)竹田美佐也(13)高田紋叶(15)楠彩由菜(16)広瀬涼羽(19)永野紗耶菜

得点 [暁星国際]83' 大森心結(1-3) [柳ヶ浦]15' 73' 田淵聖那(0-1)(0-3)、40' 横山愛葵(0-2)

準決勝

鹿島学園高校 0 (前半0-3 後半0-0) **3** **神村学園高等部**

●2026年1月7日 14:00 ●兵庫県立三木総合防災公園 陸上競技場 ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]岩本穂花 [副審]勝又美沙希/横田碧 [第4の審判員]脇谷咲花 ●観衆:444人

鹿島学園(監督:豊間健太):[GK](1)佐藤瑛星 [DF](2)中西奇奈(3)阿南愛羽<-82'(14)吉澤菜奈乃>(4)市川心愛 [MF](5)藤原かのん(7)大林亜未(8)阿部陽菜多(9)田口結菜(11)渡辺奈緒<-55'(6)津久井桜> [FW](10)宿野部夏澄(16)山本彩加<-55'(19)明石桜空>

控え:(12)土屋和(13)渡邊柚花(15)安住蒼空(17)竹田朱里(20)吉田夏葵(27)新井未来

神村学園(監督:寺師勇太):[GK](25)濱田桃奈 [DF](2)花島千和(3)漆島祐衣(5)春園虹天<-71'(11)坂元めい>(26)岩下沙羽<-59'(6)折田陽和> [MF](7)山野蒼空(10)舟之川桃果(14)原田真心<-81'(17)中地沙里>(20)池脇愛音<->HT(8)一木知華>(21)佐々木由貴 [FW](9)原口鈴音

控え:(1)新屋奈々(4)廣田凜(6)折田陽和(11)坂元めい(16)中野結菜(17)中地沙里(24)園田結凜(29)船場彩乃

得点 [神村学園]8' 18' 原口鈴音(0-1)(0-2)、36' 山野蒼空(0-3)

決勝

柳ヶ浦高校 1 (前半1-0 後半0-0) **0** **神村学園高等部**

●2026年1月11日 13:43 ●神戸総合運動公園ユニバー記念競技場 ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]田澤友梨奈 [副審]朝倉みな子/佐々木蘭美 [第4の審判員]大谷美瑛 ●観衆:2,850人

柳ヶ浦(監督:林和志):[GK](12)中川響 [DF](3)平尾心瑚<-90'(2)山崎風輝>(4)伊藤白羽(5)大下紗也奈 [MF](6)横山愛葵(8)田淵聖那(9)中溝桃(17)門馬有琉(25)榮森結菜 [FW](11)松田史真(14)村上凜果

控え:(1)大野菜緒(10)竹田美佐也(13)高田紋叶(15)楠彩由菜(16)広瀬涼羽(18)宝珠咲羽(19)永野紗耶菜(20)高田未来

神村学園(監督:寺師勇太):[GK](25)濱田桃奈 [DF](2)花島千和(3)漆島祐衣(5)春園虹天(26)岩下沙羽 [MF](7)山野蒼空(10)舟之川桃果(14)原田真心(20)池脇愛音<->HT(8)一木知華>(21)佐々木由貴 [FW](9)原口鈴音

控え:(1)新屋奈々(4)廣田凜(6)折田陽和(11)坂元めい(16)中野結菜(17)中地沙里(24)園田結凜(29)船場彩乃

得点 [柳ヶ浦]43' 村上凜果(1-0)

データボックス

【参加選手】

＜北海道大谷室蘭高校＞ 監督:石井一矢

洞口柚美、松本蓮菜、工藤梨々花、鶴巻花音、研谷楓、蔵重晴、乙坂柚菜、小林詩葉、山本菜々、鈴木萌杏菜、佐武すずね、成田結理、宮崎愛結風、江藤心璃、白濱彩夏、大原理桜、大橋心、樋口夢来、小館のあ、芳賀美咲、高橋依那、石黒楓、佐藤乃愛、平田陽奈乃、櫛田純怜、工藤凜奈、上野一華、成田美優、草間小雪

＜八戸学院光星高校＞ 監督:力石曉

越後陸心、笠間祐伊、市川莉奈、佐々木美優、ケインケイティ美亜輝、大下愛歌、吹上幹、奥村海音、酒井心春、磯沼煌月、永坂夢羽、高橋生禾、小澤珊瑚、中村里桜那

＜専修大学北上高校＞ 監督:佐藤徳信

小林璃海、高橋莉桜、大島佑海、佐藤風紗、岩淵心春、佐藤夏実、沼崎ひかり、柿本心彩、森愛心、久保田衣菜、加藤莉唯歩、榎本りお、星川優香、平山梨優、角川愛桜、高鹿沙紀、佐藤結、永島美智、松岡杏奈、中西乃愛、中野朝陽、内山実優、橋内杏奈、櫻田麗未、只野きりら、及川陽奈、野口華絆音、白取音音、佐藤碧菜、金井望波

＜聖和学園高校＞ 監督:曾山加奈子

福田知未、政延亜弥、室井紗和、鈴木梨子、大口風紗、佐野美尋、大橋歩実、角屋千海、野村心夏、柳原瑠夏、山本詩子、小林凜、保立七海、鈴木紗保、木村かの、伊藤花恋、高橋海空、岸本莉依、村上雛音、折目蒼空、大黒ひなの、平沢杏、山崎美空、岡本百菜未、嘉藤莉緒、佐藤実玖、野崎凜愛、門間はな、佐藤あい奈、藤井璃子

＜常盤木学園高校＞ 監督:阿部由晴

渡辺莉央、川澄玲奈、金濱加依、三上莉奈、久保田瑠伽、海野安璃、築館海藍、榎原汐璃、藤村姿貴乃、盛田ゆい、伊藤楓菜、根本綾乃、弓田裕梨、浅沼杏果、津島咲沙、阿部菜々子、太田愛華、武田侑依、早坂七海、富岡来未、藤田瑠佳、西田野々花、津吹菜帆、谷川莉愛、児玉董、北川莉瑚、菊谷凜々花、石田夏梨、引田千聖、村上緑梨

＜ノースアジア大学明桜高校＞ 監督:松永吾賢

三浦晴、土井結花、古川侑奈、山口愛、土田瑞緒、佐々木遥禾、高木まどか、宇沼愛菜、畠山弥羽、高山良子、佐藤蒼子、永井結菜、清野菜唯、柳沢さくら、工藤優里、富田琴心、櫻田奈々、中山晴楠、加川璃夢、菊地史菜、悪原柚菜、鎌田瑠華、中沢優利、嘉藤心春、熊谷彩菜、高橋音衣、小松奈保、永井幸菜、池谷華莉那、角田桜涉

＜山形明正高校＞ 監督:齋藤旬太

新田瑠衣香、青木橙子、田中蒼波、野本夢、浅岡幸那、嵯峨和、中村景、妙中翼咲、竹田あおい、川瀬七海、石黒優莉奈、菅野楓花、相馬愛華、成本愛利、小山彩美、奥崎暖愛、笹沼沙良、菊池彩葉、長谷川杏、並木里菜、伊藤仁愛、大山陽葵、廖婕甯、山路心結、丸田咲良、今井心柵、伊藤彩笑、長谷川瑠愛、生島明日花、リョオ・ジェニン

＜尚志高校＞ 監督:松本克典

飯干璃音、荒井晴香、大橋弘沙妃、女屋暖華、森川若葉、吉田明依、徳丸凜音、菊池莉央、宇都木碧衣、古波純麗、三浦愛来、堀楓華、石垣香萌花、立原紗耶、渡辺琉華、荒川遥瑠海、橋本侑楽、鋤田葉音、渡部和奏、荒井櫻花、樋口風薫、草野理子、宇都木柚芭、井坂愛瑠、木村杏、川尻あひ、土屋美海、齋藤佳歩、金谷笑花、渋谷瑠南

＜鹿島学園高校＞ 監督:晝間健太

佐藤璃星、土屋和、金子紗耶香、中西杏奈、阿南愛羽、市川心愛、津久井桜、安住蒼空、明石桜空、阿久津結愛、西野愛衣、石原弥華、藤原かのん、大林亜未、阿部陽菜多、田口結菜、渡辺奈緒、渡邊柚花、吉澤菜奈乃、竹田朱里、須賀和音、権田海羽、本多由歩、山本詩音、保科小春、宿野那夏澄、山本彩加、吉田夏葵、本宮心夢、新井未來

＜宇都宮文星女子高校＞ 監督:鈴木秀明

鈴木夢歩、米川愛彩、谷口明日菜、小川優愛、青木心美、阿部菜々子、榎田陽穂、大野瑠華、立石楓恋、中澤和、鈴木希夢、上島桃耶、前林凜花、福田莉子、増山結菜、高橋結亜、青木琴美、安澤心音、木村美咲、福島智葉、山根美優、大島叶愛、渡辺笑彩、柿沼愛、鈴木さくら、橋本百々花、森田葵空、鮎藍、倉持咲希、白石琉琉

＜前橋育英高校＞ 監督:奈良将弘

石原碧、今村梓沙、原口萌子、宮島琉夏、牧野音花、橋本真史奈、五十嵐優衣、鳥山あゆ美、中村心優、柳田里央奈、古屋那奈、石井優奈、山形春華、折橋倅、森口ねね、澁澤咲花、小椋愛実、笠原杏莉、林美羽、小澤このは、長峰令季、遠矢亜沙姫、神崎美紀、日野杏梨、間庭早紀、屋代咲良、岡本夏海、中條凜、岩瀬恵生、吉開心咲

＜昌平高校＞ 監督:森田光哉

ロブソン莉彩那、櫻川なる、光山里桜、湯浅仁那、小室瑠花、大橋凜、阿部小春、尾下心渚、大村有乃、田村采楓、尾島美春、上田莉子、山田仁菜、福島紗羅メヘル、鈴木志真子、勝山あゆみ、若永萌花、小澤真由、永井桃香、瀬戸陽南花、村松菜帆、鈴木海音、岡本明莉、木村唯、野村奈央、田島百和子、西脇優、松井美優、小河実夢、岡田爽

＜暁星国際高校＞ 監督:荒井穂高

高品璃世、宮部海璃、押井美羽、宮崎妃奈、梶山凜、川西侑奈、増原凜、足立かんな、長谷部晶、小川璃菜、塩畑凜、清本一花、大森心結、岡本玲南、浅口妃香、松谷星来、鳴海舞桜、一條亜利沙、土肥陽依、重城麻智、福田春南、越後祐南、森崎紗寿、栗林じゅえる、宍倉佑海、伊達香花、小野響叶、芳垣優奈、河西桜和、渡辺うらら

＜十文字高校＞ 監督:河合一武

幸嶋心結、梅澤ひかり、丹羽なるみ、小早川美穂、根鈴花李、本多桃華、五十嵐央、小川結可、杉山和奏、安西優、松原琉七、木田遥、佐藤色、今ゆうり、川口歩奏、田丸あす香、角野心花、上田璃奈、永谷このは、田村心音、三好志穂、松田夏芽、伊藤芽紗、立田玲奈、野尻陸、中島葵、永井美咲、丸山こゆり、福島菜々子、小林愛結

＜修徳高校＞ 監督:有賀重和

石井美遥、小俣希音、北川優海、高木綾女、高橋実吹、徳江はる、倉田こはる、コンシエ工桃菜、西優輝、大崎瞳月、村山樹理、篠山緒美、高橋佳蓮、守屋心春、若木理緒、山本恭子、吉田美岬、佐藤叶夢、鈴木結依菜、添田夏鈴、星裕奈、小出菜瑠、星野佑佳、宇田川果歩、小林愛菜、穴倉梨里華、小林さくら、大畑風和、長井果凜、高橋涼風

＜星槎国際高校湘南＞ 監督:金野可奈

秋谷夏帆、鈴木優、久保川菜実、今井愛凜音、鈴木煌星、福田秀美、朝倉麗、瀬戸島美羽、高橋柚花、齋藤清美、會川千陽、國分彩音、吉澤星空、瀨高眞央、高杉梓、後藤瀨里葉、宮内万南、松井響、大木みのり、小菅華乃、加藤伊莉奈、内山梨愛、菅谷美月、舟山あかり、矢野菜、戸塚優彩、鈴木陽葵、小川莉愛

＜日本航空高校＞ 監督:堀祥太郎

中嶋莉子、前田美沙、宮越杏純、草野咲緒、入山葉月、福川璃、根橋涼花、石山桜、河西美亜衣、北浦彩夢、西出愛悠、土生螢、大島美森、山名愛莉、横山向日葵、小堀美海、片岡さら、小林愛佳、木村優、大橋果果、橋本朋佳、岸本成美、馬崎優仁華、畠中瑞季、佐藤愛真、魚津純香、羽中來愛、北井咲百、宮崎心桜、橋彩珠

＜佐久長聖高校＞ 監督:大島駿

野呂涼華、長尾樹梨、平賀千春、清水夕菜、草山梨子、新井陽彩、近藤里咲、福田かのこ、服部あかり、井上まりな、山下彩希、松田夏音、今城咲優、前野紬、西尾碧海、二ノ宮柑南、名倉愛佳、多和愛珠、金谷彩花、宮本陽菜、牧野琉杏、末本朱里、河村虹歩、川崎みう、尾茂弥花帆、宮内優衣、児玉陽花、川渕歩希、大野美波

＜開志学園JSC高等部＞ 監督:影山啓自

坂田湖琳、渡辺葵愛、角田恋歩、五十嵐日菜、那須陽帆、鄭美惠、中村彩花、小林菜那、後藤藤月、高坂怜那、山田結芽、北風瑠璃、齋藤里緒菜、岩崎朱里、楠本樹里、松川さら、高山杏々葉、吉田琉愛、小野愛、牧野カレン、岩井舞香、山本実穂、池田夏海、瀬川こころ、小林花楓、三野彩音、谷柚葉、濱田優梨、松村梓希、矢島七海

＜富山第一高校＞ 監督:井上欣映

山崎美月、新井菜々音、加藤美菜、菅原亜美、石野姫衣、西田美空、木村玲奈、大塚心葉、加藤穂乃、大崎向日葵、坂田琉偉、覺幸紗菜、赤祖父莉子、牧野南、長能由夏、北村眞那、中山なつみ、原乃慧瑠、平尾優衣、立野希歩、佐伯桜音

＜日本航空高校石川＞ 監督:後藤剣

橋田真咲、古田小雲、津根真奈香、桑江心美、柏葉夢淳、山口彩芭、宮野玲海、小橋来未、竹村永愛、栗田百花、松丸知叶、飯田ここみ、郡司咲惠、黒井竺乃香、小川杏、前田紗奈、玉手光咲、早川芽生、中村莉菜、丸井美壽、川端菜奈、佐藤凜樹、田村愛乃、平石朱那、米田葵菜、島田一吹、柚村友彩、真柄彩花、田中風逢、大久保沙月

＜福井工業大学附属福井高校＞ 監督:久保直也

猪口結衣、菊原悠愛、酒井絢音、金津暖、廣安小春、河越美空、大野瑠愛、上村怜、上岡美有羽、原亜真乃、有田詩葉、河上伶永、名倉幸希、岡田ふみの、春日陽葵、塘紗可、森本夏宝、高木美羽、加藤葵乃、山下凜、杉原希季、高橋みらい、前田百咲、辻ひなた、松平ここの、伊澤凜音、内山緋女、堀江冬柚、中江美結、丸地伶奈

＜常葉大学附属橘高校＞ 監督:落合史裕

福川真紀、望月心愛、小澤瑠奈、上杉恵、松永紗依、望月寧々、鈴木亜子、大村楓、佐野杏心、佐野葉月、小川結蘭、木内優衣、兵庫彩夏、佐藤煌、松井さつき、田村彩心、菊池一柵、花村芽咲、玉川志乃、高田心愛、石内日彩、松浦芽音子、竹川花音

＜藤枝順心高校＞ 監督:中村翔

伊藤楓夏、小早川瑞音、山中実菜、小林愛梨、西川鈴子、尾辻夏奈、岡村望央、内野紗来、高松希、瀧尾菜乃、酒井美祐、竹島彩詠、野本心菜、釘田桃花、諸田心優、磯部真心、鈴木由真、クレイマー内海ルエラ、武田真歩、大石燈、鈴木沙奈、堀江莉心、鈴木巴那、朝賀咲月、高田理乃、内野悠来、嵯峨楓香、佐野澄泉、近藤咲季、西梨恋

＜豊川高校＞ 監督:牛田佳祐

鈴木瑠夏、杉森夕杏、青谷玲桜、田口音々花、辻麻沙美、鈴木日彩、渡辺真由、村松亜胡、木村和奏、長井海音、北村真悠、近藤楓、倉田梓、高橋美羽、西村和、佐々木詩衣、高田莉愛、吉林佐和子、寺崎唯菜、山本美花、堤陽愛莉、野澤結七、大矢咲琶、島津千代、木下夏帆、河津心音、渡辺愛未、山崎明日菜、江川響音、中島和佳

＜三重高校＞ 監督:田中伸弥

佐藤優衣、黒澤まひる、日生下柚羽、前川日和、山本瑠華、辻梨乃彩、伊藤由羽、木多愛美、岡本紗奈、松川芽菜、家城花菜、石野紗弥香、奥林若葉

＜帝京大学可児高校＞ 監督:横幕佳菜

古田琴音、石橋咲希、藤村千静、星屋咲芽、木村夢菜、水野綾乃、小林菜奈、荒井美緒、西村悠花、山本繪、山崎夏夏、神戸みやび、青木智咲、伊藤杏、安田怜莉、安藤希羽、糟谷祐実、加藤彩空、松原帆奏、伊藤美音、栗村日菜、高橋梨瑠亜、工藤碧桜、古田真唯、鶴崎さくら、安田愛歩、谷口心希、岸野梨花、井川澪、福永さくら

<近江兄弟社高校> 監督:松田保

紀平未来、中井心暖、吉井倫奈、小笹結愛、田中美桜、梅垣結良、對中芽衣、森島風穂、津田碧依、山中葵乃、西村京花、北村心、田島望羽、喜茶梨恋、加藤小和、山之内柚帆、宮本七星、川端蘭、原田美海、杉島夏帆、杉山華音

<京都精華学園高校> 監督:山本浩介

貝阿彌奈那、斎藤雅、林香利奈、久保田美優、藤原翠々、大上心春、山本玲音、谷玲央梨、辻羽葉、田口莉音愛、伊坪優依、中山美柚、尾高紗莉、前川結衣、森野彩、金川葵、松田実永、前田音々香、米田衣織、岩見侑芽、山極至珠、元村梨那、越智絢香、今西千晴、堀田環、朝重咲菜、三瀬華音、禰宜田千夏、飯干紗衣、齋藤繪花

<大商学園高校> 監督:岡久契

福田みのり、西桃花、東愛結、中野梨緒、牧野生成、佐竹結愛、近藤花、西村日花、福山ひな乃、渡邊彩乃、小林絆愛、森田結衣花、土肥夕月、丸本ころ、近藤柚月、村上杏奈、笠崎愛乃、中村美南、柴山温安、坂口里緒、山田千咲紀、福田愛子、高橋侑里、清水杏葉、上村真生子、佐藤ももサロワンウエキ、高山よぞら、花田ここな、白井心、中村彩葉

<大阪学芸高校> 監督:副島博志

吉村まりな、中川慧音、山田理琴、杉村はるみ、内田美愛、松川陽加里、新西和花、末永玲愛、木村采央、早坂優来、網藤真子、長谷華、都築風夏、丸山夢、越智想予、赤井小夏、崎原奈美、伊藤心祢、吉村碧、橋戸麻衣、片平菜佑、大西詩、木下ふわり、田中柚葉、池西星空、徳田美姫、温崎亜月、柳田葉乃、田中亜弥、長藤美久

<日ノ本学園高校> 監督:酒井允

湯ノ口愛佑菜、稲垣蓮、大塚理紗子、中内咲那、白鞘愛留、中里美咲、赤羽桃萌、今村木虹、下山司、塩谷花央、高橋あすか、林華衣、木下奈南、細田若那、高橋れある、坂東麻耶、太田遥香、山口真樹、原琴美、高岡怜愛、中安きり、椎葉心華、色川颯夏、川合千咲、吉野温音、上田妃菜里、玉井那奈、河村芽那、五味由和、古川耀華

<神戸弘陵学園高校> 監督:松下昂佑

西村佐実子、新美楓華、谷理乃、平井心、滝谷明花莉、吉村弥華、下条真緒、山下莉央、小林莉空、安原莉愛、谷川蒼依、浦田咲彩、白井梓、古田紗菜、山田愛実、横井睦、早瀬由萌、永井陽莉、前香子野、小西心、石田春妃、藤井希有、安井花心、重成明日花、大塚咲良、吉井めぐ、下田希歩、鈴木梨花、押川智花、森下怜奈

<高取国際高校> 監督:伊藤大翔

梅本紗和、齋藤有香、城之内結愛、桐山翠夏、冬木佑奈、山本琴羽、吉川凜、大河内愛恵、赤松菜優、浅野乃杏、島岡美月、高橋莉音、吉田稀穂穂、櫻木仁子

<近畿大学附属和歌山高校> 監督:雑賀俊浩

小畑優衣、北口那智、竹下心葉、岩尾蒼珂、津村歩、小阪磨美、井上望愛、竹野有香、山田美翔、小西結愛、北野桜子、野上由衣、中谷美咲、久保川穂、谷川めいこ、木村朱里、堀内麻衣子

<鳥取城北高校> 監督:秋山未空

北庄司菜、角村瑚奈、奥村遥、大野鈴、保坂瑠那、奥田ことみ、池田咲柊、森瀬繪、中來田悠菜、堺莉央、杉田菜、西田莉世、松尾仁阿、中井怜菜、中原芽衣、池田咲那、松本陽和、中林琴音、鬼塚さくら、藤塚心奈、吉田ひかり、岩瀬稀里、原田桜花、武藤涼葉、坂口そら、加藤那由莉、中村真悠、木村友紀

<益田東高校> 監督:山根哲夫

岡崎希花、阪峯怜奈、三浦杏子、篠原美那、岡田莉央、平風香、小林恵菜、大平愛来、河上姫和、四元輝、分野愛彩香、岡田萌、波田地桜叶、桂奈由

<作陽学園高校> 監督:山川莉々加

青木凜羽、後藤のぞみ、前田御里、藤井いろは、森口羅夢、難波いぶき、川崎碧、奥村橙子、北山凜音、中尾花夏、賀田愛、小久保里望、片口恵花、西田朱里、岡野晏奈、中島乃々、太幸愛、福垣結、野花絵海、越智春妃、村中亜優、藤原衣緒、田中沙羅、吉田芽生菜、佐野柚希、松崎朱音、藤原碧衣、木戸菜姫、波尻七海、沖土居希実

<AIJ高校> 監督:小川潤一

河内山命音、藤原沙奈、船越優芽、宮武つぐみ、森山佳乃、竹原優佳、中谷日青、川瀬彩桜、加藤琉梨、海野智音、松原有里、鴨谷友里、平見彩華、馬場萌衣、横井萌々香、中川心葉、川崎和奏、小田咲花、黒田乃愛、横井希凛、山内優花、藤本暖乃、黒木心空、佐々木陽菜、河崎咲歩、世田愛和、黒崎琉衣、臼井利依、吉川亜佳里、妹尾のん

<高川学園高校> 監督:石田皓大

松本和子、石村莉里、香川真緒、原野心愛、託見桜都、村田杏、安嶺南、中尾優月、堀沙雪、徳田美海、澤村椿葵、本木七都、岡みひろ、上田紗羅、山本彩華、高橋希果、木下珠結、井上真音、田頭侑奈、坪村莉穂、坂田叶愛、堀江花凜、福葉心花、中島聖、栗田明菜、石川理緒、兼崎心里、篠田倫空、安村美月、山田葉乃

<四国学院大学香川西高校> 監督:菊地亜紗子

有木心詩、伊藤亜里紗、西尾佳花、矢野琳琳、朝倉琳翔、和田望美、松村菜那、佐藤由奈、中村蒼空、江崎璃子、守屋真楓、田村真帆、菅尾優那、大槻栞菜、野北綾、田村歩

<鳴門渦潮高校> 監督:佐藤誠介

松尾心真、仙波愛衣、南雲虹幸、岩田蒼生、立野姫愛、千代結、堺真央、長瀬莉世、田中紫音、佐藤美風、今岡心美、長谷川咲子、西脇莉音奈、大野羽月、井上理子、片岡未羽、山口蒼織、上林璃緒、里見想麗、藤岡虹羽、中垣文花、村井沙帆、杉本雪奈、河月とあ、高石ひなた、堀沙瑠、流谷麻代、香山紗瑛、太尾花玖弥、福原由麻

<松山東雲高校> 監督:近藤凱

満田菜々乃、丸山怜那、武田爽、相原穂花、浦田芽優奈、西宮莉杏、鈴木舞尋、井上愛理珠、佐伯空、河野さくら、重松萌香、上田すみれ、村木祐恵、宮島美瑠

<高知高校> 監督:名倉正倫

山中麗、掛橋結、森江喜子、吉岡優羽、徳原心美、野島小夏、菅芽羽、嘉新心来、泉香里奈、大森桜花、三浦姫依、松永優里、山田麻帆、平田芽生、大野羽愛

<筑陽学園高校> 監督:白垣裕行

高田真央、山田友鈴、宮本彩衣、池内純玲、柴田羅夢、松本遥姫、井手友依子、宮副叶羽、在津希美、川原叶愛、近藤桜愛、比毛環渚、山田美月、後藤萌愛美、倉重咲希、谷野羽南、萩原千明、宮下結衣、大神美衣奈、福嶋心美、西江陽菜、山川日菜子、中廣楓香、今井智尋、徳永祐奈、坂井瑞、阿部志穂、西俣々歩、小園百愛、牛島梓織

<神埼高校> 監督:相島哲治

永家ありさ、土山恵梨香、中島瑞歩、真鳥楓、森藍凜、山口遥叶、洲上理央、吉ヶ江仁愛、高石彩恵、柳田夢乃、藤本悠花、池田望愛、鶴美空、中山美礼、椿姫奈、伊藤杏莉、井ノ上奈月、松本夢

<鎮西学院高校> 監督:川原武

濱崎夏帆、富永芽衣、吉川美海、小林彩希、山下陽色、本多萌百、布田響、下窪のん、富田美空、宇土来南、柴田陽菜、小金丸凜、山口芽依、江野綾菜、平田そら、後山沙羽、島田晴菜、馬場彩花、松本玲音、幸田優里奈、池田絆菜、坂上凜、田中唯、山崎希楓、竹元小雪、菊池彩花、南利寧音、松本宇桜、篠原茜、河村美沙樹

<秀岳館高校> 監督:矢野君典

與古田ルナ、姫野レナ、萩山明依、上紅愛、清水あおい、小池唯月、宮下心優、立和田紗佳、林莉帆、永蘭叶乃、知念舞彩、松木琴依、上野りん、大和璃、三池華鈴、永野詩依榎、鶴野凜音、園田琉依、黒木玲那、簡陽葵、上原琉乃、安次嶺咲空、田中文渚、宇高未依奈、川添凜音、橋谷麻莉、浦里心結、大村谷星来、谷口桜花、吉泉妃桜

<柳ヶ浦高校> 監督:林和志

大野菜緒、中川響、樽口文音、山崎風輝、平尾心湖、伊藤白羽、大下紗也奈、竹田美佐也、高田紋叶、橋彩由菜、広瀬涼羽、普天間結陽、羽多野葵唯、堀菜々美、横山愛葵、丸山笑花、田淵聖那、中溝桃、門馬有琉、宝珠咲羽、永野紗耶菜、榮森結菜、野田朱花、安田絵恋、松田実真、村上凜果、高田未来、木下あかね、山田結月、外間笑華

<宮崎学園高校> 監督:木野田俊英

宮田紗果、入江玲美、佐藤歩実、川本心瑩、黒木美結、森千晴、黒木彩絢、堀田花凜、宮永美海、藪内瑠那、川畑凜、税田琳花、村田愛桜、田中姓李、奈木野紋羽、境目楓、小田唯夏、嶋田和花、内山心蘭、岡野夏穂、倉田悠愛、吹上叶花、福田涼羽、河野愛羅、矢野百笑、南平夏里奈

<神村学園高等部> 監督:寺師勇太

新屋奈々、宮村一花、濱田桃奈、花島千和、漆島祐衣、廣田凜、春園虹天、折田陽和、藤本理杏、生田凜、園田結凜、岩下沙羽、船場彩乃、山野蒼空、一木知華、舟之川桃果、坂元めい、原田真心、橋あみず、中野結菜、中地沙里、濃砂安凜、池脇愛音、佐々木由貴、桑代心彩、中村葵、日高美空、土山紗也佳、竹下礼華、原口鈴音

<那覇高校> 監督:大城尚

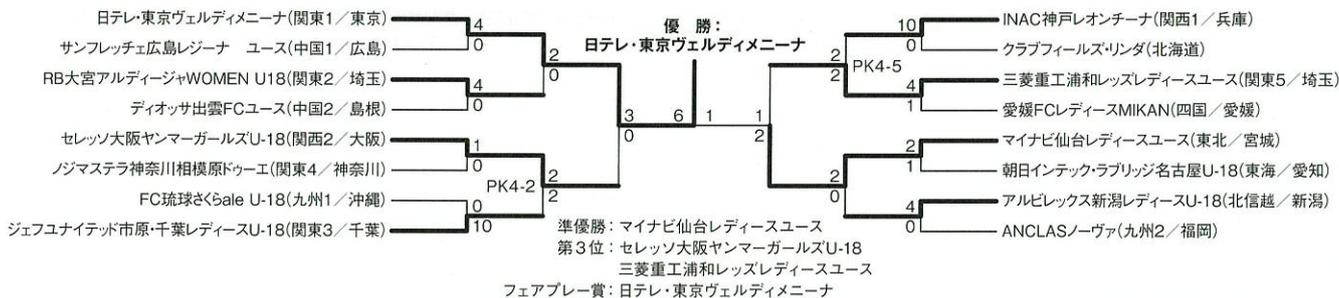
金城初栞、喜倉場莉子、金良ももこ、上江洲花帆、比嘉真奈、國吉萌那、兼城咲姫、上間彩世、高良結菜、新川和奏、島袋紗希、玉井美羽、金城穂嘉、田村花恵、安部心晴、村田夢采、照屋奏、比嘉ののは

データボックス

JFA 第29回全日本U-18女子サッカー選手権大会

JFAが主催する本大会は、JFAに女子登録した加盟チームおよび大会参加申込み切り日(2025年11月27日)までに登録された2007(平成19)年4月2日から2013(平成25)年4月1日までに生まれた選手に出場資格が与えられた。今大会は1月3日~10日、大阪府のJ-GREEN堺で開催され、16チームが出場した。

※大会レポートは73ページに掲載



準決勝

日テレ・東京ヴェルディメニーナ 3 (前半3-0 後半0-0) **0** **セレッソ大阪ヤンマーガールズU-18**

●2026年1月6日 11:01 ●J-GREEN堺 S1 ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]千蔵るり [副審]佐藤浩太/西尾憲太 [第4の審判員]野澤陽介 ●観衆:325人

日テレ(監督:坂口佳祐):[GK](16)加登脇心羽 [DF](3)青木夕菜(4)松岡瑛菜(6)朝生珠実 [MF](8)須長穂乃果(10)伊藤風葵(15)米倉和心<->88'(5)尾上陽向> [FW](7)栗田七海(9)西尾咲希(11)式田和<->88'(13)諸田彩渚>(12)小野葉月

控え:(1)永井愛理(2)柏村美那(18)鷗崎妃南(20)伊藤葵海(21)安田ひらり

C大阪(監督:武末彩子):[GK](1)天野衣千花 [DF](3)牧口優花(4)四本帆夏(5)竹田葵<->83'(13)松浦友芽>(15)西村絵花瑠<->83'(18)寺田莉紗> [MF](6)飯田瑠瑠(9)田村胡桃<->39'(7)玉村海乃>(10)中村心乃葉(14)牧之瀬歩<->80'(20)林俊明> [FW](8)古田麻子(11)池田柚葉<->39'(16)林祐未>

控え:(21)関口明日香(2)安田実愛(17)亀井梨乃(25)西藍花

得点 [日テレ]19'式田和(1-0)、26'西尾咲希(2-0)、45+1'栗田七海(3-0)

参加選手

<クラブフィールズ・リンダ> 監督:松下宏

竹内紗和花、鈴木知菜、丸山彩、濱西利、高田絢子、及川璃音、中村実幸、長谷心音、渡邊こはく、高橋美咲、高橋未羽、木村葉南、笹森日和、門間祐加子、盛永恵菜、片山恵連、福村七色、永山未苑、猿田心夏、福村音色、時田結愛、阿部夏帆瑠、庄谷内響華、山根心菜、福永彩恵、村田毘奈莉、養本亜李咲、松山心咲、西野雫、櫻井希歩

<マイナビ仙台レディースユース> 監督:正木裕史

瀬戸如紗、湯田さくら、佐藤りのあ、熊谷花、石塚瑛菜、宮崎優那、佐藤美おん、岩城恋音美、三浦月音、岸咲良、横塚琴乃、保美羽、村上渚紗、加藤心、星野朱凜、樋口らら、渡邊衣織、菊地花奈、岩田琳香、吉田桃子、村椿愛理、佐藤葉音、福原愛子、黒木遥夏、今野友絵、内田桜央、津田愛乃音、渡邊愛香里、深井愛玲奈、西尾莉緒

<日テレ・東京ヴェルディメニーナ> 監督:坂口佳祐

永井愛理、加登脇心羽、小野崎真実、新山愛純、柏村美那、青木夕菜、松岡瑛菜、尾上陽向、朝生珠実、鈴木遙、鷗崎妃南、奥住心音、満屋桃杏、佐藤乃依、栗田七海、須長穂乃果、伊藤風葵、式田和、遠藤六花、米倉和心、伊藤葵海、安田ひらり、廣末結麻、金澤星、西尾咲希、小野葉月、諸田彩渚、西村祐蒼、友利愛紗

<RB大宮アルディージャWOMEN U18> 監督:大石裕弘

寺本唯香、國分ここね、奥山杏美、土肥歩未、加世田唯愛、金野有沙、長谷川和花、佐藤百音、片桐潮音、鈴木凜和、茂木昂来、山田小桜、渡部夏菜、甲斐さくら、渡辺夕那、飯田かれん、茂木未宙、岩田紗久良、内山わか菜、大井みのり、諏訪穂香、中村優那、三浦葵、宮下詩、近藤芽衣、末岡美嘉、福島花菜、宮崎さやか、関根舞彩、尾崎美有

<ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-18> 監督:櫻本尚子

足立楓、瓜生芽、内村穂乃花、山田果歩、大崎詩、井上果鈴、足立梓、宮澤沙織那、荻野友里愛、田尻実奈海、須永さくら、曾根花杏、鈴木沙弥、深澤瑠那、大西真緒、吉野心、久保田真帆、高橋楓、吉川莉子、角谷瑠菜、根津里莉日、永田真帆、小峯陽、久保陽央怜、江藤はな、中村美優、狩野野佳、小久保まい、鈴木瑠菜、吉川葵

<ノジマステラ神奈川相模原ドーエ> 監督:坂元要介

五十嵐香奈、谷口瑚葉、池田桃花、久山紗季、中村光里、大長柑花、杉幸夏、表まつり、木村小春、清水和楽、野口みどり、平山樹歩、朝田夕葉、緒方咲季、矢野朝和子、天野美海、石井こども、田村茉優、市川未悠、原真琴、明詩音梨、綿引夏希、中原愛麻、加藤紗奈、佐藤桜咲、児玉咲月、武内明香里、青山千晴、石山愛唯、蘭年田芽依

<三菱重工浦和レッズレディースユース> 監督:米田徹

熊澤歩、澤浦花穂、加納由佳子、秋本悠真、中上希優、伊勢はな、小宮梢、青田望々、松家ゆり、平山優陽、高久ももか、熊谷香季、眞崎玲愛、岡本遥花、小柳はな、熊田姫依、黒川青空、高橋佑奈、黒鳥レイラ、谷田柚、岩下侑愛、平川陽菜、片岡菜葉、諏訪楓、仙石みのり、増田彩衣、中野杏奈、新田彩和、辻あみる、中原心愛

準決勝

三菱重工浦和レッズレディースユース 1 (前半1-1 後半0-1) **2** **マイナビ仙台レディースユース**

●2026年1月6日 14:00 ●J-GREEN堺 S1 ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]千葉美咲 [副審]松崎涼/杉本隼二 [第4の審判員]大内隆 ●観衆:120人

浦和(監督:米田徹):[GK](12)澤浦花穂<->87'(1)熊澤歩> [DF](2)伊勢はな(3)小宮梢(4)青田望々(15)高久ももか [MF](7)黒川青空<->65'(6)熊田姫依>(11)高橋佑奈(44)片岡菜葉(52)増田彩衣里<->HT(8)中野杏奈<->80'(19)眞崎玲愛> [FW](9)新田彩和<->HT(48)仙石みのり>(10)辻あみる

控え:(13)平山優陽(14)黒鳥レイラ(16)中原心愛(18)熊谷香季

仙台(監督:正木裕史):[GK](1)瀬戸如紗 [DF](2)宮崎優那(4)岩城恋音美(5)三浦月音(18)岸咲良 [MF](6)星野朱凜(7)樋口らら(8)渡邊衣織(11)菊地花奈(13)渡邊愛香里<->HT(19)佐藤葉音> [FW](10)津田愛乃音

控え:(16)湯田さくら(3)佐藤美おん(9)内田桜央(15)吉田桃子(20)横塚琴乃(23)村上渚紗(26)深井愛玲奈(27)黒木遥夏

得点 [浦和]43'辻あみる(1-1) [仙台]26'、61'津田愛乃音(0-1)(1-2)

決勝

日テレ・東京ヴェルディメニーナ 6 (前半4-1 後半2-0) **1** **マイナビ仙台レディースユース**

●2026年1月10日 11:00 ●J-GREEN堺 S1 ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]海野晴香 [副審]小西悠子/大森啓子 [第4の審判員]若松さくら ●観衆:300人

日テレ(監督:坂口佳祐):[GK](16)加登脇心羽<->90'(1)永井愛理> [DF](3)青木夕菜(4)松岡瑛菜(6)朝生珠実 [MF](8)須長穂乃果(10)伊藤風葵(15)米倉和心<->87'(5)尾上陽向> [FW](7)栗田七海(11)式田和(9)西尾咲希<->87'(20)伊藤葵海>(12)小野葉月<->87'(13)諸田彩渚>

控え:(2)柏村美那(18)鷗崎妃南(21)安田ひらり

仙台(監督:正木裕史):[GK](1)瀬戸如紗 [DF](18)岸咲良<->HT(26)深井愛玲奈>(4)岩城恋音美<->90'(23)村上渚紗>(5)三浦月音(2)宮崎優那 [MF](6)星野朱凜<->83'(9)内田桜央>(8)渡邊衣織(13)渡邊愛香里<->HT(19)佐藤葉音>(7)樋口らら<->90'(27)黒木遥夏>(11)菊地花奈 [FW](10)津田愛乃音

控え:(16)湯田さくら(3)佐藤美おん(15)吉田桃子(20)横塚琴乃

得点 [日テレ]1'、27'伊藤風葵(1-0)(2-0)、29'式田和(3-0)、32'青木夕菜(4-0)、61'西尾咲希(5-1)、64'松岡瑛菜(6-1) [仙台]44'津田愛乃音(4-1)

<アルビレックス新潟レディースU-18> 監督:徳永尊信

松田莉杏、小舟戸鞠那、鈴木まみ、登坂夢愛、齋藤蓮、米野紗良、川崎美柚、菊地真央、飯田朱翼、小山桃果、緒形逢想、梅津綾菜、海老名祈、菊地結衣、小皆陽菜、更級一花、海老名心、風間紗良、片山乃愛、岡崎藍、馬場朱里、山城弓愛、相馬夏季、丸山碧、内藤穂乃花、菊地咲那、渡部月輝、若桑日和、渡辺麗奈、金根依

<朝日インテック・ラブリッジ名古屋U-18> 監督:江後賢一

祖父江純奈、曾我部若菜、栗田若菜、井戸和、遊佐明加里、小島琉々巴、中川心晴、坂神瑠俐、大倉光藍、近藤万愛、佐野日葵、東條百花、永谷しずく、林蘭花、大宮那月、小澤こころ、森菜緒、伊藤琴葉、加藤真央、伊藤琴彩、山本望結、植村優果、成田伴彩、田中亜依、篠原愛加、伊藤心南、村田優羽、金田穂空、小島希音、野村日愛

<INAC神戸レオンチーナ> 監督:谷奥優作

西本稀彩莉、宮地絢花、岡本紗和、森結愛、金月夏萌、佐用稀空、泉田真奈、樽松すず香、関根来結、北村礼、山中珠夏、山脇菜花、衣川杏樹、岸田優花、友永衣美、池上さくら、野村七虹、森川美優、紺原なつ、野村香帆、大田ありす、定兼愛莉、小西芽衣果、小島爽、平七海、中平怜那、酒井千紘、小倉莉子、新屋敷怜愛、太田朱

<セレッソ大阪ヤンマーガールズU-18> 監督:武末彩子
 天野衣千花、関口明日香、原田菜央、坂田衣知花、安田実愛、牧口優花、四本帆夏、竹田葵、松浦友芽、西村絵文瑠、寺田莉紗、酒本玖波、倉田紗菜、西藍花、岡田真帆、金井咲良、飯田瑠瑠、玉村海乃、中村心乃菜、牧之瀬歩、林祐未、亀井梨乃、林優明、阪田ひかり、山崎由莉、古田麻子、田村胡桃、池田柚葉、平田姫彩、瀬戸美里

<サンフレッチェ広島レジーナ ユース> 監督:田邊友恵
 内田萌々音、島津羽音、宮田爽帆、尾上実那、那須あかり、中川奈南、伊藤夏帆、長谷川芽衣、山本真凜、田中優奈、石原沙来、塩井風羽、金子ここな、金子なのは、武島杏菜、原田結衣、中島采音、近藤音々、田中心結、西森咲華、市川優来、中川風彩、吉田若菜、中原千尋、小出彰乃、中川希花、國枝千夏、日比さくら、清水杏奈、木曾葵

<ディオッサ出雲FCユース> 監督:千本哲也
 江角彩希、金織玲七、見継菜白、山中咲奈、井上柳奈香、永瀬ゆづき、竹下七海、高野慧華、和田杏奈、金坂萌夏、高木菜望、椋木萌衣、田中りい、藤丸瑠子、岩田心、武田心花、柳原花南、佐藤海音、細田心愛、門脇楓、安井杏奈、末次さくら、石橋希唯、松本悠愛、藤原蒼、田和ななせ、土江満梨香、間久保桜花、村尾歩夢、石橋悠愛

<愛媛FCレディースMIKAN> 監督:阿久根真奈
 山内れな、坂村萌杏、山口実祐、白石栞優、芳野陽彩、安喜綾美、三坂莉愛、福住帆乃花、中澤美美、政岡彩華、西岡唯杏、松浦結、大崎雪乃、西本有希、瀬部花蓮、重松空那、清水爽香、秋月美音、北山結実、木下ナナ、川北美月、大原夢空、池内陽香、神野咲子、篠崎里緒、福岡来都、米澤和花、星川夏希、岡崎彩羽、大木優奈

<FC琉球さくらale U-18> 監督:塩川健勇
 新垣友唯、愛國ひまり、金城杏菜、平安座りま、仲村芽衣紗、緒方笑真、新井藍、諸見ゆりあ、矢島心海、塩川心琴、我如古美龍、菅銘美利愛、山川潤、上地希佳、喜舎場かのん、金城妃乃、宇地原菜帆、小林紗季、大城歩志、松尾瑚々、喜多西海、新崎瑠蘭、フォークナー アデラー七美、河上碧、洲鎌結愛、名嘉ひより、平良理英、伊藤樹希、天願千菜海、屋良日葉

<ANCLASノヴァ> 監督:馬場奈都子
 安本理沙、安藤心晴、進藤真奈花、岩本瑠南、河野彩葉、金澤優花、渡邊由理奈、廣瀬颯夏、寺崎美和、高野和花、藤田乃愛、松本莉奈、植木菜々美、衛藤友菜、松崎皆来、植松優稀、野見山玲世、中原柚珠愛、高田真実、秋元美咲

JFA 第31回全日本U-15フットサル選手権大会

JFAが主催する本大会は、2025年度にJFAのフットサル個人登録およびフットサル大会登録を行った15歳未満（ただし、中学校在学中の選手にはこの年齢制限を適用しない）の選手により構成されたチームで、当該チームに登録された選手に出場資格が与えられた。今大会は、1月10日～12日に栃木県の日環アリーナ栃木で開催され、16チームが出場した。

※大会レポートは74ページに掲載

■1次ラウンド

順位	グループA	レインボー垂井	ソレアダ高知	トゥリオオーニ	矢板	勝	分	負	得点	失点	差
1	翼SCレインボー垂井U-15(東海1/岐阜)	6 0 0	2 0 1	6 0 1	9 3 0	0	0	14	2	12	
2	FCソレアダ高知(四国/高知)	0 0 6	6 0 2	6 0 1	6 2 0	1	12	9	3		
3	FCトゥリオオーニU-15(東北/青森)	1 0 2	2 0 6	9 0 1	3 1 0	2	12	9	3		
4	矢板SC(関東地/栃木)	1 0 6	1 0 6	1 0 9	0 0 0	3	3	21	-18		

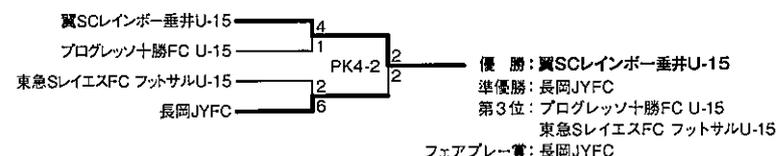
順位	グループB	プログレッシブFC U-15(北海道2)	Jフィールド岡山FC(中国/岡山)	インテル	長野アンビシャス	勝	分	負	得点	失点	差
1	プログレッシブFC U-15(北海道2)	4 0 1	3 0 2	2 0 1	9 3 0	0	0	9	4	5	
2	Jフィールド岡山FC(中国/岡山)	1 0 4	2 0 1	3 0 1	6 2 0	1	6	6	0		
3	SCインテルナショナルジャパン(関西2/兵庫)	2 0 3	1 0 2	4 0 2	3 1 0	2	7	7	0		
4	長野アンビシャスJY(北信越1/長野)	1 0 2	1 0 3	2 0 4	0 0 0	3	4	9	-5		

順位	グループC	東急SレイエスFCフットサルU-15(関東/神奈川)	リガール	三奈	名古屋オーシャンズ	勝	分	負	得点	失点	差
1	東急SレイエスFCフットサルU-15(関東/神奈川)	5 0 0	5 0 1	2 0 1	9 3 0	0	0	12	2	10	
2	リガール(関西1/大阪)	0 0 5	0 0 1	2 0 0	3 1 0	2	2	6	-4		
3	三奈ジュニアユースFC(北信越3/新潟)	1 0 5	1 0 0	4 0 5	3 1 0	2	6	10	-4		
4	名古屋オーシャンズU-15(東海3/愛知)	1 0 2	0 0 2	5 0 4	3 1 0	2	6	8	-2		

順位	グループD	長岡	アレアレア	プリンカール	久留米アザレア	勝	分	負	得点	失点	差
1	長岡JYFC(北信越2/新潟)	4 0 2	4 0 1	3 0 1	9 3 0	0	0	11	4	7	
2	アレアレアFC U-15(北海道1)	2 0 4	5 0 1	2 0 1	6 2 0	1	9	6	3		
3	FCプリンカール安城(東海2/愛知)	1 0 4	1 0 5	4 0 2	3 1 0	2	6	11	-5		
4	久留米アザレアU-15(九州/福岡)	1 0 3	1 0 2	2 0 4	0 0 0	3	4	9	-5		

○:勝ち(勝ち点3)、△:引き分け(勝ち点1)、●:負け(勝ち点0)

■決勝ラウンド



準決勝

翼SCレインボー垂井U-15 4 (第1ピリオド4-1 第2ピリオド0-0) 1 プログレッシブFC U-15

●2026年1月12日 11:00 ●日環アリーナ栃木 ピッチA ●試合時間:30分 ●審判員:[主審]渡部永遠 [第2審判]佐山志功 [第3審判]坂根仁 [タイムキーパー]鈴木一臣 ●観衆:250人

選手名	出場	番号	位置	位置	番号	出場	選手名
伊東海翔	○	1	GK	GK	1	○	春木皆人
若園大輝	○	2	FP	FP	2	△	山口健斗
若山健心	○	3	FP	FP	4	△	三島龍之助
多和田桃梧	○	4	FP	FP	5	○	黒沼奏
佐々木一真	△	5	FP	FP	6	△	堀口吏庵
大野琉空	○	7	FP	FP	7	○	北西連
岩見楓大	○	9	FP	FP	8	○	高橋十夢
片山真真	○	10	FP	FP	9	△	三井遥矢
野村颯士	△	11	FP	FP	10	○	平手泰地
柴田蓮斗	○	12	FP	FP	11	△	早苗雅朗
竹中馨吾	△	13	FP	FP	15	△	太田泰河
村若俊輔	△	14	FP	FP	17	△	河合紗助
三藤美生	○	16	GK	FP	18	△	戸水竣太
				GK	25	△	吉田深太郎
駿河雅真			監督				青木康真

得点:[レインボー垂井]2'片山真真(1-0)、7'佐々木一真(2-0)、10'大野琉空(3-0)10'岩見楓大(4-0) [プログレッシブFC]14'三井遥矢(4-1)

○:先発 △:交代出場 空欄:出場なし

準決勝

東急SレイエスFC フットサルU-15 2 (第1ピリオド1-4 第2ピリオド1-2) 6 長岡JYFC

●2026年1月12日 11:00 ●日環アリーナ栃木 ピッチB ●試合時間:30分 ●審判員:[主審]大枝涼芽 [第2審判]カ石賢人 [第3審判]北島和都 [タイムキーパー]木村拓 ●観衆:250人

選手名	出場	番号	位置	位置	番号	出場	選手名
内田優希	△	26	FP	FP	2	△	廣井史惟
武山煌哉	○	30	FP	FP	5	△	高野義知
佐々木俊輔	○	31	FP	FP	7	△	中村嵐
白井龍稀	○	42	GK	GK	57	△	石田瑞樹
安齋航十	○	47	FP	FP	59	○	関室翔
大谷薫治	△	48	FP	FP	61	△	坂井颯真
奥田竜ノ介	△	49	FP	FP	62	△	渡邊陸
富浦啓太	△	54	FP	FP	66	○	倉持海碧
藤生尚吾	○	55	FP	GK	72	○	増田悠生
波見真翔	△	56	FP	FP	80	○	郷理人
村木優太	△	57	FP	FP	81	○	内山瑞貴
吉川周	○	59	FP	FP	82	△	小島悠衣人
元木誠大	○	60	FP	FP	84	△	小林大泰
田戸慈輝	○	61	GK	FP	91	△	黒川悠斗
加藤祥平			監督				山崎太一

得点:[東急Sレイエス]1'吉川周(1-0)、18'大谷薫治(2-5) [長岡]3'、11'、12'、17'倉持海碧(1-1)(1-2)(1-3)(1-5)、13'郷理人(1-4)、25'石田瑞樹(2-6)

○:先発 △:交代出場 空欄:出場なし

【参加選手】

<アレアFC U-15> 監督:本庄宏太郎
中村楓真、佐々木湊人、植村煌心、山田彩時、原田結斗、和田一翔、法山祐人、竹内貴都、高橋志気、津山巨也、浦川勇次郎、二子玄路、中川蓮、種市康佑、日開蓮

<ブログレソウ十勝FC U-15> 監督:青木康真
春木皆人、吉田深太郎、山口陸斗、大垣祐誠、三島龍之助、黒沼葵、堀口史庵、北西連、高橋十夢、三井遥矢、平手泰地、早苗雅朗、岡田陽玖、山田朔太郎、横山颯祐、太田泰河、河合紗紗、戸水竣太

<FCトウリオーニ U-15> 監督:嶋谷勇輝
大久保千颯、木村煌人、工藤風助、一戸柊斗、福澤菜星、新岡瑛空、白塚運人、神遥之介、増田出、藤田風、高橋颯久

<東急SレイエスFC フットサルU-15> 監督:加藤慎平
宇田川隼人、白井龍穂、田戸慈絆、内田優希、大関仁、武山煌哉、佐々木俊輔、安齋帆十、大谷寛治、奥田竜ノ介、北修也、葛浦啓太、麻生尚吾、波見真翔、村木優太、吉川周、元木誠大

<長野アンビシャスJY> 監督:堀澤秀太
野口蒼真、石川咲瑠、有吉修、山口隼矢、田中悠登、中澤和真、宮原翔吾、中村海斗、佐藤航太、田代丈太郎、桑原壮典、北沢大和、市川心瑠、竹内虎之介、湯本天馬、岡宮蓮、伊東修輔、牛尾泰知、塚田響己、和田知優

<長岡JYFC> 監督:山崎太一
石田瑞樹、増田悠生、廣井史惟、高野義知、中村嵐、関奎翔、坂井颯真、渡邊陸、倉持海碧、民部優心、島田朝陽、中澤翔、今井来空、西村夏向、郷理人、内山瑞貴、小島悠衣人、小林大泰、倉茂蓮斗、黒川懐斗

<三奈ジュニアユースFC> 監督:藤田和也
近藤結斗、渡辺珀虎、佐野蓮、有次勇吹、土田遼太、松澤正幸、高橋宗大、前田龍之介、瀧澤真翔、河本海、山田龍和、坂井藍瑠、高橋馳

<翼SCレインボー垂井U-15> 監督:駿河雅真
伊東海翔、三摩翼生、若園大煌、若山健心、多和田桃梧、佐々木一真、大野琉空、岩見楓太、片山蒼真、野村颯士、柴田蓮斗、竹中馨吾、村若俊輔

<FCプリンカール安城> 監督:古居俊平
森下翔太、冨田遥希、相田琢磨、池田文留、石原直樹、市川赤穂、稲垣蓮、大島蒼生、鈴木海里、高木健成、中村朝陽、長谷川徠人、山口關志、三田凜太郎、宮地諒多、山口皓聖、吉田有汰、古久根裕生、廣田悠星

<名古屋オーシャンズ U-15> 監督:若山伸太郎
城藤雲雀、中牧優月、近藤圭佑、安藤大志、二川陽向、中島應介、光神巧望、儀賀心、清水恵人、藤城龍輝、鎌田侍生、井本凜玖、藤島亜巳琉、河崎純信、笠原多希、奥村海心、小林斗偉、久米泰雅、谷山瑛音

<リガール> 監督:岡村佳太
山本壮史朗、潮理陽斗、久保翼雅、小宮成琉、松田樹輝、田所陽希、田島怜真、永野蒼、辻琉音、辻玲音、朝倉怜央、中野仁譜、永野海翔、リ・セイコウ

決勝

翼SCレインボー 2 (第1ヒリオド1-0 第2ヒリオド1-2) 2 長岡JYFC
垂井U-15 (延長第1ヒリオド0-0 延長第2ヒリオド0-0) PK4-2

●2026年1月12日 14:00 ●日環アリーナ栃木 ●試合時間:30分、延長6分、PK ●審判員:[主審]俵坂仁 [第2審判]中矢敬吾 [第3審判]木村拓 [タイムキーパー]鈴木一臣 ●観衆:200人

選手名	出場	番号	位置	位置	番号	出場	選手名
伊東海翔	○	1	GK	FP	2	△	廣井史惟
若園大煌	○	2	FP	FP	5	△	高野義知
若山健心		3	FP	FP	7	△	中村嵐
多和田桃梧		4	FP	GK	57	○	石田瑞樹
佐々木一真	△	5	FP	FP	59	○	関奎翔
大野琉空	○	7	FP	FP	61	△	坂井颯真
岩見楓太	○	9	FP	FP	66	○	倉持海碧
片山蒼真	○	10	FP	GK	72	△	増田悠生
野村颯士		11	FP	FP	76	△	今井来空
柴田蓮斗		12	FP	FP	80	○	郷理人
竹中馨吾	△	13	FP	FP	81	○	内山瑞貴
村若俊輔	△	14	FP	FP	82	△	小島悠衣人
三摩翼生		16	GK	FP	84	△	小林大泰
				FP	91	△	黒川懐斗
駿河雅真			監督				監督
							山崎太一

得点	[レインボー垂井]7'、20'岩見楓太(1-0)(2-0) [長岡]21'小林大泰(2-1)、30'黒川懐斗(2-2)
警告	[レインボー垂井]21'岩見楓太
PK	[レインボー垂井]先(9)○(2)○(7)○(13)×(1)○ [長岡](59)○(84)○(82)×(66)×

○:先発 △:交代出場 空欄:出場なし

<SCインテルナショナルジャパン> 監督:若原宏昌
山下大空、豊島貴翔、仲上翔真、阿部啓哉、小澤智太郎、小林大輝、増田叶、権藤永大、小田瑛登、高橋航、松岡十和、三好大翔、植村颯真、松本侑羽、西田迅汰、白石陸音、喜多川瑠璃、大林真翔、篠原瑠斗、高見真桜

<Jフィールド岡山FC> 監督:宮下俊
木元春道、宮脇慧、中山結聖、岡田一起、佐藤蒼昭、飯塚航平、橋口翔太、杉山蒼一郎、三木敬太、引本翔真、小林優斗、狩野十和、福森成、松原煌太、大橋龍成、足田幸大、山本湊太、村井蒼太、横田涼介、齋藤歩夢

<FCソレアダ高知> 監督:日浦貴之
上山栄叶、川上智示、沼拓音、寺山倭太、久本風人、堀池希斗、梶原叶大、水田奏音、岩手千紘、北添樹、伊吹流星、刈谷斗佑真、久米陽大

<久留米アザレアU-15> 監督:南孝輔
千代鳥剣之介、黒岩悠翔、室園孝義、生野琉丘、索納光ノ介、宮崎勇佑、原田歩、陣内大聖、塚本真優、松枝遼音、井樋孔要、酒井創多、今村栄、岡野航輝、仲村斗馬、橋渡太吾、徳田亘希、福田葵、赤松慶二、近藤正一郎

<矢板SC> 監督:上林孝至
白井大翔、佐藤駿、草野友希、小泉一颯、枝瀨汰、大山透空、阿久津裕汰、君嶋律音、渡辺晴人、江崎亮介、野口蒼太郎、本澤友吾

JFA 第16回全日本U-15
女子フットサル選手権大会

JFAが主催する本大会は、2025年度にJFAのフットサル個人登録およびフットサル大会登録を行った15歳未満(ただし、中学校在学中の選手にはこの年齢制限を適用しない)の女子選手により構成されたチームで、当該チームに登録された選手に出場資格が与えられた。今大会は、1月11日~12日に栃木県の日環アリーナ栃木で開催され、9チームが出場した。

※大会レポートは75ページに掲載

■1次ラウンド

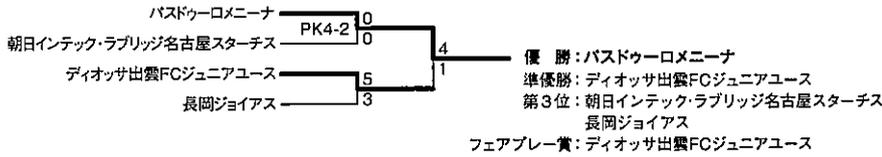
順位	グループA	ディオッサ出雲	十文字中	岩見沢	勝ち点	勝	分	負	得点	失点	差
1	ディオッサ出雲FCジュニアユース(中国/島根)		4○3	3△3	4	1	1	0	7	6	1
2	十文字中学校(関東/東京)	3●4		2○1	3	1	0	1	5	5	0
3	岩見沢FCルファヴェニール(北海道)	3△3	1●2		1	0	1	1	4	5	-1

順位	グループB	バスドゥーロ	長岡ジョイアス	秋田L.F.C.	勝ち点	勝	分	負	得点	失点	差
1	バスドゥーロメニーナ(関西/大阪)		5○0	3△3	4	1	1	0	8	3	5
2	長岡ジョイアス(北信越/新潟)	0●5		6○0	3	1	0	1	6	5	1
3	秋田L.F.C.ユース(東北/秋田)	3△3	0●6		1	0	1	1	3	9	-6

順位	グループC	ラブリッジ名古屋	琉球さくら	ストーリー徳島	勝ち点	勝	分	負	得点	失点	差
1	朝日インテック・ラブリッジ名古屋スターチス(東海/愛知)		3○2	3△3	4	1	1	0	6	5	1
2	FC琉球さくらアレU-15(九州/沖縄)	2●3		3○2	3	1	0	1	5	5	0
3	FCストーリー徳島メニーナ(四国/徳島)	3△3	2●3		1	0	1	1	5	6	-1

○:勝ち(勝ち点3)、△:引き分け(勝ち点1)、●:負け(勝ち点0)

■決勝ラウンド



準決勝

バスドゥーロメニーナ 0 (第1ピリオド0-0 第2ピリオド0-0) 0 朝日インテック・ラブリッジ名古屋スターチス PK4-2

●2026年1月12日 9:30 ●日環アリーナ栃木 ピッチA ●試合時間:24分 ●PK ●審判員:[主審]北川恵太 [第2審判]外館美穂 [第3審判]中西遥音 [タイムキーパー]松田裕之 ●観衆:250人

選手名	出場	番号	位置	位置	番号	出場	選手名
田中琉虹	○	7	FP	GK	1		篠原彩加
豊崎うい	○	9	FP	FP	4		岸本碧月
田中鈴華		10	FP	FP	5	○	大澤叶
山本莉緒		11	FP	FP	7		山下紗欄
関口愛菜	○	13	FP	FP	8	○	永谷しずく
桐生瑚依		15	FP	FP	9	○	敷島瑠璃
高橋陽菜莉	○	19	FP	FP	10	○	田中亜依
友重奈桜		23	FP	FP	11	△	篠原愛加
安藤凜里華		24	FP	GK	12	○	祖父江純奈
加塩晴佳		28	FP	FP	13		垣田かんな
菊地雫	○	31	GK	FP	16		神原佑菜
西川星那		39	FP	FP	42		中林ここ
石本結愛		74	FP				
山本はな	△	87	FP				
川元剛			監督			コーチ	大谷剛史

PK [バスドゥーロ] (7)○(13)○(19)○(87)○
 [ラブリッジ名古屋] 先(10)○(8)○(9)×(5)×
 ○:先発 △:交代出場 空欄:出場なし

準決勝

ディオッサ出雲FCジュニアユース 5 (第1ピリオド2-3 第2ピリオド3-0) 3 長岡ジョイアス

●2026年1月12日 9:30 ●日環アリーナ栃木 ピッチB ●試合時間:24分 ●審判員:[主審]富田昂峯 [第2審判]赤嶺志穂 [第3審判]中矢敬吾 [タイムキーパー]永吉鉄矢 ●観衆:250人

選手名	出場	番号	位置	位置	番号	出場	選手名
井上柳奈香		3	FP	GK	1	○	渡邊美音
藤丸璃子	○	7	FP	FP	2	○	池田彩夏
岩田心		8	FP	FP	5	△	小暮咲絆
松本悠愛	○	9	FP	FP	6		谷沢愛来
和田杏奈		11	FP	FP	8		小関美桜
高木菜望	○	12	FP	FP	10	○	丸山由莉
田和ななせ		13	FP	FP	11		布川祐羽
土江満梨香	△	14	FP	FP	17		稲村桃佳
金坂萌夏	○	15	FP	FP	18	○	西野空音
見継菜白	○	17	GK	FP	19		小林杏南
柳原花南		19	FP	FP	20		小林紅梨
武田心花		21	FP	FP	31	○	笛吹若菜
細田心愛		24	FP				
門脇楓		27	FP				
高橋知也			監督			監督	辻原莉音

得点 [ディオッサ出雲] 6'、23'、24' 藤丸璃子 (1-1) (4-3) (5-3)、12'、22' 松本悠愛 (2-3) (3-3) [長岡ジョイアス] 2' 笛吹若菜 (0-1)、6' 池田彩夏 (1-2)、7' 丸山由莉 (1-3)
 ○:先発 △:交代出場 空欄:出場なし

決勝

バスドゥーロメニーナ 4 (第1ピリオド1-1 第2ピリオド3-0) 1 ディオッサ出雲FCジュニアユース

●2026年1月12日 12:31 ●日環アリーナ栃木 ●試合時間:24分 ●審判員:[主審]野口もも [第2審判]中西遥音 [第3審判]松田裕之 [タイムキーパー]永吉鉄矢 ●観衆:200人

選手名	出場	番号	位置	位置	番号	出場	選手名
田中琉虹	○	7	FP	FP	3		井上柳奈香
豊崎うい	○	9	FP	FP	7	○	藤丸璃子
田中鈴華		10	FP	FP	8		岩田心
山本莉緒		11	FP	FP	9	○	松本悠愛
関口愛菜	○	13	FP	FP	11		和田杏奈
桐生瑚依		15	FP	FP	12	○	高木菜望
高橋陽菜莉	○	19	FP	FP	13		田和ななせ
友重奈桜		23	FP	FP	14	△	土江満梨香
安藤凜里華		24	FP	FP	15	○	金坂萌夏
加塩晴佳		28	FP	GK	17	○	見継菜白
菊地雫	○	31	GK	FP	19		柳原花南
西川星那		39	FP	FP	21		武田心花
石本結愛	△	74	FP	FP	24		細田心愛
山本はな	△	87	FP	FP	27		門脇楓
川元剛			監督			監督	高橋知也

得点 [バスドゥーロ] 12'、21' 田中琉虹 (1-1) (3-1)、21' 山本はな (2-1)、24' 豊崎うい (4-1) [ディオッサ出雲] 9' 松本悠愛 (0-1)
 警告 [バスドゥーロ] 19' 田中琉虹
 ○:先発 △:交代出場 空欄:出場なし

【参加選手】

<岩見沢FCルファヴェニール> 監督:鈴木一則
 鈴木風紗、北夏来、佐武ことみ、中島千晴、吉井結愛、菊地咲結、森内倅音、岩淵奏空、遠藤和水、高原朱奈、大柳歩稀、佐藤小梅、加来笑音、南原心春、阿部心、松明志歩、作井玲

<秋田L.F.C.ユース> 監督:相原良
 佐々木心美、菊地亜、長谷部杏桃、伊藤晴空、今野美良、櫻田乙姫、佐藤百花、細部琳陽、篠原心陽、一ノ関ほのか、佐藤藍来、土田莉奈、西方咲、吉川陽菜、進藤夏楓、齊藤陽菜、大久保万梨、三浦幸姫

<十文字中学校> 監督:山元信弘
 関本凜理、渡辺佑和、武井桃香、森田湖朱、鬼久保蓮花、吉浦希、横田理桜、内川なお、松原璃々、清水うらら、吉江美水帆、遊佐葉月、光田琴胡、曾離心美、尾崎あかね、矢崎菜都、田中瓜沙、箱崎莉乃、小川梨心、間嶋仁菜

<長岡ジョイアス> 監督:辻原莉音
 渡邊美音、池田彩夏、小暮咲絆、谷沢愛来、小関美桜、丸山由莉、布川祐羽、稲村桃佳、西野空音、小林杏南、小林紅梨、笛吹若菜

<朝日インテック・ラブリッジ名古屋スターチス> 監督:江後賢一
 篠原彩加、祖父江純奈、井戸和、遊佐明加里、岸本碧月、大澤叶、山下紗欄、永谷しずく、敷島瑠璃、田中亜依、篠原愛加、垣田かんな、神原佑菜、中林ここ

<バスドゥーロメニーナ> 監督:川元剛
 高橋陽彩、菊地雫、坂田菜美、田中琉虹、豊崎うい、田中鈴華、山本莉緒、関口愛菜、北浦禰乃香、桐生瑚依、岡田心桜、高橋陽菜莉、友重奈桜、安藤凜里華、齊藤結月、加塩晴佳、西川星那、石本結愛、北山薫、山本はな

<ディオッサ出雲FCジュニアユース> 監督:高橋知也
 見継菜白、金坂萌夏、井上柳奈香、藤丸璃子、岩田心、松本悠愛、和田杏奈、高木菜望、田和ななせ、土江満梨香、金坂萌夏、柳原花南、村尾歩奏、武田心花、細田心愛、門脇楓、株木萌衣、川端杏奈、末次さくら、石橋希唯

<FCストーリー徳島メニーナ> 監督:佐賀博幸
 藤井真子、木下桃歌、楠本心和、鷲尾柚希、松本琴星、一宮柚希、長尾花凛、宮尾梨愛、董谷朋華、道上宙寧、原田更海、三栖奏、兵頭詩望、斎藤夢絆、佐藤穂果、秋岡芽依、吉本菜那、植谷虹心、宮本菜月、紙上美春

<FC琉球さくらアレイU-15> 監督:塩川健勇
 新垣友唯、古謝李宛、小林紗季、河上碧、宇地原菜帆、松尾瑚々、喜久村梨緒、平安座りま、我如古美龍、仲村芽衣紗、屋良日葵、當銘美利愛、山川潤、緒方笑真、新井藍、上地希佳、フオークナー アデラー七美、伊藤樹希、矢島心海、平良理葵



EMPRESS'S CUP JFA 47TH JAPAN WOMEN'S FOOTBALL CHAMPIONSHIP

皇后杯 JFA 第47回全日本女子サッカー選手権大会

第1部 大会結果一覧 P57

第2部 全試合公式記録 P58

第3部 参加48チーム・登録選手 P63

大会概要

趣旨 日本国内における女子のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図り、広く女子サッカーの普及振興に寄与することを目的とし、中学1年生以上の登録選手を対象とした国内で最も権威のある単独チームの大会として実施する。

主催 公益財団法人日本サッカー協会
主管 一般社団法人宮城県サッカー協会、一般社団法人秋田県サッカー協会、一般財団法人福島県サッカー協会、公益社団法人栃木県サッカー協会、公益財団法人東京都サッカー協会、一般社団法人長野県サッカー協会、一般社団法人福井県サッカー協会、一般財団法人静岡県サッカー協会、一般社団法人三重県サッカー協会、一般社団法人京都府サッカー協会、一般社団法人大阪府サッカー協会、一般社団法人兵庫県サッカー協会、一般財団法人鳥取県サッカー協会、一般財団法人岡山県サッカー協会、一般社団法人徳島県サッカー協会、一般社団法人愛媛県サッカー協会、一般社団法人宮崎県サッカー協会

後援 朝日新聞社、日刊スポーツホールディングス
[準決勝] 京都府、亀岡市

協賛 JFAオフィシャルトップパートナー : キリンホールディングス株式会社
JFAオフィシャルサプライヤー : アディダス ジャパン株式会社
JFAコンベンションパートナー : 株式会社モルテン

決勝協賛 株式会社SCOグループ

開催日 【1回戦】2025年11月8日(土)、9日(日)
【2回戦】2025年11月15日(土)、16日(日)、19日(水)
※WEリーグクラブは2回戦から出場
【3回戦】2025年11月22日(土)、11月23日(日)
【準々決勝】2025年12月6日(土)、7日(日)
【準決勝】2025年12月14日(日)
【決勝】2026年1月1日(木祝)

会場 【1回戦】みやぎ生協めぐみ野フットボール場 Aグラウンド(宮城県宮城郡利府町)、TDK秋田総合スポーツセンター(秋田県にかほ市)、Jヴィレッジスタジアム(福島県双葉郡広野町)、神原スポーツ公園多目的グラウンド <シャルムスタジアム>(岡山県高梁市)、たけびしスタジアム京都(京都府京都市)、JAアグリあなん運動公園JAアグリあなん陸上競技場(徳島県阿南市)

【2回戦】テクノポート福井スタジアム(福井県坂井市)、藤枝総合運動公園サッカー場(静岡県藤枝市)、三重交通Gスポーツの杜鈴鹿サッカーラグビー場メインG(三重県鈴鹿市)、J-GREEN堺(大阪府堺市)、ニンジニアスタジアム(愛媛県松山市)、KUROKIRI STADIUM(宮崎県都城)、味の素フィールド西が丘(東京都北区)

【3回戦】セイホクパーク石巻 石巻フットボール場(石巻市総合運動公園)(宮城県石巻市)、長野Uスタジアム(長野県長野市)、兵庫県立三木総合防災公園陸上競技場(兵庫県三木市)、Axisパードスタジアム(鳥取県鳥取市)

【準々決勝】ホンダヒート・グリーンスタジアム(栃木県宇都宮市)、兵庫県立三木総合防災公園陸上競技場(兵庫県三木市)

【準決勝】サンガスタジアム by KYOCERA(京都府亀岡市)

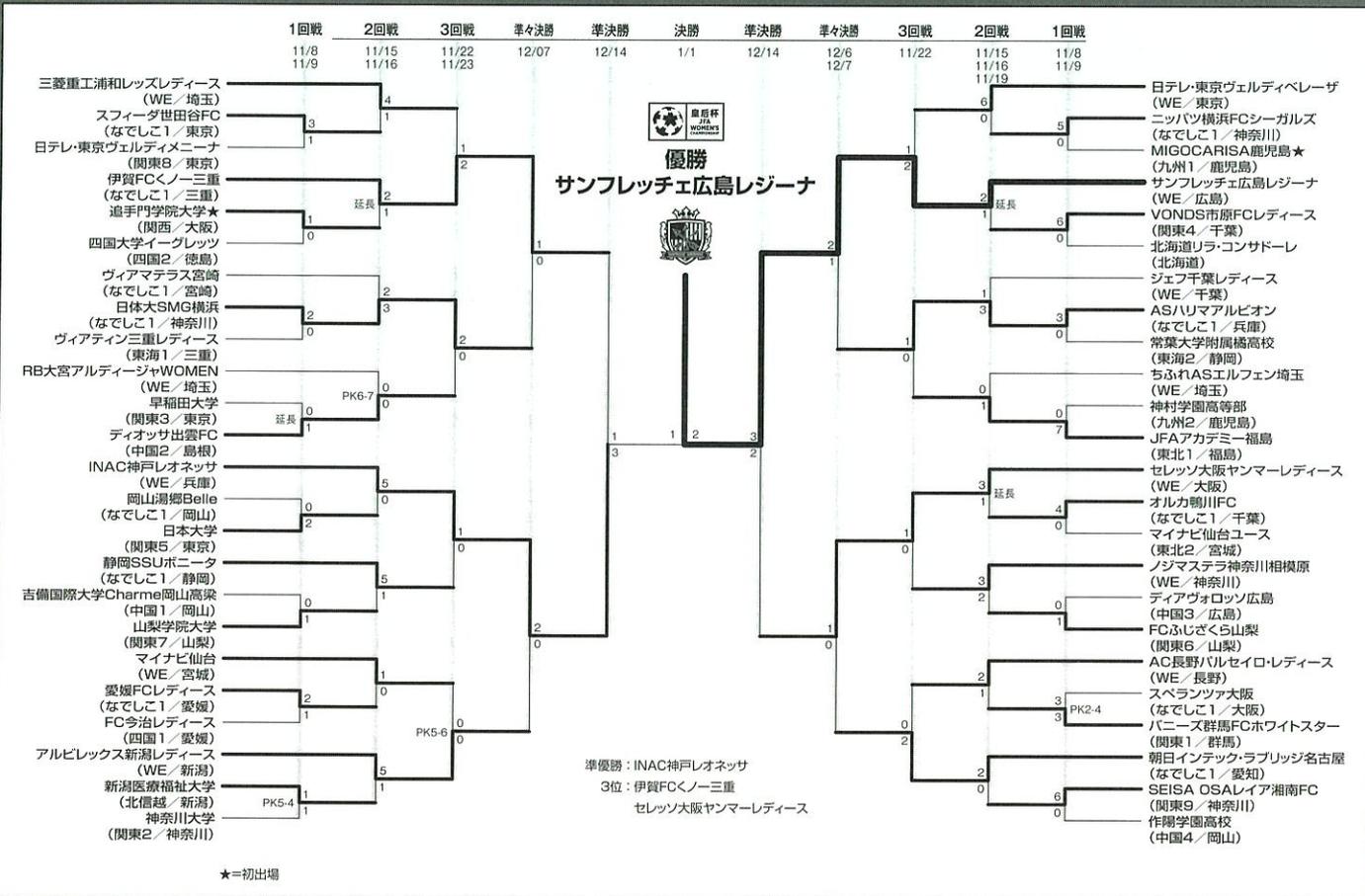
【決勝】国立競技場(東京都新宿区)

参加チーム 全48チーム

・WEリーグ12チーム、なでしこリーグ1部12チーム
・北海道1チーム、東北2チーム、関東9チーム、北信越1チーム、東海2チーム、関西1チーム、中国4チーム、四国2チーム、九州2チーム

表彰 優勝 皇后杯、JFA杯、竹腰杯
優勝・準優勝 表彰状、メダル
フェアプレー賞 トロフィー、副賞
チーム強化費
優勝 10,000,000円
準優勝 5,000,000円
第3位 3,000,000円(1チームあたり)

※大会レポートは66~67ページに掲載





第1部 大会結果一覧

■1回戦

No.	日時	対戦	対戦	会場	観衆(人)
1	11月9日 13:30	スフィーダ世田谷FC	3-1 (0-0)	日テレ・東京ヴェルディメニーナ	みやぎ生協めぐみ野フットボール場 Aグラウンド 214
2	11月9日 14:00	追手門学院大学	1-0 (0-0)	四国大学イーグレッツ	JAアグリあなん運動公園JAアグリあなん陸上競技場 113
3	11月9日 10:30	日体大SMG横浜	2-0 (1-0)	ヴィアティン三重レディース	みやぎ生協めぐみ野フットボール場 Aグラウンド 100
4	11月8日 10:30	早稲田大学	0-1 (0-0, 0-0, 0-0) 延長	ディオッサ出雲FC	神原スポーツ公園多目的グラウンド<シャルムスタジアム> 148
5	11月9日 13:30	岡山湯郷Belle	0-2 (0-2)	日本大学	神原スポーツ公園多目的グラウンド<シャルムスタジアム> 249
6	11月8日 13:45	吉備国際大学Charme岡山高梁	0-1 (0-1)	山梨学院大学	神原スポーツ公園多目的グラウンド<シャルムスタジアム> 125
7	11月9日 11:00	愛媛FCレディース	2-1 (2-0)	FC今治レディース	JAアグリあなん運動公園 220
8	11月8日 10:30	新潟医療福祉大学	1-1 (1-0, 0-1, 0-0) PK5-4	神奈川大学	TDK秋田総合スポーツセンター(サッカー場Aピッチ) 103
9	11月9日 13:00	ニッパツ横浜FCシーガルズ	5-0 (4-0)	MIGOCARISA鹿児島	Jヴィレッジスタジアム 123
10	11月8日 13:50	VONDS市原FCレディース	6-0 (1-0)	北海道リラ・コンサドーレ	TDK秋田総合スポーツセンター(サッカー場Aピッチ) 111
11	11月8日 14:30	ASハリマアルビオン	3-0 (1-0)	常葉大学附属橘高校	たけびしスタジアム京都 145
12	11月8日 13:00	神村学園高等部	0-7 (0-4)	JFAアカデミー福島	Jヴィレッジスタジアム 103
13	11月8日 13:30	オルカ鴨川FC	4-0 (2-0)	マイナビ仙台ユース	みやぎ生協めぐみ野フットボール場 Aグラウンド 279
14	11月8日 10:30	ディアヴォロソ広島	0-1 (0-1)	FCふじざくら山梨	みやぎ生協めぐみ野フットボール場 Aグラウンド 166
15	11月8日 11:00	スプランツ大阪	3-3 (2-1, 0-1, 1-1) PK2-4	パニース群馬FCホワイスター	たけびしスタジアム京都 161
16	11月9日 10:30	SEISA OSAレリア湘南FC	6-0 (3-0)	作陽学園高校	神原スポーツ公園多目的グラウンド<シャルムスタジアム> 162

■2回戦

No.	日時	対戦	対戦	会場	観衆(人)
17	11月16日 14:00	三菱重工浦和レッズレディース	4-1 (1-0)	スフィーダ世田谷FC	藤枝総合運動公園サッカー場 780
18	11月16日 11:00	伊賀FCくノ一三重	2-1 (0-1, 1-0, 1-0) 延長	追手門学院大学	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿サッカー・ラグビー場 331
19	11月15日 11:00	ヴィアマテラス宮崎	2-3 (1-2)	日体大SMG横浜	KUOKIRI STADIUM 764
20	11月15日 14:00	FB大宮アルディージャWOMEN	0-0 (0-0) PK6-7	ディオッサ出雲FC	KUOKIRI STADIUM 273
21	11月15日 11:00	INAC神戸レオネッサ	5-0 (1-0)	日本大学	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿サッカー・ラグビー場 322
22	11月16日 11:00	静岡SSUポニータ	5-1 (2-1)	山梨学院大学	藤枝総合運動公園サッカー場 750
23	11月15日 14:20	マイナビ仙台	1-0 (0-0)	愛媛FCレディース	ニンジニアスタジアム 330
24	11月16日 11:00	アルビレックス新潟レディース	5-1 (2-0)	新潟医療福祉大学	テクノポート福井スタジアム 180
25	11月19日 18:00	日テレ・東京ヴェルディベレーザ	6-0 (4-0)	ニッパツ横浜FCシーガルズ	味の素フィールド西が丘 1,193
26	11月15日 11:00	サンフレッチェ広島レジーナ	2-1 (1-0, 0-1, 0-0) 延長	VONDS市原FCレディース	ニンジニアスタジアム 440
27	11月16日 14:30	ジェフ千葉レディース	1-3 (0-2)	ASハリマアルビオン	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿サッカー・ラグビー場 192
28	11月15日 10:30	ちふれASエルフェン埼玉	0-1 (0-1)	JFAアカデミー福島	テクノポート福井スタジアム 131
29	11月15日 14:00	セレッソ大阪ヤンマーレディース	3-1 (0-0, 1-1, 1-0) 延長	オルカ鴨川FC	J-GREEN堺 メインフィールド (S1) 583
30	11月15日 13:30	ノジマステラ神奈川相模原	3-2 (0-0)	FCふじざくら山梨	テクノポート福井スタジアム 144
31	11月16日 11:00	AC長野パルセイロ・レディース	2-1 (1-0)	パニース群馬FCホワイスター	J-GREEN堺 メインフィールド (S1) 247
32	11月15日 14:00	朝日インテック・ラブリッジ名古屋	2-0 (1-0)	SEISA OSAレリア湘南FC	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿サッカー・ラグビー場 209

■3回戦

No.	日時	対戦	対戦	会場	観衆(人)
33	11月23日 13:00	三菱重工浦和レッズレディース	1-2 (0-0)	伊賀FCくノ一三重	セイホクパーク石巻 石巻フットボール場 406
34	11月22日 11:00	日体大SMG横浜	2-0 (1-0)	ディオッサ出雲FC	Axisバードスタジアム 408
35	11月22日 14:30	INAC神戸レオネッサ	1-0 (0-0)	静岡SSUポニータ	兵庫県立三木総合防災公園陸上競技場 497
36	11月22日 13:30	マイナビ仙台	0-0 (0-0) PK5-6	アルビレックス新潟レディース	セイホクパーク石巻 石巻フットボール場 631
37	11月22日 14:00	日テレ・東京ヴェルディベレーザ	1-2 (0-2)	サンフレッチェ広島レジーナ	Axisバードスタジアム 608
38	11月22日 10:30	ASハリマアルビオン	1-0 (0-0)	JFAアカデミー福島	セイホクパーク石巻 石巻フットボール場 260
39	11月22日 11:30	セレッソ大阪ヤンマーレディース	1-0 (0-0)	ノジマステラ神奈川相模原	兵庫県立三木総合防災公園陸上競技場 326
40	11月22日 13:00	AC長野パルセイロ・レディース	0-2 (0-0)	朝日インテック・ラブリッジ名古屋	長野ユスタジアム 513

■準々決勝

No.	日時	対戦	対戦	会場	観衆(人)
41	12月7日 14:00	伊賀FCくノ一三重	1-0 (1-0)	日体大SMG横浜	ホンダヒート・グリーンスタジアム 276
42	12月7日 13:00	INAC神戸レオネッサ	2-0 (1-0)	アルビレックス新潟レディース	兵庫県立三木総合防災公園陸上競技場 824
43	12月6日 13:00	サンフレッチェ広島レジーナ	2-1 (2-0)	ASハリマアルビオン	ホンダヒート・グリーンスタジアム 385
44	12月7日 11:00	セレッソ大阪ヤンマーレディース	1-0 (0-0)	朝日インテック・ラブリッジ名古屋	ホンダヒート・グリーンスタジアム 466

■準決勝

No.	日時	対戦	対戦	会場	観衆(人)
45	12月14日 14:05	伊賀FCくノ一三重	1-3 (0-0)	INAC神戸レオネッサ	サンガスタジアム by KYOCERA 2,103
46	12月14日 10:45	サンフレッチェ広島レジーナ	3-2 (3-0)	セレッソ大阪ヤンマーレディース	サンガスタジアム by KYOCERA 1,552

■決勝

No.	日時	対戦	対戦	会場	観衆(人)
47	1月1日 12:31	INAC神戸レオネッサ	1-2 (0-1)	サンフレッチェ広島レジーナ	MUFGスタジアム(国立競技場) 16,527

皇后杯 JFA 第47回全日本女子サッカー選手権大会 記録集

第2部 全試合公式記録

7 1回戦

愛媛FCレディース FC今治レディース

2 [前半2-0 後半0-1] 1

●2025年11月9日 11:00 ●JAアグリあなん陸上競技場 ●試合時間:90分 ●[主審]佐々木陽美[副審]多田美早希/森広博[第4の審判員]廣永佑士 ●マッチコミッショナー:鹿島順子 ●観衆:220人

[GK] 21 小松里弥	出	[GK] 16 藤田涼加	出
[DF] 34 毛利美佑	場	[DF] 4 池澤のあ	場
→ 63'(5)西村紀音		[DF] 6 池崎愛	場
[DF] 4 村上朱音	退	[DF] 19 土持千咲都	退
[DF] 2 松村菜美	退	→ HT(17)中山裕香	
[MF] 19 黒岩沙羽	手	[MF] 29 川又柚月	手
[MF] 11 小島和希子		→ HT(28)加藤美咲	
[MF] 16 野口珠里		[MF] 7 橋高海音	
[MF] 24 前田花依		[MF] 9 田中萌恵	
→ 85'(23)保坂優那		[MF] 33 松本梨桜	
[FW] 30 田上歩実		[FW] 10 森瀬希咲	
→ 63'(7)大宮央		[FW] 13 首藤優里	
[FW] 17 安田美泉		[FW] 25 吉岡こころ	
→ 90+2'(6)兵頭来良		→ 82'(18)広沢実佳子	
[FW] 26 桜井由衣香			
8'オウンゴール(1-0)、29'安田美泉(2-0)	得点	69'池崎愛(2-1)	得点

4 1回戦

早稲田大学 ディオッサ出雲FC

0 [前半0-0 後半0-0] 1

●2025年11月8日 10:30 ●シャルムスタジアム(神原スポーツ公園多目的グラウンド) ●試合時間:90分、延長30分 ●[主審]友宗菜月[副審]大枝涼芽/熊澤祐[第4の審判員]安留賢二 ●マッチコミッショナー:青木隆 ●観衆:148人

[GK] 1 田村亜沙美	出	[GK] 1 西村清花	出
[DF] 25 小林陸	場	[DF] 6 岡倉海香	場
→ 80'(24)福島茉莉花		→ 111'(16)宮川真莉乃	
[DF] 3 杉山遥菜	退	[DF] 8 友近真那	退
[DF] 30 吉田玲音	退	[DF] 3 岩下綺良々	退
[DF] 2 新井みゆき	手	[DF] 14 佳徳彩	手
→ HT(11)三宅万尋		[DF] 2 宮武里奈	手
→ 118'(15)川本美羽		→ 75'(19)打越怜	
[MF] 10 宗形みなみ		[MF] 13 浅海早希	
[MF] 7 崎岡由真		[MF] 4 伊藤明里	
[MF] 19 福岡結		[MF] 18 川満麗	
[MF] 6 千葉梨々花		→ 延前(5)馬場あみか	
→ 72'(13)佐清愛唯		[MF] 15 伊勢さつき	
[FW] 17 米村歩夏		→ 103'(7)丸尾梨菜	
[FW] 9 生田七彩		[FW] 17 柳瀬絵莉	
→ 90+3'(23)小島世里		→ 75'(9)清野彩	
得点 117'丸尾梨菜(0-1)	得点		
警告 120+1'丸尾梨菜	警告		

1 1回戦

スフィーダ世田谷FC/日テレ・東京ヴェルディメニナ

3 [前半0-0 後半3-1] 1

●2025年11月9日 13:30 ●みやぎ生協めぐみ野フットボール場・Aグランド ●試合時間:90分 ●[主審]荒川里実[副審]佐久間遼/生駒創史[第4の審判員]千條祐司 ●マッチコミッショナー:玉井朗 ●観衆:214人

[GK] 1 石野妃芽佳	出	[GK] 16 加登諶心羽	出
[DF] 2 根本彩夏	場	[DF] 2 柏村美那	場
[DF] 5 宇内彩来	場	[DF] 6 朝生珠美	場
[DF] 7 渡邊那奈	退	[DF] 4 松岡瑛菜	退
[DF] 15 篠原沙耶	退	[DF] 10 伊藤風葵	退
[MF] 3 柏原美羽	手	[MF] 8 須長穂乃果	手
→ 90+2'(6)金子ゆい		[MF] 7 栗田七海	手
[MF] 10 田口亜菜紗		→ 90+2'(8)望月麻央	
→ 90+2'(8)望月麻央		[FW] 9 西尾咲希	
[MF] 22 金子麻優		→ 72'(13)諸田彩緒	
→ 61'(24)青木菜羽		[FW] 12 小野葉月	
[FW] 13 内田美鈴			
[FW] 9 堀江美月			
[FW] 16 北川心子			
→ 87'(23)荒川結乃花			
52'68'堀江美月(1-1)(2-1)、	得点	50'西尾咲希(0-1)	得点
88'青木菜羽(3-1)	得点		
45+1'柏原美羽	警告		

8 1回戦

新潟医療福祉大学 神奈川大学

1 [前半1-0 後半0-1] 1

●2025年11月8日 10:30 ●TDK秋田総合スポーツセンターサッカー場Aピッチ ●試合時間:90分、延長30分、PK ●[主審]横田碧[副審]山崎真菜/小野響[第4の審判員]高橋俊二 ●マッチコミッショナー:大立目佳久 ●観衆:103人

[GK] 1 澤田瑞希	出	[GK] 19 久田優里愛	出
[DF] 4 石川くらら	場	→ 120+1'(12)田島伊織	
[DF] 2 大湯可琳	場	[DF] 2 沼中彩里	場
[DF] 17 田家海風	退	→ 64'(38)鶴川千優	
[DF] 7 鶴巻美優	退	[DF] 4 宮内愛美	退
→ 延前(16)清水菜々羽		[DF] 3 青木奏恵	退
[DF] 3 桑原理子	手	[DF] 31 武内愛乃	手
→ 56'(22)石野柚良		→ 77'(41)安藤麻耶	
[MF] 6 山下朝子		[MF] 6 樋口三夏	
→ 56'(14)中島和香		→ 108'(29)奈良音萌葉	
[MF] 8 森三結		[MF] 20 小倉琉海	
→ 83'(13)佐々木穂乃花		[MF] 28 藤原良	
[MF] 25 木全楓来		→ 77'(9)安東優那	
→ 83'(18)森下心温		[FW] 21 江藤里桜奈	
[MF] 19 足立陽菜		[FW] 8 後藤真生	
[FW] 10 堀内香歩		→ HT(45)野中麻衣	
→ 74'(11)米田百佳		[FW] 7 オーライリー詩奈	
26'木全楓来(1-0)	得点	88'オーライリー詩奈(1-1)	得点
先4〇、11×、16〇、13×、	PK	7×、21〇、3×、20〇、4	
17〇、19〇、14〇		〇、9〇、29×	

5 1回戦

岡山湯郷Belle 日本大学

0 [前半0-2 後半0-0] 2

●2025年11月9日 13:30 ●シャルムスタジアム(神原スポーツ公園多目的グラウンド) ●試合時間:90分 ●[主審]別府朋香[副審]宮崎希実/岡田直大[第4の審判員]近藤琢哉 ●マッチコミッショナー:河野正雄 ●観衆:249人

[GK] 34 三田一紗代	出	[GK] 16 藤田萌歌	出
[DF] 33 森宙舞	場	[DF] 3 中嶋琉七	場
[DF] 2 島村公美子	場	[DF] 13 木村菜々夏	場
→ 30'(14)今野鐘		→ 68'(27)田口湖香菜	
[DF] 11 塩谷瑞南	退	[DF] 19 大光望結	退
[DF] 7 山下沙那香	退	[DF] 39 白井心葉	退
[MF] 5 内田好美	手	[DF] 7 菅野日向葵	手
[MF] 6 小松未奈		[MF] 2 難波響	手
[MF] 40 西原菜優		[MF] 14 久保聖恩	手
[MF] 13 秋元美雨		[MF] 40 濱田若那	手
→ HT(24)岸波美菜		→ 90'(4)佐藤マリー菜々美	
[FW] 25 新谷楓華		[FW] 9 柴田瞳	
→ HT(19)沖田有由		→ 90+2'(10)遠山瑠菜	
[FW] 10 中野琴音		[FW] 11 岩瀬柚月	
		→ 68'(20)難波奏	
得点 34'柴田瞳(0-1)、36'岩瀬柚月(0-2)	得点		

2 1回戦

追手門学院大学 四国大学イーグレッツ

1 [前半0-0 後半1-0] 0

●2025年11月9日 14:00 ●JAアグリあなん陸上競技場 ●試合時間:90分 ●[主審]山内恵美[副審]廣永佑士/神高里紗[第4の審判員]楠本麻希 ●マッチコミッショナー:権名津朗 ●観衆:113人

[GK] 1 佐木双葉	出	[GK] 1 衛藤七海	出
[DF] 3 東優希	場	[DF] 5 酒井心優	場
[DF] 5 長野心菜	場	[DF] 4 安岡若葉	場
[DF] 17 市川幸来	退	[DF] 3 秋月来望	退
[MF] 10 大場柚季	退	[DF] 26 松村実香	退
[MF] 18 木下日菜子	手	[MF] 11 池添依吹	手
[MF] 8 松原愛佳		[MF] 18 望月心咲	手
→ HT(4)佐治裕花		[MF] 8 山下ちろる	手
[MF] 7 菊山裕衣		[MF] 7 吉田笑	手
[FW] 9 菅森香		→ 55'(22)永江凜々花	
→ 79'(24)境優莉花		[FW] 19 村上叶恋	
[FW] 31 矢野智代寧		[FW] 10 井上麗叶	
[FW] 14 三島ゆな			
52'矢野智代寧(1-0)	得点		

9 1回戦

ニッパツ横浜FCシーガルズ/MIGOCARISA鹿兒島

5 [前半4-0 後半1-0] 0

●2025年11月9日 13:00 ●Jヴィレッジスタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]田中真輝[副審]押山由衣/井上幸寿[第4の審判員]名取洋典 ●マッチコミッショナー:大井川恵一 ●観衆:123人

[GK] 19 松井里央	出	[GK] 31 横路友加里	出
[DF] 25 神水流琴望	場	→ 88'(17)神宮司千尋	
[DF] 17 新井純奈	場	[DF] 30 吉原萌子	場
[DF] 15 渋谷巴菜	退	→ 74'(4)若杉絵望	
[MF] 9 矢野梨紗	退	[DF] 3 古城里香	退
[MF] 14 田村かのん	手	→ 88'(18)上村沙耶	
→ 68'(5)吉田風沙		[DF] 22 松下みなみ	手
[MF] 32 浦島里紗		[DF] 2 小川瑠唯	手
→ HT(20)村岡由梨		[MF] 6 柿元渚	
[MF] 26 本多実夏子		[MF] 7 原田優	
[FW] 18 松本莉緒		[MF] 11 田中恵	
→ 61'(22)加田菜		→ 74'(21)鈴木璃葉	
[FW] 10 室井胡心		[MF] 13 上村穂海	
→ HT(13)岡百々花		[FW] 16 増田美里	
[FW] 6 権野貴子		[FW] 9 安庭ひな	
→ 83'(23)村上真生		→ 58'(14)前原渚沙	
7'松本莉緒(1-0)、8'42'室井胡心(2-0)(4-0)、26'田村かのん(3-0)、67'本多実夏子(5-0)	得点		

6 1回戦

吉備国際大学Charme岡山高梁 山梨学院大学

0 [前半0-1 後半0-0] 1

●2025年11月8日 13:45 ●シャルムスタジアム(神原スポーツ公園多目的グラウンド) ●試合時間:90分 ●[主審]佐藤娘音[副審]杵築歩那/大嶋紗弥[第4の審判員]市山洋一 ●マッチコミッショナー:北村卓治 ●観衆:125人

[GK] 1 佐喜真幹	出	[GK] 33 本多陽菜	出
[DF] 4 本庄結	場	[DF] 2 小畑菜緒	場
[DF] 2 青山美里	場	→ 65'(23)佐々木はるか	
[DF] 15 工藤風紗	退	[DF] 5 大高心	退
[DF] 23 釣本小夏	退	[DF] 64 寺村穂香	退
→ 65'(10)加戸由佳		[MF] 51 小林結依	手
[MF] 9 根本梨香子	手	[MF] 65 香椎彩香	手
[MF] 7 神田若帆		[MF] 3 一瀬葵華	手
[MF] 13 野町香好		→ HT(32)山名映理	
→ HT(8)古谷優理亜		[MF] 19 高城青空	
[FW] 16 西山菜々		→ 83'(17)伊藤結菜	
→ 83'(17)伊藤結菜		[MF] 13 熊谷南橋	
[FW] 6 土山桃香		→ 74'(28)高木琳	
→ 65'(44)林心音		[MF] 9 山田歩実	
[FW] 11 西村留亜		→ 74'(36)砂川莉里佳	
		[FW] 10 堀なつほ	
得点 15'香椎彩香(0-1)	得点		

3 1回戦

日体大SMG横浜 ヴィアティン三重レディース

2 [前半1-0 後半1-0] 0

●2025年11月9日 10:30 ●みやぎ生協めぐみ野フットボール場・Aグランド ●試合時間:90分 ●[主審]大谷美瑛[副審]千葉美咲/穴戸悠悟[第4の審判員]熊谷一也 ●マッチコミッショナー:新井智也 ●観衆:100人

[GK] 1 服部茜沙香	出	[GK] 1 切畑琴乃	出
[DF] 24 奥野佑果	場	[DF] 30 北久保実奈	場
[DF] 4 朝倉加奈子	場	[DF] 16 高田莉緒	場
[DF] 5 菅原真名	退	[DF] 17 南知穂	退
[DF] 2 藤澤和心	退	[DF] 6 市川苑佳	退
→ 80'(16)本城菜弥佳		[MF] 13 久永望生	手
[MF] 14 錦織美紀	手	[MF] 27 矢野粧子	手
→ 80'(31)藤谷千里		[MF] 28 平野鈴空	手
[MF] 26 西村萌		→ 77'(3)山崎香	
[MF] 27 高橋光莉		[MF] 9 山崎愛海	
→ 57'(18)柴原希保		[FW] 8 須田綾香	
[MF] 7 篠田帆花		→ 66'(20)福垣真衣	
→ 69'(17)鈴木温子		[FW] 18 古寺未佳	
[FW] 9 北沢明美		→ 77'(11)藤崎愛乃	
[FW] 10 本田悠良			
→ 57'(15)山本葉桜			
40'篠田帆花(1-0)、66'錦織美紀(2-0)	得点		



皇后杯
JFA
WOMEN'S
CHAMPIONSHIP

16 1回戦

SEISA OSALIAア湘南FC | 作陽学園高校
6 [前半3-0 後半3-0] 0

●2025年11月9日 10:30 ●シャルムスタジアム(神原スポーツ公園多目的グラウンド) ●試合時間:90分 ●【主審】吉永真紀【副審】廣末存原/藤野智昭【第4の審判員】阿部功 ●マッチコミッショナー:馬場真一 ●観衆:162人

[GK] 1 浅越千裕	出	[GK] 1 菊木凜羽	出
[DF] 3 武莉子	場	[DF] 4 森口羅夢	場
[DF] 2 夏目萌由	場	[DF] 2 前田御里	場
[DF] 4 阿久井泉	場	[DF] 3 藤井いづは	場
→ 76'(26)鈴木煌華	退	[DF] 5 難波いぶき	退
[MF] 18 国吉克史	手	→ 71'(22)川崎碧	手
[MF] 23 針生理菜	手	[MF] 24 中島乃々	手
[MF] 6 森美礼亞	手	[MF] 14 西田朱里	手
[MF] 9 高橋沙矢香	手	[MF] 8 小久保里望	手
→ HT(29)戸塚優彩	退	[MF] 7 實田愛	退
[FW] 11 鈴木陽笑	手	[FW] 11 吉田芽生菜	手
[FW] 10 遠野海風	手	[FW] 13 松崎朱音	手
[FW] 20 加藤もも	手	→ 71'(26)福垣結	手
→ 60'(17)朝倉麗	退		

18'35'55'加藤もも(1-0)(2-0)
(4-0)、45+3'88'90+1'鈴木 得点
鷹笑(3-0)(5-0)(6-0)

17 2回戦

三菱重工浦和レッズレディース | スフィーダ世田谷FC
4 [前半1-0 後半3-1] 1

●2025年11月16日 14:00 ●藤枝総合運動公園サッカー場 ●試合時間:90分 ●【主審】田澤友梨奈【副審】池田七瀬/村上広樹【第4の審判員】賀藤勇希 ●マッチコミッショナー:小花浩司 ●観衆:780人

[GK] 1 池田咲純子	出	[GK] 1 石野妃芽佳	出
[DF] 28 櫻井まどか	場	[DF] 2 根本彩夏	場
[DF] 7 高橋はな	場	[DF] 5 宇内彩来	場
[DF] 3 岡村来佳	場	[DF] 7 遠藤那奈	場
[MF] 16 水谷有希	手	[DF] 15 篠原沙耶	手
→ 65'(13)長崎玲奈	退	[MF] 3 相原美羽	退
[MF] 20 高塚映奈	手	[MF] 10 田口菜亜紗	手
→ 78'(37)高橋佑奈	退	[MF] 24 青木葉羽	退
[MF] 21 タンチュリエ・ローリー	手	→ 74'(6)金子ゆい	手
→ 65'(26)丹野凛々香	退	[FW] 13 内田美鈴	手
[MF] 19 サンシャイン・フォンテス	手	→ 62'(8)望月麻央	手
→ HT(34)平川陽菜	退	[FW] 9 坂井美月	手
[MF] 5 伊藤美紀	手	[FW] 16 北川心子	手
[MF] 8 梶原琴乃	手	→ 62'(18)近藤彩優子	手
[FW] 15 島田芽依	手		
→ 89'(9)香澤優衣香	退		

3'サンシャイン・フォンテス(1-0)、
57'島田芽依(2-0)、88'90'丹 得点
野凛々香(3-1)(4-1)

警告 42'内田美鈴

18 2回戦

伊賀FCくノ一三重 | 追手門学院大学
2 [前半0-1 後半1-0] 1

●2025年11月16日 11:00 ●三重交通Gスポーツの杜鈴鹿サッカーラフビー場メインG ●試合時間:90分、延長30分 ●【主審】小野田伊佐子【副審】水谷幸平/坂井悠人【第4の審判員】間島美奈子 ●マッチコミッショナー:藤田一豊 ●観衆:331人

[GK] 16 後藤優香	出	[GK] 1 佐木双葉	出
[DF] 28 常田菜那	場	[DF] 3 東優希	場
[DF] 3 葉美結	場	[DF] 4 佐治裕花	場
[DF] 5 藤田理子	場	[DF] 5 長野心菜	場
[MF] 4 西林里亞	手	→ 延後前(15)森崎歩莉	手
→ HT(24)唐沢芽依	退	[DF] 17 市川春菜	手
[MF] 6 常田麻友	手	[MF] 18 木下日菜子	手
[MF] 9 村上日奈子	手	→ 71'(8)松原愛佳	手
→ 71'(8)島野美央	退	[MF] 10 大場柚季	手
[MF] 14 増田玲那	手	[MF] 7 菊山裕衣	手
[MF] 7 渡邊凛	手	→ 延後前(13)福田梨音	手
→ 56'(10)平田ひなの	退	[FW] 9 菅森杏	手
[FW] 11 正野瑠菜	手	→ 99'(30)井原凛	手
→ 115'(17)並木千夏	退	[FW] 24 境優莉花	手
[FW] 30 神谷千葉	手	→ 56'(31)矢野智代寧	手
		[FW] 14 三島ゆな	手
		→ 71'(19)金谷こころ	手

63'平田ひなの(1-1)、93'常田 得点
麻友(2-1)

8'三島ゆな(0-1)

13 1回戦

オルカ鴨川FC | マイナビ仙台ユース
4 [前半2-0 後半2-0] 0

●2025年11月8日 13:30 ●みやぎ生協めぐみ野サッカー場・Aグラウンド ●試合時間:90分 ●【主審】新妻久美【副審】生物創史/熊谷一也【第4の審判員】村上孝 ●マッチコミッショナー:宮本正紀 ●観衆:279人

[GK] 1 田谷春海	出	[GK] 1 瀬戸如紗	出
[DF] 6 浦部美月	場	[DF] 18 岸咲良	場
→ 85'(24)谷口愛奈	退	→ 90+5'(3)佐藤美おん	退
[DF] 4 松尾菜月	場	[DF] 5 三浦月音	場
[DF] 3 月東優季乃	場	[DF] 4 岩崎恋音美	場
[DF] 17 越路萌永	場	[DF] 2 宮崎優那	場
→ 64'(13)浅坂真哉	退	[MF] 6 星野朱凛	手
[MF] 23 安東美那	手	→ 82'(26)深井愛玲奈	手
[MF] 5 渡野緑花	手	[MF] 27 黒木遥夏	手
[MF] 25 齊藤桃花	手	→ 55'(13)渡邊愛香里	手
→ 85'(7)齊藤緑音	退	[MF] 19 佐藤聖者	手
[MF] 20 上田麻莉	手	→ 90+5'(15)吉田桃子	手
[FW] 11 河野有希	手	[MF] 8 渡邊衣織	手
[FW] 27 今田紗希	手	[MF] 7 樋口まほ	手
→ 55'(18)松本はな	退	[FW] 9 内田桜央	手

9'上田麻莉(1-0)、20'松尾菜月
(2-0)、78'89'河野有希(3-0) 得点
(4-0)

14 1回戦

ディアヴォロツ広島 | FCふじざくら山梨
0 [前半0-1 後半0-0] 1

●2025年11月8日 10:30 ●みやぎ生協めぐみ野サッカー場・Aグラウンド ●試合時間:90分 ●【主審】稲葉里美【副審】千葉美咲/佐野颯亮【第4の審判員】佐久間遼 ●マッチコミッショナー:田中亨 ●観衆:166人

[GK] 1 秋庭朱奈	出	[GK] 33 米澤晴香	出
[DF] 8 山根夢乃	場	[DF] 40 鈴木紋楓	場
[DF] 5 長野菜奈	場	[DF] 20 五味小暖	場
[DF] 30 東菜月	場	[DF] 3 加村友なみ	場
[DF] 4 八田七海	場	[MF] 4 小沼治起	手
[MF] 6 向井彩香	手	[MF] 11 中村友香	手
→ 79'(31)武田もえ	退	[MF] 29 三田希望	手
[MF] 32 谷穂花	手	→ 87'(17)大谷琉晏	手
[MF] 14 濱田紗妃	手	[MF] 16 辻野友実子	手
[FW] 9 村上奏央	手	[FW] 15 成治咲咲	手
→ 66'(7)高橋美樹	退	→ 73'(6)濱名花子	退
[FW] 22 中野明衣	手	[FW] 14 脇田紗弥	手
[FW] 19 梅塚々笑	手	[FW] 28 島村美風	手
→ 66'(20)山崎莉歩	退	→ 61'(9)山本菜桜美	退

得点 38'脇田紗弥(0-1)

15 1回戦

スペランツァ大阪 | パニース群馬FCホワイトスター
3 [前半2-1 後半0-0] 3

●2025年11月8日 11:00 ●たけびスタジアム京都 ●試合時間:90分、延長30分、PK ●【主審】大西英里【副審】木村翔太/植出泰地【第4の審判員】多喜功 ●マッチコミッショナー:内實俊也 ●観衆:161人

[GK] 16 津田明日翔	出	[GK] 1 松本紗和	出
[DF] 2 櫻田彩乃	場	[DF] 24 島田嗣	場
[DF] 17 左子五月	場	→ HT(9)木龍七瀬	場
→ 78'(22)原田和佳	退	[DF] 25 三谷祥子	場
[DF] 19 山田萌々花	場	[DF] 5 山田優衣	場
[DF] 20 佐々木美悠	場	[DF] 4 関口真由	場
→ 115'(18)平岩依々菜	退	[MF] 7 高塚綾音	手
[MF] 3 上西可菜子	手	[MF] 8 大久保舞	手
[MF] 5 谷本景	手	[MF] 20 岡庭遥香	手
[MF] 7 宮本春花	手	[MF] 13 内藤夏鈴	手
[MF] 8 古尾香音	手	[FW] 23 木村華恋	手
[MF] 13 玉田愛理	手	[FW] 3 尹頌賢	手
[FW] 25 増永朱里	手	→ 83'(17)佐藤聖者	手

3'谷本景(1-0)、25'上西可菜子 得点
(2-1)、97'増永朱里(3-2)

5'102'木村華恋(1-1)(3-3)、
85'木龍七瀬(2-2)

116'谷本景 警告
先30、50、2x、19x PK 130、250、170、80

10 1回戦

VONDS市原FCレディース | 北海道リラ・コンサドーレ
6 [前半1-0 後半5-0] 0

●2025年11月8日 13:50 ●TDK秋田総合スポーツセンターサッカー場Aピッチ ●試合時間:90分 ●【主審】朝倉みな子【副審】佐藤泰良/山崎善範【第4の審判員】堀内和文 ●マッチコミッショナー:秋田真一 ●観衆:111人

[GK] 30 中村未希	出	[GK] 1 野坂美咲	出
[DF] 2 井上寧々	場	[DF] 4 高橋凛	場
[DF] 5 小田川真奈	場	[DF] 5 大瀧こはる	場
[DF] 11 村上賢梨	場	→ 88'(2)中尾咲綺	退
[MF] 15 小林一歩	手	[DF] 14 松浦あさひ	手
[MF] 17 後藤亜瑠	手	[MF] 10 今立のどか	手
→ 69'(34)今井英緒	退	[MF] 8 垣野令佳	手
[MF] 6 城倉歩未	手	[MF] 45 小池ひかり	手
[MF] 7 佐藤寿音	手	[MF] 6 安達沙織	手
[FW] 9 武田菜々子	手	[FW] 9 近田夏歩	手
→ 62'(32)増田沙美亜	退	[FW] 13 志藤翠衣	手
[FW] 20 小池真理	手	→ 62'(7)高橋彩羽	退
→ 69'(26)野野端	退	[FW] 15 澤野帆乃佳	手
[FW] 33 上田莉帆	手	→ HT(11)高橋来碧	退
→ 77'(23)崎山里緒	退		

7'武田菜々子(1-0)、53'佐藤寿音(2-0)、57'村上賢梨(3-0)、
66'城倉歩未(4-0)、68'増田沙 得点
美亜(5-0)、89'石井彩香(6-0)

11 1回戦

ASハリマアルビオン | 常葉大学附属高校
3 [前半1-0 後半2-0] 0

●2025年11月8日 14:30 ●たけびスタジアム京都 ●試合時間:90分 ●【主審】岩本穂花【副審】堀田姫花/小林清訓【第4の審判員】正木貴光 ●マッチコミッショナー:清水崇之 ●観衆:145人

[GK] 41 小宮千晶	出	[GK] 1 福川真紀	出
[DF] 20 山田歌子	場	[DF] 2 小澤瑠奈	場
→ 84'(16)松久保葵子	退	[DF] 4 松永紗夜	場
[DF] 5 小島美玖	場	[DF] 5 望月寧々	場
[DF] 6 吉田紫穂	場	[DF] 13 大村楓	場
[DF] 3 國生乃愛	手	[MF] 8 小島あのみ	手
→ 84'(2)児玉耀	退	[MF] 9 石内日彩	手
[MF] 25 唐橋万結	手	[MF] 17 松井さつき	手
[MF] 14 正野可菜子	手	→ 62'(27)深澤夏歩	退
[MF] 18 阿部文音	手	[MF] 7 佐藤煌	手
→ HT(13)三置りか	退	→ 62'(29)八木陽彩	退
[FW] 10 千葉園子	手	[FW] 11 竹川花音	手
→ 70'(11)南塚里緒	退	[FW] 10 松浦芽育子	手
[FW] 9 川崎咲耶	手		
[FW] 33 椎野彩香	手		
→ 70'(7)井之脇朱音	退		

44'椎野彩香(1-0)、52'千葉園子(2-0)、80'國生乃愛(3-0) 得点

12 1回戦

神村学園高等部 | JFAアカデミー福島
0 [前半0-4 後半0-3] 7

●2025年11月8日 13:00 ●Jヴィレッジスタジアム ●試合時間:90分 ●【主審】柳乃乃【副審】神あかり/伊藤和晃【第4の審判員】金成義行 ●マッチコミッショナー:倉田泰明 ●観衆:103人

[GK] 25 濱田桃奈	出	[GK] 1 福田真央	出
[DF] 19 生田凛	場	[DF] 2 原ひばり	場
→ 61'(6)折田陽和	退	→ HT(15)西ひまり	退
[DF] 21 佐々木由貴	場	[DF] 13 伊藤杏莉	場
[DF] 3 遠島祐衣	場	[DF] 5 吉川心尋	場
[MF] 30 坂元めい	手	[DF] 9 林椿	手
[MF] 20 池藤愛音	手	→ 69'(16)高橋心花	退
→ 81'(2)松島千和	退	[MF] 3 石井音羽	手
[MF] 8 一木知華	手	→ 69'(6)松本有波	退
→ 81'(11)塚沙安濃	退	[MF] 19 松下遥南	手
[MF] 10 舟之川桃果	手	[MF] 14 花城恵唯	手
[MF] 7 山野蒼空	手	[MF] 20 北島景子	手
[MF] 14 原田真心	手	→ 69'(17)野田美多葉	退
[FW] 9 原口鈴音	手	[MF] 10 神愛花	手
→ 34'(23)新宅胡春	退	[FW] 8 福島望愛	手
		→ HT(7)松井望花	退

11'24'福島望愛(0-1)(0-4)、
17'北島景子(0-2)、19'花城恵唯(0-3)、47'神愛花(0-5)、81'松井望花(0-6)、90+1'松本有波(0-7)

皇后杯 JFA 第47回全日本女子サッカー選手権大会 記録集

第2部 全試合公式記録

25 2回戦

日テレ東京ヴェルディベレーザ | ニッパツ横浜FCシーガルズ

6 [前半4-0 後半2-0] 0

●2025年11月19日 18:00 ●味の素フィールド西が丘 ●試合時間:90分 ●[主審]朝倉みな子[副審]須永久美/三田紗織[第4の審判員]勝又彩優希 ●マッチコミッショナー:石川眞吾 ●観衆:1,193人

[GK] 31 大場朱羽 [DF] 4 土光真代 → 62'(17)柏村菜那 [DF] 3 村松智子 → HT(22)坂部幸菜 [DF] 5 松田崇野 [MF] 6 隅田凜 → HT(11)樋渡百花 [MF] 14 眞城美春 [MF] 16 青木夕菜 [MF] 7 北村菜々美 [MF] 13 氏原里穂菜 → 85'(33)岩清水梓 [MF] 19 塩越柚歩 → 62'(30)宇津木瑠美 [FW] 20 小林里歌子 → 62'(25)ダネル・タン	出 場 選 手	[GK] 19 松井里央 [DF] 2 渡部那月 [DF] 17 新井純奈 [DF] 15 渋谷巴菜 [DF] 16 奈良美沙季 → HT(26)本多実夏子 [MF] 4 中居未来 → 66'(5)吉田風沙 [MF] 20 村岡由梨 → 66'(32)浦島里紗 [MF] 14 田村かのん → 85'(18)松本莉緒 [FW] 13 岡本々花 [FW] 7 蔵田あかり → 66'(22)加田菜 [FW] 10 室井胡心 → 81'(9)矢野梨紗	出 場 選 手
--	------------------	---	------------------

18'眞城美春(1-0)、31'小林里歌子(2-0)、41'土光真代(3-0)、44'塩越柚歩(4-0)、48'北村菜々美(5-0)、90+1'ダネル・タン(6-0)

得点
20'小林里歌子(2-0)、41'土光真代(3-0)、44'塩越柚歩(4-0)、48'北村菜々美(5-0)、90+1'ダネル・タン(6-0)

26 2回戦

サンフレッチェ広島レジーナ | VONDS市原FCレディース

2 [前半1-0 後半0-1] 1

●2025年11月15日 11:00 ●ニンジニアスタジアム ●試合時間:90分、延長30分 ●[主審]萩尾麻衣子[副審]松浦勇二/渡部萌子[第4の審判員]仙波諒平 ●マッチコミッショナー:長井秀樹 ●観衆:440人

[GK] 32 石田ひなは [DF] 25 塩田満彩 → 90+2'(20)島袋奈美恵 [DF] 38 嶋田華 [DF] 5 市瀬千里 [DF] 15 藤生菜摘 [MF] 23 柳瀬楓菜 [MF] 18 渡邊真衣 → 70'(8)小川愛 [MF] 9 上野真実 [FW] 14 松本菜奈加 → HT(30)李誠雅 → 120+6'(26)立花菜 [FW] 28 古賀花野 → 63'(7)伊藤めぐみ [FW] 16 早間美空 → HT(11)中嶋淑乃	出 場 選 手	[GK] 30 中村未有 [DF] 3 岡田愛海 → 74'(15)小林一步 [DF] 2 井上翠々 [DF] 5 小田川真奈 [DF] 11 村上賀実 [MF] 17 後藤亜璃 [MF] 6 城倉歩未 [MF] 32 増田沙亜里 → 59'(9)武田菜々子 [MF] 7 佐藤寿音 [MF] 20 小池真理 → 80'(28)板倉瑞穂 [FW] 33 上田莉帆	出 場 選 手
---	------------------	--	------------------

20'上野真実(1-0)、120+2'小川愛(2-1)

得点
90+1'武田菜々子(1-1)

警告 26'城倉歩未、119'武田菜々子

27 2回戦

ジェフ千葉レディース | ASハリマアルビオン

1 [前半0-2 後半1-1] 3

●2025年11月16日 14:30 ●三重交通Gスポーツの杜鈴鹿サッカー・ラグビー場メインG ●試合時間:90分 ●[主審]曾根未宇[副審]新聞悠太郎/永田崇之[第4の審判員]村山元気 ●マッチコミッショナー:岩見充治 ●観衆:192人

[GK] 30 足立楓 [DF] 6 連輪真琴 [DF] 4 林香奈絵 [DF] 3 石田菜々海 [DF] 5 田中真理子 → 84'(22)井上千里 [MF] 8 小林ひなた → 90+4'(19)船木里奈 [MF] 37 木村彩那 [MF] 7 小川由姫 [FW] 25 増田咲良 → 77'(11)根津里莉日 [FW] 2 藤代真帆 → 77'(14)植本愛実 [FW] 17 山口千尋	出 場 選 手	[GK] 41 小暮千晶 [DF] 20 山口歌子 → 83'(11)南條里緒 [DF] 6 吉田崇穂 [DF] 5 小島美玖 [DF] 3 國生乃愛 [MF] 25 唐橋万結 → 72'(16)松久保葉子 [MF] 14 正野可菜子 [MF] 18 阿部文音 → HT(13)三置りか [FW] 10 千葉園子 [FW] 9 川崎咲耶 → 90'(26)藤原安佑 [FW] 33 椎野彩香 → 83'(7)井之脇朱音	出 場 選 手
--	------------------	--	------------------

79'山口千尋(1-2)

得点
21'正野可菜子(0-1)、28'川崎咲耶(0-2)、86'井之脇朱音(1-3)

22 2回戦

静岡SSUポニータ | 山梨学院大学

5 [前半2-1 後半3-0] 1

●2025年11月16日 11:00 ●藤枝総合運動公園サッカー場 ●試合時間:90分 ●[主審]谷本菜々子[副審]山田翔也/渡邊彪斗[第4の審判員]佐野真音 ●マッチコミッショナー:永田亨 ●観衆:750人

[GK] 20 水口茉優 [DF] 8 白井未未 → HT(2)杉田めい [DF] 3 彦坂桃花 [DF] 14 青葉結衣 [DF] 23 服部花音 [MF] 6 小池快 → HT(46)万力安純 [MF] 11 三輪玲奈 → 88'(4)塩澤優 [MF] 17 高島純音 [MF] 22 大曾根由乃 [FW] 10 横山久美 [FW] 19 中島友菜	出 場 選 手	[GK] 33 本多陽菜 [DF] 2 小堀菜緒 → HT(47)吉岡西亜 [DF] 5 大高心 [DF] 64 寺村穂香 [MF] 51 小林結依 [MF] 65 香椎彩香 → 70'(67)香山京子 [MF] 25 正木美里 [MF] 16 中井佑姫奈 → HT(13)熊谷南摘 [MF] 10 堤なつほ [MF] 9 山田歩美 → 59'(36)砂川莉里佳 [FW] 20 伊藤琴音 → 59'(50)大野紀菜	出 場 選 手
---	------------------	---	------------------

22'彦坂桃花(1-0)、37'90'横山久美(2-1)(4-1)、55'高島純音(3-1)、90+4'オウンゴール(5-1)

得点
26'伊藤琴音(1-1)

23 2回戦

マイナビ仙台 | 愛媛FCレディース

1 [前半0-0 後半1-0] 0

●2025年11月15日 14:20 ●ニンジニアスタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]柳彩乃[副審]柿本麻希/土居れもん[第4の審判員]山内和江 ●マッチコミッショナー:佐々木理 ●観衆:330人

[GK] 16 横堀美優 [DF] 19 安倍乃花 → 58'(5)國武愛美 [DF] 4 三浦紗津紀 [DF] 2 西野朱音 [DF] 28 松永未衣奈 → HT(37)石坂咲樹 [MF] 18 江崎世来 [MF] 6 井上陽菜 [MF] 25 太田萌咲 [FW] 13 矢形海優 [FW] 31 津田愛乃音 [FW] 24 遠藤ゆめ	出 場 選 手	[GK] 21 小松里弥 [DF] 24 前田花依 [DF] 34 毛利美佑 → 70'(14)侯野伶奈 [DF] 4 村上朱音 [DF] 5 西村紀音 [MF] 19 黒岩沙羽 → 70'(30)田上歩実 [MF] 15 榎谷岬 → 87'(11)小島和希子 [MF] 16 野口珠里 [MF] 2 松村菜美 [FW] 8 深澤沙由 → 70'(25)児野楓香 [FW] 26 桜井由衣香 → 87'(17)安田美泉	出 場 選 手
--	------------------	--	------------------

52'オウンゴール(1-0)

得点
86'遠藤ゆめ

警告 80'榎谷岬、90+1'田上歩実

24 2回戦

アルビレックス新潟レディース | 新潟医療福祉大学

5 [前半2-0 後半3-1] 1

●2025年11月16日 11:00 ●テクノポート福井スタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]松尾久美子[副審]稲田智成/鴨波壮一郎[第4の審判員]伴勇 ●マッチコミッショナー:館野宏之 ●観衆:180人

[GK] 31 久野吹雪 [DF] 16 富岡千宙 [DF] 5 川村優理 → 75'(3)ブラフ・シャーン [DF] 32 白沢百合恵 [MF] 6 有吉佳織 [MF] 13 杉田亜未 → 69'(23)山本結菜 [MF] 14 下吉優衣 → 61'(10)上尾野辺めぐみ [MF] 7 園田瑞貴 [FW] 9 川澄奈穂美 → 61'(19)城和怜奈 [FW] 11 新堀華波 → 61'(18)江崎杏那 [FW] 17 滝川結女	出 場 選 手	[GK] 1 澤田瑞希 [DF] 4 石川くらら [DF] 2 大湯可琳 → 69'(27)大澤未由琳 [DF] 17 田家海風 [DF] 7 鶴巻美優 → 69'(13)佐々木穂乃花 [DF] 3 桑原理子 → HT(14)中島和香 [MF] 8 森三結 [MF] 6 山下朝子 → 60'(11)米田百佳 [MF] 25 木全楓 [MF] 19 足立陽菜 [FW] 10 堀内香歩 → 60'(22)石野樹良	出 場 選 手
---	------------------	---	------------------

39'川村優理(1-0)、45'杉田亜未(2-0)、55'滝川結女(3-0)、84'園田瑞貴(4-0)、90+2'城和怜奈(5-1)

得点
88'足立陽菜(4-1)

19 2回戦

ヴィアマテラス宮崎 | 日体大SMG横浜

2 [前半1-2 後半1-1] 3

●2025年11月15日 11:00 ●KUROKIRI STADIUM ●試合時間:90分 ●[主審]國師えりな[副審]長友聖史/岩田紗珠[第4の審判員]長友崇磨 ●マッチコミッショナー:五領継太 ●観衆:764人

[GK] 15 馬場ひなの [DF] 33 小牧明日香 [DF] 21 坂本理保 [DF] 4 永野桃子 [MF] 29 今藏綾乃 → 83'(7)有馬りこ [MF] 36 松田遥奈 [MF] 8 嘉数飛鳥 → 68'(2)大矢丹佳 [MF] 25 池田玲奈 → HT(11)板倉楓 [FW] 22 山本さゆり [FW] 16 福丸智子 → 68'(30)富沢藍那 [FW] 17 小澤寛 → HT(20)中野里乃	出 場 選 手	[GK] 1 服部茜汐香 [DF] 24 侯野佑果 [DF] 4 朝倉加奈子 → 89'(25)内村心優 [DF] 5 菅原真名 [DF] 2 藤澤和心 [MF] 31 藤谷千里 [MF] 26 西村萌 [MF] 27 高橋光莉 [MF] 7 篠田帆花 → 65'(17)鈴木温子 [FW] 9 北沢明未 [FW] 10 本田悠良	出 場 選 手
--	------------------	---	------------------

4'福丸智子(1-1)、53'板倉楓(2-2)

得点
2'北沢明未(0-1)、34'藤谷千里(1-2)、79'高橋光莉(2-3)

20 2回戦

RB大宮アルディージャWOMEN | ディオッサ出雲FC

0 [前半0-0 後半0-0] 0

●2025年11月15日 14:00 ●KUROKIRI STADIUM ●試合時間:90分、延長30分、PK ●[主審]杉野杏紗[副審]宮本航希/海野晴香[第4の審判員]黒木陽 ●マッチコミッショナー:堤恒範 ●観衆:273人

[GK] 1 福田史織 [DF] 2 落合依和 → 66'(33)佐藤百音 [DF] 55 栗松瑞華 [DF] 23 久保真理子 [DF] 3 金平莉紗 [MF] 8 阪口萌乃 → 74'(27)牧野美優 [MF] 15 林みり → 101'(10)五嶋京香 [MF] 13 仲田歩夢 → 101'(4)高橋美紀 [MF] 14 田中聖愛 → 55'(11)大島暖葉 [FW] 30 西尾葉音 [FW] 34 浜田芽来 → 66'(18)井手杏香	出 場 選 手	[GK] 1 西村清花 [DF] 13 浅海早希 → 116'(19)打越怜 [DF] 5 馬場あみか [DF] 6 岡倉海香 [DF] 8 友近真那 [MF] 15 伊勢さつき → 116'(16)宮川真莉乃 [MF] 14 住徳彩 [MF] 18 川瀧麗 → 102'(4)伊藤明里 [MF] 3 岩下綺良々 [FW] 7 丸尾梨菜 → 66'(2)宮武里奈 [FW] 17 柳瀬絵莉 → 77'(9)清野彩	出 場 選 手
---	------------------	---	------------------

先55'、30'、27'、18' PK 9'、4'、3'、14'、0'、4'、10'、3'、23' PK 0'、6'、19'、16'

21 2回戦

INAC神戸レオネッサ | 日本大学

5 [前半1-0 後半4-0] 0

●2025年11月15日 11:00 ●三重交通Gスポーツの杜鈴鹿サッカー・ラグビー場メインG ●試合時間:90分 ●[主審]勝又美沙希[副審]水谷幸平/坂井悠人[第4の審判員]中島俊介 ●マッチコミッショナー:東山和嗣 ●観衆:322人

[GK] 99 船田麻友 [DF] 4 井手ひなた → 78'(14)水野路奈 [DF] 24 太田美月 [DF] 25 大熊麗 [DF] 28 小嶋明日香 [MF] 8 山本摩也 → 63'(23)三谷和華奈 [MF] 6 松原優菜 → 63'(55)ヴァン・サンブロン [MF] 39 寺田心春 → 78'(10)成宮唯 [FW] 13 桑原藍 [FW] 16 道上彩花 → 63'(11)高瀬愛実 [FW] 19 久保真生	出 場 選 手	[GK] 1 山田桜音 → 83'(16)藤田萌歌 [DF] 3 中嶋琉々 [DF] 13 木村菜々夏 [DF] 19 大光望結 [DF] 39 白井心春 → 13'(27)田口瑚香葉 [DF] 7 菅野向日葵 → 83'(18)朝比奈優 [MF] 2 難波響 [MF] 14 久保真思 [MF] 20 難波奏 → 83'(29)山村美和子 [FW] 9 柴田瞳 [FW] 11 岩瀬柚月 → 63'(4)佐藤茉莉々々々	出 場 選 手
---	------------------	---	------------------

45'道上彩花(1-0)、53'桑原藍(2-0)、59'久保真生(3-0)、62'松原優菜(4-0)、90'大熊麗(5-0)

得点



皇后杯
JFA
WOMEN'S
CHAMPIONSHIP

34 3回戦

日体大SMG横浜 | ディオッサ出雲FC
2 [前半1-0 後半1-0] 0

●2025年11月22日 11:00 ●Axisバードスタジアム ●試合時間:90分 ●【主審】小野田伊佐子【副審】佐々木陽美/杉本吉史【第4の審判員】倉石一枝 ●マッチコミッショナー:内田洋 ●観衆:408人

[GK] 1 服部西沙香	出	[GK] 1 西村清花	出
[DF] 24 俣野佑果	場	[DF] 13 浅海早希	場
→ 85'(25)内村心優		→ 75'(4)伊藤明里	
[DF] 4 朝倉加奈子	進	[DF] 5 馬場あみか	進
[DF] 5 菅原真名	手	[DF] 8 友近真那	手
[DF] 2 藤澤和心		[DF] 6 岡倉海香	
[MF] 31 藤谷千里		[MF] 3 岩下莉良々	
[MF] 26 西村萌		[MF] 14 住徳彩	
→ 63'(14)錦織美紀		[MF] 18 川崎麗	
[MF] 27 高橋光莉		→ 83'(9)清野彩	
→ 59'(13)浅香美結		[MF] 15 伊勢さつき	
[MF] 7 篠田帆花		[FW] 7 丸尾梨菜	
→ 59'(18)柴原希保		→ 45+2'(31)尾添有紗	
[FW] 9 北沢明未		[FW] 17 柳瀬結莉	
→ 85'(35)吉川はなの		→ 75'(2)宮武里奈	
[FW] 10 本田悠良			

45+3'藤澤和心(1-0)、90+2'柴原希保(2-0) 得点
退場 45'西村清花

35 3回戦

INAC神戸レオネッサ | 静岡SSUポニータ
1 [前半0-0 後半1-0] 0

●2025年11月22日 14:30 ●兵庫県立三木総合防災公園 陸上競技場 ●試合時間:90分 ●【主審】荒川里実【副審】別府朋香/井城直人【第4の審判員】寺岡大輔 ●マッチコミッショナー:都和秀 ●観衆:497人

[GK] 1 大熊茜	出	[GK] 20 水口菜優	出
[DF] 4 井手ひなた	場	[DF] 8 白井未来	場
→ 88'(55)ヴァンサンブロン		[DF] 3 彦坂桃花	
[DF] 24 太田美月	進	[DF] 14 青葉結衣	進
[DF] 5 三宅史純	手	[DF] 23 服部花音	手
[DF] 14 水野露菜		[MF] 6 小池快	
[MF] 10 成宮唯		→ 61'(27)上柳歩美	
[MF] 25 大畑環		[MF] 11 三輪玲奈	
[MF] 8 山本摩也		[MF] 17 高島栞音	
→ 76'(11)高瀬愛実		[MF] 46 万力安純	
[FW] 23 三谷和華奈		[FW] 10 横山久美	
→ 61'(13)桑原藍		[FW] 19 中島咲友菜	
[FW] 9 吉田莉胡		→ 82'(9)土屋佑津季	
[FW] 19 久保田真生			
→ 76'(16)道上彩花			

65'成宮唯(1-0) 得点
警告 57'小池快

36 3回戦

マイナビ仙台 | アルビレックス新潟レディース
0 [前半0-0 後半0-0] 0
PK5-6

●2025年11月22日 13:30 ●セイホクパーク石巻 石巻フットボール場 ●試合時間:90分、延長30分、PK ●【主審】新妻久美【副審】稲葉里美/神あり【第4の審判員】佐久間遼 ●マッチコミッショナー:大井川恵一 ●観衆:631人

[GK] 16 横堀美優	出	[GK] 31 久野吹雪	出
[DF] 19 安倍乃花	場	[DF] 6 有吉佐織	場
[DF] 4 三浦紗津紀	進	[DF] 16 富岡千宙	進
[DF] 2 西野朱音	手	→ 60'(23)山本結菜	手
[DF] 37 石坂咲樹		[DF] 5 川村優理	
[MF] 18 江崎世来		[DF] 32 白沢百合恵	
[MF] 6 井上陽菜		→ 120+1'(4)横山笑愛	
→ 116'(27)佐藤いな		[DF] 7 岡田瑞貴	
[MF] 25 太田萌咲		[MF] 13 杉田亜未	
[FW] 13 矢形海優		→ 120+1'(24)宮本紀菜里	
[FW] 31 津田愛乃音		[MF] 10 上野野辺めぐみ	
[FW] 24 遠藤ゆめ		→ 70'(18)江崎杏那	
		→ 延後前(30)那須野陽向	
		[FW] 9 川澄穂美	
		→ 60'(14)下吉優衣	
		[FW] 11 新堀華波	
		[FW] 17 滝川結女	

92'江崎世来 警告
先25〇、4〇、13〇、2〇、27×、24×、37〇、18× PK 14〇、30〇、23〇、17〇、5×、4×、24〇、7〇

31 2回戦

AC長野パルセイロレディース | パニース群馬FCホワイトスター
2 [前半1-0 後半1-1] 1

●2025年11月15日 11:00 ●J-GREEN堺メインフィールド(S1) ●試合時間:90分 ●【主審】荒川里実【副審】朝井隆浩/黒田寛太【第4の審判員】木下心 ●マッチコミッショナー:清水達哉 ●観衆:247人

[GK] 1 梅村真央	出	[GK] 16 高橋杏奈	出
[DF] 27 茂島彩佳	場	[DF] 24 島田麟	場
[DF] 5 岩下胡桃	進	→ 52'(9)木龍七潮	進
[DF] 4 橋谷優里	手	[DF] 25 三秋祥子	手
→ 81'(30)松久保明梨		[DF] 5 山田優衣	
[DF] 15 知久奈菜穂		[DF] 4 関口真由	
[MF] 6 原衣吹		→ 90+2'(15)中山友菜	
[MF] 7 三谷沙也加		[MF] 7 高塚綾香	
[MF] 28 崎崎愛華		[MF] 8 大久保舞	
→ 30'(13)大内梨央		[MF] 20 間庭遥香	
[MF] 14 鈴木紗理		[MF] 13 内藤夏鈴	
→ 81'(2)松岡優空		[FW] 23 木村華実	
[FW] 11 川船曉海		[FW] 3 尹颯良	
[FW] 33 吉野真央		→ 65'(17)佐藤瑞希	
→ 63'(19)玉井小春		→ 86'(10)大矢步	

4'三谷沙也加(1-0)、49'大内梨央(2-0) 得点
50'高塚綾香(2-1) 退場 2-0

32 2回戦

朝日インテックラブリッジ名古屋 | SEISA OSAレリア湘南FC
2 [前半1-0 後半1-0] 0

●2025年11月15日 14:00 ●三重交通Gスポーツの杜鈴鹿サッカー・ラグビー場メインG ●試合時間:90分 ●【主審】岩本穂花【副審】森田正弥/平野達也【第4の審判員】間島美奈子 ●マッチコミッショナー:三宅正純 ●観衆:209人

[GK] 27 福田まい	出	[GK] 1 浅越千裕	出
[DF] 3 平尾愛穂	場	[DF] 3 武莉子	場
[DF] 10 橋原衣	進	[DF] 2 夏目萌由	進
[DF] 17 堀内意	手	[DF] 4 阿久井泉	手
→ 87'(18)宮本仁奈		[MF] 18 国吉花実	
[DF] 2 夏目歩実		[MF] 23 針生理奈	
[MF] 5 安部由希子		[MF] 6 森美礼亞	
→ 83'(6)大淵日和		[MF] 9 高橋沙矢香	
[MF] 4 逸見桃子		→ 56'(29)戸塚優彩	
[MF] 20 上田真子		[FW] 11 鈴木陽菜	
→ HT(15)中村友香		[FW] 10 堀野風	
[MF] 8 洲上野乃佳		[FW] 20 加藤もも	
→ 83'(7)柴山史菜			
[FW] 13 仁木愛実			
[FW] 9 水野亜美			
→ 70'(28)永田晶子			

36'逸見桃子(1-0)、67'堀内意(2-0) 得点
警告 48'阿久井泉

33 3回戦

三菱重工浦和レッズレディース | 伊賀FCノース三重
1 [前半0-0 後半1-2] 2

●2025年11月23日 13:00 ●セイホクパーク石巻 石巻フットボール場 ●試合時間:90分 ●【主審】朝倉みな子【副審】横田碧/千葉美咲【第4の審判員】藤田陽向 ●マッチコミッショナー:金崎典之 ●観衆:406人

[GK] 1 池田咲紀子	出	[GK] 16 後藤優香	出
[DF] 3 岡村来佳	場	[DF] 28 常田葉那	場
[DF] 7 高橋はな	進	[DF] 3 葉美結	進
[DF] 13 長崎玲奈	手	[DF] 5 藤田理子	手
[MF] 16 水谷有希		[MF] 24 唐沢芽依	
→ 75'(6)加藤千佳		[MF] 6 常田麻友	
[MF] 34 平川陽菜		[MF] 9 村上日奈子	
→ 88'(20)高塚映奈		→ 90+1'(17)並木千夏	
[MF] 8 柳原琴乃		[MF] 14 増田玲那	
[MF] 19 サンシャイン・フォンテス		[MF] 7 渡邊優	
→ 65'(21)タンチノ・エローリ		→ 64'(10)平田ひなの	
[MF] 5 伊藤美紀		[FW] 11 正野瑠菜	
→ 75'(6)加藤千佳		→ 88'(8)島野美央	
[FW] 15 島田芽依		[FW] 30 神谷千菜	
→ 75'(9)菅澤優衣香			

75'岡村来佳(1-1) 得点 73'81'平田ひなの(0-1)(1-2)

28 2回戦

ちふれASエルフェン埼玉 | JFAアカデミー福島
0 [前半0-1 後半0-0] 1

●2025年11月15日 10:30 ●テクノポート福井スタジアム ●試合時間:90分 ●【主審】中本早紀【副審】東間結平/出倉一沙【第4の審判員】松井亮太 ●マッチコミッショナー:谷内浩仁 ●観衆:131人

[GK] 1 浅野菜摘	出	[GK] 1 福田真央	出
[DF] 13 佐久間栞	場	[DF] 2 原ひばり	場
→ 75'(18)桂亜依		[DF] 13 伊藤杏莉	
[DF] 4 橋沼真帆	進	[DF] 5 古川心尋	進
[DF] 3 栢谷沙弥	手	[MF] 9 林栞	手
[DF] 16 栢谷美羽		[MF] 3 石井音羽	
[MF] 5 瀬戸口梢		→ 90+2'(7)松井望花	
[MF] 7 樋口梨乃		[MF] 14 花城唯唯	
→ HT(6)瀬野有希		[MF] 19 松下遥南	
[MF] 15 木村未来		[MF] 20 北島景子	
→ 81'(33)長江伊吹		→ 86'(4)佐野杏花	
[MF] 8 園田悠菜		[FW] 10 柳愛花	
[MF] 23 藤原加奈		→ 62'(17)野田美多葉	
[FW] 11 高橋美夕紀		[FW] 8 福島望愛	
→ HT(17)木村和心			

得点 41'伊藤杏莉(0-1)

29 2回戦

セレッソ大阪ヤマーレレディース | オルカ鴨川FC
3 [前半0-0 後半1-0] 1

●2025年11月15日 14:00 ●J-GREEN堺メインフィールド(S1) ●試合時間:90分、延長30分 ●【主審】兼松春奈【副審】石原良徳/辻大英【第4の審判員】寺本浩史 ●マッチコミッショナー:福島隆志 ●観衆:583人

[GK] 41 名和咲香	出	[GK] 1 田谷春海	出
[DF] 4 筒井梨香	場	[DF] 6 浦部美月	場
→ 70'(34)四本帆夏		[DF] 4 松尾菜月	
[DF] 7 荻久保優実	進	[DF] 3 月東優季乃	進
→ HT(16)中西ふう		[DF] 17 越路萌永	
[DF] 22 白垣うら	手	→ 109'(2)高村さと	手
[MF] 26 北原夏実		[MF] 20 上田麻莉	
[MF] 10 脇阪麗奈		[MF] 5 浅野綾花	
[MF] 14 高和芹夏		[MF] 18 松本はな	
→ HT(13)百瀧美結香		→ 109'(13)浅坂真桜	
[MF] 18 宮本光梨		[MF] 25 齊藤桃花	
→ HT(5)浅山栄輝		→ 35'(10)アルマ・ゲニス	
[MF] 29 和田麻希		→ 83'(24)谷口優奈	
[FW] 29 中野智子		[FW] 11 河野有希	
→ 81'(8)田中智子		→ 70'(7)齊藤綾音	
[FW] 11 宝田沙織		[FW] 23 安東美那	
[FW] 28 田子夏海		→ 109'(15)今西那歩	
→ 延後前(17)中谷莉奈			

61'オウンゴール(1-0)、93'浅山栄輝(2-1)、110'白垣うら(3-1) 得点 65'松尾菜月(1-1)

30 2回戦

ノジマステラ神奈川相模原 | FCふじざくら山梨
3 [前半0-0 後半3-2] 2

●2025年11月15日 13:30 ●テクノポート福井スタジアム ●試合時間:90分 ●【主審】新妻久美【副審】樋口晃生/上杉幸宏【第4の審判員】磯波恵照 ●マッチコミッショナー:栗森政一郎 ●観衆:144人

[GK] 16 池尻忍沙	出	[GK] 33 米澤萌香	出
[DF] 22 白井ひめ乃	場	[DF] 40 鈴木絢樹	場
→ 61'(14)南里杏		[DF] 20 五味小娘	
[DF] 5 大宮理紗子	進	[DF] 3 加村ななみ	進
[DF] 6 大宮ラッセルデヴィア	手	[MF] 4 小鍛冶望	手
[DF] 3 長嶋つとむ		[MF] 29 三田幸望	
[MF] 17 川島はるな		→ 87'(17)谷波流晏	
→ 61'(15)根府桃子		[MF] 28 島村美風	
[MF] 4 伊東珠実		→ 68'(11)中村友香	
[MF] 8 岸川奈津希		[MF] 16 辻野友実子	
[MF] 29 祐村ひかる		[FW] 15 成迫実咲	
→ 89'(26)菅井優愛		→ 87'(6)濱名花子	
[FW] 11 大竹麻友		[FW] 9 山本菜穂美	
[FW] 18 片山由菜		[FW] 14 藤田紗弥	
→ 57'(9)菅井一愛		→ 63'(21)内田朱夏	

62'菅井一愛(1-1)、70'根府桃子(2-1)、73'岸川奈津希(3-1) 得点 56'成迫実咲(0-1)、90+1'小鍛冶望(3-2)

皇后杯 JFA 第47回全日本女子サッカー一選手権大会 記録集

第2部 全試合公式記録

43 準々決勝

サンフレッチェ広島レジーナ | ASハリマアルビオン
2 [前半2-0 後半0-1] 1

●2025年12月6日 13:00 ●ホンダヒート・グリーンスタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]松尾久美子[副審]緒方実央/岩本穂花[第4の審判員]友宗菜月 ●マッチコミッショナー:中野和俊 ●観衆:385人

[GK] 32 石田ひなは	出	[GK] 41 小暮千晶	出
[DF] 20 鳥袋奈美恵	場	[DF] 20 山口歌子	場
→ 75'(25)塩田満彩	選	→ 66'(16)松久保葵子	選
[DF] 38 嶋田華	手	[DF] 5 小島美玖	手
[DF] 5 市瀬千里		[DF] 6 吉田紫穂	
[DF] 15 藤生菜摘		[DF] 3 國生乃愛	
[MF] 23 柳瀬楓菜		[MF] 14 正野可菜子	
[MF] 18 渡邊真衣		→ 90+1'(8)谷島利実	
[MF] 7 伊藤めぐみ		[MF] 25 唐橋万結	
→ 75'(28)古賀花野		→ 66'(11)南條里緒	
→ 85'(26)立花葉		[MF] 18 阿部文音	
[FW] 8 小川愛		→ HT(13)三置りりか	
→ 79'(30)李誠雅		[FW] 10 千葉園子	
[FW] 9 上野真実		[FW] 9 川崎咲耶	
[FW] 11 中嶋淑乃		[FW] 33 椎野彩香	
→ 79'(14)松本菜奈加		→ 66'(7)井之脇朱音	
16'上野真実(1-0)、20'中嶋淑乃(2-0)	得点	89'井之脇朱音(2-1)	得点
	警告	64'小島美玖	警告

44 準々決勝

セレッソ大阪ヤンマーレディース | 朝日インテック・ラブリッジ名古屋
1 [前半0-0 後半1-0] 0

●2025年12月7日 11:00 ●ホンダヒート・グリーンスタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]荒川里実[副審]山内恵美/別府朋香[第4の審判員]大谷美球 ●マッチコミッショナー:中村雅 ●観衆:466人

[GK] 41 名和咲香	出	[GK] 27 福田まい	出
[DF] 4 筒井梨香	場	[DF] 3 平尾愛穂	場
→ 37'(22)白垣うの	選	[DF] 10 橋麗衣	選
[DF] 16 中西ふう	手	[DF] 17 堀内意	手
→ 84'(3)米田博美		[DF] 2 夏目歩実	
[DF] 17 中谷莉奈		[MF] 5 安部由希子	
[DF] 34 四本帆夏		[MF] 4 逸見桃子	
[MF] 10 脇坂麗奈		[MF] 20 上田真子	
[MF] 11 宝田沙織		→ 78'(24)角田菜々子	
[MF] 13 百瀨実結香		[MF] 8 洲上野乃佳	
[MF] 14 高和芹夏		→ 78'(15)中村友香	
→ 37'(19)新井萌禾		[FW] 13 仁木愛実	
[FW] 5 浅山菜穂		[FW] 9 水野亜美	
→ 65'(29)和田麻希		→ 66'(28)永田晶子	
[FW] 28 田子夏海			
→ 84'(18)宮本光梨			
75'和田麻希(1-0)	得点		
	警告	90+3'夏目歩実	警告

45 準決勝

伊賀FCくノ一三重 | INAC神戸レオネッサ
1 [前半0-0 後半1-3] 3

●2025年12月14日 14:05 ●サンガスタジアム by KYOCERA ●試合時間:90分 ●[主審]大村琴美[副審]國師えりな/勝又美沙希[第4の審判員]柳彩乃 ●マッチコミッショナー:高田貴志 ●観衆:2,103人

[GK] 16 後藤優香	出	[GK] 18 戸根有野里	出
[DF] 28 常田菜那	場	[DF] 14 水野露奈	場
[DF] 3 奏美結	選	→ 15'(4)井手ひなた	選
[DF] 5 藤田理子	手	[DF] 24 太田美月	手
→ 81'(18)井上歩香		[DF] 5 三宅史織	
[MF] 24 唐沢芽依		[DF] 13 桑原藍	
→ 65'(4)西林里恵		[MF] 10 成宮唯	
[MF] 6 常田麻友		[MF] 25 大熊環	
[MF] 9 村上日奈子		→ 90+5'(55)ヴァンサンブロン	
→ 81'(17)並木千夏		[MF] 6 松原優菜	
[MF] 14 増田玲那		→ 65'(11)高瀬愛実	
[MF] 7 渡邊凜		[FW] 23 三谷和華奈	
→ 65'(10)平田ひなの		→ 65'(28)小峠明日香	
[FW] 11 正野瑠菜		[FW] 9 吉田莉胡	
→ 90'(25)上田彩葉		[FW] 19 久保田真生	
[FW] 30 神谷千葉		→ 90+5'(16)道上彩花	
50'正野瑠菜(1-0)	得点	65'太田美月(1-1)、75'高瀬愛実(1-2)、89'吉田莉胡(1-3)	得点
	警告		警告

40 3回戦

AC長野パルセイロレディース | 朝日インテック・ラブリッジ名古屋
0 [前半0-0 後半0-2] 2

●2025年11月22日 13:00 ●長野Uスタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]田澤友梨奈[副審]國師えりな/清水裕貴[第4の審判員]牧宗市 ●マッチコミッショナー:上條一正 ●観衆:513人

[GK] 1 梅村真央	出	[GK] 27 福田まい	出
[DF] 27 篠島彩佳	場	[DF] 3 平尾愛穂	場
[DF] 5 岩下胡桃	選	[DF] 10 橋麗衣	選
[DF] 4 橋谷優里	手	[DF] 17 堀内意	手
→ 71'(30)松久保明梨		→ 90+4'(18)宮本仁奈	
[DF] 15 知久奈菜穂		[DF] 2 夏目歩実	
[MF] 6 原衣吹		[MF] 5 安部由希子	
[MF] 7 三谷沙也加		[MF] 4 逸見桃子	
→ 82'(20)松岡優空		[MF] 20 上田真子	
[MF] 13 大内梨央		→ 73'(24)角田菜々子	
→ HT(14)鈴木紗理		[MF] 8 洲上野乃佳	
[MF] 10 菊池まりあ		→ 80'(15)中村友香	
[FW] 11 川船晚海		[FW] 13 仁木愛実	
[FW] 33 吉野真央		→ 90+4'(7)柴山史菜	
→ 71'(19)玉井小春		[FW] 9 水野亜美	
		→ 73'(28)永田晶子	
	得点	50'洲上野乃佳(0-1)、90+1'永田晶子(0-2)	得点
	警告	52'夏目歩実	警告

41 準々決勝

伊賀FCくノ一三重 | 日体大SMG横浜
1 [前半1-0 後半0-0] 0

●2025年12月7日 14:00 ●ホンダヒート・グリーンスタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]田澤友梨奈[副審]萩尾麻衣子/福葉里美[第4の審判員]朝倉みな子 ●マッチコミッショナー:高橋信光 ●観衆:276人

[GK] 16 後藤優香	出	[GK] 1 服部茜沙香	出
[DF] 28 常田菜那	場	[DF] 24 俣野佑果	場
[DF] 3 奏美結	選	[DF] 4 朝倉加奈子	選
[DF] 5 藤田理子	手	[DF] 5 菅原真名	手
[MF] 14 増田玲那		[DF] 2 藤澤和心	
[MF] 6 常田麻友		[MF] 26 西村萌	
[MF] 9 村上日奈子		→ 36'(14)鏡織美紀	
[MF] 24 唐沢芽依		[MF] 31 藤谷千里	
[FW] 11 正野瑠菜		→ 58'(13)浅香美結	
→ 62'(10)平田ひなの		[MF] 27 高橋光莉	
[FW] 7 渡邊凜		[MF] 7 篠田帆花	
→ 77'(17)並木千夏		→ 82'(18)柴原希保	
[FW] 30 神谷千葉		[FW] 10 本田悠良	
		[FW] 9 北沢明未	
42'村上日奈子(1-0)	得点		
71'藤田理子	警告		

42 準々決勝

INAC神戸レオネッサ | アルビレックス新潟レディース
2 [前半1-0 後半1-0] 0

●2025年12月7日 13:00 ●兵庫県立三木総合防災公園 陸上競技場 ●試合時間:90分 ●[主審]新妻久美[副審]柿本麻希/佐々木陽美[第4の審判員]大堂清香 ●マッチコミッショナー:山本弘之 ●観衆:824人

[GK] 18 戸根有野里	出	[GK] 31 久野吹雪	出
[DF] 14 水野露奈	場	[DF] 6 有吉佐織	場
[DF] 24 太田美月	選	[DF] 32 白沢百合恵	選
[DF] 5 三宅史織	手	→ 82'(10)上尾野辺めぐみ	手
[DF] 13 桑原藍		[DF] 4 横山笑愛	
[MF] 10 成宮唯		[DF] 7 園田瑞貴	
[MF] 25 大熊環		[MF] 16 雷岡千宙	
[MF] 8 山本麻也		→ HT(13)杉田亜未	
→ 10'(6)松原優菜		[MF] 5 川村優理	
[FW] 23 三谷和華奈		[MF] 14 下吉優衣	
→ 78'(55)ヴァンサンブロン		→ 70'(9)川澄奈穂美	
[FW] 9 吉田莉胡		[MF] 23 山本結実	
[FW] 19 久保田真生		→ 82'(30)那須野陽向	
→ 85'(16)道上彩花		[FW] 11 新堀華波	
		→ 70'(19)城和怜奈	
		[FW] 17 滝川結女	
6'吉田莉胡(1-0)、77'桑原藍(2-0)	得点		
	警告	3'横山笑愛	警告

37 3回戦

日テレ東京ヴェルディベレーザ | サンフレッチェ広島レジーナ
1 [前半0-2 後半1-0] 2

●2025年11月22日 14:00 ●Axis/バードスタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]柳彩乃[副審]吉永真紀/伊藤華蓮[第4の審判員]宮崎希実 ●マッチコミッショナー:南浩二 ●観衆:608人

[GK] 31 大場朱羽	出	[GK] 32 石田ひなは	出
[DF] 4 土光真代	場	[DF] 25 塩田満彩	場
[DF] 3 村松智子	選	→ 73'(30)李誠雅	選
[DF] 5 松田紫野	手	[DF] 38 嶋田華	手
[MF] 6 隅田凜		[DF] 5 市瀬千里	
→ 43'(11)樋渡百花		[DF] 15 藤生菜摘	
[MF] 10 菅野奏音		[MF] 23 柳瀬楓菜	
[MF] 16 青木夕菜		[MF] 18 渡邊真衣	
→ 64'(22)坂部幸菜		[MF] 7 伊藤めぐみ	
[MF] 7 北村菜々美		→ 60'(20)鳥袋奈美恵	
→ 64'(8)猶本光		[FW] 8 小川愛	
[MF] 14 眞城美香		→ 73'(28)古賀花野	
→ 89'(13)氏原里穂菜		[FW] 9 上野真実	
[MF] 19 塩越柚歩		[FW] 11 中嶋淑乃	
[FW] 20 小林里歌子		→ 90+5'(14)松本菜奈加	
→ 89'(25)ダネル・タン			
69'小林里歌子(1-2)	得点	12'伊藤めぐみ(0-1)、45'中嶋淑乃(0-2)	得点
	警告	77'李誠雅	警告

38 3回戦

ASハリマアルビオン | JFAアカデミー福島
1 [前半0-0 後半1-0] 0

●2025年11月22日 10:30 ●セイホクパーク石巻 石巻フットボール場 ●試合時間:90分 ●[主審]勝又美沙希[副審]丸本明奈/千葉美咲[第4の審判員]藤田陽向 ●マッチコミッショナー:松原悟 ●観衆:260人

[GK] 41 小暮千晶	出	[GK] 1 福田真央	出
[DF] 20 山口歌子	場	[DF] 2 原ひばり	場
→ 78'(19)高松芹羽	選	[DF] 5 吉川心尋	選
[DF] 6 小島美玖	手	[MF] 9 林椿	手
[DF] 3 國生乃愛		[MF] 3 石井音羽	
[MF] 18 阿部文音		[MF] 14 花城恵唯	
→ HT(13)三置りりか		[FW] 17 野田美多葉	
[MF] 25 唐橋万結		→ 60'(20)北島景子	
[MF] 14 正野可菜子		[FW] 8 福島望聖	
[FW] 10 千葉園子		→ 90+6'(11)南條里緒	
→ 90+6'(11)南條里緒		[FW] 7 松井聖花	
[FW] 9 川崎咲耶		→ 67'(10)神愛花	
[FW] 33 椎野彩香			
→ 78'(7)井之脇朱音			
88'川崎咲耶(1-0)	得点		
56'正野可菜子、90+3'國生乃愛	警告		

39 3回戦

セレッソ大阪ヤンマーレディース | ノジマステラ神奈川相模原
1 [前半0-0 後半1-0] 0

●2025年11月22日 11:30 ●兵庫県立三木総合防災公園 陸上競技場 ●試合時間:90分 ●[主審]松尾久美子[副審]佐藤麻希/清田将矢[第4の審判員]谷添大地 ●マッチコミッショナー:三裏浩記 ●観衆:326人

[GK] 41 名和咲香	出	[GK] 1 岩崎有波	出
[DF] 17 中谷莉奈	場	[DF] 14 南里杏	場
[DF] 22 白垣うの	選	→ 65'(22)白井ひめ乃	選
[DF] 33 吉田琉衣	手	[DF] 5 大賀理紗子	手
→ HT(16)中西ふう		[DF] 6 パオラ・ソルデヴィラ	
[DF] 34 四本帆夏		[DF] 19 築地育	
[MF] 10 脇坂麗奈		[MF] 4 伊東梨梨	
[MF] 11 宝田沙織		[MF] 17 川島はるな	
[MF] 26 北原朱夏		→ 88'(26)笹井優愛	
→ 57'(14)高和芹夏		[MF] 29 祐村ひかる	
[MF] 29 和田麻希		→ 78'(18)片山由菜	
→ 73'(19)新井萌禾		[MF] 9 笹井一愛	
[FW] 5 浅山菜穂		[FW] 11 大竹麻友	
→ 90'(3)米田博美		[FW] 15 根府桃子	
[FW] 13 百瀨実結香			
78'百瀨実結香(1-0)	得点		

第3部 参加48チーム・登録選手

- ①セレッソ大阪ヤンマーレディース
②松田岳夫
③11回
④準決勝
⑤米田博美、筒井梨香、浅山菜穂、松本奈己、荻久保優里、田中智子、脇阪麗奈、室田沙織、百瀬実結香、高和芹夏、中西ふう、中谷莉奈、宮本光梨、新井萌禾、山下莉奈、白垣うの、北原朱夏、西中麻穂、田子夏海、和田麻希、石田心菜、吉田琉衣、四本帆夏、名和咲香

- ①INAC神戸レオネッサ
②宮本ともみ
③22回 / 7回
④準優勝
⑤大熊茜、井手ひなた、三宅史織、松原優菜、愛川陽菜、山本麻也、吉田莉胡、成宮唯、高瀬愛実、桑原藍、水野露奈、道上彩花、箕輪千穂、戸梶有野里、久保真生、足立寧々、三谷和華奈、太田美月、大熊環、小嶋明日香、辻蓮唯、松本葵、菊地優香、寺田心春、ヴァン・サンブソン、船田麻友

- ①サンフレッチェ広島レジーナ
②赤井秀一
③5回
④優勝
⑤木村瑠那、呉屋絵理子、中村楓、市瀬千里、左山桃子、伊藤めぐみ、小川愛、上野真実、瀧澤千聖、中嶋淑乃、松本奈奈加、藤生菜摘、早間美空、渡邊真衣、島袋奈美恵、藤田七海、柳瀬楓菜、塩田満彩、立花菜、古賀花野、笠原純乃、李誠雅、石田ひなは、嶋田華

日本女子サッカーリーグ (なでしこリーグ) 12チーム

- ①オルカ鶴川FC
②百武江梨
③10回
④2回戦
⑤田谷春海、高村ちさと、月東優季乃、松尾菜月、浅野綾花、浦部美月、齋藤綾音、新田寿瑞、齋藤彩花、アルマ・デービス、河野有希、浅坂真桜、菅原千嘉、今西那歩、大原もも、越路萌永、松本はな、宮崎彩奈、上田麻莉、屋富祖千裕、北村ほのか、安東美那、谷口愛奈、齋藤桃花、横山野ノ香、今田紗良、太田里菜、巖谷天、伊豆倉舞華、田中陽世里

- ①スフィーダ世田谷FC
②川嶋珠生
③13回
④2回戦
⑤石野妃芽佳、根本彩夏、柏原美羽、湯江歩、宇内彩奈、金子ゆい、渡邊那奈、望月麻衣、堀江美月、田口亜亜紗、川邊汐夏、内田美鈴、小泉柚紀、篠原沙耶、北川心子、小泉杏織、近藤彩優子、榎本芹菜、石川愛妃、金子麻優、荒川結乃花、青木菜羽、羽柴咲良、佐藤李那、山内夏実、石浦和歌、大塚美緒

- ①日体大 SMG 横浜
②嶋田千秋
③27回
④準々決勝
⑤服部茜沙香、藤澤和心、笠井寧々、朝倉加奈子、菅原真名、篠田帆花、安積和季、北沢明未、本田悠良、浅香美結、錦織美紀、山本葉桜、本城美弥生、鈴木心、柴原希保、福田はな、大矢さくら、寺田梨乃、俣野佑果、内村心優、西村萌、高橋光莉、岡千尋、枚田乙愛、小林春、藤谷千里、高橋亜優、中村円香、吉川はなの、鬼頭こはな

- ①ニッパツ横浜FCシーガルズ
②石田美穂子
③12回
④2回戦
⑤新井翠、渡部那月、吉田優菜、中居未来、吉田風沙、権野貴子、蔵田あかり、矢野梨紗、室井胡心、岡白々花、田村かほ、渋谷巴菜、奈良美沙季、新井純奈、松本莉緒、松井里夫、村岡由良、大久保つし、加田菜、村上真生、宮崎凛乃、神水清琴望、本多美夏子、宜野座令愛、浦島里紗、小須田璃菜、山本うみ

- ①静岡 SSU ポニータ
②本田美登里
③17回
④3回戦
⑤高橋美香、杉田めい、彦坂桃花、塩澤優、大岡由樹、小池快、中川結々、白井未来、土屋佑津季、横山久美、三輪玲奈、梅津真央、青葉結衣、岸野早奈、藤田桃加、高島純音、井ノ瀬玲緒奈、中島咲友菜、水口菜優、寺田郁美、大曾律由乃、服部花音、大河内友貴、林知奈、安間帆乃香、上柳歩美、石田小枝、北菜々子、内海佑南、乃力安純

- ①朝日インテック・ラブリッジ名古屋
②磯村健
③18回
④準々決勝
⑤夏目歩実、平尾愛穂、逸見桃子、安部由希子、大淵日和、柴山史菜、洲上野乃佳、水野亜美、橋麗衣、仁木愛実、加藤ゆあ、中村友香、堀内意、宮本仁奈、森口莉子、上田真子、瀬戸口伊織、木下咲帆、角田菜々子、河合野乃子、長谷原彩音、福田まい、永田晶子

- ①伊賀 FC くノ一三重
②北村隆二
③37回 / 3回
④準決勝
⑤多崎美玖、秦美結、西林里恵、藤田理子、常田麻友、渡邊凛

- ①チーム名
②監督名
③皇后杯出場回数(今大会含む) / 過去優勝回数
④第47回大会成績
⑤第47回大会登録選手(30名)

日本女子プロサッカーリーグ (WEリーグ) 12チーム

- ①マイナビ仙台
②須永純
③14回
④3回戦
⑤伊藤有里彩、西野朱音、三浦紗津紀、國武愛美、井上陽菜、大西若菜、廣澤真穂、後藤三知、矢形海優、高原天音、清水菜、横堀美優、佐々木里緒、江崎世来、安倍乃花、吉岡心、遠藤ゆめ、太田明咲、佐藤いな、松永未衣奈、坂井優紀、津田愛乃音、菊地花奈、石坂咲樹
- ①三菱重工浦和レズレディース
②堀孝史
③21回 / 2回
④3回戦
⑤池田咲紀子、エスタ・マイ・キス、岡村来佳、後藤若菜、伊藤美紀、加藤千佳、高橋はな、柳原琴乃、菅澤優衣香、安藤梢、長嶋鈴奈、島田芽依、水谷有希、柴田華絵、サンシャイン・フォンテス、高塚映奈、タンデュリー・ローリー、秋本佳音、伊能真弥、藤崎智子、前原嘉乃、丹野凛々香、松尾美月、櫻井まどか、熊澤歩歩、平川陽菜、高橋佑奈

- ①RB大宮アルディージャWOMEN
②柳井里奈
③6回
④2回戦
⑤田嶋史織、落合依和、金平莉紗、高橋美紀、杉澤海星、西澤日菜乃、阪口萌乃、井上綾香、五嶋京香、大島暖菜、仲田歩夢、田中聖愛、林みのり、齋藤夕貴、平井杏幸、中村麗、今村南海、久保真理子、牧野美優、西尾菜音、佐藤百音、浜田芽菜、兼松瑠華

- ①ちふれ AS エルフエン埼玉
②樋口靖洋
③26回
④2回戦
⑤浅野菜摘、大沼歩加、植木沙羽、橋沼真帆、瀬戸口梢、瀬野有希、樋口梨花、園田悠奈、荒川恵理子、高橋美夕紀、佐久間未祐、植村祥子、木村未来、栃谷美羽、木村和心、桂亜佐、森中陽菜、伊木のり、小野未織、藤原加奈、金成瑠那、鹿島彩莉、長江伊吹

- ①ジェフ千葉レディース
②カルメラ・トレス
③28回
④2回戦
⑤望月ありさ、藤代真帆、石田菜々海、林香奈絵、田中真理子、蓮輪真琴、小川由姫、小林ひなた、ヨ・ミンジ、根津里莉日、植本愛実、田中桃子、山口千尋、船木里奈、井上千里、源岡美月、増田咲良、朝倉陽菜、多崎真琴、足立楓、足立梓、木崎あみ、木村彩那、小林莉々子、谷口真由

- ①日テレ・東京ヴェルディベレーザ
②楠瀬直木
③43回 / 16回
④3回戦
⑤野田いな、村松智子、土光真代、松田紫野、隅田凜、北村菜々美、猶本光、山本柚月、菅野奏音、橘渡百花、氏原里穂菜、黄城美香、池上聖七、青木夕菜、柏村菜那、松永未夢、塩越柚歩、小林里歌子、清水美紅、坂部幸菜、ダネル・タン、宇津木瑠美、大塚来羽、若水梓

- ①ノジマステラ神奈川相模原
②小笠原唯志
③14回
④3回戦
⑤岩崎有波、小野奈菜、長嶋流、伊東珠梨、大賀理紗子、ハオラ・ソルデヴィラ、平田ひかり、岸川奈津希、笹井一愛、大竹麻友、南里杏、根府桃子、池尻風沙、川島はるな、片山由菜、築地育、風間優華、白井ひめ乃、木竜有姫、笹井優愛、加藤真実、祐村ひかる

- ①AC長野パルセイロ・レディース
②廣瀬龍
③22回
④3回戦
③梅村真実、ブラフフェイス、久保田明未、橋谷優里、岩下胡桃、原衣吹、三谷沙也加、上田佳奈、福村雪乃、菊池まりあ、川船晚海、大内梨央、鈴木紗理、知久奈菜穂、高橋穂、大坪菜、玉井小春、松岡優空、垣内愛菜、児玉一穂、山本來怜愛、奥川千沙、高野瀬紫苑、飛島彩佳、松崎愛理、松久保明梨、吉野真央、鈴木こまつ、濱田優香

- ①アルビレックス新潟レディース
②橋川和晃
③23回
④準々決勝
⑤ブラフシャー、横山笑愛、川村優理、有吉佐織、園田瑞貴、川瀬奈穂美、上野野辺めぐみ、新塚華波、杉田亜未、下吉優衣、富岡千由、滝川結友、江崎杏那、城和怜奈、山谷瑠香、高橋智子、山本結菜、宮本紀菜里、藤原凛音、那須野陽向、久野吹雪、白沢百合恵、長崎咲鈴、ナム・スンウン

46 準決勝 サンフレッチェ広島レジーナ vs セレッソ大阪ヤンマーレディース

3 [前半3-0 後半0-2] 2

●2025年12月14日 10:45 ●サンガスタジアム by KYOCERA
●試合時間90分 ●[主審]兼松春奈[副審]中本早紀/谷本菜々子
[第4の審判員]小野田伊佐子 ●マッチコミッショナー:青木隆 ●観衆:1,552人

[GK] 32 石田ひなは	出	[GK] 41 名和咲香
[DF] 20 島袋奈美恵	場	[DF] 3 米田博美
→ 80'(25)塩田満彩		→ HT(16)中西ふう
[DF] 38 嶋田華	選	[DF] 17 中谷莉奈
[DF] 5 市瀬千里	手	→ 67'(26)北原朱夏
[DF] 15 藤生菜摘		[DF] 22 白垣うの
[MF] 23 柳瀬楓菜		[DF] 34 四本帆夏
[MF] 18 渡邊真衣		[MF] 10 脇阪麗奈
[MF] 8 小川愛		[MF] 11 室田沙織
→ 80'(7)伊藤めぐみ		[MF] 13 百瀬実結香
[FW] 30 李誠雅		[MF] 29 和田麻希
→ 90+6'(4)中村楓		→ 85'(8)田中智子
[FW] 9 上野真実		[FW] 5 浅山菜穂
→ 76'(14)松本奈奈加		→ 36'(28)田子夏海
[FW] 11 中嶋淑乃		[FW] 19 新井萌永
		→ 67'(18)宮本光梨

12'李誠雅(1-0)、20'中嶋淑乃 78'室田沙織(3-1)、90+3'百瀬実結香(3-0) 得点 実結香(3-2)
60'市瀬千里 警告 45+2'脇阪麗奈

47 決勝 INAC神戸レオネッサ vs サンフレッチェ広島レジーナ

1 [前半0-1 後半1-1] 2

●2026年1月1日 12:31 ●MUGFスタジアム(国立競技場) ●試合時間90分 ●[主審]杉野杏紗[副審]坊置真琴/榎未宇[第4の審判員]田浦友梨奈 ●マッチコミッショナー:石井昭次 ●観衆:16,527人

[GK] 1 大熊茜	出	[GK] 32 石田ひなは
[DF] 4 井手ひなた	場	[DF] 20 島袋奈美恵
→ 90+3'(11)高瀬愛実		→ 62'(25)塩田満彩
[DF] 24 太田美月	選	[DF] 38 嶋田華
[DF] 5 三宅史織	手	[DF] 5 市瀬千里
→ 54'(55)ヴァン・サンブソン		[DF] 15 藤生菜摘
[DF] 13 桑原藍		[MF] 23 柳瀬楓菜
[MF] 10 成宮唯		[MF] 18 渡邊真衣
[MF] 25 大熊環		[MF] 8 小川愛
[MF] 8 山本優也		[FW] 30 李誠雅
→ 79'(6)松原優菜		→ 67'(28)古賀花野
[FW] 14 水野露奈		[FW] 9 上野真実
[FW] 9 吉田莉胡		[FW] 11 中嶋淑乃
[FW] 19 久保真生		→ 79'(23)三谷和華奈

66'久保真生(1-1) 得点 31'李誠雅(0-1)、90+1'中嶋淑乃(1-2)
警告 23'柳瀬楓菜



決勝・INAC神戸レオネッサ vs サンフレッチェ広島レジーナ

第3部 参加48チーム・登録選手

矢野粧子、平野鈴空、宮下あつき、北久保夏奈、釘村美紀、福井りおん、松本日菜葉、福山佳歩

①常葉大学附属高校

- ②落合安裕
- ③ 5 回
- ④ 1 回戦
- ⑤ 福川真紀、小澤瑠奈、上杉恵、松永紗依、望月寧々、兵庫彩夏、佐藤煌、小島あひ、石内日彩、松浦芽育子、竹川花音、鈴木亜子、大村楓、佐野杏心、望月心愛、松井さつき、佐野菜月、田村彩心、菊池一祐、天野美優、花村芽咲、玉川志乃、小川結蘭、木内優衣、深澤夏歩、八木陽彩、酒澤梓乃

①追手門学院大学

- ②酒井望
- ③初出場
- ④ 2 回戦
- ⑤ 佐木双葉、井手口怜央、東優希、佐治椛花、長野心菜、彦阪由依、菊山裕衣、松原愛佳、菅森香、大場柚季、京田七海、福田梨音、三島ゆな、森崎歩莉、樹井優、市川幸来、木下日菜子、金谷こころ、岡村陽生、秋山来実、本田優、中田歩果、境優莉花、大場舞咲、三浦彩夢、甲木湖冬羽、新谷星奈、橋本みずき、井原凜、矢野智代瑠

①吉備国際大学 Charme 岡山高梁

- ②太田真司
- ③ 21 回
- ④ 1 回戦
- ⑤ 佐喜真幹、青山美里、岩田莉奈、本庄結、中村有沙、土山桃香、神田若帆、古谷優理亜、根本梨香子、加戸由佳、西村留夏、野町香好、川名みのり、工藤風紗、西山菜々、小夏、徳本華暖、三浦春菜、杉野陽咲、西原紗久、釣本伊夏、去来川琳久、大久保楓、赤木絵美香、林心音、野田愛華

①ディオッサ出雲 FC

- ②堀陽二
- ③ 6 回
- ④ 3 回戦
- ⑤ 西村清花、宮武里奈、岩下綺良々、伊藤明里、馬場あみか、岡倉海香、丸尾梨菜、友近真那、清野彩、原美望、浅海早希、住徳彩、伊勢さつき、宮川真莉乃、柳瀬絵莉、川瀧麗、打越怜、河村祐実、野村彩衣、安藤真桜、佐藤萌里、秋田咲良、相浦幸枝、島内日菜子、恒石亜弓、尾添有紗

①ディアヴォロッソ広島

- ②岩田純児
- ③ 4 回
- ④ 1 回戦
- ⑤ 秋庭未奈、一井美咲、井上真都、八田七海、長野菜奈、向井彩香、高橋美樹、山根夢乃、村上奈央、中野凜音、濱田紗紀、宮崎祐果、森山未未、杉岡真里奈、原田結菜、柳葉々笑、山崎莉奈、松本メイ乃、中西萌衣、大西純菜、碓谷海景、丸尾日奈子、山口あずみ、東葉月、武田もえ、谷穂花

①作陽学園高校

- ②山川莉々加
- ③ 10 回
- ④ 1 回戦
- ⑤ 青木凜羽、前田御里、藤井いろは、森口羅夢、難波いぶき、須崎沙都、賀田愛、小久保里望、田中沙羅、片口恵花、吉田芽生菜、高木萌咲、松崎朱音、西田朱里、中尾花夏、後藤のぞみ、木戸菜姫、岡野晏奈、佐野柚希、太幸愛、奥村橙子、川崎碧、越智春妃、中島乃々、敷花絵海、稲垣結、波尻七海、藤原碧衣、北山凜音

① FC 今治レディース

- ②布山達朗
- ③ 6 回
- ④ 1 回戦
- ⑤ 田中香葉子、安河内亜実、池澤のあ、杉山菜月、池崎愛、橋高海音、大平桃、田中萌恵、森瀬希咲、山下結夢、首藤俊里、鈴木淳菜、伊藤瑠音、藤田涼加、中山裕香、広沢美佳子、土持千秋、尾島早織、村上優結、高橋琴音、濱浦ゆ花、徳田優香、吉岡こころ、鈴鹿有希、加藤美咲、川又柚月、濱口千夏、松本梨桜

①四国大学イーグレッツ

- ②平田英治
- ③ 2 回
- ④ 1 回戦
- ⑤ 衛藤七海、新居ひかり、秋月来望、安岡若葉、酒井心優、原岩心香、吉田笑、山下ちるる、新居瑞稀、井上麗叶、池添依吹、谷津塔、川野花歩、依岡怜、福中陽央里、望月心咲、村上叶恋、堤琉藍、田崎ひより、永江凜々花、佐々木星、金城奏珠、松村実春、友田愛梨

① MIOGOCARISA 鹿児島

- ②松下みなみ
- ③初出場
- ④ 1 回戦
- ⑤ 小川瑠佳、古城里香、若杉絵望、吉村あかり、柿元渚、原田優、増ゆりあ、安庭ひな、田中恵、上村穂海、前原渚沙、大場愛美、増田美里、神宮司千尋、上村沙耶、鈴木璃葉、松下みなみ、橋谷伊織、三浦二千夏、森田貴子、吉原萌子、横路友加里

①神村学園高等部

- ②寺師勇太
- ③ 15 回
- ④ 1 回戦
- ⑤ 新屋奈々、梶島千和、漆原祐衣、廣田凜、春園虹天、折田陽和、山野空、一木知華、原口鈴音、舟之川桃果、濱砂安凜、藤本理香、宮村一花、原田真美、中地沙里、中村葵、日高美空、大敷妃紗、生田凜、池脇愛音、佐々木由貴、橋あづさ、新宅胡春、中野結菜、濱田桃奈、園田結凜、桑代心彩、竹下礼華、田中愛子、坂元めい

①神奈川大学

- ②齊木翔太
- ③ 10 回
- ④ 1 回戦
- ⑤ 高橋愛利花、沼中彩里、青木奏恵、宮内愛美、樋口三夏、オーラリー詩奈、後藤真生、安東優那、浅田幸子、田島伊織、鶴岡優月、高木沙都、佐藤まどか、久田優里愛、小倉琉海、江藤里桜奈、伊井つばさ、岩下楓、藤原良、奈良萌芽、秋山実莉、武内愛乃、木下陽菜、瀧川千優、江崎悠乃、安藤麻耶、野中麻衣、伊藤瑠璃、川上友愛、加藤愛

①早稲田大学

- ②後藤史
- ③ 17 回
- ④ 1 回戦
- ⑤ 田村亜沙美、新井みゆき、杉山遥菜、小林舞美、淀川知華、千葉梨々花、崎岡由真、佐藤美海、生田七彩、宗形みなみ、三宅万尋、阪本環、佐清愛唯、望月美希、川本美羽、勝岡真葵、米村歩夏、河合結月、福岡結、今井双葉、フース恵、小島世里、福島茉莉花、小林睦、今野杏風、吉田玲音、近澤澤菜、芳村実咲

① VONDS 市原 FC レディース

- ②塚田純平
- ③ 2 回
- ④ 2 回戦
- ⑤ 山田二千華、井上寧々、岡田愛海、小田川真奈、城倉歩未、佐藤寿音、石井彩千香、武田菜々子、櫻庭琴乃、村上賀梨、小林一歩、後藤亜瑠、田中葉色、宮田歩果、小池真理、大久保佑菜、崎山里緒、土谷葵、安達優菜、菅野瑞、河合英恵、板倉瑞穂、森ひより、中村未有、佐藤瑠美奈、増田沙美亜、上田莉帆、今井美緒、安達凜花

①日本大学

- ②川津博一
- ③ 3 回
- ④ 2 回戦
- ⑤ 山田桜音、難波響、中嶋琉七、佐藤マリー奈々美、菅野日向葵、柴田瞳、遠山瑠菜、岩淵柚月、木村菜々夏、久保華思、藤田萌歌、西野早紀、朝比奈優、大光望結、難波奏、増原遥花、滝沢美結、清水萌衣、田口瑚香菜、木村藍、山村美和子、太田千満、堀花成、川原梨寧、玄著理恵、笠村凜、白井心葉、濱田若那、大塚陽和、伊藤そら

① FC ふじざくら山梨

- ②平山奈久美
- ③ 3 回
- ④ 2 回戦
- ⑤ 出口春奈、加村ななみ、小鍛冶旭、高山紗希、濱名花子、井原美波、源関清花、山本菜桜美、菅百花、中村友香、島田有季帆、佐々木暖、島田紗紗、成迫実咲、辻野友実子、大谷琉夏、五味小暖、内田朱夏、大森みさき、加藤愛、島村美風、三田幸望、保坂のどか、米澤萌香、鈴木紋尚

①山梨学院大学

- ②村上裕子
- ③ 3 回
- ④ 2 回戦
- ⑤ 小堀菜緒、一瀬葵夢、外林花音、大高心、関根実咲、鳴海真緒、山田歩美、堤なつほ、熊谷南橋、加島希夏、城山こご、中井佑奈、高城青空、伊藤琴音、佐々木はるか、正木美里、高木琳、村上明衣、山名映理、本多陽菜、櫻井梨里花、砂川里佳、阪田明日香、菅岡百亜、大野妃菜、小林結依、高橋千空、寺村穂香、香椎彩香、香山京子

①日テレ・東京ヴェルディメニナー

- ②坂口佳祐
- ③ 19 回
- ④ 1 回戦
- ⑤ 永井愛理、柏村美那、松岡瑛菜、尾上陽向、朝生珠実、栗田七海、須長穂乃果、西尾咲希、伊藤風葵、式田和、小野葉月、諸田彩香、遠藤六花、米倉和心、加藤心内羽、鈴木遙、鴨崎妃南、西村祐富、伊藤葵海、村田ひらり、小野崎美志志、奥住心音、満屋桃杏、廣末結麻、新山愛純、金澤星、佐藤乃依、友利愛紗

① SEISA OSA レイア湘南 FC

- ②柄澤俊介
- ③ 3 回
- ④ 2 回戦
- ⑤ 浅越千裕、夏目萌由、武莉子、阿久井泉、百武初樹、森美礼亜、高橋夕香、塩野海風、鈴木陽笑、黒古ひとみ、松崎菜怜、遠藤希々花、朝倉麗、国吉花史登、鈴木碧華、加藤もも、針生理菜、高杉梓、島田陽良、鈴木煌輝、高橋柚花、戸塚優彩、矢野紫

①新潟医療福祉大学

- ②大友麻衣子
- ③ 9 回
- ④ 2 回戦
- ⑤ 澤田瑞希、大湯可琳、桑原理子、石川くらら、橋山和香、山下朝子、鶴巻美優、森三結、大海海波、堀内香歩、米田百佳、佐々木穂乃花、中島和香、岡部莉子、清水菜々羽、田家海風、森下心温、足立陽菜、今村ゆい、石野柚良、木本楓来、昆野杏菜、大澤未由銀、鍛冶芽芽、小池樹里、品川華菜、山崎瑠音

① ヴィアティン三重レディース

- ②貞清健一
- ③ 5 回
- ④ 1 回戦
- ⑤ 切畑琴乃、田中梨乃、山崎香、土井咲良、市川苑佳、矢橋菜央、須田綾香、山崎愛海、伊藤実咲、藤崎あけ、辻明日香、久永望生、高田莉緒、南知穂、古寺未佳、長町依咲、福垣真衣、川端香弓、太瀬まゆづ、村山彩、八手友梨、後藤真未、

島野美央、村上日奈子、平田ひなの、正野瑠菜、高山菜々香、増田鈴那、竹島加奈子、後藤優香、並木千夏、井上歩香、玉川美奈、合田朱里、オモロジェバ英里香、河原林柚、唐沢芽依、上田彩葉、南野未空、常田菜那、神谷千菜

①スラベンツァ大坂

- ②種田佳織
- ③ 25 回
- ④ 1 回戦
- ⑤ 井上加菜美、櫻田彩乃、上西可奈子、谷本景、宮本春花、吉尾香音、渡谷祥乃、玉田愛理、森文佳、津田明日翔、左子五月、平岩依々菜、山田萌々花、佐々木美悠、原田和佳、豊村文香、小熊桃華、増永朱里

① AS ハリマルビオン

- ②菅野将晃
- ③ 12 回
- ④ 進々決勝
- ⑤ 原田美歩、児玉耀、國生乃愛、阪中澤、小島美玖、吉田紫穂、井之脇朱音、谷島利実、川崎咲那、千葉園子、南條里緒、三富りか、正野可菜子、大原和夏、松久保菜子、渡邊優、阿部文音、高松芹羽、山口歌子、朝山瑞希、村田かえで、唐橋万結、藤原安枝、椎野彩香、小暮千尋

①岡山湯郷 Belle

- ②谷口博志
- ③ 23 回
- ④ 1 回戦
- ⑤ 伊藤楓、島村公美子、丸形梨恵、内田好美、小松未奈、山下沙耶香、南山明、中野琴音、塩谷瑠南、秋元美雨、今野瞳、山本早織、村上夏奈瀬、沖田有由、寺尾星奈、片山真鞠、梶井美和子、岸波美采、新谷楓華、柏原風沙、成田夢愛、福田陽菜、大島彩香、上野理佐、森田舞、三田一紗代、山田美緒和、福元美穂、西郡栄優

①愛媛 FC レディース

- ②望月隆司
- ③ 17 回
- ④ 2 回戦
- ⑤ 松村菜美、村上朱音、西村紀音、兵頭来良、大宮央、深澤里沙、谷口清夏、小島和希子、丸山ちさと、俣野伶奈、櫻谷岬、野口珠里、安田美奈、黒岩沙羽、小松里弥、溝上可夏、保坂優那、前田花依、児野楓香、桜井由衣香、安齋結花、田上歩実、松浦舞帆、平塚万貴、山内れな、毛利美佑、藤澤素子

① ヴィアマテラス宮崎

- ②水永翔馬
- ③ 5 回
- ④ 2 回戦
- ⑤ 晚清流、大矢円佳、宮本真緒、永野桃子、島田優依菜、松井彩乃、有馬りこ、嘉数飛鳥、坂田美優、寺田妃花、板倉楓、山添ゆづり、島田綾子、馬場ひなの、福丸智子、小澤実、西山裕香、中野里乃、坂本理保、山本さゆり、山岸夢歩、池田玲奈、今藏綾乃、富沢藍那、秋元虹波、野口佳音、小牧明日香、松田遥奈

地域代表 24 チーム

①北海道リラ・コンサドーレ

- ②佐々木滋
- ③ 2 回
- ④ 1 回戦
- ⑤ 野坂美咲、中尾咲緒、加藤紗穂、高橋凜、大淵こほる、安達沙織、高橋彩羽、垣野令佳、近田夏歩、今立のどか、高橋来碧、志藤翠衣、松浦あさひ、澤野帆乃佳、松原怜生、一ノ瀬菜月、千葉心、坂本身依、熊原権乃、青木小羽、白髭玲衣、佐藤乃那、松本明花里、山内菜里衣、中嶋美悠、小林陽菜、松原菜生、小池ひかり、坂坂綾香、竹原芽生

① JFA アカデミー福島

- ②見汐翔太
- ③ 18 回
- ④ 3 回戦
- ⑤ 福田真央、原ひばり、石井音羽、佐野杏花、古川心尋、松本有波、柿井望花、福島聖愛、林穂、柳愛花、鳥尾芽生、神田瑠璃、伊藤杏莉、花城唯唯、西ひまり、高橋心花、野田美多葉、若月りる、松山下達也、北島景子、立花実那、佐々木樹海、田中純純香、山路真白、小林羽留、福田こまち、高橋柚乃、渡邊優奈、植木愛珠

①マイナビ仙台ユース

- ②正木裕史
- ③ 3 回
- ④ 1 回戦
- ⑤ 瀬戸如紗、宮崎優那、佐藤美おん、岩城恋音美、三浦音音、星野朱凜、樋口らら、渡邊衣織、内田桜央、渡邊愛香里、岩田琳香、吉田桃子、湯田さくら、村橋愛瑠、岸咲良、佐藤美音、横塚琴乃、佐藤りのあ、保美羽、村上渚紗、加藤心、福原愛子、深井愛玲奈、黒木蓮夏、西尾莉緒、今野友絵、森屋凜子、熊谷花、小宮山碧羽、木村南那

①パニース群馬 FC ホワイトスター

- ②野田朱実
- ③ 6 回
- ④ 2 回戦
- ⑤ 松本紗和、澁澤光、尹頭友、関口真由、山田優衣、山口日南貴、高塚綾香、大久保舞、木龍七瀬、大矢歩、ワイアット漢乃、内藤夏鈴、中山友菜、高橋杏奈、佐藤瑞希、西崎帆花、西尾彩花、間庭遥香、佐々木心、高橋杏奈、木村華恋、島田麟、三秋祥子、八尋香菜子

サッカーファミリー広場



企業版ふるさと納税を活用した「全国サッカー応援プロジェクト」特設サイトがオープン！



企業版ふるさと納税
全国サッカー応援プロジェクト



「ふるさとコネクト（ふるコネ）」内に特設サイト「全国サッカー応援プロジェクト」を開設しました。

この特設サイトは、各自治体におけるサッカー関連のプロジェクトを集約させることにより、企業にとってプロジェクトを選びやすく、寄附をしやすい環境をつくり、各自治体が抱える少子高齢化対策や部活動の地域展開、防災、新しいコミュニティの形成など、課題解決につながる取り組みを応援しようというものです。

なお、JFAは日本サッカーを応援する自治体連盟に加盟する自治体に対し、①ウォーキングフットボールの推進、②

日本サッカー協会（JFA）と日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）は、株式会社JTB（以下、JTB）の企業版ふるさと納税サイト「ふるさとコネクト

学校部活動の地域展開支援、③防災活動の取り組み、の三つのプログラムを推奨しています。

自治体×企業×サッカーが手を携えることで相乗効果が発揮され、地方創生や地域が抱える課題解決の推進力になると考えています。

プロジェクト名：企業版ふるさと納税「全国サッカー応援プロジェクト」

公開日：2026年1月30日（金）

主催：JFA、Jリーグ

プロジェクト概要：

日本サッカーを応援する自治体連盟に加盟する自治体を中心としたサッカー関連プロジェクトのポータルサイト。サッカーに関連するプロジェクトを確認でき、同サイトを通じて地方創生や課題解決をサポートするもの。

JFA推奨プログラム：

①ウォーキングフットボールの実施

②学校部活動の地域展開支援

③防災活動の取り組み

*各自治体の地域性などに応じてカスタマイズしたプロジェクトを紹介

■全国サッカー応援プロジェクト 特設サイト

<http://furu-con.jp/soccer>



JFA.jp『TOP RECOMMENDATION』更新中！

JFA公式ウェブサイト「JFA.jp」では、TOP RECOMMENDATION ページでさまざまな情報を発信中！

<https://www.jfa.jp/special/>



【最新記事】

- 【会長メッセージ】次のステージに駒を進める大切な1年になる～宮本恒靖会長
- 【SPECIAL】新春インタビュー 清水梨紗 選手（リバプールFC / イングランド）
- 【SPECIAL】初春インタビュー 谷口彰悟選手（シントトロイデンVV / ベルギー）
- 【ホットピ！～HotTopic～】指導を学ぶことが純粹に面白い～近賀ゆかりさん（Aジェネラルライセンス取得）インタビュー



『ツネログ』vol.17発行

宮本恒靖会長のコラムや主な活動を伝える『ツネログ』。2026年1月発行のvol.17では長野県サッカー協会のマキナリー浩子会長と対談。

https://www.jfa.jp/about_jfa/president/tsunelog/



サッカーファミリー復興支援金

日本サッカー協会（JFA）は、東日本大震災で被災した地域のサッカーファミリーが、これまで通り、サッカーを楽しむことができるよう、サッカー環境の復興を目的に「サッカーファミリー復興支援金」口座を開設しています。集まった復興支援金は、運用細則に基づいて運用されます。

銀行口座 三菱UFJ銀行（0005） 渋谷支店（135）
普通預金 口座番号 0290451 公益財団法人日本サッカー協会
サッカーファミリー復興支援金
※ご利用金融機関が設定する振込手数料はご負担願います。

「暴力等根絶相談窓口」を設置しています

日本サッカー協会（JFA）は、サッカーの活動現場で生じた暴力行為に関する通報を受け付ける窓口として「暴力等根絶相談窓口」を設置しています。

【フォーム】 https://forms.office.com/pages/responsepage.aspx?id=jpDYK_b8f0-O_dkmS7Ijh3cFKGINHkNBpVZIXnRIR4VUNidQNFJDMFRORDU2NlhFU0M2TkpLUIJFPUS4u

利用方法の詳細は、JFA公式ウェブサイトをご確認ください。
https://www.jfa.jp/violence_eradication/





サンフレッチェ広島レジーナ
 皇后杯 JFA 第47回全日本女子サッカー選手権大会 2026.01.01 国立競技場



皇后杯 JFA 第47回全日本女子サッカー選手権大会 サンフレッチェ広島レジーナが 元日決戦を制して初優勝

2025年11月8日に幕を開けた皇后杯 JFA 第47回全日本女子サッカー選手権大会は、2026年1月1日に国立競技場で行われた決勝で幕を閉じた。WEリーグ勢の対決となったファイナルは、サンフレッチェ広島レジーナが2-1でINAC神戸レオネッサに勝利、初優勝を果たした。

※56頁64ページに記録集を掲載

波乱が続出した今大会 前王者の浦和は 3回戦で敗退

今大会も例年同様、WEリーグ加盟の12チームとなでしこリーグ1部の12チーム、各地域代表24チームの計48チームが参加し、ノックアウト方式で行われた。

1回戦は昨年の11月8日、9日に行われ、なでしこ1部と地域代表のチームが熱戦を繰り広げた。WEリーグのチームが登場した2回戦は、各会場で波乱が起きた。地域代表のディオッサ出雲FC（島根）はRB大宮アルディージャ WOMEN（WEリーグ／埼玉）

を相手に0-0からのPK戦を7-6で制し、なでしこ1部のASハリマアルビオン（兵庫）はジェフ千葉レディース（WEリーグ／千葉）

に3-1で勝利した。ハリマの2点目を決めた川崎咲耶は「WEリーグのチームに引いて守る戦いはしたくなかった。1年間積み上げてきたものを発揮できた」と勝利を喜んだ。また、高校生チームのJFAアカデミー福島（福島）は、

ニッパツ横浜FCシーガルズ（神



ハリマが千葉Lに勝利するなど、今大会はなでしこ1部勢の健闘が目立った

ちふれASエルフェン埼玉（WEリーグ／埼玉）を1-0で破るジャイアントキリングを起こした。続く3回戦でも波乱が続いた。過去16回の優勝を誇る日テレ・東京ヴェルディベレーザ（WEリーグ／東京）は、初戦となった2回戦で



勢いに乗る伊賀FCを準決勝で下した神戸が2大会ぶりのファイナリストに



伊賀FCはWEリーグ勢以外で唯一、準決勝に勝ち上がった(写真は準々決勝のS日体大戦)

奈川)を6-0で下す好スタートを切ったが、3回戦でサンフレッチェ広島レジーナ(WEリーグ/広島)とのWEリーグ勢対決に1-2

で敗れ、早々に姿を消した。さらに、前回大会王者の三菱重工浦和レッズレディース(WEリーグ/埼玉)も2回戦でなでしこ1部のスフィダ世田谷(東京)に4-1で勝利したが、3回戦でなでしこ1部の伊賀FCくノ一三重(三重)に1-2で敗れ、金星を献上した。AC長野パルセイロ・レディース(WEリーグ/長野)も、なでしこ1部で初優勝を遂げた朝日インテック・ラブリッジ名古屋(愛知)に0-2で敗れた。

なでしこ1部勢の健闘が目立つた今大会、準々決勝に勝ち進んだのは、INAC神戸レオネッサ(WEリーグ/兵庫)、アルビレックス新潟レディース(WEリーグ/新潟)、S広島R、セレッソ大阪ヤンマーレディース(WEリーグ/大阪)のWEリーグ4チームと伊賀FC、日体大SMG横浜(神奈川)、ハリマ、L名古屋のなでしこ1部の4チームという顔触れに。そしてS日体大とのなでしこ1部対決を1-0で制した伊賀FCが、なでしこ1部勢で唯一、準決勝に駒を進めた。

S広島Rと神戸が 決勝で激突 アディショナルタイムに決着

準決勝はいずれも接戦となった。S広島Rは3点のリードで迎えた試合終盤、C大阪Lに2点を返されたが、1点のリードを守って3-2で勝利。チーム設立5年目で本大会初の決勝進出を果たした。1神戸は、伊賀FCに先制を許しながらも後半に3点を奪って逆転勝利を収め、2大会ぶりのファイナリストとなった。伊賀FCは「決勝まで勝ち進んで優勝したい」というキャプテンの常田麻友の言葉通り、快進撃を見せたが、「1神戸は一人一人の技術力が高く、レベルの差を痛感した(常田)と惜しくも決勝進出とはならなかった。

WEリーグ勢同士の決勝は、2026年1月1日に国立競技場で行われた。元日に国立競技場での決勝開催は実に14年ぶり。1万6527人の観衆が見守る中、杉野杏紗主審のホイッスルでキックオフを迎えた。

試合が動いたのは31分。左サイドの深い位置に走り込んだ小川愛が渡邊真衣のパスを受けて中央に折り返すと、後方から走り込んだ李誠雅が左足のダイレクトシュートをネットに突き刺してS広島R

が先制した。後半開始早々の47分には、S広島Rの上野真実がペナルティーエリア内で倒されてPKを獲得。しかし、上野自らが蹴ったボールは1神戸のGK大熊茜にストップされて追加点はならず。すると66分、1神戸は、ルーズボールを拾った成宮唯のクロスを久保田真生が押し込んで同点とした。その後は一進一退の攻防が繰り広げられるが、両チームともに決め手を欠く展開となった。

延長戦突入が見えてきた90+1分、S広島Rは味方のクリアボールに反応して左サイドに抜け出した上野が中嶋淑乃にボールを預けると、中嶋は丁寧なトラップから右足を振り抜く。ボールはGK大熊の指先をかすめてゴールネットに吸い込まれ、これが決勝点に。2-1で接戦をものにしたS広島Rが皇后杯での初タイトルを手にした。

S広島Rの赤井秀一監督は試合後、「決定機は多くなかったが、ゴールに向かう姿勢を見せ続けることができた。その結果が最後の決勝点につながったと思う」と選手たちをたたえた。殊勲の中嶋は「フアー



14年ぶりに元日・国立競技場で行われた決勝は、後半アディショナルタイムにS広島Rの中嶋が決勝点を挙げ、決着した

ストタッチが完璧だったので、シュートを打てば入ると思った。皇后杯は獲得したことの無いタイトルだったので、元日・国立の決勝で、すごく特別なゴールになった」と笑顔で振り返った。タイトルを逃した1神戸の成宮は「全体的に少し堅さがあり、やや消極的だった」と述べ、「追いついてからはペーシングをつかめた。あとはフィニッシュの精度が足りなかった。もう一度そこを突き詰めていきたい」と今後の巻き返しを誓った。

関わる私たち全員で守る！

サッカーでの安心・安全・そして笑顔

知っていますか？「JFAセーフガーディングポリシー」

基本原則

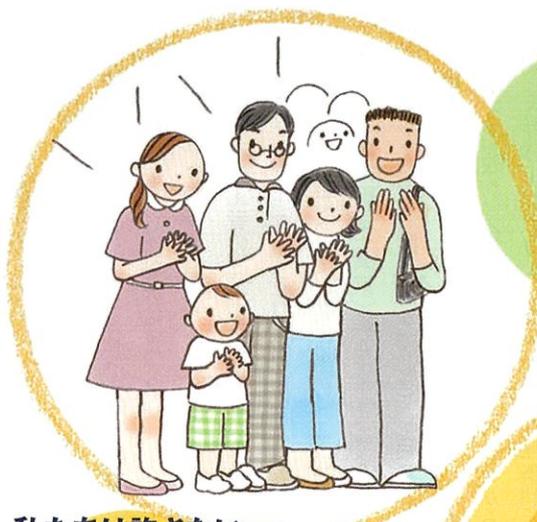
子どもたちの安心・安全を守る

1. 子どもたちの喜びを広げ、成長を促す環境をつくる
2. 子どもたちに選択肢を与える
3. 子どもたちの声を聞き、対話する
4. 子どもたちの安心・安全を守る
5. 健康や環境リスクに対処する



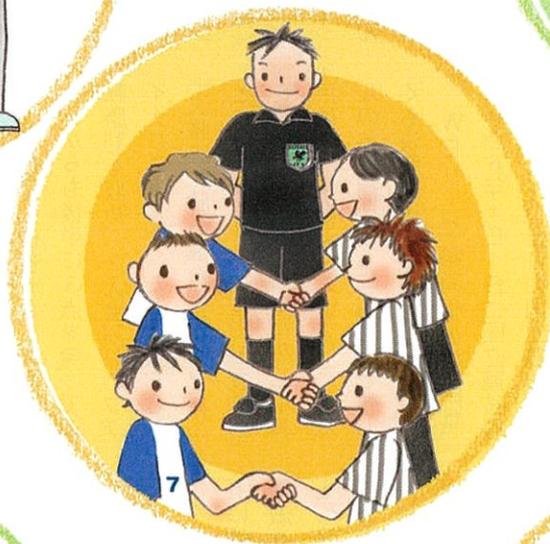
そのためにも

13. 適切な人が子どもたちに関わるよう取り組む
14. 子どもたちを守るためにも、誠実に子どもたちに向き合う大人の安心・安全も守る
15. 起こったことへの対応とともに、予防・教育を重視する
16. 現場をオープンに。リスクの芽に気づき、声を掛け合う、伝え合う文化をつくる



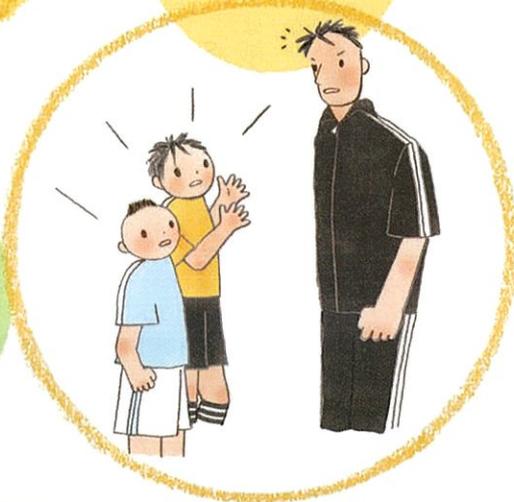
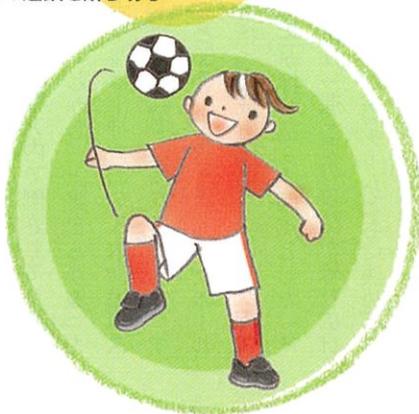
私たちは許さない

6. あらゆる暴力・暴言を排除する
7. あらゆる差別を排除する
8. あらゆるハラスメントを排除する
9. あらゆる誹謗中傷を排除する
10. 子ども同士の問題にもアプローチする
11. サッカー外の問題にも気づく
12. 負の連鎖を断ち切る



そしてこれは

17. ファミリー全員の役割・責務であり、全員が当事者意識を持つ必要がある
18. 定期的な現状や手順を評価し、状況の変化に応じてアップデートする必要がある



暴力等根絶相談窓口
https://www.jfa.jp/violence_eradication/



●指定フォーム(インターネット)
 暴力等根絶相談窓口では、指定フォームにて通報を受け付けています(24時間)。詳細は、上記URLをご参照ください。



リスペクト宣言「リスペクト・フェアプレー」
<https://www.jfa.jp/respect/declaration/>



リスペクトの本質を、常に全力を尽くしてプレーすること、そしてそれはフェアプレーの原点であると考え、「大切に思うこと」としました。「フェアで強い日本を目指す」。それがサッカー、スポーツの価値を高めていくことにつながります。こういったことはまさに今の社会に必要なことです。社会からサッカーが尊敬され、サッカーが文化となる。サッカーから、スポーツ、そして日本社会にこういった価値観を広めていきたいと考えています。



第34回全日本大学女子サッカー選手権大会

【大会概要】

2025年12月23日～2026年1月6日、大阪府、茨城県、東京都で開催。全国9地域から選出された23チームと、前回大会優勝の所属地域(関東)から選ばれた1チームの計24チームが参加し、ノックアウト方式で対戦する(3位決定戦は行わない)。90分で勝敗が決しない場合、準々決勝まではPK戦で決定し、準決勝と決勝は20分の延長戦を行い、なお決しない場合はPK戦で勝者を決定する。



©JWFA / Satoru KANEKO

山梨学院大学が2大会ぶり 2度目のタイトル獲得

第34回全日本大学女子サッカー選手権大会は、1回戦で前回大会優勝の日本体育大学(関東8/神奈川)と札幌大学(北海道)が対戦し、北沢明末の2得点などで日本体育大が6-0と完勝した。創部4年目で初出場の日本経済大学(九州2/福岡)は、後半終了間際に決勝点を挙げ、仙台大学(東北1/宮城)に4-3と競り勝った。

2回戦からはシード校が参戦。山梨学院大学(関東6/山梨)は伊藤琴音の2得点で追手門学院大学(関西2/大阪)に2-0で勝利した。関東予選1位の東洋大学(埼玉)はPK戦の末に勝利。一方、4年ぶりの優勝を目指していた早稲田大学(関東5/東京)は、PK戦で大阪体育大学(関西4/大阪)に敗戦を喫した。

8チーム中6チームが関東勢となった準々決勝は、山梨学院大と日本体育大、東京国際大学(関東4/埼玉)といった関東勢が勝ち上がり、愛知東邦大学(東海1/愛知)も2007年の創部から初のベスト4進出を決めた。年明けの準決勝では、山梨学院大が後半終了間際の得点で東京国際大を下し、4年連続の決勝進出。日本体育大も愛知東邦大を1-0で退け、決勝は2年続けて同じ顔合わせとなった。

1,003人の観客が集まった決勝は、前半で2-1とした山梨学

院大が主導権を握り、後半にも伊藤の今大会3得点目でリードを広げる。日本体育大も後半に反撃したがエー

スの北沢になかなかボールが取らず、追加点はならず。3-2で制した山梨学院大が2年ぶり2回目の優勝を決めた。

日本体育大を率いて1年目の嶋田千秋監督は「決勝で日体らしさを出せなかったことは少し悔いが残る」と話し、「来年は進化したサッカーが見せられるよう頑張りたい」と前を向いた。全国77チームの頂点に導いた山梨学院大の村上裕子監督は「選手には対戦相手以上のハードワークを求めてきた。それを体現した選手たちを誇りに思う」と笑顔で話し、大会MVPに選出されたキャプテンの大高心主将も「前半は特にハイプレスが効いており、CKでの得点も武器にしていたもの。交代選手もチームのギアを上げてくれた」と、総力戦でつかんだ日本一に明るい表情を見せた。



©JWFA / Satoru KANE

過去最多19回の優勝を誇る前回覇者の日本体育大は、惜しくも準優勝となった



山梨学院大と東京国際大の準決勝は、両者一步も譲らぬ大接戦に。90+1分に挙げた一瀬葵夢の得点が決勝ゴールとなる



初の準決勝進出となった東海第1代表の愛知東邦大は、準決勝で日本体育大と対戦。こちらも1点が勝敗を分ける接戦となった



決勝戦、山梨学院大は伊藤琴音(写真)が3点目を挙げて3-1とリードを広げる

令和7年度 第104回全国高等学校サッカー選手権大会



【大会概要】

2025年12月28日から2026年1月12日までの期間、首都圏の各会場で開催。予選を勝ち抜いた6道府県の代表各1チーム、東京都代表2チームの計48チームがノックアウト方式で戦う。1回戦から準々決勝の試合時間は80分、準決勝と決勝は90分。準決勝までは、勝敗が決しない場合、PK戦を実施。決勝は20分の延長戦を行い、それでも決しない場合はPK戦で勝者を決める。



神村学園が悲願の初優勝！ インターハイとの2冠達成

高校サッカーの日本一を決める第104回全国高等学校サッカー選手権大会が12月28日から1月12日にかけて首都圏の各会場で開催された。大会には最多出場を誇る秋田商業（秋田）が4年ぶり47回目の出場を果たしたほか、29年ぶり16回目の水口（滋賀）や初出場の九州文化学園（長崎）などが参加。48チームがノックアウト方式で優勝を争った。

前年度王者の前橋育英（群馬）が2回戦で神戸弘陵学園（兵庫）に敗れ、4度の優勝経験を誇る青森山田（青森）も2回戦で姿を消す。その中で、2回目の出場で全国大会初勝利を挙げた興國（大阪）が2度のPK戦を制して、ベスト8まで進んだ。夏の全国高等学校総合体育大会（インターハイ）で準優勝だった大津（熊本）は準々決勝で敗れたが、優勝校の神村学園（鹿児島）、ベスト4まで進んだ尚志（福島）、流通経済大学付属柏（千葉）の3チームは順当に勝ち上がった。

共に初優勝を狙う尚志と神村学園の準決勝は、開始直後に尚志が先制し、主導権を握りながら試合を進める。しかし73分、神村学園の日高元が同点弾をたたき込み、PK戦の末に勝利。準決勝のもう1試合は、流通経済大柏の猛攻をしのいだ鹿島学園（茨城）が試合終了間際に決勝点をマークし、1-0で決勝進出

を決めた。

決勝は、準決勝から攻撃を修正した神村学園が序盤から押し込むと、19分に徳村楓大が

打ったシュートのこぼれ球を日高が押し込み先制。39分には左クロスのかぼれ球を拾った堀ノ口瑛太がミドルシュートを決めて2点差で試合を折り返す。後半は鹿島学園が押し込む時間帯もあった。「一矢を報いたいと必死だったが、神村学園さんはしっかり守備をして攻撃に転じていた」と鈴木雅人監督が語った通り、守護神・寺田健太郎の堅守を崩せない。試合終了間際には途中出場の佐々木悠太がゴールネットを揺らし、神村学園が3-0で勝利した。

史上6校目となるインターハイと選手権の2冠を達成した神村学園。有村圭一郎監督は「これまで神村学園（の歴史）をつないできてくれた多くの先輩たちが少しずつ積んでくれた結果が、2冠という形として出た」と笑顔を見せた。



決勝は積極的に仕掛けて序盤から攻勢に出た神村学園。大会を通して攻撃力を発揮して初優勝を果たした



国立競技場で行われた開幕カードは早稲田実業と徳島市立の対戦となった



勝負強さを見せて勝ち上がってきた鹿島学園（右）。決勝もチーム一丸となって戦った



神村学園と鹿島学園の決勝には大会史上最多を更新する6万142人の観客が詰めかけた

第34回全日本高等学校女子サッカー選手権大会

【大会概要】

2025年12月29日から2026年1月11日、三木総合防災公園や五色台運動公園、神戸総合運動公園ユニバー記念競技場など兵庫県内の会場で開催。47都道府県サッカー協会から選出された47チームおよび配慮5枠(宮城県、東京都、静岡県、大阪府、兵庫県)の各1チームを加えた計52チームがノックアウト方式で戦う。試合時間は80分で、準決勝以降は90分で行い、勝敗が決しない場合はPK戦を実施。決勝戦のみ20分の延長戦を行い、それでも決しない場合はPK戦で勝者を定める。3位決定戦は行わない。



堅守の柳ヶ浦高校が初優勝！

47都道府県代表制になった前回大会は、1回戦で2桁得点が3試合あったが、今大会は1試合に減り、20試合中6試合が1点差以内で決着という接戦続きとなった。

富山第一高校(富山)と益田東高校(島根)は、それぞれ初出場同士の対決を制して記念すべき初勝利を挙げた。その一方で、前回4強の常盤木学園高校(宮城2)、星槎国際高校湘南(神奈川)などの歴代優勝校が初戦で敗れる波乱もあった。

2回戦から登場した十文字高校(東京1)は第31、32回大会で準優勝に終わり、第25回以来の頂点を目指したが、2点差を迫いつかれてPK負け。また、前回4強で夏の全国高等学校総合体育大会(インターハイ)を制した大商学園高校(大阪1)も初戦で姿を消した。3回戦は、8試合のうちPK戦となった3試合を含む6試合が1点差以内での決着となるなど、実力伯仲の試合が見られた。

準々決勝では、3連覇中の藤枝順心高校(静岡2)と前回準優勝の神村学園高等部(鹿児島)が激突。開始4分で先制された神村学園が残り10分で追いつき、PK戦の末に準決勝に進んだ。藤枝順心を抑えて第1代表をつかんだ常葉大学附属橘高校(静岡1)は、暁星国際高校(千葉)に0-2で屈した。

準決勝は、初の4強進出となった暁星国際と鹿島学園高校(茨

城)を、柳ヶ浦高校(大分)と神村学園がそれぞれ3得点を挙げて勝利し、決勝に進んだ。

決勝は柳ヶ浦と神村学園の九州勢対決となった。手の内を知るチーム同士、柳ヶ浦は神村学園に対して秘策を講じる。ここまで出場1分の1年生DF平尾心瑚を抜擢し、神村学園の鍵となる山野蒼空をマンマークで封じにかかった。強風もあって互いに攻めあぐねる中、43分、門馬有琉からの右CKを村上凜果がニアで合わせ、柳ヶ浦が均衡を破った。

後半からシステム変更で打開を図る神村学園に対し、今大会わずか1失点の柳ヶ浦は90分に1人交代させただけで集中力の高い守備を披露。1点差を守り抜き、初優勝を収めた。林和志監督は「前日に確認した守備戦術を選手がしっかりと表現してくれた」とたたえ、キャプテンの田淵聖那は「インターハイや皇后杯で結果を残せなかったので、この大会に懸ける思いは強かった」と喜びをかみ締めた。



柳ヶ浦は粘り強い守備で村上凜果(右)の1点を守り切り、九州勢対決を制した



初出場の益田東(中央)は思い切りの良い攻撃でゴールを量産。全国大会初勝利をつかんだ



4連覇を狙う藤枝順心(左)は無失点で3回戦まで勝ち上がったが、神村学園との準々決勝ではPK戦で涙をのんだ(写真は2回戦・藤枝順心 vs AICJ)



攻守にわたって安定した強さを見せた神村学園は2年連続で決勝に進出した



アスパス!

日本サッカー協会 (JFA) では社会貢献やSDGsの達成につながる活動を「アスパス!」と称し、サッカーファミリーの皆さんと一緒に取り組んでいます。

「アス」には、「明日 (=未来)」、「us=私たちにできること」、「Earth=地球」の3つの意味を込めています。

次の100年のサッカーが今と同じく健全に、安全に、多くの人々により楽しまれ、

JFAの理念・ビジョンが体现されていることを目指し、全てのサッカーファミリーが世代や時代を超えて

“パスを繋いでいく”という強い決意を込めています。



アスパス!で取り組む5つの大切なこと

環境

サッカーにおける様々な活動で気候変動による熱中症等を防ぎ温室効果ガスや廃棄物の削減でわたしたちの自然環境を守ろう

人権

差別や暴力のない自由で平等なスポーツの世界と一緒に築いて年齢・性別・障がいの有無等に関係なく輝ける社会をつくらう

健康

スポーツの楽しさを感じられるグラスルーツサッカーを広めて心身ともに健康的でいつまでも元氣と笑顔溢れる人生を送ろう

教育

スポーツで社会をよくするため必要な知識や技術を身につけてサッカーが持つ魅力を活かした持続可能な未来を築いていこう

地域

持続可能性に配慮して行動する地域の人々の様々なつながりをサッカーを通じてつくることで私たちの住みやすい街を守ろう



アスパス JFA 検索
活動内容などは「アスパス JFA」で検索

JFA STORE (日本サッカー協会 公式オンラインストア)
アスパス! みんなで一緒にサッカーを楽しむグッズはこちら



JFA 第29回全日本U-18女子サッカー選手権大会



【大会概要】

1月3日～10日、大阪府のJ-GREEN堺で開催。全国9地域の予選を勝ち抜いた16チームがノックアウト方式で戦う。試合時間は90分。1回戦から準決勝は、勝敗が決しない場合にPK戦を行い、決勝のみ20分の延長戦を行ってそれでも決しない場合はPK戦で勝敗を決める。

日テレ・東京ヴェルディ メニーナが大会2連覇を飾る！

29回目を迎えた今大会、1回戦では大差のつくゲームがあった一方、セレッソ大阪ヤンマーガールズU-18(関西2/大阪)がノジマステラ神奈川相模原ドーエ(関東4/神奈川)に1-0で競り勝ち、マイナビ仙台レディースユース(東北/宮城)は朝日インテック・ラブブリッジ名古屋U-18(東海/愛知)に先制されながらも追いついて、90+4分の決勝点で劇的な勝利を飾るなど、実力伯仲の試合もあった。チーム設立3年目で初出場を果たしたRB大宮アルディージャWOMEN U18(関東2/埼玉)は、ディオッサ出雲FCユース(中国2/島根)を4-0で下し、大会初勝利を挙げた。

準々決勝に勝ち進んだのは、いずれもWEリーグのアカデミーチームだった。共に優勝経験のあるC大阪とジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-18(関東3/千葉)の一戦は、2-2からPK戦4-2でC大阪が勝利。INAC神戸レオンチーナ(関西1/兵庫)と三菱重工浦和レッズレディースユース(関東5/埼玉)の一戦も2-2からPK戦となり、こちらは浦和LYが5-4で制した。前回覇者の日テレ・東京ヴェルディメニーナ(関東1/東京)は大宮Wを、仙台LYはアルビレックス新潟レディースU-18(北信越/新潟)をそれぞれ2-0で下した。

準決勝の第1試合では、メニーナが19分の先制点を皮切りに3点を奪ってC大阪に勝利。第2試合では、仙台LYが先制し、浦和LYが追いつく白熱した展開の中、61分に津田愛乃音がこの日2点目を奪って仙台LYが初の決勝進出を果たした。

メニーナと仙台LYの決勝は、開始早々に伊藤風葵のゴールで先制したメニーナが主導権を握り、32分までに4点を奪う。仙台LYも前半終了間際に津田が1点を返し、後半立ち上がりにも攻め込む姿勢を見せたが、メニーナが確実に好機を生かして2点を追加。6-1の完勝を収め、大会2連覇を飾った。

キャプテンの朝生珠実は「最後の大会に懸ける思いは大きかった。優勝できて本当にうれしい」と喜びを語り、仙台LYキャプテンの渡邊衣織も「完敗だったが1年間やってきたことは出し切れた」と充実の表情を浮かべた。なお、メニーナは優勝と同時にフェアプレー賞を受賞している。



開始直後の伊藤風葵(右)の得点で波に乗ったメニーナは、追加点を重ねて快勝した



仙台LYは接戦を制して勝ち上がり、初の決勝進出を果たした



初出場の大宮W(右)は積極的に攻撃を仕掛けて初勝利を挙げた



千葉L(右)はFC琉球さくらale(九州1/沖縄)との初戦で攻撃陣が躍動し、小久保まいの4得点を含む10得点を挙げた

JFA 第31回全日本U-15フットサル選手権大会



【大会概要】

1月10日から12日、栃木県で開催。全国から選出された16チームが4グループに分かれてリーグ戦を行い、各グループ1位の4チームが決勝ラウンドに進出する。決勝ラウンドはノックアウト方式で行う。3位決定戦は行わない。

翼SCレインボー垂井U-15が2大会ぶり2度目の優勝

U-15年代のフットサル日本一を決める第31回全日本U-15フットサル選手権大会が、今年も日環アリーナ栃木で開催された。

第29回大会以降、毎年決勝に進んでいる翼SCレインボー垂井U-15(東海1/岐阜)は今大会も1次ラウンドから危なげない戦いを見せる。初戦でFCソレアータ高知(四国/高知)に6-0の快勝を収めると、第2戦ではFCトゥリオールU-15(東北/青森)に2-1で競り勝ち、決勝ラウンド進出に大きく前進。1次ラウンドの最終戦は、開催地代表の矢板SC(栃木)を6-1で破り、ベスト4入りを決めた。

前年度の覇者で大会最多優勝を誇る長岡JYFC(北信越2/新潟)は、初戦のアレアFC U-15(北海道1/北海道)戦で2点のピハインドを背負いながらも4-2の逆転勝利で白星発進に成功する。続く久留米アザレアU-15(九州/福岡)戦も先制されたが、再び逆転勝利。第3戦では3度の優勝を誇るFCプリンカール安城(東海2/愛知)を4-1で下し、こちらも3連勝で1次ラウンドを突破した。

迎えた準決勝では、翼SCレインボー垂井がプログレッソ十勝FC U-15(北海道2/北海道)から先制点を奪うとその後も

得点を重ね、4-1で決勝進出を決める。長岡JYFCは開始早々に東急SレイエスFCフットサルU-15(関東/神奈川)に先制されたが、今大会3度目となる逆転勝利で決勝に駒を進めた。

決勝は2大会続けて翼SCレインボー垂井と長岡JYFCが顔を合わせた。序盤に流れをつかんだのは翼SCレインボー垂井。7分、岩見楓太が先制点を決めると、20分にはロングシュートを決めてリードを2点に広げる。しかし、長岡JYFCも反撃に転じて、小林大泰のミドルシュートで1点差に詰め寄る。さらに残り38秒で黒川懐斗が劇的なボレーシュートを決めて試合は延長戦に突入。ここでも決着がつかずに迎えたPK戦では、翼SCレインボー垂井のGK伊東海翔がシュートを2本ストップし、最後は自らシュートを決めてチームを2大会ぶり2度目の優勝に導いた。伊東は「接戦も多くて大変だったけれど、1年間取り組んだことを発揮できた」と、王座奪還を喜んだ。



決勝では驚異的な粘り強さを見せた長岡JYFC(白いユニフォーム)だが、PK戦の末に敗れた



プログレッソ十勝FC U-15は3連勝で決勝ラウンドへ。翼SCレインボー垂井との一戦には敗れたが、1点を返すなど意地を見せた



東急SレイエスFC フットサルU-15は準決勝の開始1分に先制するも、その後は長岡JYFCの攻撃を防ぎきれず、ベスト4に



岩見楓太(写真左)は、決勝で翼SCレインボー垂井に2得点をもたらすなど、チームの優勝に大きく貢献した

JFA 第16回全日本U-15女子フットサル選手権大会



【大会概要】

1月11日と12日に栃木県で開催。全国から選出された9チームが3グループに分かれてリーグ戦を行い、各グループ1位の3チームと、2位の中で成績上位の1チームが決勝ラウンドに進出する。決勝ラウンドはツクアウト方式で行う。3位決定戦は行わない。

パドゥーロメニーナが初優勝！

JFA 第16回全日本U-15女子フットサル選手権大会が日環アリーナ栃木で開催され、全国から集まった9チームがU-15年代女子フットサルの日本一を競った。

1次ラウンドでは連勝するチームがなく、全てのグループで1勝1分けのチームが首位に立った。グループAはディオッサ出雲FCジュニアユース（中国／島根）、グループBではパドゥーロメニーナ（関西／大阪）、グループCからは朝日インテック・ラブブリッジ名古屋スターチス（東海／愛知）が決勝ラウンド進出を決めた。

2位で最も成績が良かったのは、グループBの長岡ジョイアス（北信越／新潟）。初戦でパドゥーロに0-5で敗れたが、そこから立て直して、2戦目の秋田L.F.C.ユース（東北／秋田）戦に6-0で勝利。得失点差で他グループの2位を上回り、4強に滑り込んだ。

決勝進出を懸けて行われたパドゥーロとラブブリッジ名古屋の一戦は、スコアレスのままPK戦に突入し、パドゥーロが4-2で勝利。もう一つの試合では、藤丸璃子がハットトリックを達成する活躍もあり、ディオッサ出雲が長岡ジョイアスを5-3で下した。

決勝では共に初優勝を狙うパドゥーロとディオッサ出雲

が対戦した。9分、まずはディオッサ出雲が松本悠愛のゴールで先制する。一方のパドゥーロも田中琉虹が

ハーフタイム直前にゴールを挙げ、1-1とした。第2ピリオドに入るとパドゥーロが前線の選手に縦パスを入れ、相手陣内でプレーする時間が増えていく。21分にはGKからロングパスを受けた山本はながパドゥーロに2点目をもたらした。これで勢いに乗ったパドゥーロは、直後に田中琉虹がこの試合2点目となるゴールを決めると、24分には豊崎ういがゴール前の混戦からダメ押し点を頭で決めて4-1に。この後も主導権を握ったパドゥーロが大会初優勝を果たした。

試合後、チームを率いた川元剛監督は「サッカーをしながらフットサルの社会人リーグにも出場するなど、両方に取り組んできたことが実った」と日常の重要性を強調。キャプテンの関口愛菜は「全国大会を楽しむことを目標にしていた。優勝することができてとてもうれしい」と喜んだ。



決勝ではパドゥーロ（写真右）とディオッサ出雲が熱戦を繰り広げた



ラブブリッジ名古屋（写真右）は準決勝でパドゥーロと接戦を演じたが、一歩おぼず



グループを2位で通過した長岡ジョイアスは、決勝ラウンドでも伸び伸びとプレーした



キャプテンとしてパドゥーロをけん引した関口愛菜（写真右）。決勝でも献身的に走った



日本フットボール学会、高円宮記念JFA夢フィールドで初開催

日本フットボール学会（JSSF）の第23回コンGRESSが1月10日と11日、高円宮記念JFA夢フィールド（千葉県）で開催された。同コンGRESSが夢フィールドで開催されるのは初めて。2日間合わせて211人が参加した。JSSFは2003年、フットボールに関する科学的研究とその発展、会員と内外の関連機関との交流を図ることによってフットボールの実践に資することを目的に設立された（会長、新海宏成）。今回は、日本サッカー協会（JFA）のフィジカルフィットネスプロジェクトのリーダー、菅野淳が実行委員長を務め、「Japan's Way×サイエンス」をテーマに行われた。JFAからは、山本昌邦技術委員長や城和憲ユース育成ディレクターらが登壇した。

日本フットボール学会 23rd Congressプログラム詳細など
<https://congress23rd.jssf.net/>



世界一へ、サイエンスは発展に欠かせないテーマ

JFAが「世界一、サッカーで幸せな国になる」ための道筋として掲げている「Japan's Way」は、世界一への道のりを進んでいくために欠かせない「サイエンス」。それが今回のコンGRESSのテーマに掲げられた。

菅野は冒頭のあいさつで「夢フィールドでの開催は私の夢だった。最先端の研究発表がサムライブルー（日本代表）をはじめ各カテゴリー（日本代表のベースキャンプ地であるこの場所で開催できるのは非常に意義のあること、そして光栄に思う」と述べた。

今回のコンGRESSでは、1日目がフットサルアリーナでのポスター発表41題、2日目がカンファレンスルームでの口頭発表13題、計54題の最新研究発表がなされた。また、基調講演やシンポジウム、ランチョンセミナーなどでさまざまな内容が共有された。セッション間のコーヒープレイクでは、協賛企業15社の展示や夢フィールド内の選手ロッカールーム見学ツアーなども行われた。

最初の基調講演では、JFAの山本技術委員長が「これまでの日本サッカーの歩み、そしてこれからをテーマに、日本代表の軌跡と強化への取り組みなどについて語った。

心を動かす言葉が選手の未来を変える

1993年10月28日、日本代表は初のFIFAワールドカップまであとわずかというところで、その出場権を取り逃した。アジア地区最終予選の最終戦、イラクに2-1でリードして迎えた試合終了間際にCKから同点弾を決められて予選敗退。「ドーハの悲劇」と呼ばれるその一戦は日本サッカー史に深く刻まれている。待望のワールドカップ初出場を手繰り寄せたのは1997年の「ジョホールバルの歓喜」。日本はその試合を振り返りながら、日本代表が8大会連続でワールドカップに出場している理由を「簡単に達成できなかったから」と説明。そして「人材育成をしない限り、未来はない」と強調した。

山本によると、サムライブルー（日本代表）のロッカールームは、自分のためではなく、「自分を支えてくれる大切な人たちのために頑張る」という選手たちの熱い気持ちで満ちており、その感情が戦う上での最大のエネルギーになっている。「指導者は、一人一人の感情を最大限まで引き出しているか、チーム全体の感情をマネジメントできているか」と投げかけ、サムライブルーの森保一監督がその能力

に長けていることにも触れた。

また、年代別代表チームの活動を例に挙げ、若いときに世界大会で成功経験を得ることが自信になり、その後の代表チームの成果にもつながるとし、「育成への投資を怠った瞬間に未来はなくなる」と、ユース年代で国際経験を積むことの重要性について言及した。

山本は最後に「未来は何も決まっていない。未来を変えるのは皆さん一人一人。その先の未来をどう子どもたちに託していくか。今回（発表される）のデータや数字以上に感情に刺さる言葉を磨くことも大事。それらを選手が吸収し、選手自身が変わることが未来になっていく。成功を求めなくていい。成長を求め続けることが未来の成功に近づくということだ」と思うと講演を締めくくった。

「今やデータなくしてサッカーは語れない」と菅野リーダー。「日本はフィジカルで負けたと言われた過去もあったが、現在は他国の監督から「日本はフィジカルが強い」と言われている。皆さんの研究結果が日本フットボール全体の力になっている」と話した



多くの選手に機会を与え サッカーの楽しさも伝える

10日のランチョンセミナーは、サッカー日本代表テクニカルスタッフを務める中下征樹が登壇し、サムライブルーで実施している「事前分析」と「リアルタイム分析」について解説した。事前分析では、対戦チームの映像や選手のデータ、メディアでの報道や選手の発言なども含めてさまざまな情報を収集し、チームと選手に必要な内容を取りまとめて共有している。「代表選手たちは、それぞれ所属チームで担っているポジションも違うし、システム、戦術も違う。そこで日本代表チームに集まってきたときに(限られた時間で)どう機能させるかというのが大事なポイント。それを自分たちがサポートできるようにいつも考えながらやっている」と中下。リアルタイム分析は、4人いるアナリストのうち2人がベンチに入り、試合映像を見ながらリアルタイムでコーチングスタッフに情報を伝える。アナリストの役割は多く、中下は「扱うデータの量や種類も大幅に増えている。よりチームをサポートしていくためにも、いろいろな専門性を備えたアナリストが増えるということが重要」と説明した。

「タレント育成」をテーマとしたシンポジウムには、城和憲JFAユース育成ダイレクターが登壇し、JFAが考える育成の方向性について紹介した。国際サッカー連盟(FIFA)は選手たちにプレー機会を提供しようと、25年から男女それぞれのU-17ワールドカップを毎年開催することを決めた。また、26年から新たにU-15年代のフェスティバルをスタートさせることも発表している(25年12月)。城は「多くのタレントにこうした世界の場でプレーできる機会を提供することが、われわれの使命」と話す。



選手育成について説明した城ダイレクターは将来性のある選手を発掘する仕組みづくりと多くの選手に刺激を与えられる環境の重要性を発信した

代表選手の戦うマインドについて、山本委員長は「失敗しても恐れるな、大切なのは勝つことじゃない。挑戦し続けること、諦めないことが希望の始まりなんだ」と伝えてきたという



基調講演

10日(土) 19:00-19:30
ランチョンセミナー
サッカーの楽しさを伝える

日本サッカー協会

代表選手とコーチ

10日(土) 19:00-19:30

ランチョンセミナー

サッカーの楽しさを伝える

日本サッカー協会

代表選手とコーチ

10日(土) 19:00-19:30

ランチョンセミナー

サッカーの楽しさを伝える

日本サッカー協会

代表選手とコーチ

10日(土) 19:00-19:30

ランチョンセミナー

サッカーの楽しさを伝える

日本サッカー協会

代表選手とコーチ

10日(土) 19:00-19:30

ランチョンセミナー

サッカーの楽しさを伝える

日本サッカー協会

代表選手とコーチ

10日(土) 19:00-19:30

ランチョンセミナー

サッカーの楽しさを伝える

日本サッカー協会

代表選手とコーチ

10日(土) 19:00-19:30

ランチョンセミナー

サッカーの楽しさを伝える

日本サッカー協会

代表選手とコーチ

10日(土) 19:00-19:30

ランチョンセミナー

サッカーの楽しさを伝える

日本サッカー協会

代表選手とコーチ

10日(土) 19:00-19:30

ランチョンセミナー

サッカーの楽しさを伝える

日本サッカー協会

代表選手とコーチ

10日(土) 19:00-19:30

ランチョンセミナー

サッカーの楽しさを伝える

日本サッカー協会

代表選手とコーチ

10日(土) 19:00-19:30

ランチョンセミナー

サッカーの楽しさを伝える

日本サッカー協会

代表選手とコーチ

10日(土) 19:00-19:30

ランチョンセミナー

サッカーの楽しさを伝える

日本サッカー協会

代表選手とコーチ

10日(土) 19:00-19:30

ランチョンセミナー

サッカーの楽しさを伝える

日本サッカー協会

育成年代では、リーグ戦の導入やトレセンシステムの構築、ゲーム環境の整備など、多くの選手に刺激を与える環境づくりを進めてきた。城は日本のトレセン制度を「世界に誇れる一つのシステム」と語る。しかし、U-14のトレセンを例に挙げると、参加選手の80%以上が4月から9月生まれに偏っている。これは、学年の中では成長が早く、パフォーマンスが目立つ選手が招集されやすいことが一つの要因だが、「サムライブルーを見

ると生まれ月は関係なく、ほぼパランスよく選出されている。個々の選手のポテンシャルをもっと見ていかなければならない(城)と話し、トレセンに選ばれなかったからといってその選手に可能性がないわけではない。「もっと多くの選手たちを発掘して刺激を与えることが大事。さまざまな形でサッカーを楽しめる環境をつくっていくことにも主眼を置いていきたい」と語った。なお、JFAは現在、選手が育っていく過程を追いかけられるよう、トレセンに参加した選手のデータを蓄積するシステム(タレントDシステム)の整備を進めている。

Japets Wayでは、「競技としてのサッカー」と「参加する、楽しむサッカー」の両方の層を展覧させることで相乗効果を生み、世界に誇れる日本サッカーと豊かなサッカー文化を醸成することを目指している。城は「サッカーがあってもかっと思ってもらえる環境をつくるのが私たちの使命。日本にそういう環境が広がったとき、ワールドカップ優勝も見えてくるのではないか。皆さんの力も借りながら日本サッカーをしっかりと盛り上げていきたい」と展望を語った。

プログラムの最後には、Yo-Yoテスト(間欠性回復力テスト)の発案者である「ベンハーゲン大学のJens Bangsbo博士による記念講演が行われた。同氏はテーマ「Fitness Training in Football」の下、高強度有酸素トレーニングやスピード持久力トレーニングが持久力やスプリント能力をいかに向上させるかについて、科学的根拠を踏まえながら解説した。

(文中、敬称略)

海外からのゲストも

11日のランチョンセミナーでは、テキサス工科大学の講師で、



Jens Bangsbo博士はスウェーデン女子代表での取り組み事例などを踏まえて説明。選手個々に合わせてトレーニングを設計する重要性についても言及した

メディカル ROOM

「脳振盪の対応とその影響」

山名 慧

(JFA医学委員会スポーツ救命部会員 / 東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座)

◎監修: JFA医学委員会

本連載では日本サッカー協会(JFA)医学委員会の監修の下、メディカルに関する情報をお伝えします。

「コンタクトスポーツにとって 脳振盪は大きなテーマ」

コンタクトスポーツにおける脳振盪は、世界的にも非常に重視されているテーマの一つです。サッカー競技も、FIFAワールドカップをはじめとする各年代の世界大会や各国リーグで脳振盪を起こす選手は出ています。国際サッカー連盟(FIFA)は2024年8月、サッカーにおける脳振盪に関する指針「グラスルーツ向け FIFA 脳振盪プロトコル」を発表しました(日本語版は「FIFA内「メディカル」ページに掲載)。脳振盪の症状や対応などがまとめられています。また、キャンペーンの一環として、脳振盪予防の動画も制作し、元ブラジル代表のダヴィド・ルイス選手やザンビア女子代表のレイチエル・クンダナンジ選手らが、選手の

健康と未来を守るためにメッセージを発信しています。

JFA医学委員会としても脳振盪に関する情報を「グラスルーツ向け」と「トップアスリート/メディカル関係者向け」にまとめ、メディカルページに掲載しています。皆さんに知っておいてもらいたい重要な情報ですので、ぜひご確認ください。

「脳振盪の原因と危険度 誰にも起こり得るもの」

脳振盪は、脳の損傷です。頭を強くぶつけたり、頭が大きく揺さぶられたりすると脳が頭蓋骨の中で揺れ、それによって脳にひずみが生じて意識がなくなる、記憶を失うといった症状が表れます。さらにひどく脳が揺すられると、脳と頭蓋骨をつないでいる血管が傷ついて出血し、命に関わる場合もあります。頭蓋骨の下にある脳を覆っている硬膜と脳の間血液が急速にたまる急性硬膜下血腫という状態に至ると、救命率は50%と非常に危険な状態に陥ります。

これらは決してトップレベルの選手だけに起こるものではなく、グラスルーツのサッカー、そして日常生活でも起こり得るものです。脳振盪の疑いがあるときは適切な対応が必要になります。

「十分な知識を持って 「かもしれない」対応を」

適切な対応をするために欠かせないことは「脳振盪かもしれない」と、まずは疑いを持つこと。「脳振盪を疑ったときのツール(CRT5)(表1)は、脳振盪を見逃さない

「グラスルーツ向け FIFA 脳振盪プロトコル」



https://www.jfa.jp/medical/pdf/medical_concussion.pdf



ための重要な指針です。

サッカーでは競り合い時の接触や頭がぶつかると、地面にたたきつけられるなどのシーンで脳振盪が起こるケースは多く、そのほかにも転倒したとき、肘が頭やあごに入ったり、近距離でシュートやクリアボールが頭に当たったとき、シンブルなヘディングでも起こる可能性があります。

本人が「大丈夫」「プレーできる」と言ったとしても、明らかに様子がおかしいと思ったら直ちにプレーをやめさせます。脳振盪を起こしている場合、本人は正常な判断ができず、記憶もないかもしれません。倒れた後すぐに立ち上がり、普通にプレーしたり、動けたりする人もいますが、そんなときも要注意です。いつもと様子が違ったり、呼びかけてもぼーっとして反応が鈍い、ふらふらしているといった症状が出ていないか、目を離さずに確認しましょう。

「FIFA脳振盪予防キャンペーン (グラスルーツ向け) 日本語字幕」



<https://youtu.be/Bjxc9r3CbNw?si=VXmEE0eOYIzKaa85>



また、練習や試合が終わった後に頭痛や吐き気、嘔吐などを起こす選手もいます。頭に衝撃を受けた選手や脳振盪を起こした可能性のある選手は、決して一人にせず、24時間以内は単独行動を避けて様子を見守るようにしてください。症状が生じたときは、すぐに病院で受診します。それには指導者、チームメート、保護者での連携や情報共有も重要になってきます。

「後遺症は長く続く場合も 十分な休養が大事」

脳振盪は1週間ほどで回復してくるケースがほとんどですが、中期には記憶力や集中力の低下が2週間ほど続くことや、場合によっては1、2カ月などの長期で後遺症が残ることもあります。

なお、脳振盪に一度なったことのある人は、一度もなかったことのない人に比べ、次の

表1 脳振盪を疑ったときのツール(CRT 5)

脳振盪を疑ったときのツール (CRT 5[®])

子どもから大人まで 脳振盪を見逃さないために

これらの競技団体が承認しています



脳振盪を疑ったら、速やかにプレーを中止する

頭を打つと、ときに命にかかわるような重い脳の損傷を負うことがあります。このツールは、脳振盪を疑うきっかけになる症状や所見についてご案内するものですが、これだけで脳振盪を正しく診断できるわけではありません。

ステップ1: 警告 - 救急車を呼びましょう

以下の症状がひとつでもみられる場合は、選手を速やかに、安全に注意しながら場外に出します。その場に医師や専門家がいない際には、ためらわずに救急車を呼びます。

- くびが痛い/押さえると痛む
- 一瞬でも意識を失った
- ものがだぶって見える
- 反応が悪くなってくる
- 手足に力が入らない/しびれる
- 嘔吐する
- 強い頭痛/痛みが増してくる
- 落ち着かず、イライラして攻撃的
- 発作やけいれんがある

注意

- 救急の原則 (安全確保>意識の確認>気道/呼吸/循環の確保) に従う。
- 脊髄損傷の有無を早期に評価することはとても重要。
- 応急処置の訓練経験がない人は、(気道確保の際を除き) 選手を動かさない。
- 応急処置の訓練経験がない人は、ヘルメットなどの防具を外さない。

ステップ1の症状がなければ、次のステップに進みます。

ステップ2: 外から見てわかる症状

以下の様子が見られたら、脳振盪の可能性があります。

- フィールドや床の上で倒れて動かない
- 素早く立ち上がれない/動きが遅い
- 見当違いをしている/混乱している/質問に正しく答えられない
- ボーっとしてうつろな様子である
- バランスが保てない/うまく歩けない
- 動きがぎこちない/よろめく/動作が鈍い/重い
- 顔にもけがをしている

ステップ3: 自分で気がつく症状

- 頭が痛い
- 頭がしめつけられている感じ
- ぶらつく
- 嘔気・嘔吐
- 眠気が強い
- めまいがする
- ぼやけて見える
- 光に過敏
- 音に過敏
- ひどく疲れる/やる気が出ない
- 「何かおかしい」
- いつもより感情的
- いつもよりイライラする
- 理由なく悲しい
- 心配/不安
- 首が痛い
- 集中できない
- 覚えられない/思い出せない
- 動きや考えが遅くなった感じがする
- 「霧の中にいる」ように感じる

ステップ4: 記憶の確認 (13歳以上の選手が対象です)

以下の質問 (種目により修正が可能です) に全て正しく答えられないときは、脳振盪を疑います。

- 今日はこの競技場/会場にいますか?
- 今は試合の前半ですか、後半ですか?
- 先週/前回の対戦相手は?
- 前回の試合は勝ちましたか?
- この試合で最後に点を入れたのは誰ですか?

脳振盪が疑われた場合には…

- 少なくとも最初の1~2時間は、ひとりきりにしてはいけません。
- 飲酒は禁止です。
- 処方薬も市販薬も、原則として飲んではいけません。
- ひとり家で帰してはいけません。責任ある大人が付き添います。
- 医師からの許可があるまで、バイクや自動車を運転してはいけません。

このツールはこのままの形であれば、自由に複写して個人やチーム、団体、組織に配布していただくかまいません。ただし、改訂や新たな電子化には発行元の許可が必要で、いかなる内容変更も再頒布も販売も禁止です。

脳振盪が疑われた場合には、競技や練習をただちに中止します。たとえすぐに症状が消失したとしても、医師や専門家の適切な評価を受けるまで、プレーに復帰してはいけません。

© Concussion in Sport Group 2017
(日本語版作成: 日本脳神経外傷学会 スポーツ脳神経外傷検討委員会)

脳振盪を短期的に起こす確率が約6倍になるといってデータもあります。そして、脳振盪を繰り返すと認知症やアルツハイマー病、パーキンソン病になりやすくなるというわけです。復帰までには十分に休養期間を設け、状態を確認しながら段階的に復帰すること

表2 JFAで実施している救命講習会

●スポーツ救命ライセンス講習会

JFAが主催するライセンス講習会。日本蘇生協議会(JRC)ガイドラインに準拠した内容で、医師、トレーナーのほか、より高度な知識を体得したい一般の方(選手、指導者、審判員、保護者など)を対象に実施。講義(脳振盪、熱中症、アナフィラキシー、窒息など)、実技(心停止からの心肺蘇生法(CPR)とAED使用方法、頸椎損傷からの頭頸部固定と搬送)、学科試験、実技試験からなり、所要時間は約5時間。サッカーに特化したものではなく、他競技の関係者にも有益なものになっている。合格者には修了証(3年間有効のライセンス証)を発行。

●JFA+PUSHコース(簡易救命講習会)

脳振盪、熱中症、アナフィラキシーなどの簡単な講義をJFAが行う。特定非営利活動法人大阪ライフサポート協会が提唱する「PUSHコース」でCPRの基礎とAEDの使用方法を手短かに実技から学ぶことができる。特別な医学の知識がなくても、小学生から保護者、指導者まで手軽に学ぶことが可能。時間は2時間程度。受講後はJFAから受講証が授与される。

詳細や開催一覧などはこちら
https://www.jfa.jp/medical/critical_care.html



■JFA.jp「メディカル」ページ
~脳振盪や暑熱対策・熱中症予防などの情報を発信
<https://www.jfa.jp/medical/>



●「脳振盪」情報ページはこちら
<https://www.jfa.jp/medical/concussion.html>



が重要です。

脳振盪を起こした後は、いつもよりイライラする、やる気が出ない、集中できない、感情的になるといった症状が続く場合があります。例えば学生ですと学校に行く気力がなくなったり、集中力の低下によって成績が下がったりすることもあります。それは脳振盪の後遺症によるものと理解しておくことも、とても大切です。

**みんなで学ぶ救命講習会
正しい知識と対応を**

JFAは現在、「スポーツ救命ライセンス講習会」と「JFA+PUSHコース(簡易救命講習会)」を開催しています(表2)。講習会では、脳振盪、熱中症、アナフィラキシーなどを座学で、実技では心停止からのCPR

(心肺蘇生法)とAEDの使用方法などを学ぶことができます。

私も講師を務めています。参加される皆さんは学心意欲が旺盛で、講習会の合間にもいろいろ質問を投げかけてくれます。お子さんがサッカーをしているという親御さんが受講されることもありますし、学校やチーム単位での開催も受け付けています。いずれの講習会も、サッカーに限らず誰でも受講できるものですが、サッカーを知る医療スタッフたちから直接学ぶ機会はその多くなく貴重な機会といえます。楽しく学べる内容ですので、ぜひ多くの方に受講してもらいたいと思っています。

サッカーを楽しむためには安心、安全が欠かせません。サッカーファミリーみんなで正しい知識を学びましょう。

アディダス ジャパン(株) 提供

日本サッカー協会のオフィシャルサプライヤーであるアディダス ジャパン(株)より、「アディダスプライムトートバッグ」を1名様にプレゼント。



JFA STORE 提供

「JFA STORE」は、日本代表のグッズなどがそろうJFAのオフィシャルeコマースサイトです。さまざまなシーンや目的に合わせてグッズを確認できるページに加え、特集ページもご用意しました。

今号では「法被(キリンチャレンジカップ)」を1名様にプレゼントします。



JFA STORE



<https://official-store.jfa.jp/>

プレゼント応募方法

■Web

プレゼント応募URL

<https://forms.gle/NbQN8ZcMyk6TP3C38>



上記URLもしくはQRコードよりアクセスしてご応募ください。

■はがき

〒112-0004

東京都文京区後楽1丁目4-18 トヨタ東京ビル
公益財団法人日本サッカー協会 コミュニケーション部
「JFAnews プレゼント応募」係

①名前、②郵便番号・住所、③電話番号、④希望プレゼント名、⑤JFAnewsのご感想・ご意見などを明記の上、郵送でお送りください。

当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。発送は2026年4月中旬から下旬の予定です。

※収集した個人情報は厳重に管理し、他の目的には使用しません。また、お送りいただいたはがきは返却しません。

JFA公式アプリ JFAPassport

全てのサッカーファミリーのためのJFA公式アプリです。

- 会員限定で参加できるイベント情報が満載
- アプリでしか見られないオリジナル動画を配信
- お得なクーポンやプレゼント情報を紹介

<https://www.jfa.jp/jfapassport/>



【サッカークイズを毎月更新中】

フットボールにかかわるさまざまなクイズを毎月出題！

何問正解できるか挑戦しよう。

◎サッカーのルールを学べるクイズも配信中！

JFA DREAM FUND

JFAの基金窓口を開設。寄せられた寄付金はJFAの理念やビジョンに基づき、主にサッカーの普及や日本代表のさらなる強化に使用します。

<https://jfa.jp/dream-fund/>



JFAクラウドファンディング

つなぐ。みんなの夢へ。

～みんなの夢を応援しよう！

JFAがCAMPFIREと共に提供するサッカーに特化したクラウドファンディングサイトです。

<https://jfa.camp-fire.jp/>



<起案者のメリット>

- ✓ お得にクラウドファンディングを実施できる
- ✓ サッカー専用の無料セミナーがあり、初めてでも安心して始められる
- ✓ サッカーに関心がある人が集まるJFA公式サイトに掲載できる

<支援者のメリット>

- ✓ さまざまなサッカー活動の夢と挑戦を応援することができる
- ✓ サッカーに関連するリターンを得ることができる

【お詫びと訂正】 本誌前号2026年1月号(No.501)42ページの蹴球通信におきまして、下記の誤りがございました。読者および関係者の皆さまに謹んでお詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正させていただきます。

P42 蹴球通信 スペランツァ大阪 右段5~6行目

(正)新たにチームを率いる北村隆二氏を監督に迎え、

(誤)新たにチームを率いるイエンス・ウィッシング氏を監督に迎え、

公益財団法人日本サッカー協会 機関誌

JFA news

発行人：湯川和之

発行所：公益財団法人日本サッカー協会

〒112-0004

東京都文京区後楽1丁目4-18 トヨタ東京ビル

TEL.050-2018-1990(代)

URL <https://www.jfa.jp>

監修：公益財団法人日本サッカー協会 コミュニケーション部

編集：編集長 多田寛

JFAnews編集部/(株)ウォールニクス

印刷：サンメッセ(株)

定価：600円/本体545円

次号2026年3月情報号は、2026年3月19日発売予定

【特集】燃えろ!アマチュアリーグ(仮題)

※特集テーマ・内容は変更となる場合があります

ご購入のお知らせ

・インターネットからのご購入

https://req.qubo.jp/jfa_coach/form/entry

・年間購読

JFAnewsの年間購読料は、送料・税込みで1年間(12冊)5,000円で、年間2,200円お得です。

ご希望の方は上記URLよりお申し込みください。



チーム登録をされているご購読者さまへ

JFAnews発送における住所変更、名義変更を希望される場合は、JFA公式ウェブサイトの「JFAへの登録」よりJFA IDシステムにログインしていただき、変更をお願いします。

<https://www.jfa.jp/registration/>





サッカーのチカラで、
日本中を笑顔に。



KIRIN キリンはサッカーを愛するすべての人を応援しています。

2025年11月SAMURAI BLUE招集メンバー/2025年11月なでしこジャパン招集メンバー



アスパス!

定価600円(本体545円)